

リアホナ

総大会の説教

青少年を強めるための組織変更が
発表される

ネルソン大管長, 神殿の祝福と人々への愛
を称賛する

8つの新しい神殿が発表される



「イエスを思う」(救い主)
/エルベス・ヤング画

「救い主の贖罪について、ラッセル・M・ネルソン大管長はこう話しています。

『すべてにおいて、イエス・キリストは最大の模範であり、「自分の前におかれている喜びのゆえに、……十字架を忍」ばれました〔ヘブル12:2〕。そのことを考えてみてください。この地上で最も耐え難い苦しみに耐えるために、救い主は喜びに目を向けられたのです。』……

同様に、『わたしたちの前に置かれた』喜びは、主の贖いの業において救い主を補佐する喜びです。』

十二使徒定員会、D・トッド・クリストファーソン長老「聖約たちの喜び」17



© ELSPETH YOUNG, 複製は禁じられています

リアホナ 2019年11月号目次

第21巻・11号

土曜午前の部会

- 6 メッセージと意味と群衆
ジェフリー・R・ホランド長老
- 9 救い主の真の弟子
テレンス・M・ビンソン長老
- 12 不信仰ではなく、信仰深くなる
ステイブ・W・オーウェン
- 15 聖徒たちの喜び
D・トッド・クリストファーソン長老
- 19 霊的な能力
ミッシェル・クレグ
- 22 イエス・キリストに対する
揺るぎない決意
デール・G・レンランド長老
- 26 主を信頼する
ダリン・H・オークス管長

土曜午後の部会

- 30 教会の中央幹部、地域七十人、
ならびに教会の中央役員の支持
ヘンリー・B・アイリング管長
- 31 絶えず祈りに気を配る
デビッド・A・ベドナー長老
- 35 モルモン書の力により見いだされ
ルーベン・V・アリオード長老
- 38 証人とアロン神権定員会と
若い女性のクラス
ラッセル・M・ネルソン会長
- 40 青少年を強めるための変更
クエンティン・L・クック長老
- 44 わたしに従ってきなさい ——
主の対抗手段と先を見越した計画
マーク・L・ベイス
- 47 一貫した、打たれても負けない信頼
L・タッド・バッジ長老
- 50 信仰が試されてから
ホルヘ・M・アルバラード長老
- 53 約束と聖約を尊ぶ
ロナルド・A・ラズバンド長老

中央女性部会

- 57 曇りの時も晴れの時も、
主よ、われと共におりたまえ
レイナ・I・アブルト
- 60 主の御名を尊ぶ
リサ・L・ハークネス
- 67 愛されている娘たち
ボニー・H・コードン

- 70 神とのパートナーシップにおいて
聖約を交わしている女性
ヘンリー・B・アイリング管長
- 73 いちばん大切な二つの戒め
ダリン・H・オークス管長
- 76 霊の宝
ラッセル・M・ネルソン大管長

日曜午前の部会

- 80 聖約によるつながり
ゲレット・W・ゴング長老
- 83 福音を分かち合うことに
喜びを見出す
クリスティーナ・B・フランコ
- 86 あなたのたいなる冒険
ディーター・F・ウークトドルフ長老
- 90 救い主の御手
ウォルター・F・ゴンサレス長老
- 93 わたしを欺くな
ゲアリー・E・ステイブソン長老
- 96 大切な第二の戒め
ラッセル・M・ネルソン大管長

日曜午後の部会

- 100 聖さと幸福の計画
ヘンリー・B・アイリング管長
- 104 理解し、愛し、成長する
ハンス・T・ブーム長老
- 106 霊に肉体を支配させる
M・ラッセル・バラード会長
- 110 サタンに打ち勝つ力
ピーター・M・ジョンソン長老
- 113 自分の十字架を負う
ウリセス・ソアレス長老
- 116 実
ニール・L・アンダーセン長老
- 120 結びの言葉
ラッセル・M・ネルソン大管長
- 64 末日聖徒イエス・キリスト教会の
中央幹部と中央役員
- 123 教会のニュース
- 127 わたしに従ってきなさい ——
総大会のメッセージから学ぶ



第189回半期総大会の概要

2019年10月5日土曜午前、一般部会

司会：ヘンリー・B・アイリング管長
開会の祈り：ラリー・Y・ウィルソン長老
閉会の祈り：スティーブン・R・バンガーター長老
音楽——テンブルスクウェア・タバナクル合唱団；指揮——マック・ウィルバーク、ライアン・マーフィー；オルガニスト——アンドリュウ・アンズワース；「夜明けだ、朝明けだ」『賛美歌』1番；“From All That Dwell below the Skies,” Hymns, no. 90, ウィルバーク編曲；「われのみ言葉読む」『賛美歌』177番、マーフィー編曲；「主のみ言葉は」『賛美歌』46番；「信仰」『子供の歌集』50-51, エリオット編曲；「いざ救いの日を楽しまん」『賛美歌』5番, ウィルバーク編曲。

2019年10月5日土曜午後、一般部会

司会：ダリン・H・オークス管長
開会の祈り：マシュー・L・カーペンター長老
閉会の祈り：クレグ・C・クリステンセン長老
音楽——ユタ州プロボ地域にある複数のステークから成る聖歌隊；指揮——ジム・ケイセン；オルガニスト——ジョセフ・ピーブルズ；「主は光」『賛美歌』47番, ケイセン編曲；「わが神、わが王」『賛美歌』87番, ケイセン編曲；「イスラエルの救い主」『賛美歌』4番；“Thy Spirit, Lord, Has Stirred Our Souls,” Hymns, no. 157, ケイセン編曲。

2019年10月5日土曜夜、中央女性部会

司会：ジョイ・D・ジョーンズ
開会の祈り：サロテ・ツクアフ
閉会の祈り：キャロル・コストレー
音楽——ユタ州ウェストジョーダン地域にある複数のステークの初等協会の少女と若い女性から成る聖歌隊；指揮——ケイシー・ブラッドベリー；オルガニスト——リンダ・マーゲッツ；「造り主の主を」『賛美歌』37番, ウェップ編曲；「感謝を神に捧げん」『賛美歌』11番；「神殿に行きたいな」『子供の歌集』99, モーマン編曲；「主はみ子をつかわし」『子供の歌集』20-21, デフォード編曲。

2019年10月6日日曜午前、一般部会

司会：ヘンリー・B・アイリング管長
開会の祈り：O・ビンセント・ハレック長老
閉会の祈り：ベッキー・クレブ
音楽——テンブルスクウェア・タバナクル合唱団；指揮——マック・ウィルバーク；オルガニスト——ブライアン・マシアス, リチャード・エリオット；“How Wondrous and Great,”

Hymns, no. 267；「山の上に」『賛美歌』2番, ウィルバーク編曲；「子供のいのり」『子供の歌集』6-7, ベリー編曲；「光の中進もう」『賛美歌』194番；「シオンの若者、真理を守り」『賛美歌』163番, リヨン編曲；“Love Divine, All Loves Excelling,” Wesley and Prichard, ウィルバーク編曲。

2019年10月6日日曜午後、一般部会

司会：ダリン・H・オークス管長
開会の祈り：ジャック・N・ゲラード長老
閉会の祈り：ダグラス・D・ホームズ
音楽——テンブルスクウェア・タバナクル合唱団；指揮——マック・ウィルバーク, ライアン・マーフィー；オルガニスト——リチャード・エリオット；「来たれ、主の子ら」『賛美歌』31番, マーフィー編曲；「主イエスの愛に」『賛美歌』109番, マーフィー編曲；「神のみ業に進みて」『賛美歌』149番；「さらに聖くなお努めん」『賛美歌』74番, スタヘリ編曲。

総大会の説教の入手

様々な言語に訳された総大会の説教をオンラインで聞くことができます。インターネットで

conference.ChurchofJesusChrist.org にアクセスし、言語を選択してください。大会説教は「福音ライブラリー」モバイルアプリでも利用できます。通常、総大会後6週間以内に、英語による大会の映像と音声を録音したものが配送センターを通じて入手できるようになります。障がいのある会員が利用できる形式の総大会に関する情報は disability.ChurchofJesusChrist.org で入手できます。

表紙

表紙：写真／ヤナイ・ビンガム
裏表紙：写真／ウェルデン・アンダーセン

大会の写真

ソルトレーク・シティーにおける総大会の写真は以下のカメラマンによって撮影されました。ウェルデン・アンダーソン, コディー・ベル, ヤナイ・ビンガム, ランディー・コリアー, ウェストン・コルトン, ブルーノ・リマ, ブライアン・ニコルソン, レスリー・ニルソン, マシュー・ライアー, クリスティーナ・スミス, デイブ・ウォード。



●定期購読は、「リアホナ」注文用紙でお申し込みになるか、郵便振替(口座名/末日聖徒イエス・キリスト教会 振込口座番号/00150-0-604351)にて教会管理本部配送センターへ送金いただければ、直接郵送いたします。●「リアホナ」のお申し込み・配送についてのお問い合わせ……〒133-0057 東京都江戸川区西小岩5-8-6/末日聖徒イエス・キリスト教会管理本部配送センター 電話: 03-5668-3391

発行所 末日聖徒イエス・キリスト教会

〒106-0047 東京都港区南麻布5-10-30

電話: 03-3440-2351

年間購読: 国内 1,090円(送料込み)

海外在住の方はお近くのイストリビューションセンターへ

のお申込みをお勧めします。

普通号/大会号 110円

「リアホナ」(モルモン書)に出ている言葉。「羅針盤」または「指示器」の意

は、以下の言語で出版されています。

アルメニア語, アルメニア語, ビスラマ語, ブルガリア語, カンボジア語, セブアノ語, 中国語, 中国語(簡体字), クロアチア語, チェコ語, デンマーク語, オランダ語, 英語, エストニア語, フィジー語, フィンランド語, フランス語, ドイツ語, ギリシャ語, ハンガリー語, アイランド語, インドネシア語, イタリア語, 日本語, キリバス語, 韓国語, ラトビア語, リトアニア語, マダガスカル語, マーシャル語, モンゴル語, ノルウェー語, ポーランド語, ポルトガル語, ルーマニア語, ロシア語, サモア語, スロベニア語, スペイン語, スワヒリ語, スウェーデン語, タガログ語, タヒチ語, タイ語, トンガ語, ウクライナ語, ウルドゥー語, ベトナム語(発行頻度は言語により異なります。)

©2019 Intellectual Reserve, Inc. All rights reserved. 印刷: 韓国

著作権情報: 制限の記載がない限り、「リアホナ」に掲載されているものは、個人的に、また非営利目的(教会の召しも含む)で使用する場合に複製することができます。この指示内容は変更の可能性が常にあります。視覚資料に関しては、作品の著作権表示に制限が記されている場合に複製できないことがあります。著作権に関するご質問は、Intellectual Property Office, 50 E. North Temple St., Fl. 13, Salt Lake City, UT 84150, USAに送付するか、電子メール cor-intellectualproperty@ChurchofJesusChrist.org にご連絡ください。

For Readers in the United States and Canada:

November 2019 Vol. 43 No. 11. LIAHONA (USPS 311-480)

English (ISSN 1080-9554) is published monthly by The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150. USA subscription price is \$10.00 per year;

Canada, \$12.00 plus applicable taxes. Periodicals Postage Paid at Salt Lake City, Utah. Sixty days' notice required for change of address. Include address label from a recent issue; old and new address must be included. Send USA and Canadian subscriptions to Salt Lake Distribution Center at address below. Subscription help line: 1-800-537-5971. Credit card orders (American Express, Discover, MasterCard, Visa) may be taken by phone or at store. lds.org. (Canada Post Information: Publication Agreement #40017431)

POSTMASTER: Send all UAA to CFS (see DMM 507.1.5.2).

NONPOSTAL AND MILITARY FACILITIES: Send address changes to Distribution Services, Church Magazines, P.O. Box 26368, Salt Lake City, UT 84126-0368, USA.



話者リスト (50音順)

アイリング, ヘンリー・B 30, 70, 100
アブルト, レイナ・I 57
アリオード, ルーベン・V 35
アルバラード, ホルヘ・M 50
アンダーセン, ニール・L 116
ウークトドルフ, ディーター・F 86
オーウェン, スティーブ・W 12
オークス, ダリン・H 26, 73
クック, クエンティン・L 40
クリストファーソン, D・トッド 15
クレグ, ミッシェル 19
コードン, ボニー・H 67
ゴング, ゲレット・W 80
ゴンザレス, ウォルター・F 90
ジョンソン, ピーター・M 110
ステイブソン, ゲーリー・E 93
ソアレス, ウリセス 113
ネルソン, ラッセル・M 38, 76, 96, 120
ハーケネス, リサ・L 60
バッジ, L・タッド 47
バラード, M・ラッセル 106
ビンソン, テレンス・M 9
ブーム, ハンス・T 104
フランコ, クリスティーナ・B 83
ベイス, マーク・L 44
ベドナー, デビッド・A 31
ホランド, ジェフリー・R 6
ラズバンド, ロナルド・A 53
レンランド, デール・G 22

テーマ別索引

あ愛 73, 86, 104, 106, 110, 116
アロン神権 38, 40
安全 31
イエス・キリスト 6, 9, 15, 22, 26, 35, 44, 47, 53, 57, 60, 80, 83, 86, 90, 93, 100, 110, 113, 116
祈り 19, 31, 104, 110
戒め 15, 73, 93
癒し 57, 90
か改心 15, 22, 35
回復 120
家族 83, 106
家庭 12, 44
儀式 38, 80, 116
希望 47, 90
逆境 15, 47, 50, 57, 90, 100, 104, 113, 116
教会組織 40, 67
聖さ 100, 120
悔い改め 73, 100, 104, 106, 113
決意 9, 22
結婚 73, 80
幸福 100
さ最初の示現 6, 104, 120
サタン 31, 44, 93, 110
識別 76, 93
死すべき肉体 31, 106
自削 106, 113
従順 15, 73, 93
祝福 76, 90, 120
準備 31, 70
昇業 73
贖罪 9, 47, 60, 106, 116
女性 70, 73, 76
ジョセフ・スミス 6, 93, 100, 104, 113, 120
神権 76, 80

信仰 6, 12, 19, 22, 47, 50, 67, 76, 116
神殿 26, 76, 120
人道支援 96
信頼 19, 26, 47
救いの計画 83, 100, 106, 116
聖餐 110
誠実 53
青少年 12, 38, 40, 53, 120
精神疾患 57
聖文研究 44, 110
聖約 22, 53, 60, 76, 80, 83, 116
聖霊 19, 35
前世 86, 106
た断食献金 96
力 35, 76, 110
知識 104
テクノロジー 12, 19, 40, 110
弟子の務め 9, 15, 19, 22, 60, 86, 96, 104, 113
伝道活動 83, 86
はビショップ 38, 40
貧困 96
フェローシップ 12, 67
奉仕 15, 19, 60, 70, 86, 96
ま守り 31, 44
ミニスターリング 70, 96, 104
模範 50
モルモン書 35, 80, 83, 110
や誘惑 31, 93
救し 113
喜び 9, 15, 47, 83, 96, 116
ら落胆 110
リーダーシップ 38, 40, 67
律法 73
霊界 26, 106
霊性 12, 19, 44
わ若い女性 38, 40, 67
若い男性 38, 40



第189回半期総大会の見どころ

総大会で話をした教会指導者たちは、さらに幸せになる、さらに聖い者になる、さらに救い主のようになる、そして同じことをほかの人々も行えるように何度も繰り返し勧めました。

さらに、そのような変化をわたしたち一人一人が達成できることを教えてくれました。

ラッセル・M・ネルソン大管長は次のように教えています。「御自分のすべての子供たちが神殿で得られる永遠の祝福を受けてほしいと、主は思っておられます。……主の宮に参入する個人のふさわしさには、多くの霊的な備えが求められます。しかし、主の助けがあれば、不可能なことは何もありません。」

幸福と聖さを見いだす

ネルソン大管長は、わたしたち一人一人が神殿の祝福を受ける資格を得るように勧めました(120ページ参照)。

ヘンリー・B・アイリング管長は、聖さを増し加えることと幸福を増し加えることの関係について説明しました(100ページ参照)。

D・トッド・クリストファーソン長老は「聖徒たちの喜び」を見いだす方法を教えてくれました(15ページ参照)。

愛し、分かち合うという勧め

ネルソン大管長は、隣人を愛することの大切さを教え、教会の広範囲にわたる人道支援活動について詳しく述べました(96ページ参照)。

ディーター・F・ウークトドルフ長老は、ほかの人々に「来て確かめてみる」ように招く力について説明しました(86ページ参照)。クリスティーナ・B・フランコ姉妹は、福音を分かち合う喜びについて述べました(83ページ参照)。

青少年を強める

預言者は、青少年の組織に対する変更を紹介し、定員会の青少年とクラス会長会が立ち上がってリーダーシップを発揮できるように励ましました(38ページ参照)。

クエンティン・L・クック長老は、アロン神権指導者のリーダーシップがどのように機能するかを示しました(40ページ参照)。

ボニー・H・コードン姉妹は、若い女性組織に対する変更を伝えました(67ページ参照)。

神殿を築く；自らを築く

ネルソン大管長は、女性部会で8つの新しい神殿を発表しました(76ページ参照)。

日曜日の午後、ネルソン大管長は神殿に入るための資格について教え、修正された神殿推薦状の質問を紹介しました(120ページ参照)。





十二使徒定員会
ジェフリー・R・ホランド長老

メッセージと意味と群衆

この時代の絶え間ない騒音と妨害に遭うときに、自分の生活と信仰と奉仕の中心におられるキリストに努めて目を向けることができますように。

兄弟姉妹の皆さん、この子は、生後7か月のサミー・ホー・チンです。4月に自宅のテレビで総大会を見ているところです。

ラッセル・M・ネルソン大管長やほかの中央幹部を支持する時間が近づいたとき、サミーは両手でしっかりと哺乳瓶を抱えていましたので、こうして見事に対応してみました。

サミーは、足を使って支持の表明をするという新しい発想を加えたのです。

末日聖徒イエス・キリスト教会のこの半期総大会に、ようこそおいでくださいました。この年に2回の総大会の意味について話をするきっかけとして、新約聖書のルカの記録から次の場面を考えてみていただきたいと思います。¹

「イエスがエリコに近づかれたとき、ある盲人が道ばたにすわって、物ごいをしていた。

群衆が通り過ぎる音を耳にして、彼は何事があるのかと尋ねた。

ところが、ナザレのイエスがお通りなのだと聞かされたので、

声をあげて、『ダビデの子イエスよ、わたしをあわれんで下さい』と言った。」

その大胆さに驚いた群衆は、彼を黙らせようとしたのですが、「彼はますます激しく叫びつづけ〔まし〕た。」そのように訴え続けたことで、彼はイエスのみもとへ連れて行か

れ、イエスは、深い信仰をもって視力の回復を願うその懇願を聞いて、彼を癒されたのでした。²

わたしはこの鮮烈かつ簡潔な出来事を読む度に、感動を覚えます。わたしたちはその人の苦悩を感じることができます。救い主の注意を引こうとするその叫び声が聞こえるかのようです。黙ろうとしない彼の振る舞い、実際、声を落とすよう皆から告げられたときにさらに声を大にしたことに、つい、ほほえんでしまいます。それ自体が確固たる信仰の快い話です。しかし、すべての聖文と同様、読めば読むほど、多くのことに気づきます。



2019年4月の総大会の際にラッセル・M・ネルソン大管長を支持するサミー・ホー・チン

つい最近心に強く感じた一つの思いは、この人の周囲に霊的な感性の豊かな人々がいたという安らかな気持ちです。この話の重要性はすべて、一握りの無名の男女に懸かっています。彼らはその仲間から「この騒ぎは何事ですか」と尋ねられたときに、その騒動の原因はキリストにあると特定する、言うなれば、洞察力を持っていたのです。キリスト御自身が「その原因そのもの」でした。わたしたち全員にとって、このやり取りの中に一つの教訓があります。信仰と確信に関して言えば、実際にそれを持っている人に尋ねるのがよいでしょう。「盲人は盲人の手引ができませんか。」イエスはかつてこう問いかけておられます。「[もしそうすれば、]ふたりとも穴に落ち込まないだろうか。』³

このように信仰と確信を求めることが、総大会の目的です。そして今日、わたしたちとともに参加することで、皆さんは、これを求めることが広く共通の目的であることに気づくでしょう。周りを見てください。この会場の周囲で、皆さんは、あらゆる規模の家族があらゆる方面から来ているのを目にします。昔の友人たちが再会を喜んで抱き合い、すばらしい合唱団がウォーミングアップを行い、また反対者たちがお気に入りの台の上から叫びます。以前の宣教師がかつての同僚を捜す一方、最近の帰還宣教師はまったく新しい同僚を探します(皆さんはその意味がお分かりでしょう)。写真はどうか。何と多いことでしょう。すべての人が手に携帯電話を持ち、「すべての会員は宣教師」から「すべての会員は写真家」に変わっています。このあらゆる喜びの騒ぎの真ただ中で、まさにこう問う人がいるかもしれません。「これは一体何事ですか。」

新約聖書の物語と同じように、理解する目を祝福された人は、この大会ではほかにもあらゆることが述べられるにもかかわらず、イエスとそのすべての中心であられることを理解しないかぎり、ほとんど、または

まったく意味がなくなるということに気づくでしょう。わたしたちが求めている理解や、主が約束してくださる癒しを得るには、とにかく重要であると知っているものがここにあるので、歓喜で沸いた、その騒ぎに気を取られることなく、主に注意を集中しなければなりません。すべての話者の祈り、歌う人皆の希望、すべての参加者の畏敬の念、そのすべてが主の御霊を招くのに貢献します。この教会はその主、すなわち、生けるキリスト、神の小羊、平和の君の教会なのです。

しかし、主を見いだすのに大会の会場にいななければならないわけではありません。子供が初めてモルモン書を読んで、アビナダイの勇気や2,000人の若い兵士の行軍に心を奪われるとき、わたしたちは、イエスがこのすばらしい記録の至る所に登場する中心人物であられるということを優しく付け加えることができます。この御方は実際、そのすべてのページで巨像のように立って、その記録の中の信仰を鼓舞する人物全員とつながりをお持ちなのです。

同様に、友人がわたしたちの宗教について学んでいるとき、宗教上の慣行の、特有の要素やなじみのない用語に多少困惑するかもしれない。食生活の制約や自立の必需品、開拓者の旅、デジタル化されたファミリーーツリー、無数のステーキセンターなどです。中には、ステーキセンターと聞くと、疑いもなく、炭火でメディアムレアに焼かれた上質のサーロインを期待する人がいます。ところで、新しい友人が新しいことを数多く見聞きするとき、わたしたちは、その見聞きしたすべての騒ぎの意味と目的を指し示し、胸を高鳴らせる永遠の福音に、彼らの心を集中させなければなりません。天の両親の愛、神の御子の贖いの賜物、慰めをもたらす聖霊の導き、末日におけるこれらすべての真理の回復などに集中できるようにするのです。

初めて聖なる神殿に参入する人は、その経験から多少畏敬の念に打たれるかもしれませんが。わたしたちの務めは、神聖な象徴



や啓示された儀式、儀式用の衣装や映像が決して救い主から心をそらすものではなく、むしろ救い主に心を向けるものとなるようにすることです。わたしたちは救い主を礼拝するためにそこへ行くのです。神殿は主の宮です。思いと心の中で主を最も大切にすべきです。壮大なキリストの教義が神殿の儀式に満ちているように、それがわたしたちの存在そのものに満ちるのです。神殿の正面玄関の上に刻まれた言葉を読んだときから始まって、その建物内で過ごした最後の瞬間まで、主を最も大切にします。出会う驚嘆すべきことすべての中で、とりわけ、神殿におけるイエスの意味を理解しなければなりません。

ここ数か月間の、教会における、大胆なプログラムと新たな発表の目まぐるしさについて考えてみてください。互いに仕え合うときや、安息日の経験に磨きをかけるとき、あるいは子供や青少年のために新しいプログラムを取り入れるとき、わたしたちの救いの岩⁴の上しっかりと築き上げるのに役立つ

つ相関性のある努力としてではなく、まったく異なる無関係の要素として見るならば、それらの啓示による変更の真意を見逃してしまいます。ラッセル・M・ネルソン大管長が、啓示された教会の名称をわたしたちに使わせようとしているのは、まさにこのためなのです。⁵ イエス、その御名、その教義、その模範、その神性がわたしたちの礼拝の中心となるならば、わたしたちは、かつてアルマが教えた偉大な真理を強化していることになります。「将来多くのことがある。〔しかし〕見よ、それらのどれよりも重要なことが一つある。……贖い主が命を得て、御自分の民の中に来られる……。」⁶

ジョセフ・スミスが住んでいた19世紀の辺境の地は、競合するキリスト教徒たちの熱気で燃え上がっていました。⁷ しかし皮肉なことに、これら熱狂的な信仰復興論者たちが引き起こした騒ぎは、若きジョセフが真剣に求めた救い主御自身を分かりにくくしていました。ジョセフは、自身が「暗闇と混乱」⁸と呼んだ状態と闘いながら、ひっそり



と森に入って行き、今朝ここで述べられたいかなる証よりも栄光ある証、すなわち救い主が福音の中心であられるという証を見聞きしたのです。想像も予測もしない情景を目にする賜物を得て、ジョセフは、宇宙の大いなる神である天の御父と、御父の完全な独り子であるイエス・キリストを示現の中で目にしました。その後、御父は、今朝わたしたちがほめたたえてきた模範を示されました。イエスを指してこう言われたのです。「これはわたしの愛する子である。彼に聞きなさい〔。〕」⁹ イエスの神性、救いの計画におけるイエスの重要性、神の目から御覧になったイエスの地位について、この簡潔な

宣言以上にすばらしい表現はありません。

騒ぎと混乱があるでしょうか。群衆と論争があるでしょうか。そのすべてが世界中に蔓延しています。事実、懐疑的な人々と信仰ある人々が、この示現や今日語られたほかのほぼすべてのことについて、いまだに論じています。皆さんが、数多くある考え方の中に明確な意味を見いだそうと努めているならば、わたしは皆さんが、その同じイエスに目を向けるようお勧めします。盲目の友が古代エリコの道で視力を取り戻してからおよそ1,800年後に起こった、ジョセフ・スミスの経験についても使徒として証します。わたしは、この二つの出来事と、時代を

超えたそのほかの多くの出来事に関連して証します。実に、人生における最も感動的な光景と音は、イエスがそばを通り過ぎて行かれる光景と音だけではなく¹⁰、主がわたしたちのもとに来て、わたしたちの傍らに立ち止まり、わたしたちと一緒に住まれる¹¹光景と音です。

姉妹と兄弟の皆さん、この時代の絶え間ない騒音と妨害に遭うときに、自分の生活と信仰と奉仕の中心におられるキリストに努めて目を向けることができますように。ほんとうの意味はそこにあります。そして、いつか必ず起こることですが、自分の視野が弱まり、自信がなくなり、信念が試されて精錬されるとき、大きな声でこう叫ぶことができますように。「ダビデの子イエスよ、わたしをあわれんでください。」¹²わたしは使徒として、心から預言的な確信をもって約束します。主は皆さんの声を聞き、遅かれ早かれ、こう言われることでしょう。「見えるようになれ。あなたの信仰があなたを救った。」¹³総大会に皆さんを歓迎します。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. 二人の盲人と記録されているマタイ 20 : 30 - 34 と、盲人はテマイの子バルテマイであると記録されているマルコ 10 : 46 - 52 は、同じ出来事である可能性の場合とそうでない場合がある。
2. ルカ 18 : 35 - 43 ; 強調付加
3. ルカ 6 : 39
4. 2 ニーファイ 9 : 45 参照
5. ラッセル・M・ネルソン「教会の正しい名称」『リアホナ』2018年11月号、87 - 89 参照
6. アルマ 7 : 7
7. バルマイラに近いニューヨーク州北部のその地域は、狭い地域に繰り返す宗教熱が押し寄せたため、しばしば「焼け野原の地区」と呼ばれた。
8. ジョセフ・スミス —— 歴史 1 : 13
9. ジョセフ・スミス —— 歴史 1 : 17
10. ルカ 18 : 37 参照
11. ヨハネ 14 : 23 参照
12. マルコ 10 : 47
13. ルカ 18 : 42



七十人会長会
テレンス・M・ビンソン長老

救い主の真の弟子

救い主と主の福音という枠組みの中で生活を築くとき、永続する喜びを感じることができます。

旧約聖書のハガイ書のあまりなじみのない箇所、ホランド長老の勧告を活用すべきだった民についての記述があります。彼らの過ちは、キリストを生活と奉仕の中心に据えなかったことにありました。ハガイは、民が主の神殿を建てずに居心地のよい家にとどまっていることを主が叱責される様子を、示唆に富んだ言葉で描写しています。

「主の家はこのように荒れはてているのに、あなたがたは、みずから板で張った家に住んでいる時であろうか。

それで今、万軍の主はこう言われる、あなたがたは自分のなすべきことをよく考えるがよい。

あなたがたは多くまいでも、取入れは少なく、食べても、飽きることはない。飲んで、満たされない。着ても、暖まらない。賃銀を得ても、これを破れた袋に入れているようなものである。

万軍の主はこう言われる、あなたがたは、自分のなすべきことを考えるがよい。」¹

神に関する事よりも、永遠の価値を持たないものを優先させることの無益さが見事に表現されていると思いませんか。

最近出席した聖餐会で、ある帰還宣教師が、このことを見事に表現した父親の言葉を引用しました。「必要なのは、Wi-Fiから離れてニーフイのようになることです！」と。

西アフリカに住んでいた5年の間、ごく自

然に、恥じることなく福音を優先させる人々の模範を何度も目にしました。その一つは、ガーナにある、タイヤ修理と車輪アライメント（車輪のバランス調整）を行う店の名前です。店主はその店を「御心アライメント」と名付けたのです。

救い主と主の福音という枠組みの中で生活を築くとき、永続する喜びを感じることができます。² しかし、その枠組みがこの世のことに取って代わられるのは非常に簡単で、福音が付属的なものになったり、単に日曜日

に2時間教会に出席するだけのものになったりします。そのような場合、賃金を「破れた袋」に入れていることに等しくなるのです。

ハガイはわたしたちに全力を尽くすよう言っています。つまり、福音に従うことについて、オーストラリアで言う「fair dinkum（フェアディンクム）」であるよう教えています。人はその人が言うとおりの人間であるときフェアディンクムであると言います。

わたしはラグビーを通して、フェアディンクムであることと全力を尽くすことについて学びました。全力を尽くしてプレーしたとき、すなわち自分のすべてを出し尽くしたときに、試合から最大の喜びを感じることを学びました。

高校を卒業した翌年、ラグビー人生で最良の年でした。所属していたチームは、才能もあり、勤勉で、その年に優勝することができました。ところがある日、ランクの低いチームと対戦することになり、わたしたちは皆その試合の後で、年に1度の大規模な大学のダンスパーティーに、デートの相手を



連れて行く予定になっていました。簡単な試合になるだろうから、けがをしないよう身を守り、ダンスパーティーを十分に楽しもうとわたしは考えていました。そしてその試合で、いつもほど一生懸命に相手とぶつかろうとせず、試合に負けてしまいました。さらに悪いことに、試合が終わってみると唇は腫れ上がり、大事なデートだというのにひどい顔になっていました。おそらく、何かを学ぶ必要があったのでしょう。

その後の別の試合で、全力を尽くして臨み、まったく異なった経験をしました。全力でぶつかって行く覚悟で走っていると、突然顔に痛みを感じました。痛みを感じていることを決して敵に悟らせてはならないと父に教わっていたので、試合が終わるまでプレーを続けました。その晩、食事をしようとする、物をかめないことに気づきました。次の朝病院に行きレントゲンを撮ると、あごの骨が折れていたのです。その後6週間、口は針金で閉じられたままでした。

腫れた唇とあごの骨折から、わたしは教訓を得ました。6週間、流動食しか摂取できず、固形食品に対する欲求が満たされなかった記憶はありますが、全力を尽くした結果あごを骨折したので、後悔はまったくありませんでした。一方で、以前経験したあの腫れた唇は力の出し惜しみを表していたので、強い後悔があります。

全力を尽くしたからといって常に祝福を受けたり、成功したりするというわけではあ

りません。しかし喜びを得ることはできません。喜びとは、つかのまの楽しみでもなければ、一時的な幸せでもありません。喜びとは永続するものであり、主に受け入れていただくための努力によって得られるものです。³

主に受け入れられることの例として、オリバー・グレインジャーの話があります。ポイド・K・パッカー会長はこのように述べました。「聖徒たちが……カートランドから追放され……たとき、オリバーはたとえわずかな金額でも聖徒たちの財産を売却するために後に残りました。うまく事が運ぶ見込みはあまりなく、実際、芳しい成果は得られませんでした。」⁴オリバーは、困難、あるいは不可能な任務を大管長会から任されていました。しかし、主は一見失敗に終わったオリバーの取り組みについて、このように褒めておられます。

「わたしの僕オリバー・グレインジャーを、わたしは覚えている。見よ、まことに、わたしは彼に言う。彼の名前は代々としえにいつまでも、神聖に覚えられるであろう、と主は言う。

それゆえ、彼はわたしの教会の大管長会の負債償却のために熱心に働きなさい……。彼は倒れるとき、再び起き上がるであろう。彼の犠牲は彼が増し加えるものよりもわたしにとって神聖だからである……。」⁵

これはすべての人に当てはまることかも

しれません。主にとって大切なのは、わたしたちの成功ではなく、犠牲と努力なのです。

イエス・キリストの真の弟子のもう一つの例は、西アフリカのコートジボワールの友人です。このすばらしい忠実な姉妹は、長い間、夫からひどい情緒的、身体的な虐待を受け、やがて離婚しました。彼女は信仰と善良さを失うことは決してありませんでしたが、夫の残虐な行為のために長い間深く傷ついていました。彼女はその出来事についてこのように書いています。

「夫を赦すとは言ったものの、昼夜を問わず、常に傷を抱えて過ごしていました。心にやけどを負っているようでした。その傷を取り除いていただきたいと主に何度も祈りましたが、痛みがあまりに強かったために、一生なくなると強く思っていました。それは、若いときに母を失ったときよりも、父を失ったときよりも、さらには息子を失ったときよりも激しい痛みでした。それは広がって心を覆い、いつ死んでもおかしくないと思うようになりました。

また別のときには、救い主ならこの状況でどうされたいかと自問しながらも、『主よ、わたしには耐え切れません』と言うわたしがいるのです。

ある朝、この経験から生じた痛みを、心の中、さらに、もっと深く掘り下げ、魂の中まで探しましたが、なくなっていたのです。頭の中で、自分が傷ついていた理由をすべて、さっと振り返りましたが、やはり痛みを感じませんでした。一日中、心に痛みを感じるのを待っていましたが、感じませんでした。わたしはひざまずき、主の贖いの犠牲の効力を及ぼしてくださった神に感謝しました。」⁶

この姉妹は現在、彼女を深く愛する、すばらしい、忠実な男性と幸せに結び固められています。

キリストの真の弟子であるならば、わたしたちはどのような姿勢であるべきでしょうか。ハガイが提案したように「自分のなすべきことをよく考える」ときに、わたしたちにとって福音はどのような価値があるでしょうか。



大学時代、ラグビーチームのメンバーとして、左から4番目に立つテレンス・M・ビンソン。



わたしは、ラモーナイ王の父が示した正しい姿勢の模範が好きです。レーマン人が嫌うニーファイ人のアンモンと自分の息子が一緒にいるのを見て、初めは王が怒ったのを皆さんは覚えているでしょう。王はアンモンと闘うために剣を抜きましたが、すぐにアンモンの剣が自分に突き付けられていることに気づきました。「すると王は、命を失うのを恐れて、『わたしの命を助けてくれれば、おまえの求めるものは何でも与えよう。王国の半分でも与える』と言った。」⁷

命の代わりに王国の半分を与える、と申し出たのです。

ところがその後、福音を理解すると、別の申し出をします。「王は言った。『あなたの語ったこの永遠の命を得るには、わたしは何をすればよいのか。まことに、わたしは何をすれば、この悪い霊をわたしの胸からことごとく取り除いて、神から生まれ、神の御霊を受けて、喜びに満たされ、終わりの日

に捨てられなくて済むのか。見よ、この大きな喜びを得るために、わたしは持ち物をすべて捨てよう。まことに、王位も譲ろう。』」⁸

このときは、王国をすべて捨てる用意がありました。福音には、自分の持ち物すべてにも勝る価値があったからです。彼は福音に対してフェアディングムでした。

ここで自問してみましょう。わたしたちも福音に対してフェアディングムでしょうか。中途半端な態度はフェアディングムとは言えません。神は、なまぬるい人を称賛する御方ではありません。⁹

どのような宝や趣味、地位やソーシャルメディア、テレビゲームやスポーツ、有名人との交流、そして地上のどのようなものであれ、永遠の命よりも貴いものはありません。ですから主は一人一人に「自分のなすべきことをよく考える」よう勧告しておられるのです。

ニーファイのこの言葉がわたしの気持ち

を最もよく言い表しています。「わたしは率直さに誇りを感じ、真理に誇りを感じる。また、イエスがわたしを地獄から贖ってくださったので、わたしはイエスを誇りとする。」¹⁰

わたしたちは、すべてをささげてくださいました御方の真の弟子でしょうか。この御方は贖い主であり、御父にわたしたちの執り成しをしてくださる弁護者です。贖いの犠牲を全力で払い、現在も完全な愛と憐れみをもってわたしたちが永遠に喜びを得られるよう望んでおられます。この言葉を聞いたり読んだりするすべての人に懇願します。どうか、あなたの完全な決意を、いつとも知れない将来まで先延ばしにしないでください。今すぐフェアディングムになり、喜びを感じてください。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. ハガイ 1:4-7
2. ヨハネ 15:11; ローマ 14:17; 2 コリント 8:2; ヘブル 12:2; モーセ 5:10; 7:53 参照
3. エノス 1:3-6, 27; 教義と聖約 52:15; 97:8-9 参照
4. ボイド・K・パッカー「これらの最も小さい者」『リアホナ』2004年11月号, 86
5. 教義と聖約 117:12-13
6. 個人的な書簡
7. アルマ 20:23
8. アルマ 22:15
9. 黙示 3:15-16 参照
10. 2 ニーファイ 33:6



中央若い男性会長
スティーブン・W・オーウェン

不信仰ではなく、 信仰深くなる

わたしたちはこの世とのつながりを断ち、天とつながる時間を日々意識して取らなければなりません。

少し前のことですが、わたしは起きてから聖文研究の準備をしました。スマートフォンを手に取り、ベッド脇の椅子に座り、福音ライブラリーのアプリを開くつもりでした。電話のロックを解除し、勉強を始めようとしたとき、夜中に着信した6通の携帯メールと電子メールの通知が目に入ったので、「メールを急いでチェックして、その後すぐに聖文を読もう」と思いました。ところが2時間たってもまだ、携帯メールや電子メール、

ニュース記事、ソーシャルメディアの投稿を読んでいました。時間に気づいて、慌ててその日の準備を急いだのです。その朝、聖文研究の機会を逃し、結果として、望んでいた霊的な養いを得ることができませんでした。

霊的な養い

同じような経験をしたことがありますか。現代のテクノロジーは、わたしたちに様々な



方法で祝福を与えてくれます。友人や家族、情報、世界中で今起きている出来事のニュースにわたしたちをつないでくれますが、最も大切なつながりである、天とのつながりからわたしたちをそらすこともあります。

わたしたちの預言者ラッセル・M・ネルソン大管長の言葉を繰り返します。「わたしたちは複雑で争いの激化する世に住んでいます。ソーシャルメディアに常にさらされ、24時間やむことのないニュースの嵐が容赦なく襲いかかります。真理を攻撃する無数の声や人の哲学をふるいにかけていたいと思うなら、啓示を受けられるようにならなければなりません。」

ネルソン大管長は続けてこう警告しています。「導き、指示し、慰める、変わることのない聖霊の影響力がなければ、これから先、霊的に生き残ることはできなくなるでしょう。」¹

何年前か前、ボイド・K・バッカー会長は、シカの群れが大雪のために通常の生息地の外で立往生してしまい、餓死する恐れに直面したことについて話しました。シカを救おうと、善意ある何人かが、その地域一帯にトラックいっぱい干し草を下ろしました。通常シカは干し草を食べませんが、少なくとも一冬生き延びることを願ってしたことでした。悲しいことに、シカのほとんどが死んでしまいました。シカは干し草を食べたのですが、養いとはならず、胃の中がいっぱいの状態でも餓死したのです。²

この情報時代に押し寄せて来るメッセージの多くは、シカに与える干し草のようなもので、一日中食べても、霊的な養いにはなりません。

ほんとうの霊的な養いはどこにあるのでしょうか。ほとんどの場合、それはソーシャルメディアでは話題に上っていません。聖約の道を「押し進み」、「しっかり鉄の棒につかまり」、そして命の木の実を食べる³ときに、それを見つけるのです。これはつまり、わたしたちがこの世とのつながりを断ち、天とつながる時間を日々意識して取らな



ければならないことを意味しています。

リーハイは夢の中で、実を食べた人が、世の高慢を表す大きく広々とした建物の影響のために、その実を捨てるのを見ました。⁴ 末日聖徒の家庭で育てられた若い人々が、正しい教会の集会やクラスのすべてに出席し、神殿の儀式にさえも参加するのに、その後「禁じられた道に踏み込んで姿が見えなくなってしま[う]」こともあり得ます。⁵ なぜそうなるのでしょうか。多くの場合、霊的なことを形だけしていても、真に改心していなかったからです。食べ物はありませんが、養いがなかったのです。

対照的に、聡明で、強く、信仰深い若い末

日聖徒である多くの人にわたしは会いました。皆さんは神の息子娘で、神が皆さんに託しておられる業があることを知っています。皆さんは「心と、勢力と、思いと、力を尽くして」神を愛します。⁶ 聖約を守り、人々に仕えることは、家庭から始まります。信仰を行使し、悔い改め、日々改善することで、永続する喜びがもたらされます。皆さんは救い主に真に従う者として、神殿の祝福やそのほかの機会に備えています。そして再臨のために世を備える助けをし、キリストのみもとに来るようにすべての人々を招き、主の贖いの祝福を享受しています。皆さんは天とつながっているのです。

確かにチャレンジにも直面します。それはどの時代でも同じです。わたしたちの生きているこの時代、わたしたちは不信仰ではなく、信仰深くある必要があります。主はわたしたちの問題を御存じで、ネルソン大管長の指導を通して、それらに対処できるようわたしたちを備えておられることを証します。家庭を中心とした教会がサポートするという、預言者の最近の呼びかけは、⁷ この霊的に栄養不良な時代に、さらに栄えて生き残る助けとなるよう計画されたことをわたしは信じています。

家庭を中心とする

家庭を中心とした教会にすると、どのような意味でしょうか。家庭は世界中で大きく異なっています。何世代も信仰を維持してきた家族に属している人もいれば、家族の中で教会員は自分だけかもしれません。結婚していたり、独身であったり、家庭に子供がいたりいなかったりするかもしれません。

皆さんの状況にかかわらず、家庭を、福音を学び、福音に従って生活する中心とすることができます。それはひとえに、皆さんの改心と霊的な成長に自分が責任を負うことを意味しています。それは、ネルソン大管長の「各家族が自分の家庭を信仰の聖所に変える」⁸ という勧告に従うことを意味します。

敵対する者は、霊的な養いは必要ではないとか、もっと狡猾に、それは後でも大丈夫、と説得しようとするでしょう。サタンは注意をそらせる達人であり、引き延ばしの創案者です。サタンは緊急と思えることに皆さんの注意を向けさせるでしょうが、実際は、それほど重要なものではないのです。サタンは、皆さんが非常に「多くのことに……思いわずら[い]」、「無くてはならぬもの」を顧みないようにさせるでしょう。⁹

わたしは、絶え間ない霊的な養い、愛ある関係、健全なレクリエーション活動のある家庭で家族を育てた「善い両親」¹⁰ にどれほど感謝していることでしょうか。青少年



のときに両親から受けた教養は、非常に役に立っています。親の皆さん、子供との間に強い関係を築いてください。彼らは、もっと少ない時間ではなく、もっと多くのあなたの時間を必要としています。

教会がサポートする

皆さんがそうするとき、教会は皆さんをサポートするためにあります。教会での経験は、家庭で得られる霊的な養いを強めることができます。今年、教会からのこの種のサポートを、日曜学校と初等協会で見えました。アロン神権と若い女性の集会でもそれをもっと目にするでしょう。1月から、それらの集会のため、教科課程が多少調整されるでしょう。引き続き福音のテーマに焦点が当てられますが、それらのテーマは『わたしに従ってきなさい—個人と家族用』に沿ったものとなるでしょう。これは小さな変更ですが、青少年の霊的な養いに大きな効果をもたらすことになります。

教会はほかにどのようなサポートを与えてくれるのでしょうか。教会でわたしたちは聖餐を受けます。それは救い主に対するわたしたちの決意を毎週新たにする助けとなります。そして教会で、わたしたちは同じ聖約を交わした信者の人々とともに集まります。イエス・キリストの弟子である同胞と築く愛ある関係は、わたしたちの、家庭を中心とする弟子としての務めに力強いサポート

になり得ます。

わたしが14歳のとき、新しい地域に家族で引っ越しました。皆さんにとって、これはひどい悲劇のように見えなくてもいいかもしれませんが、わたしにとっては、当時は悲惨なことでした。それは自分が知らない人に囲まれ、ワードの若い男性の中で自分だけ違う学校に通うことを意味していました。14歳の頭で、「両親はどうしてこんなことをするのだろうか」と思いました。人生を台なしにされたかのように感じたのです。

しかし、若い男性の活動を通して、定員会のほかの会員と関係を築くことができ、彼らはわたしの友達になりました。さらに、ビショップリックと、アロン神権アドバイザーたちも、わたしの生活に特別な関心を持ち始めてくれました。彼らはわたしのスポーツ行事に来てくれて、わたしが今でも取っておいてある、励ましのメモを書いてくれました。彼らはわたしが大学に行き、伝道に出たときもわたしと連絡を取り続けてくれました。そのうちの一人は、わたしが帰還したとき、空港まで出迎えてくれました。わたしは、これらのすばらしい兄弟たちとその愛と高い期待の組み合わせに永遠に感謝しています。彼らはわたしを天の方向に導いてくれ、人生が明るく、幸福で、喜びあふれるものになりました。

親や指導者は、青少年が聖約の道を歩むときに独りではないことが分かるよう、どの

ように助けられるでしょうか。個人的な関係を築くことに加えて、FSYカンファレンスや青少年キャンプから、週ごとの定員会やクラス活動に至るまで、大小の集まりに青少年を招きます。強くあろうとしている人々とともに集うことから来る力を、決して過小評価しないでください。ビショップや指導者の皆さん、ワードの子供たちや青少年を養うことに焦点を当ててください。彼らは、もっと少ない時間ではなく、もっと多くのあなたの時間を必要としています。

皆さんが指導者、隣人、定員会の会員、または単に同胞である聖徒であっても、若い人の人生に触れる機会があるのなら、天とつながることができるように助けてあげてください。あなたの影響力はまさに、若い人が必要としている「教会のサポート」かもしれないのです。

兄弟姉妹の皆さん、イエス・キリストがこの教会の頭であられることを証します。主はわたしたちの指導者に靈感を与え、この末の日に生き残って栄えるために必要な霊的な養いへと導いておられます。その霊的な養いは、わたしたちが不信仰ではなく、信仰深くなるための助けとなります。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. ラッセル・M・ネルソン「教会のための啓示、わたしたちの人生のための啓示」『リアホナ』2018年5月号、96
2. ジェフリー・R・ホランド「教会で教え、学ぶ」『リアホナ』2007年6月号、57参照
3. 1ニーファイ8:30
4. 1ニーファイ8:24-28; 11:36参照
5. 1ニーファイ8:28
6. 教義と聖約4:2
7. ラッセル・M・ネルソン「はじめに」『リアホナ』2018年11月号、7
8. ラッセル・M・ネルソン「模範的な末日聖徒になる」『リアホナ』2018年11月号、113
9. ルカ10:41-42
10. 1ニーファイ1:1



十二使徒定員会

D・トッド・クリストファーソン長老

聖徒たちの喜び

喜びは、キリストの戒めを守ることからもたらされ、主を通して悲しみや弱さに打ち勝つことからもたらされ、主のように奉仕することからもたらされます。

リーハイの孫、モルモン書の預言者エノスは、若いころに経験した目覚ましい出来事について記しています。一人、森で狩りをしていたとき、エノスは自分の父ヤコブの教えについて深く考え始めました。こう述べています。「かつてわたしは、父が永遠の命と聖徒たちの喜びについて語るのを度々聞いていたのだが、その父の言葉が、そのときになってわたしの心に深くしみ込んできた。」¹ 霊的な飢えを感じたエノスは、ひざまずいて祈りますが、それは昼から夜まで続く驚くべき祈りで、きわめて重要な啓示と確信、約束をもたらしました。

エノスの経験から学ぶべきことはたくさんありますが、今日わたしの心の中で際立つのは、父親から度々「聖徒たちの喜び」について聞いたというエノスの記憶です。

3年前の総大会で、ラッセル・M・ネルソン大管長は喜びについて話しました。² 特に、こう述べています。

「わたしたちが感じる幸せは、生活の状況ではなく、生活の中で何に目を向けるかにかかっているのです。

……生活の中心を神の救いの計画とイエス・キリスト、主の福音に向けるなら、人生で何が起ころうとも、起ころなかったとしても、喜びを感じることができます。喜びは主から始まり、主からもたらされるもので

す。……末日聖徒にとって、イエス・キリストは喜びです。」³

聖徒とは、バプテスマを通して福音の聖約に入り、主の弟子としてキリストに従うために努力している人々のことです。⁴ したがって、「聖徒たちの喜び」とは、キリストのようになる喜びを意味します。

わたしは、主の戒めを守ることからもたらされる喜び、主を通して悲しみや弱さに打ち勝つときに湧き上がる喜び、主のように奉仕することに伴う喜びについて話したいと思います。

キリストの戒めを守る喜び

わたしたちは快樂主義の時代に生きています。多くの人が主の戒めの大切さに疑問を抱くか、単に戒めを無視しています。往々にして、純潔の律法や正直という標準、安息日の神聖といった神からの指示をないがしろにする人々が、それらを守ろうと努力している人より繁栄し、人生でより多くの良いものを享受しているように見えることがあります。中には、努力や犠牲に価値があるのだろうかと思ひ始める人もいます。古代イスラエルの民は、かつて不平を言いました。

「神に仕える事はつまらない。われわれがその命令を守り、かつ万軍の主の前に、悲しんで歩いたからといって、なんの益があるか。

今われわれは高ぶる者を、祝福された者と思う。悪を行う者は榮えるばかりでなく、神を試みても罰せられない。」⁵

主は彼らに「わたしの宝となる」日まで待つように言われました。「その時あなたがたは、再び義人と悪人、神に仕える者と、仕えない者との区別を知るようになる。」⁶ 悪人は「しばらくの間は自分たちの業を楽しむが」、それは決まって一時的です。⁷ 聖徒たちの喜びは、永続します。

神は物事をまことの観点から御覧になり、



戒めを通してその観点をわたしたちに伝え、この世の隠れた危険や落とし穴を避けて永遠の喜びに至るように、効果的に導いてくださいます。預言者ジョセフ・スミスはこう説明しています。「神の戒めがわたしたちに教えを授けてくれるとき、それは永遠を踏まえた教えです。わたしたちは神から、あなたも永遠の中にいるかのように見られているからです。神は永遠のうちに住んでおられ、物事をわたしたちのように御覧にならないのです。」⁸

人生の後半になって福音を見いだした人で、もっと早く福音に出合っていれば良かったと思わない人に、わたしはまだ会ったことがありません。「ああ、悪い選択や間違いを避けることができたのに」と彼らは言います。主の戒めは、より良い選択とより幸福な結果へとわたしたちを導きます。より優れたこの道を示してくださった主に、わたしたちは喜びと感謝をささげるべきです。

コンゴ民主共和国出身のカロンボ・ロゼット・カムワンヤ姉妹は、現在コートジボアール・アビジャン・ウェスト伝道部で奉仕しています。10代のとき、神から求められ



カロンボ・ロゼット・カムワンヤ姉妹

ている進路を見つけるために、3日間断食して祈りました。驚くべき夜の示現の中で、彼女は二つの建物を見ました。それは礼拝堂と、もう一つは今思えば神殿でした。その夢で見た礼拝堂を探し始めると、すぐに見つけました。表札には「末日聖徒イエス・キリスト教会」とありました。カムワンヤ姉妹はバプテスマを受け、それから母親と6人の兄弟も続きました。彼女はこう言いました。「わたしは福音を聞いたとき、かごから解き放たれた鳥のように感じました。わたしの心は喜びにあふれ……神がわたしを愛しておられると確信しました。」⁹

主の戒めを守ると、主の愛をより完全に、もっと容易に感じるすることができます。戒めという細くて狭い道は、命の木に直接導いてくれます。その木と実は、「どんなものより〔甘く〕好ましいもの」で¹⁰、神の愛の象徴であり、心を「非常に大きな喜び」で満たしてくれます。¹¹ 救い主はこう言われました。

「もしわたしのいましめを守るならば、あなたがたはわたしの愛のうちにおるのである。それはわたしがわたしの父のいましめを守ったので、その愛のうちにおると同じである。



ジャック・ラシュトンとジョアンヌ・ラシュトン

わたしがこれらのことを話したのは、わたしの喜びがあなたがたのうちにも宿るため、また、あなたがたの喜びが満ちあふれるためである。」¹²

キリストを通して打ち勝つ喜び

たとえ戒めを忠実に守っているときでも、喜びを妨げかねない試練や悲劇があります。しかし、救い主の助けを得てこれらの困難に打ち勝つように努めるならば、今感じる喜びと、期待して待つ将来の喜びの両方を保つことができます。キリストは弟子たちを安心させて言われました。「あなたがたは、この世ではなやみがある。しかし、勇気を出しなさい。わたしはすでに世に勝っている。」¹³ 主に心を向け、主に従い、主に自らを結びつけるときに、試練や悲しみは喜びに変わります。一例を紹介しましょう。

1989年、ジャック・ラシュトンは、アメリカ合衆国カリフォルニア州アーバインステーキの会長を務めていました。ジャックは家族との休暇中に、カリフォルニアの海岸でボディサーフィンをしていたとき、波にのまれて岩に打ちつけられ、首を骨折して脊髄をひどく損傷しました。ジャックは後に言いました、「その瞬間、体がまひしたのが分かりました。」¹⁴ 彼はもはや話すことはおろか、呼吸さえ自力でできませんでした。¹⁵

家族や友人、ステーキの会員がラシュトン兄弟と妻のジョアンヌのもとに集まり、何よりもまず、ジャックが車椅子で生活できるように家をリフォームしました。ジョアンヌはそれから23年間、ジャックの介護の柱となりました。主が苦しんでいる主の民を訪れて重荷を軽くされた¹⁶ というモルモン書の記録を引用して、ジョアンヌはこう言いました。「夫の世話をしているときに感じる心の軽さに、よく驚きます。」¹⁷

呼吸装置を調整することにより話ができるようになると、ジャックはその年のうちに、福音の教義クラスの教師とステーキ祝福師として召されました。彼が祝福師の祝福を授けるときは、もう一人の神権者が、祝福を

受ける人の頭にラシュトン兄弟の手を置き、儀式の間、彼の手と腕を支えました。ジャックは22年の献身的な奉仕ののち、2012年のクリスマスの日に亡くなりました。

ジャックはあるとき、面接でこう述べています。「問題はだれの生活にも起こるもので、この地上での経験の一部です。中には、宗教や神を信じていれば、悪いことから守られると考える人がいます。でもそういうことではないと思います。悪いことは起こりますが、重要なのは、もし信仰が強ければ、悪いことが起きたときに、対処できるということです。……わたしの信仰は決して揺らぎませんでした。落ち込まなかったわけではありません。人生で初めて限界に追い込まれ、文字どおり、どこを向くこともできなかった。主に心を向けました。そして今日まで、湧き上がる喜びを感じています。」¹⁸

今の時代は、服装や娯楽、性的清さに関する主の標準を守ろうとする人に対して、時に無慈悲な攻撃がソーシャルメディアの中や直接個人に行われる時代です。あざけりや迫害という十字架を負うのは、聖徒の中でも青少年やヤングアダルト、および女性や母親であることがよくあります。そのようなむごい扱いに打ち勝つのは容易ではありませんが、ペテロの言葉を思い出してください。「キリストの名のためにそしられるなら、あなたがたはさいわいである。その時には、栄光の霊、神の霊が、あなたがたに宿るからである。」¹⁹

エデンの園で、アダムとエバは「不幸を知らないで喜びも……ない状態にとどまって」いました。²⁰ 今わたしたちは責任を負える人として、罪や試練、弱さ、そのほか幸福の妨げとなるものを含め、どんな形であれ惨めな状態に打ち勝つときに、喜びを見いだします。これは弟子の道において成長を感じる際の喜び、「罪の赦しを受け、良心の安らぎを得た」ときの喜び²¹、キリストの恵みを通して心の広がりや成長を感じる際の喜びです。²²



キリストのように奉仕する喜び

救い主は、わたしたちに不死不滅と永遠の命をもたらすことに喜びを感じておられます。²³ 救い主の贖罪について、ラッセル・M・ネルソン大管長はこう話しています。

「すべてにおいて、イエス・キリストは最大の模範であり、『自分の前におかれている喜びのゆえに、……十字架を忍』ばれました〔ヘブル12:2〕。そのことを考えてみてください。この地上で最も耐え難い苦しみに耐えるために、救い主は喜びに目を向けられたのです。

では、主の前に置かれた喜びとは何だったのでしょうか。わたしたちを清め、癒し、強める喜び、悔い改めようとするすべての人の罪の代価を払う喜び、わたしや皆さんが清くふさわしくされ、天の家に帰り、天の両親や家族とともに住むことを可能にする喜びが含まれていたはずですよ。」²⁴

同様に、「わたしたちの前に置かれた」喜びは、主の贖いの業において救い主を補佐する喜びです。アブラハムの子孫、子とし

て²⁵、わたしたちは地上のすべての家族に「救いの祝福すなわち永遠の命の祝福である福音の祝福」²⁶を授ける業に参加します。アルマの言葉が心に浮かんできます。

「神の御手に使われる者となって幾人かでも悔い改めに導けること、これがわたしの誇りであり、喜びである。

見よ、わたしは、多くの同胞が心から悔いて、主なる神のみもとに来るのを見るとき、喜びに満たされる。……

しかしわたしは、自分の成功だけを喜ぶことはしない。ニーファイの地へ行ったわたしの兄弟たちの成功で、わたしはなおさら喜びに満たされている。……

さて、この兄弟たちの成功を考えると、わたしの喜びは大きくて、まるで自分の霊が肉体を離れるかと思うほどに我を忘れてしまう。」²⁷

教会で互いに奉仕することの実は、「わたしたちの前に置かれた」喜びの一つです。落胆やストレスを感じることでさえ、神の御心にかなう喜びや、神の子供である兄弟姉



妹に光や安心、幸福をもたらす喜びに焦点を当てれば、忍耐強く奉仕することができます。

デビッド・ベドナー長老とスーザン・ベドナー姉妹は先月、ポルトープランス神殿を奉獻するためにハイチを訪れたとき、数日前に悲劇的な事故で夫を亡くした若い姉妹に会いました。二人は彼女とともに涙を流しました。しかし、日曜日にこの愛らしい女性は、奉獻式のときにアッシャーを務め、神殿に入るすべての人を優しい笑顔で歓迎したので

す。わたしは、この上ない「聖徒たちの喜び」は、彼らのために救い主が弁護しておられる²⁸という知識から来ると知っています。「イエスがわたしたちのために御父に祈ってくださいるのを〔聞く〕ときにわたしたちの心に〔満ちる〕喜びは、だれも想像することができない。」²⁹わたしはラッセル・M・ネルソン大管長とともに証します。喜びは、「世の十字架を堪え忍」び³⁰、「イエス・キリストが教えられたとおりに、意識的に義にかなった生活を送ろうとする」³¹忠実な聖徒たちに与えられる賜物です。皆さんが喜びで満たされますよう、イエス・キリストの御名により祈ります、アーメン。■

注

1. エノス 1:3
2. ラッセル・M・ネルソン「喜び——霊的に生き抜く道」『リアホナ』2016年11月号, 81-84 参照
3. ラッセル・M・ネルソン「喜び——霊的に生き抜く道」82
4. 『聖句ガイド』「聖徒」の項参照
5. マラキ 3:14-15
6. マラキ 3:17-18
7. 救い主はこう宣言された。「しかし、教会がわたしの福音の上に築かれておらず、人の業の上に、あるいは悪魔の業の上に築かれていけば、まことにあなたがたに言う、彼らはしばらくの間は自分たちの業を楽しむが、やがて最後が来て、彼らは切り倒されて火の中に投げ込まれ、そこから二度と戻ることができない。」(3 ニーフアイ 27:11)
8. 『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』475 参照
9. 個人的な書簡
10. 1 ニーフアイ 11:22; 1 ニーフアイ 8:11 も参照
11. 1 ニーフアイ 8:12
12. ヨハネ 15:10-11; 強調付加
13. ヨハネ 16:33
14. Jack Rushton, in "Faith in Adversity: Jack Rushton and the Power of Faith," SmallandSimpleTV, Sept. 2, 2009, YouTube.com.
15. See Allison M. Hawes, "It's Good to Be Alive," *Ensign*, Apr. 1994, 42.
16. モーサヤ 24:14 参照
17. Jo Anne Rushton, in Hawes, "It's Good to Be Alive," 43.
18. Jack Rushton, in "Faith in Adversity: Jack Rushton and the Power of Faith."
19. 1 ペテロ 4:14。2 ニーフアイ 9:18 と 3 ニーフアイ 12:12 に記された約束も思い起こす。

20. 2 ニーフアイ 2:23; モーセ 5:10-11 も参照
21. モーサヤ 4:3
22. わたしたちは、ジョセフ・スミスに「神に願い求める」(ヤコブの手紙 1:5) ように靈感を与えたヤコブの言葉を覚えているが、その前の節にはあまりなじみがない。
「わたしの兄弟たちよ。あなたがたが、いろいろな試練に会った場合、それをむしろ非常に喜ばしいことと思いなさい。
あなたがたの知っているとおり、信仰がためされることによって、忍耐が生み出されるからである。
だから、なんら欠点のない、完全な、でき上がった人となるように、その忍耐力を十分に働かせるがよい。」(ヤコブの手紙 1:2, 3-4 参照)
23. モーセ 1:39 参照
24. ラッセル・M・ネルソン「喜び——霊的に生き抜く道」83; 強調は原文のまま
25. 「もしキリストのものであるなら、あなたがたはアブラハムの子孫であり、約束による相続人なのである。」(ガラテヤ 3:29。創世 22:18; 26:4; 28:14; 使徒 3:25; 1 ニーフアイ 15:18; 22:9; 教義と聖約 124:58 も参照)
26. アブラハム 2:11
27. アルマ 29:9-10, 14, 16。同様に主は言っておられる。「さて、あなたがたがわたしのもつに導いてわたしの父の王国に入れるようにした、一人の人とともに受けるあなたがたの喜びが大きいならば、もし多くの人をわたしのもつに導くとすればその喜びはいかに大きいことか。」(教義と聖約 18:16) 三人のニーフアイ人は、「世界が存在する間、人々をキリストのもつに導きたいと願ったので、満ちみちる喜びを約束された(3 ニーフアイ 28:9; 3 ニーフアイ 28:10 も参照)。
28. 教義と聖約 45:3-5 参照
29. 3 ニーフアイ 17:17
30. 2 ニーフアイ 9:18
31. ラッセル・M・ネルソン「喜び——霊的に生き抜く道」84



中央若い女性会長会第一顧問
ミッシェル・クレグ

霊的な能力

皆さんはイエス・キリストの忠実な弟子として、主の戒めに沿った、自分に合った個人的な靈感と啓示を受けることができます。

この夏、若い女性のキャンプから帰ろうとしていると、あるすてきな若い女性からカードを手渡されました。そこには、こうありました。「神様がわたしに何か伝えようとしておられるとき、どうしたら分かりますか。」すばらしい質問だと思います。わたしたちの魂は、天の家とのつながりを求めています。必要とされ、役に立っていると感じたいのです。しかし時折、自分の思いと御霊の穏やかな促しを区別するのに苦しむときがあります。古代と現代の預言者は、「善を行うよう誘い促すものはキリストから来ている」¹と教えました。

ラッセル・M・ネルソン大管長は、簡潔に

力強く勧めました。「愛する兄弟姉妹の皆さん、啓示を受ける霊的な能力を伸ばすように、切にお願いします。……聖霊の賜物を享受するために、そしてもっと頻繁に、もっとはっきりと御霊の声を聞くために求められる霊的な業を行うことを選んでください。」²

わたしは今朝、皆さんに、啓示を受ける霊的な能力を伸ばす4つの方法について心を込めて話したいと願っています。

1. 意識的に神の御声を聞く時間と場所を作る

選択の自由を使って、神の御声、特にモルモン書にある神の御声に近づくため毎日時

間を捻出するなら、やがて主の御声をより鮮明に、より身近に感じられるようになっていきます。

反対に、この世界やわたしたちの家庭、生活を取り巻く注意をそらすものや騒音は、主の御声を聞くのをより困難にすることがあります。こうした注意をそらすもので思いや心がいっぱいになると、聖霊の穏やかな促しを受ける余地がなくなってしまいます。

預言者ジョセフ・スミスは、ほとんどの場合、神は「個人に対して、部屋の中や荒れ野や野原において、たいてい物音や混乱を遠ざけて、ひそかに」³御自身を現されると教えました。

サタンは、そのような静かな場所から遠ざけることで、わたしたちを神の御声から引き離れたがります。神が静かな細い声で語られるのなら、その御声を聞くために、神に近づく必要があります。Wi-Fiにつながったままで天とのつながりを保ちたいと思っていたらどうなるか、想像してみてください。時間と場所を選び、神の御声を毎日聴いてください。その神聖な取り決めを厳密に守ってください。非常に多くのことがこれにかかっているからです。

2. すぐ行動に移す

促しを受けてから意図的に行動に移すなら、主が皆さんをお使いになれます。皆さんは行動すればするほど、御霊の声がもっとよく分かるようになります。ますます神の導きに気づくようになり、神が「御自分の思いと御心を……喜んで明らかにしたいと願っておられる」⁴ことが分かるようになるでしょう。ぐずぐずしていたら、促しを忘れてしまったり、神の代わりにだれかを助ける機会を逃してしまったりするかもしれません。

3. 主から用向きを受ける

天の御父が喜んでこたえてくださる祈りは、助けを必要としている人のもとへ導いてくださいという懇願だと思います。ヘンリー・B・アイリング管長は、神に代わって



だれを助けることができるのか、神に尋ねることで啓示を求めるよう教えました。「そのように問いかけるならば、聖霊が降られ、皆さんは人のためにできることについて促しを感じるでしょう。行ってそれらのことを行うとき、皆さんは主の用向きを行っており、主の用向きを行うときには、聖霊の賜物を享受するにふさわしいのです。」⁵

皆さんは、主に祈って用向きを尋ねることができます。そうするときに、主は皆さんの普段の力量を用いて、驚くべき業を成し遂げることがおできになります。

祖父のフリッツ・ヤルマル・ラングレンは、19歳のときにスイスから移住して来ました。祖父は6年の学校教育を経て、スーツケース一つを携えてたった一人でアメリカにやって来ました。英語をまったく話せなかった祖父は、オレゴン州まで行くと、そこできりこりとして働き、後にわたしの祖母と母と一緒に教会に改宗しました。ワードを管理することは一度もなかったものの、祖父は忠実なホームティーチャーとして50家族以

上を教会に連れ戻しました。どうやってそれができたのでしょうか。

祖父の死後、祖父の書類が入った箱を整理していたときに、祖父の愛のおかげで教会に戻った兄弟が書いた手紙を見つけました。手紙にはこうありました。「フリッツ兄弟の秘訣、それはいつも天の御父の用向きを行っていることにあります。」

その手紙は、ウェイン・シモニス兄弟からでした。祖父はシモニス兄弟を訪問し、家族一人一人と知り合い、やがて彼らが必要とされていることを伝え、教会に出席するよう招きました。ところがその日曜日、シモニス兄弟はジレンマを抱えながら目を覚ました。屋根のふき替えがまだ終わっておらず、その週に雨の予報があったのです。そこで、教会に行き、祖父と握手だけしてから、帰って屋根を仕上げることにし、家族には自分抜きで聖餐会に出席してもらおうと思っていました。

屋根の上でだれかがはしごを登って来る音を耳にするまで、すべては計画どおりに進

んでいました。シモニス兄弟の言葉です。「顔を上げると……はしごの上に立っていたのはフリッツ兄弟でした。兄弟はわたしににっこり笑いかけました。最初、学校をずる休みしたのを見つかった子供のような恥ずかしい気持ちになり、それから……怒りを感じました。[しかしフリッツ兄弟は]スーツの上着を脱ぎ、はしごに掛けると、ワイシャツの袖をまくり、わたしの方を向いてこう言うのです。『シモニス兄弟、ハンマーがもう一つありますか。御家族を残してまでする重要な仕事なんですから、それほど重要なら、ぜひ手伝いたいです。』フリッツ兄弟の目は、キリストのような愛とやさしさだけをたたえていました。わたしの怒りは消え去りました。……その日曜日、わたしは工具を置くと、良き友人に続いてはしごを降りて、礼拝堂に戻りました。」

祖父は主から用向きを受けており、迷い出た羊を探し出す必要があることを知っていました。中風の友人を屋根の上まで運び、イエス・キリストに癒していただくために床をつり下ろした4人の男性のように⁶、祖父の用向きが、祖父を屋根まで連れて行ったのです。主は、ほかの人を助けようとしている人に啓示を送られます。

4. 信じ、信頼する

最近、聖文にある、主から用向きを受けた別の偉大な宣教師について読みました。アロンはレーマン人の王を教えていましたが、王はアロンの兄弟のアンモンがともに教えに来なかった理由を知りたいと思いました。「そこでアロンは王に、『まことに、主の御霊が彼をほかの場所へ呼ばれたのです』……と言った。」⁷

すると御霊が、わたしの心にこう語りかけたのです。「人はそれぞれ果たすべき異なる使命があり、時には御霊がわたしたちを『ほかの場所』へ呼ぶこともある。」聖約を交わし、聖約を守るイエス・キリストの弟子として、神の王国を築く方法は数多くあります。皆さんは神の忠実な弟子として、主



の戒めに沿った、自分に合った個人的な靈感と啓示を受けることができます。皆さんには、この世で果たすべき独自の使命と役割があり、それを成し遂げるために独自の導きが与えられます。

ニーファイ、ヤレドの兄弟、モーセはそれぞれ海を渡る必要がありましたが、それぞれ違う方法で渡りました。ニーファイは、「材木を入念な造りに」⁸ こそしえ、ヤレドの兄弟は、「皿のように透き間が〔ない〕」⁹ 船を造り、モーセは、「海の中のかわいた地を行」¹⁰ きました。

それぞれが自分に合った個人的な指示を受け、それを信頼して行動に移しました。主は従う人のことを心に留めておられ、ニーファイの言葉で言うなら、「主が命じられることには、それを〔わたしたちが〕成し遂げられるように主によって道が備えられて」¹¹ いるのです。ニーファイは、「the way」ではなく「a way」と言っています。〔訳注——「the way」の場合、特定の道のことを指し、「a way」の場合、道は複数ある可能性を示している。〕

主が備えられた「道(a way)」が、自分の期待する道と違うからといって、主からの個人的な用向きを逃したり、拒んだりしてはいないでしょうか。

わたしの祖父は、一風変わった場所へと導かれました。スーツで屋根の上に、日曜日にです。たとえその道が思っていた道と違っていても、あるいはほかの人の道とは違っていても、神が皆さんを導いてくださると信頼しましょう。

末日聖徒には様々な人がいますが、「黒人も白人も、束縛された者も自由な者も、男も女も」、独身者も既婚者も、富んでいる者も貧しい者も、若い者も老いた者も、古くからの会員も改宗したばかりの者も、「すべての人が神にとって等しい存在」¹² です。どのような人物であろうと、どんなことに直面していようと、皆さんは主の食卓に招かれています。¹³

御父の御心を求め、御心を行うことが



日々の生活のリズムになるなら、皆さんは確かに、変わるよう、悔い改めるよう導かれていくことでしょう。

教会の子供と青少年のための新しいプログラムは、啓示を求めることを学び、主が求めておられることを見だし、受けた導きに従って行動するという土台の上に築かれています。年齢や状況にかかわらず、だれもが、求め、受け、行動するよう努力することができます。この時代のために定められた永遠の規範に従うなら、イエス・キリストに、すなわち、主の愛、主の光、主の導き、主の平安、癒しと能力を授ける主の力に、さらに近づくことができるでしょう。そして霊的な能力が増し、日々主の御手に使われる者となって主の偉大な業を成し遂げることができるでしょう。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. デビッド・A・ベドナー、Face to Face ——ベドナー長老ご夫妻を迎えて(世界規模の青少年イベント放送、2015年5月12日) facetoface.Church of Jesus Christ.org; モロナイ 7:16 も参照
2. ラッセル・M・ネルソン「教会のための啓示、わたしたちの人生のための啓示」【リアホナ】2018年5月号、96; 強調付加
3. 『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』121
4. ラッセル・M・ネルソン「教会のための啓示、わたしたちの人生のための啓示」94
5. Henry B. Eyring, in "President Eyring 1990s," Deseret News, Apr. 2, 2009, deseretnews.com.
6. マルコ 2:1-12 参照
7. アルマ 22:4; 強調付加
8. 1 ニーファイ 18:1
9. エテル 6:5-8 参照
10. 出エジプト 14:29
11. 1 ニーファイ 3:7
12. 2 ニーファイ 26:33
13. クエンティン・L・クック「永遠の中の日常」【リアホナ】2017年11月号、51 参照



十二使徒定員会
デール・G・レンランド長老

イエス・キリストに 対する揺るぎない決意

神は、古い習わしを完全に手の届かないところに捨てて、キリストにあって新しい生活を始めるようわたしたちに求めておられます。

今年の4月、わたしはコンゴ民主共和国キンシャサ神殿を奉献する特権にあずかりました。¹ 忠実なコンゴの人々とわたしが、彼らの国で奉献された神殿を見たときの喜びは、言葉で表すことができません。

キンシャサ神殿への参入者は、「コンゴ・フォールズ」(コンゴの滝)と題する原画を目にします。² それは、神殿に足を運ぶ人々に、イエス・キリストと固く結びつくため、また天の御父の計画という聖約の道に従うために求められる、揺るぎない決意を思い起こさせます。その絵に描かれている滝は、1世紀以上前のコンゴにおける初期キリスト教改宗者の間でよく行われていたことを思い起こさせてくれます。

彼らは改宗する前、命を持たない偶像を礼拝し、そこには超自然的な力が宿ってい



コンゴ民主共和国キンシャサ神殿

ると考えていました。³ 改宗した後、多くの人はゾンゴ滝など、コンゴ川沿いに無数にある滝の一つを訪れました。⁴ こうした改宗者たちは、自分たちの古い習わしを放棄し、イエス・キリストを受け入れたことを神と人々に示すために、かつて礼拝していた偶像を滝に投げ捨てたのです。彼らはあえて、穏やかで浅い流れには投げ込まず、偶像を二度と取り戻せない大きな滝の激流に投げ込みました。こうした行為は、新しいながらも揺るぎない、イエス・キリストに対する決意を表していました。

ほかの場所や時代の人々も、イエス・キリ



「コンゴ・フォールズ」デビッド・マイクル画

ストに対する決意を同じような方法で示しました。⁵ アンタイ・ニーファイ・リーハイ人として知られたモルモン書の民は、「謀反に使う武器……を捨て」、「武器を使〔う〕ことは決してないことを神……に示す証拠」として、「地中深く」に埋めました。⁶ そうすることにより、神の教えに従い、自分の決意を決して破らなると約束したのです。この行為は、「主に帰依」し、主から決して離れないことの始まりでした。⁷

「主に帰依」とするとは、以前の信念体系によって定められた一連の行動をやめ、天の御父の計画を信じる信仰と、イエス・キリストとその贖罪を信じる信仰に基づく新たな行動をするようになることを意味します。この変化は、福音の教えを知的面で受け入れる以上のものです。自分は何者かという認識を形作り、人生の意義についての理解を変え、神に対する不変の忠誠を引き起こします。救い主と固く結びつくうえで、また聖約の道をたどるうえで障害となる個人的な願望は徐々に消えていき、天の御父の御心に身をゆだねるという決意に置き換えられていきます。

主に帰依することは、神に対する揺るぎない決意に始まるものであり、その後、決意を自らの人格の一部とすることが続きます。そのような決意を自分のものにするには、一生続くプロセスであり、忍耐と継続的な悔い改めを必要とします。最終的に、この決意はわたしたちの人格の一部となり、自己意識に組み込まれ、生活から離れることがなくなるのです。何について考えていようと自分の名前を忘れることはないのと同じように、自分の心に刻まれている決意を忘れることは決してありません。⁸

神は、古い習わしを完全に手の届かないところに捨てて、キリストにあって新しい生活を始めるようわたしたちに求めておられます。これは、救い主を信じる信仰を育む中で実現するものであり、信仰を持つ人々の証を聞くことから始まります。⁹ その後、主との結びつきをさらに強める行動をすることで、



信仰が深まっていきます。¹⁰

インフルエンザや風邪のように、さらに深い信仰が伝染していったら、すばらしいかもしれません。そうすれば、「霊的なくしゃみ」をするだけで、ほかの人の信仰を築けるでしょう。しかし、そうはいきません。信仰を育てる唯一の方法は、各自が信仰をもって行動することです。そうした行動は、人からの勧めによって促される場合も多くあります。しかし、だれかの信仰を「育てる」ことも、自分の信仰をだれかに活気づけてもらうこともできないのです。信仰を育てるには、祈りや聖文研究、聖餐、戒めを守ることや人々への奉仕など、信仰を築く行いを選択しなければなりません。

イエス・キリストを信じる信仰が育つと、神は御自分と約束を交わすようにわたしたちに求められます。こうした約束は聖約と呼ばれており、わたしたちの改心を表すものです。聖約は、霊的な進歩に向けて確かな基盤を築いてくれます。バプテスマを受ける選択をすることで、わたしたちはイエス・

キリストの御名を受け始め¹¹、主に属する者となる選びをします。主のようになり、主の特質を育むと約束するのです。

聖約はわたしたちを救い主に固く結びつけてくれ、天の家へと続く道を歩むように駆り立ててくれます。聖約の力は、わたしたちが続けて心の大きな変化を経験し、主への改心を深め、顔にキリストの面影をより十分に受けるうえで助けとなるものです。¹²しかし、聖約に対する決意がいかげんでは、何も保証されません。¹³わたしたちは、古い習わしを穏やかな流れに投げ込んだり、謀反の武器をその柄が突き出た状態で埋めたりして、曖昧な状態にしておこうと誘惑されるかもしれません。ところが聖約に対して曖昧な決意を抱いていては、天の御父とイエス・キリストの持っておられる聖める力への扉が開かれることはないのです。

聖約を守るという決意は、条件付きであったり、生活環境の変化に応じて変わったりするべきものではありません。神に対するわたしたちの忠誠心は、キンシャサ神殿

の近くを流れるコンゴ川のようなものであるべきなのです。世界にある大半の川とは異なり、この川の流は年間を通して一定で¹⁴、毎秒1,100万ガロン(4,150万リットル)近くの水を大西洋に注いでいます。

救い主は弟子たちに、信頼される確固とした者となるよう促されました。主は言われました。「それだから、あなたがたは、わたしが教えて命じる事柄を行うというこの決意を、確固として心に留めなさい。」¹⁵聖約を守るという「確固とした」決意があると、永続する喜びという神の約束を完全に理解することができます。¹⁶

多くの忠実な末日聖徒は、神との聖約を「確固として」守っていることと、永遠に変わったということ、行いによって示しています。そのような3人の人物について話したいと思います。バンザ・ムシオコ兄弟、バンザ・レジネ姉妹、ムブイ・ンキタバンギ兄弟です。

1977年、バンザ家族は、現在コンゴ民主共和国として知られるザイールのキンシャサ

に住んでいました。彼らはプロテスタント教会で深く尊敬されていました。彼らの才能を認めた教会は、この若い家族が勉学のためにスイスへ向かえるよう手配し、大学の奨学金を支給しました。

バンザ兄弟はジュネーブに滞在中、通学のバスから「末日聖徒イエス・キリスト教会」と書かれた小さな集会所をよく目にしました。「末日の今、イエス・キリストの聖徒がいるのだろうか」と思ったバンザ兄弟は、最終的に、そこへ行ってみることにしました。

バンザ兄弟姉妹は、その支部で温かい歓迎を受けました。二人は神の属性に関してずっと抱いていた問いの幾つかを投げかけました。「神が風のような霊の御方なら、どうやって御自分の形に人を創造できたのでしょうか。神はどのように王座に座られるのでしょうか。」満足のいく答えを受けたことは一度もありませんでしたが、それは回復された教義を宣教師が簡潔なレッスンで教えてくれるまでのことでした。宣教師と別れた後、バンザ夫妻は顔を見合わせて言いました。「今聞いたことは真実ではないだろうか？」二人は引き続き教会に出席し、宣教師と会いました。イエス・キリストの回復された教会でバプテスマを受ければ、どのようなことになるかは分かっていました。奨学金は剥奪され、ビザは取り消され、自分たちと二人の幼い子供がスイスからの退去を求められることになるのです。二人は1979年10月、バプテスマと確認を受けるという選びをしました。

バプテスマの2週間後、バンザ兄弟姉妹



バンザ・ムシオコおよびバンザ・レジネとその息子たち



は、母国で1番目と2番目の教会員として、キンシャサに帰りました。ジュネーブ支部の会員たちは二人と連絡を取り続け、彼らが教会指導者とやり取りできるように助けました。バンザ家族は、神がザイルに御自身の教会を設立される約束の時を忠実に待つよう励まされました。

もう一方、ザイルからの交換留学生であるムブイ兄弟はベルギーで勉学に励んでおり、1980年にブリュッセルワードでバプテスマを受けました。その後間もなく専任宣教師としてイギリスで伝道しました。そうして、神が奇跡を行われたのです。ムブイ兄弟は、母国で3番目の教会員としてザイルに帰りました。親の許可を得て、実家で教会の集会を開きました。1986年2月、教会に対する公式の承認を求める嘆願書が政府に提出されました。それにはザイル人3名の署名が必要でした。嘆願書に喜んで署名したのは、バンザ兄弟に、バンザ姉妹、ムブイ兄弟の3人だったのです。

この忠実な会員たちは、福音を聞いたときにそれが真実であると分かりました。バ



専任宣教師のころのムブイ・キンタバンギ

プテスマで交わした聖約により、救い主に固く結びついていました。取り戻すことなど考えずに、古い習わしを滝の激流に投げ捨てたのです。聖約の道は決して平坦なものではありませんでした。政治的な混乱、めったに取れない教会指導者との連絡、聖徒のコミュニティーを築くうえで付き物の課題によって、決意の弱い人なら諦めたかもしれません。それでも、バンザ兄弟姉妹とムブイ兄弟は信仰を守り通しました。ザイルで教会が正式に認可されるきっかけとなった嘆願書に署名してから33年後、彼らはキンシャサ神殿の奉獻式に参加したのです。

バンザ夫妻は、今日このカンファレンスセンターにいます。二人の息子のジュニアとフィル、その伴侶たちアニーとヨウヨウも来てくれています。1986年、ジュニアとフィルはザイルの教会においてバプテスマを受けた最初の二人になりました。ムブイ兄弟は妻のマガイと5人の子供たちとともに、キンシャサで大会の様様を視聴しています。

この開拓者たちは、「主なる神について知らせ、彼らの贖い主イエス・キリストのことを喜ぶように」彼らを導いた聖約の意味と、その結果を理解していました。¹⁷

こうした開拓者や、彼らに続いた何万にも上るコンゴの聖徒たち、世界中の何百万という会員のよう、救い主に固く結びつき、忠実であり続けるにはどうしたらよいでしょうか。救い主はその方法を教えてくださいました。毎週わたしたちは聖餐を取り、天の御父と聖約を交わします。進んで御子の御名を受け、いつも御子を覚え、御子の戒

めを守ることを証明することにより、救い主とつながることを約束するのです。¹⁸ 毎週注意深く備えてふさわしい状態で聖約を交わすならば、わたしたちは救い主に固く結びつき、決意したことを自分のものとするうえで助けを受け¹⁹、聖約の道を力強く進むことができます。

生涯にわたる弟子の道に献身するようお勧めします。聖約を交わして守ってください。古い習わしは深い激流に投げ込むのです。謀反に使う武器は、柄が突き出ないよう完全に埋めてください。確実に尊ぶという誠意をもって聖約を交わすなら、イエス・キリストの贖罪のおかげで、あなたの生活は永遠に祝福されることでしょう。常に主を覚え、主に従い、主をあがめることにより、救い主にさらに似た者となるでしょう。主は堅固な土台であられることを証します。主は信頼に足る御方であり、その約束は確かなものです。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. 奉獻は、ラッセル・M・ネルソン大管長からの割り当てにより、2019年4月14日の日曜日にパームで行われた。
2. デビッド・メイクル画「コンゴ・フォールズ」、キブの滝の写真を基にした作品。キブの滝は、コンゴ民主共和国の南東部に位置するルブンバシの北約249マイル（400キロ）にある。
3. こうした偶像は、コンゴ語で inkisi（インキシ）、フランス語では fétiches（フェチ）と呼ばれていた。この単語を英訳すると「amulets（魔よけ）」、「talismans（お守り）」、または「fetishes（崇拜物）」となる。
4. デビッド・メイクルは、その滝の写真から「ゾンゴ・フォールズ」も描いた。ゾンゴの滝は、コン

ゴ民主共和国のキンシャサから約81マイル（130キロ）に位置する。これらの滝のある川は、「ンザディ・インキシ」または「フェチの川」として知られるようになった。この名は、本文中に記された慣習を反映している。

5. 紀元1000年のこと、アイスランドの族長たちは、毎年2週間にわたる「アルティン」、すなわち全部族に適用される規範を作成する非公式の議会に出席した。ソルゲイルという名の男が、キリスト教へ改宗するか、または北欧の神々を礼拝し続けるか、全員を代表して決断するように求められた。ソルゲイルは自分のテントに3日間閉じこもった後、部族の者たちはキリスト教徒になるという結論を発表した。ソルゲイルは村に帰ると、大事にしていた北欧の神の偶像を滝に投げ捨てた。現在その滝は「ゴザフォス」すなわち「神々の滝」として知られている。この行為は、ソルゲイルがキリスト教に完全に改宗したことを表している。
6. アルマ23：13；24：17－18
7. アルマ23：6；デビッド・A・ベドナー「主に帰依する」『リアホナ』2012年11月号、106－109参照
8. エゼキエル11：19－20；2コリント3：3参照
9. ローマ10：14、17参照
10. See Preach My Gospel: A Guide to Missionary Service, rev. ed. (2018), 203.
11. ダリン・H・オークス「イエス・キリストのみ名を受ける」『聖徒の道』1985年7月号、81－84参照
12. アルマ5：12－14参照
13. 教義と聖約82：10参照
14. コンゴ川は、世界で最も深く、流量は世界で2番目、全長は世界で9番目の川である。赤道を2度横切っていて、流域の少なくとも1か所が必ず雨季に当たるため、一定の水流を保っている。水量は年間を通して比較的安定していて、流量が変化することはあっても（毎秒23,000から75,000立方メートル）、平均は毎秒41,000立方メートルである。
15. Joseph Smith Translation, Luke 14:28 (in Luke 14:27, footnote b).
16. 2ニーファイ9：18；ラッセル・M・ネルソン「喜び——霊的に生き抜く道」『リアホナ』2016年11月号、81－84参照。ネルソン大管長は、「喜びは、忠実な者に与えられる賜物です」と述べている（84ページ）。

17. アルマ37：9

18. 教義と聖約20：77参照。2019年6月に開かれた伝道部指導者セミナーで聖餐を取った後、ラッセル・M・ネルソン大管長は公式のメッセージを始める前にこう述べた。「今日わたしが交わした聖約は、準備してきたメッセージよりはるかに重要であるという考えが浮かんできました。わたしは聖餐を取ったときに、喜んでイエス・キリストの御名を受け、喜んで主の戒めに従うという聖約を交わしました。バプテスマで交わした聖約を新たにするために聖餐を取るという表現をよく耳にします。それは真実ですが、さらに深い意味があります。わたしは新しい聖約を交わしました。皆さんは新しい聖約を交わしたのです。……さて、それに対して主は、常に主の御霊がわたしたちとともにあると宣言されます。何という祝福でしょう！」

19. 3ニーファイ18：12参照



バンガ・レジネとバンガ・ムシオコ



ムバイ・ンキタバングとムバイ・マガイ



大管長会第一顧問
ダリン・H・オークス管長

主を信頼する

主を信頼し、御自分の子供たちに対する主の愛を信頼できるということが、唯一確かなことです。

愛する兄弟姉妹の皆さん、今日は以前に受け取った手紙からわたしの話のテーマを紹介します。その手紙を書いた人は、永遠の伴侶を亡くした人との神殿結婚について考えていました。2番目の妻になろうとしていたのです。彼女はこう尋ねました。自分は次の世で自分自身の住まいを持てるでしょうか、それとも、夫や彼の最初の妻と一緒に暮らさなければならぬのでしょうか、と。わたしは、主を信頼するようにとだけ伝えました。

次に、大切な同僚から聞いた一つの経験を、彼の許可を得て紹介します。ある父親が、子供たちの母親である愛する妻の死後に、再婚しました。成人した子供たちの何人かはその再婚に強く反対し、尊敬されている教会指導者であった身近な親族に助言を求めました。霊界での状態と関係や、最後の裁きに続く栄光の王国における状態と関係を重視した彼らの反対の理由を聞いた後で、この指導者はこう言いました。「あなたがたは見当違いのことを心配するべきです。そのことに集中してください。そこへ行けば、すべてが想像を超えて素晴らしいということが分かります。」

何と心の安らぐ教えでしょう。主を信頼しましょう。

これまでに受け取った数々の手紙から、わたしは、死後と復活するまでに住む霊界について、様々な疑問で心を煩わしている人々がいることを知っています。ある人々は、この死すべき生涯で経験する俗世の状況や問題の多くは霊界でも続くと思っ込んでいます。霊界の状態について、実際に何が分かっているのでしょうか。わたしは、このテーマに関するBYU宗教学教授の記事

が的を射ていると思います。「標準聖典から霊界について分かることは何かと自問するとき、『わたしたちがしばしば考えるほど多くはない』というのがその答えです。」¹

もちろん、わたしたちは聖文から、肉体の死後に霊界で霊として生き続けることを知っています。また聖文で教えられているように、この霊界は、現世で「義人」すなわち「正しい者」であった人々と邪悪であった人々の領域に分かれています。また、一部の忠実な霊たちが邪悪であった者や背いていた者たちに福音をどのように教えるかも、聖文に述べられています(1ペテロ3:19; 教義と聖約138:19-20, 29, 32, 37参照)。非常に重要な現代の啓示で明らかにされているように、霊界では救いの業が進んでいます(教義と聖約138:30-34, 58参照)。そして、死すべき状態にある間に悔い改めを引き延ばさないよう勧められています(アルマ13:27参照)、そこでは幾らか悔い改めが可能であると教えられています(教義と聖約138:58参照)。

霊界における救いの業は、聖文の中でしばしば「束縛」と述べられている状態から

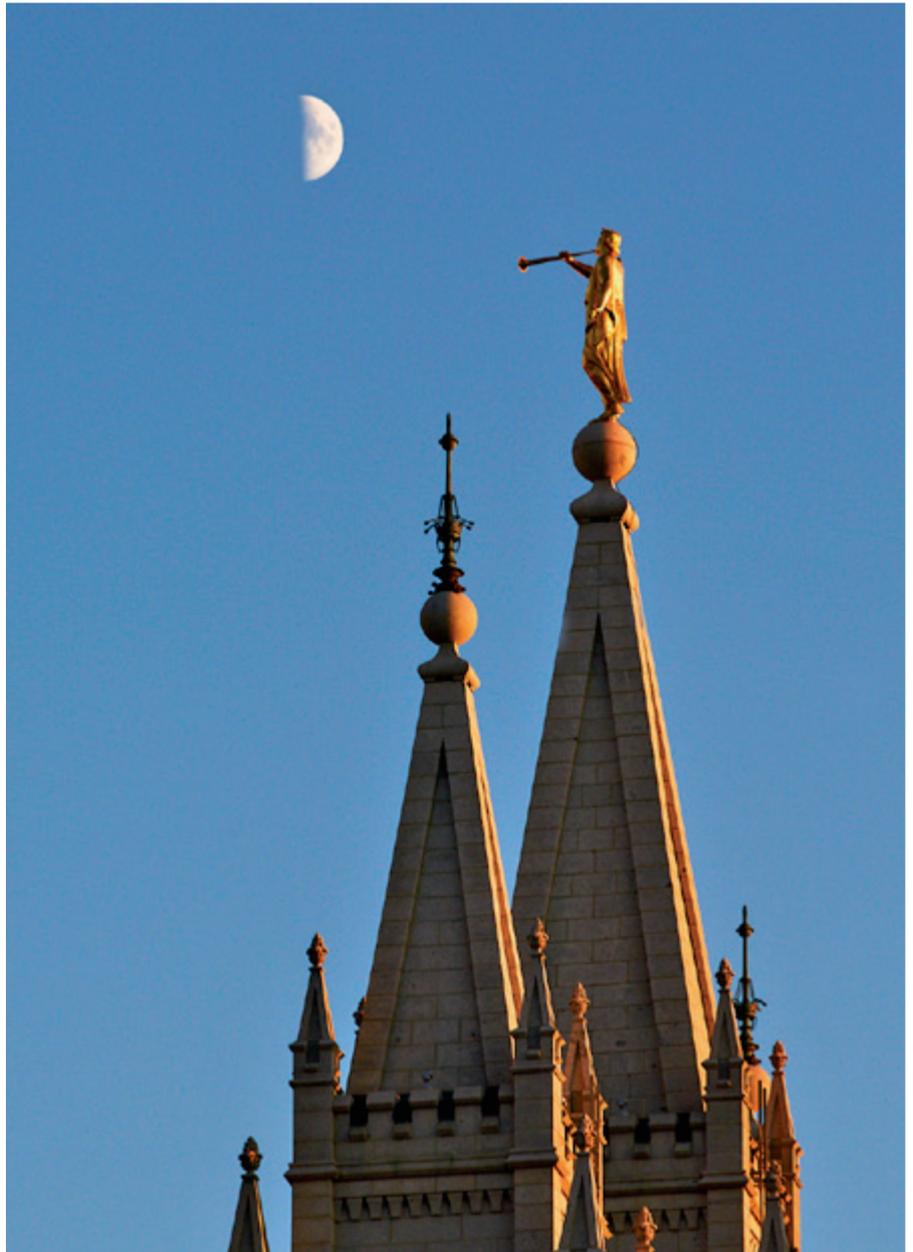


霊たちを解放するものです。霊界にいる全員が、ある種の束縛の下にいるのです。教義と聖約の第138章に含まれたジョセフ・F・スミス大管長の偉大な啓示に述べられているように、復活を期待しながら（教義と聖約138：16参照）「平安」な状態（教義と聖約138：22）にあった義人の死者は、「その霊が体から長い間離れていることを一つの束縛と考え〔ていまし〕た。」（教義と聖約138：50）

悪人も別の束縛を受けています。悔い改めていない罪のために、彼らは使徒ペテロが「獄」と述べた状態にいるのです（1ペテロ3：19；教義と聖約138：42も参照）。これらの霊たちは「束縛されている」あるいは「囚われ人」の状態にあり（教義と聖約138：31, 42）、「外の暗闇に追い出され」「涙を流し、泣きわめき、歯ざしりを」しながら復活と裁きを待つと述べられています（アルマ40：13－14）。

霊界にいるすべての人は、グループによって時期は異なりますが、イエス・キリストの復活によって確実に復活します（1コリント15：22参照）。定められたその時までの霊界での活動について、聖文で告げられていることは、おもに救いの業に関するものです。ほかのことはほとんど啓示されていません。無知な者や悔い改めていない者、背いた者が束縛から解放されて、愛の深い天の御父がわたしたちのために備えておられる祝福に向かって進むことができるように、福音が宣べ伝えられます。

義にかなって改心した霊たちの受ける霊界の束縛は、バプテスマを受けて聖霊の祝福を享受できるように、身代わりの儀式を行うよう促すことができたとしても、地上で身代わりの儀式が行われるのを待つ必要があることです（教義と聖約138：30－37, 57－58参照）。² また、これら現世での身代わりの儀式により、神権の権能の下で働くことで、獄にいる霊に福音を宣べ伝えることのできる義人の群れを増やすこととなります。



これらの基本事項のほかには、標準聖典には、死後の、最後の裁きに先立つ霊界についてはほとんど述べられていません。³ それでは、霊界についてほかに分かっていることは何でしょうか。教会の多くの会員が、霊界では物事がどのように行われ、あるいは組織されているかについて、数々の示現やそのほかの靈感を受けて情報を得てきました。しかし、これら個人的な霊的経験を教会の公式の教義として認めたり教えたりしてはなりません。また言うまでもなく、臨死体験に関する書籍などの出版物には、会員やほかの人々による憶測された内容が多くあります。⁴

これらのすべてに対して、過去の総大会のメッセージの中でD・トッド・クリストファーソン長老とニール・L・アンダーセン長老が述べた賢明な警告を思い起こすことが大切です。クリストファーソン長老はこう教えています。「過去や現在の教会指導者が語ったことが必ずしもすべて教義となるわけではないことを覚えておく必要があります。教会では一般に、一人の指導者がある特定のときに語ったことは、熟慮されたものではあっても個人的な意見であることが多く、教会の公式な見解あるいは教会全体に対して拘束力を持つ言葉ではないと理解されます。」⁵



その後の大会で、アンダーセン長老は次のような原則を教えています。「教義は大管長会と十二使徒定員会の15人全員によって教えられるということです。一人の説教の中の、目立たない段落に隠れているものではありません。」⁶ 15人の預言者、聖見者、啓示者全員が署名した「家族の宣言」は、その原則のすばらしい実例です。

家族の宣言のような公式のものほかに、ほかの預言者たちと使徒たちによって支持される大管長の預言者としての教えもまた、この一つの実例です。霊界の状況について、預言者ジョセフ・スミスは教導の業の終わり近くで二つの教えを述べており、後継者たちがこれについてしばしば教えてきました。その一つが、義なる家族は霊の世界で一緒にいるというキング・フォレット説教の中の教えです。⁷ もう一つは、ジョセフの生涯の最後の年のある葬儀での次の言葉です。「正しい人々の霊は高く上げられて、……霊の世界で……より大いなる、より栄えある業を行います。……彼らはわたしたちから遠く離れてはおらず、また、わたし

たちの考えや感情、行動を知っており、そのことでしばしば心を痛めています。」⁸

では、わたしが前に述べた霊たちが住む場所のような疑問については、どうでしょうか。このような疑問は皆さんにとって無縁、あるいは些細な疑問であると感じるならば、自分が疑問に思っていること、あるいはかつてほかの人から聞いたことから関心を持った疑問について考えてみてください。霊界に関するすべての疑問に対して、わたしは二つの答えを提案します。まず、神が御自分の子供たちを愛し、各人にとって最善のことを必ずなされることを思い出してください。第2に、よく知られている次の聖書の教えを思い出してください。答えのない数多くの疑問に対して、これは非常にわたしの助けになりました。

「心をつくして主に信頼せよ、自分の知識にたよってはならない。

すべての道で主を認めよ、そうすれば、主はあなたの道をまっすぐにされる。」(箴言3:5-6)

同様にニーファイも、次のようにすばらし

い賛美の言葉を述べています。「おお、主よ、わたしはあなたを頼ってまいりました。これからもこしえに、あなたを頼ってまいります。わたしは……肉の腕には頼りません。」(2ニーファイ4:34)

わたしたちは皆、霊界の状況を個人的に思い巡らすこと、あるいは家族や親しい人々の間でこれらの疑問やそのほか答えのない疑問について語り合うことはできます。しかし、公式の教義の基準を満たしていないことを公式の教義として教えることや使うことはしないでください。それをすれば、主の御業は前進しません。また、主の計画によって各人に与えられる個人的な啓示を通して慰めや啓発を求める気持ちがくじかれることさえあるかもしれません。個人的な教えや憶測に依存しすぎると、さらに理解を深めて聖約の道を進むのに助けとなる、学習と努力に集中する気持ちが失われることさえあるかもしれません。

主を信頼することは、末日聖徒イエス・キリスト教会においてよく知られている真実の教えです。それは、初期の聖徒たちが厳しい迫害と一見乗り越えがたい障害を経験したときの、ジョセフ・スミスの教えでした。⁹ それは、まだ啓示されていないことや教会の公式の教義として承認されていないことについて学ぼうとするとき、あるいは出遭う妨害に対して慰めを見いだそうと努めるときに、わたしたちが今でも用いることのできる最善の原則です。

来世での結び固めや、現世での様々な出来事や背きによる必要な再調整についての、答えがない疑問にも、その同じ原則が当てはまります。わたしたちに分からないことがあまりにも多くあります。主を信頼し、御自分の子供たちに対する主の愛を信頼できるということが、唯一確かなことです。

要するに、霊界について分かっているのは、御父と御子の救いの御業がそこで続いているということです。わたしたちの救い主が囚われ人に自由を宣言する御業を開始され(1ペテロ3:18-19;4:6;教義と聖約

138:6-11, 18-21, 28-37 参照), その御業が続いており, 権能を与えられたふさわしい使者たちが, 福音の聖めの効力を必要としている霊たちに悔い改めを含む福音を宣べ伝え続けているのです(教義と聖約 138:57 参照)。そのすべての目的は, 現代の啓示で知らされている教会の公式の教義の中に述べられています。

「悔い改める死者は, 神の宮の儀式に従うことによって贖われるであろう。

彼らは自分の背きの代価を支払い, 洗われて清くなった後, その行いに応じて報いを受けるであろう。彼らは救いを受け継ぐ者だからである。」(教義と聖約 138:58-59)

わたしたち各人の義務は, 回復された福音の教義を教え, 戒めを守り, 互いに愛し助け合い, 聖なる神殿において救いの業を行うことです。

わたしはここで述べたことが真実であり, この大会で教えられたこと, また教えられることは真実であることを証します。すべて

は, イエス・キリストの贖罪のおかげで可能となるのです。現代の啓示から分かるように, イエス・キリストは「御父の栄光を現し, そして……その御手によって造られたすべての者を救われ」ます(教義と聖約 76:43, 強調付加)。イエス・キリストの御名により, アーメン。■

注

1. “What’s on the Other Side? A Conversation with Brent L. Top on the Spirit World,” *Religious Educator*, vol. 14, no. 2 (2013), 43, 48.
2. See *Teachings of the Prophet Joseph Smith*, sel. Joseph Fielding Smith (1976), 309-10; Joseph Smith, “Journal, December 1842 - June 1844; Book 2,” p.246, The Joseph Smith Papers, josephsmithpapers.org.
3. 霊界に関連してよく引用されるジョセフ・スミスに与えられた啓示に, 次のような言葉がある。「ここでわたしたちの間にある交わりが, そこでもわたしたちの間にある。」(教義と聖約 130:2) これは霊界というよりも栄えの王国について述べたものと思われる。次の言葉が続いているからである。「ただし, その交わりには, わたしたちが今享受していない永遠の栄光が伴う。」(2 節)

4. For example, George G. Ritchie, *Return from Tomorrow* (1978) and Raymond Moody, *Life after Life* (1975).
5. D・トッド・クリストファーソン「キリストの教義」『リアホナ』2012年5月号, 88。See also Joseph F. Smith, *Gospel Doctrine*, 5th ed. (1939), 42. 使徒パウロの個人的な教えに関する教義と聖約 74:5 にある記述などを参照
6. ニール・L・アンダーセン「信仰の試し」『リアホナ』2012年11月号, 41
7. 『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』175 参照
8. *History of the Church*, 6:52; included in *Teachings of the Prophet Joseph Smith*, 326; often quoted, as in Henry B. Eyring, *To Draw Closer to God* (1997), 122; 『歴代大管長の教え——ブリガム・ヤング』第38章「霊界」も参照
9. 『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』231 参照





大管長会第二顧問
ヘンリー・B・アイリング管長による提示

教会の中央幹部、 地域七十人、ならびに 中央役員への支持

兄弟姉妹の皆さん、預言者、聖見者、啓示者、末日聖徒イエス・キリスト教会の大管長としてラッセル・マリオン・ネルソン、また、大管長会第一顧問としてダリン・ハリス・オックス、大管長会第二顧問としてヘンリー・ベニオン・アイリングを支持するよう提議します。

賛成の方はその意を表してください。

反対の方がいれば、その意を表してください。

十二使徒定員会会長として、ダリン・H・オックスを、十二使徒定員会会長代理として、M・ラッセル・バラードを支持するよう提議します。

賛成の方はその意を表してください。

反対の方がいれば、その意を表してください。

十二使徒定員会会員として、M・ラッセル・バラード、ジェフリー・R・ホランド、ディーター・F・ウークトドルフ、デビッド・A・ベドナー、クエンティン・L・クック、D・トッド・クリストファーソン、ニール・L・アンダーセン、ロナルド・A・ラズバンド、ゲアリー・E・スティーブソン、デール・G・レンランド、ゲレット・W・ゴング、ウリセス・ソアレスを支持するよう提議します。

賛成の方は、その意を表してください。

反対の方はその意を表してください。

大管長会顧問と十二使徒定員会を預言者、聖見者、啓示者として支持するよう提議します。

賛成の方はその意を表してください。

もし反対の方がいれば、同様にその意を表してください。

中央幹部七十人として献身的に奉仕してくださったウィルフォード・W・アンダーセン長老、キム・B・クラーク長老、ローレンス・E・コーブリッジ長老、クラウディオ・R・M・コスタ長老、ブラッドリー・D・フォ

スター長老、O・ビンセント・ハレック長老、ドナルド・L・ホールストロム長老、ステイブ・E・スノー長老、ならびにラリー・Y・ウィルソン長老を感謝をもって解任し、名誉中央幹部の職を付与することを提議します。

その卓越した働きに対して、これらの兄弟たちとご家族にわたしたちとともに感謝を示してくださる方は、その意を表してください。

次の長老たちを地域七十人から解任することを提議します。フリオ・C・アコスタ、ブレイク・R・オールドー、アライン・L・アラード、オマール・A・アルバレス、青葉太一、カルロス・F・アレドンド、アレイ・K・アウナ・ジュニア、グラント・C・ベネット、マイケル・H・ボーン、ロムロ・V・カブレラ、ウィルソン・B・カルデロン、ヘルナンド・カマルゴ、ホセ・C・F・カンボス、ニコラス・カスタンニエ





十二使徒定員会
デビッド・A・ベドナー長老

絶えず祈りに気を配る (アルマ 34 : 39 ; モロナイ 6 : 4 ; ルカ 21 : 36)

ダ, ウォルター・チャトラ, 周福全 (ゼノ・チョウ), ロバート・J・ダドフィールド, J・ケビン・エンス, メリウラ・M・ファタ, K・マーク・フロスト, クラウド・R・ガミエツ, マウリシオ・G・ゴンザガ, レオナルド・D・グリーア, ホセ・L・イサギャレー, 鄭泰杰 (チョン・テ・グル), セルジオ・L・クラスノセルスキー, ミラン・F・クンツ, ブライアン・R・ラーセン, G・ケネス・リー, ジェラルド・リマ, W・ジャンビエール・ロノ, クムブラニ・ムドレトシ, デール・H・ムンク, ノーマン・R・ネムロー, 恩田豊, ウォルフガング・ピルズ, ハイムンド・パシエコ・デ・ピンヨ, ジェナディー・N・ボドボドブ, アブラハム・E・ケロ, マルコ・A・ハイス, ステューブ・K・ランドール, フランシスコ・J・ルイス・デ・メンドーサ, エドウィン・A・セクストン, ラウル・H・スピタレ, C・ワルタレ・トレビノ, アイサケ・K・トゥクアフ, フアン・A・ウラ, ラウル・S・ピラスエバ, ならびに胡開盛 (レナード・ウー)。

彼らの卓越した働きに対して、わたしたちとともに感謝を示してくださる方は、その意を表してください。

次の方々を新たな地域七十人として支持するよう提議します。ミシェル・J・カーター, アルフレッド・キュング, R・ペッパー・マレー, ライアン・K・オルセン, ならびにイオトゥア・トゥネ。

賛成の方はその意を表してください。

反対の方がいれば、その意を表してください。

そのほかの中央幹部, 地域七十人, 中央役員を現在のまま支持するよう提議します。

賛成の方はその意を表してください。

もし反対の方がいれば、同様にその意を表してください。

これまでの提議のいずれかに反対の方はご自分のステーキ会長に連絡してください。

兄弟姉妹の皆さん, 皆さんの変わらぬ信仰と教会の指導者のための祈りに感謝します。■

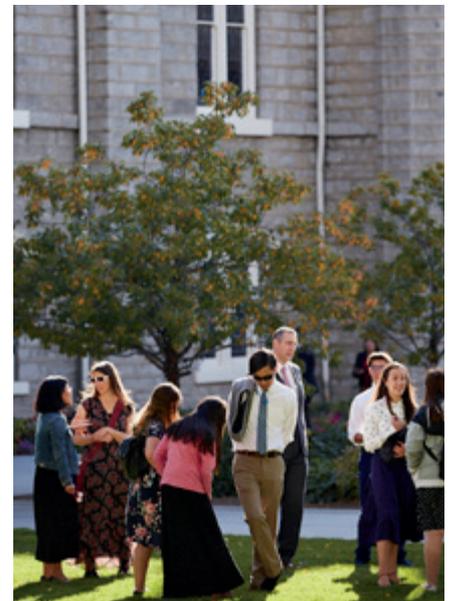
慢心や無頓着さに逆らうには、絶え間なく警戒することが必要です。

ともに喜び、礼拝するに当たり、わたしたちに聖霊の助けがあるよう心から祈ります。

1976年4月の総大会で、ボイド・K・パッカー長老は特に教会の青少年に向けて話をしました。「霊の『ワニ』」と題された有名なメッセージの中で、長老は自分が割り当てを受けてアフリカに滞在していた間に目にした、周囲にうまく溶け込んだワニが無防備な獲物をえじきにしようと待ち構える様子を説明し、そのワニをサタンにたとえました。サタンは、恐ろしい罪の本質をごまかすことで不用意な青少年をえじきにするのです。

パッカー長老がその話をしたのはわたしが23歳のときのことで、妻のソーザンとわたしはちょうど数日後に最初の子供の誕生を控えていました。罪を避けることに関するそのメッセージの内容と、動物の普段の行動を使って大切な霊的教訓を教える見事な手法にわたしたちはとても感銘を受けました。

妻とわたしも、様々な割り当てでアフリカを訪れたことがあり、その大陸で生きるすばらしい動物たちを目にする機会にあずかってきました。パッカー長老の説教が自分た



ちの人生に与えた影響を思い起こし、わたしたちはアフリカの野生動物の行動から教訓を見だし、学べるよう努めてきました。

これから、わたしたちが目にした獲物を狩る2頭のチーターの特性と戦術について説明し、目にした事柄の一部を、イエス・キリストの福音に従って日々生活することに関連付けていきたいと思います。



チーターとトビ

チーターは地上最速の陸上動物で、走る速度は最高で時速120キロほどにまで達します。この美しい動物は、静止状態から3秒以内に、時速109キロの速さまで加速できるのです。チーターは捕食動物で、獲物に忍び寄ると、短距離を全速力で追いかけて攻撃を仕掛けます。

妻とわたしはほぼ2時間、2頭のチーターがトビの大群をつねねらっている様子をじっと見守っていました。トビとは、アフリカで最もよく目にし、広く生息するアンテロープの一種です。アフリカのサバンナに生える背の高い黄金色の枯草は、トビの群れを追う捕食動物の姿をほぼ完全に見えなくしてしまいます。2頭のチーターはお互いから91メートルほど離れていたものの、連携して狩りをしていました。

1頭のチーターが草の間に背筋を伸ばして座り、じっとしている間に、もう1頭は地面に低く伏せながら、無防備なトビの近くまでゆっくりと忍び寄ります。そしてこのチーターが草の中から上体を起こしたのとまっ

たく同時に、もう一方の背筋を伸ばして座っていたチーターが草の中へと姿を消すのです。この1頭が身を低く伏せながら前方に忍び寄る間、もう1頭は草の間にたたずむという交互に姿を現すパターンがずっと続けられました。この巧妙に姿を隠す戦略は、トビを惑わし欺くことで、忍び寄る危険から注意をそらせることが目的でした。忍耐強く、着実に、この2頭のチーターは次の食事にあつこうと力を合わせていました。

トビの大群と忍び寄るチーターの間に位置するように、ほかのトビよりも年長で力の強い数頭のトビが見張りとしてシロアリ塚の上に立っていました。この小さな丘からは草原がよく見えるため、この見張り役のトビは危険の兆しを察知することができるのです。

チーターが獲物をねらえる距離まで迫って来たとき、突然トビの群れ全体が向きを変えて逃げ去っていきました。さきほどの見張り役のトビがその大きな群れに知らせたのか、またどのようにそれができたのかは分かりませんが、何らかの形で警告が発せられ、トビは全頭安全な場所へと移ったのです。

そこでチーターはどうしたでしょう。すぐさま2頭のチーターは、一方が身を低く伏せながら前方に忍び寄っている間に、もう一方が草の間にたたずむという交互のパターンを再開したのです。この追跡のパターンは続けられました。立ち止まることも、休むことも、中断することはありませんでした。2頭は、かく乱し陽動するというその戦略を執拗に続けていました。妻とわたしは、常にトビの群れへと詰め寄っていくチーターの姿が遠くへ消えていくのを見詰めていました。

その晩、自分たちが見て学んだことについて記憶に残る話し合いをしました。また、この経験について子供や孫たちとも話し合い、多くの貴重な教訓を見いだしました。これから、その中の3つの教訓について説明します。

教訓その1——魅力的に装う悪に気をつける

わたしにとって、チーターはしなやかで、目を奪うほど魅力的な生き物です。チーターの黄褐色と灰色がかかった白色の上に黒

い斑点のある毛皮は、見事な保護色となり、アフリカの草原で獲物に忍び寄り、姿がほとんど目につかなくなります。

同様に、霊的に危うい考えや行動も、しばしば魅力的で、望ましく、楽しいもののように見える場合があります。ですから、イザヤが警告しているように、現代社会においては、一人一人が善を装う悪に惑わされないよう気をつける必要があるのです。「わがわいなるかな、彼らは悪を呼んで善といい、善を呼んで悪といい、暗きを光とし、光を暗しとし、苦きを甘しとし、甘きを苦しとする。」¹

人の命の神聖さを侵すことが権利としてもてはやされ、無秩序が自由だと表現される矛盾した時代であっても、回復された福音の光がわたしたちの生活を明るく照らし、敵対する者の陰険な欺きと妨害を見分けられるよう助けしてくれるこの末日の神権時代に生きることはどれほど恵まれていることでしょう。

「賢くて、真理を受け入れ、自分の導き手として聖なる御霊を受け、そして欺かれなかった者、すなわち、まことにわたしはあなたがたに言うが、彼らは切り倒されて火の中に投げ込まれることなく、その日に堪えるであろう。」²

教訓その2 —— 常に目を覚まし、警戒しておく

トビにとって、一瞬の気の緩みや不注意が、チーターからの攻撃を即座に受けるような事態を招きかねません。同様に、霊的な慢心や無頓着さが、わたしたちをサタンの誘惑に屈しやすくします。霊的な軽率さが、生活に大きな危険を招いてしまうのです。

ニーファイは、末日にサタンがどのようにして神の子供たちをなだめ、この世は安全だと錯覚させようとするかについて、次のように述べています。「彼らは、『シオンの中では、すべてが良い。まことに、シオンは栄えており、すべてが良い』と言う。悪魔はこのようにして人々をだまし、巧みに地獄に誘

い落とすのである。」³

こうした慢心や無頓着さに逆らうには、絶え間なく警戒することが必要です。警戒するとは、起こりうる危険や困難に対して**油断なく目を光らせる状態**または行為を言い、目を光らせるとは、見張ったり、守ったりするために、常に目を覚ましているという行為を指します。霊的に言えば、常に目を覚まし、聖霊の促しと、塔にいる主の見張り人から発せられる合図に注意を払う必要があるのです。⁴

「また……悪魔の誘惑に惑わされることなく、悪魔に打ち負かされること……のないように、絶えず祈りに心を配ることを、あなたがたに勧める。見よ、悪魔はあなたがたに決して良いものを報いとして与えないからである。」⁵

わたしたちの生活を救い主と主の福音に焦点を合わせ、集中することで、霊的に眠った、怠惰な者という、生まれながらの人が持つ傾向を克服できます。わたしたちが見る目と聞く耳を持つようになると、⁶ 普段であれば聞きする必要があると思わないことや、聞き取れると思えないようなことを聞き取れるよう、聖霊がわたしたちの能力を

高めてくださるのです。

「それゆえ、目を覚ましていて、用意ができてるようにしなさい。」⁷

教訓その3 —— 敵の意図を理解する

チーターは、生まれながらにほかの動物を狩る捕食動物であり、毎日、一日中、獲物をねらいます。

サタンは「義の敵であり、また神の御心を行おうと努める人々の敵」です。⁸ サタンの唯一の意図と目的は、神の息子、娘たちを毎日、一日中、自分のように惨めにすることです。⁹

御父の幸福の計画が意図しているのは、御父の子供たちに進むべき方向を示し、永続する喜びを味わえるよう助け、復活し昇栄した肉体をもってみもとに無事に戻れるようにすることです。悪魔は神の息子、娘たちを混乱と不幸に陥れ、永遠の進歩を妨げようと働いています。サタンは、自分が最も憎む、御父の計画の要素を攻撃しようと執拗に働いているのです。

サタンには肉体がないため、その永遠の進歩は止まっています。川床を流れる水がダムでせき止められているように、サタンも



トビにとって一瞬の気の緩みや不注意は、チーターからの攻撃を即座に受けるような事態を招きかねません。同様に、霊的な慢心や無頓着さが、わたしたちをサタンの誘惑に屈しやすくします。



肉体がないために、永遠の進歩が阻まれているのです。ルシフェルは自らの背きのゆえに、骨肉の幕屋を通して得られる、現世でのあらゆる祝福や経験を自ら拒みました。「罰の定めを受ける〔訳注——英語ではdamned〕』という言葉の、聖文が示す有力な意味の一つは、ルシフェルが進歩を続け、天の御父のようになれないことに表されています。

肉体は、御父の幸福の計画とわたしたちの霊的な成長のまさに中核を成すものであるため、ルシフェルは肉体を不適切に用いるよう誘惑することで、進歩を妨げようとするのです。ラッセル・M・ネルソン大管長は、霊的な安全は、結局のところ「皆さんが行くべきでない所や行うべきではないことへと向かわせる、魅力的と思える最初の一步を決して踏み出さないこと」にあると教えています。「人間として、わたしたちは皆、生き抜くために必要となる〔肉体的な〕欲求を抱えており、こうした欲求は、生命の存続に絶対的に不可欠なものです。では、サタンはどうするでしょう。……サタンはこの欲求を利用してわたしたちを攻撃します。食べ

るべきでないものを食べ、飲むべきでないものを飲み、愛すべきでない方法で愛するよう、わたしたちを誘惑するのです。』¹⁰

まさに肉体がないがゆえに惨めな状態にあるサタンが、肉体を不適切に使うよう誘い、そそのかすことで、わたしたちも惨めにさせようしているのは、永遠にわたる究極の皮肉だと言えるでしょう。このように、サタンにとって、自分が持っていない、使うこともできないツールこそが、わたしたちを肉体的および霊的な滅びへと誘い込むために攻撃する一番の標的なのです。

敵の意図を理解することは、今後見込まれる攻撃に対して効果的に備えるうえできわめて重要です。¹¹ 司令官モロナイはレーマン人の意図を知っていたからこそ、レーマン人がやって来たときに迎え撃つ備えができており、勝利を収めることができたのです。¹² 同じ原則と約束は、わたしたち一人一人にも当てはまります。

「備えていれば恐れることはない。

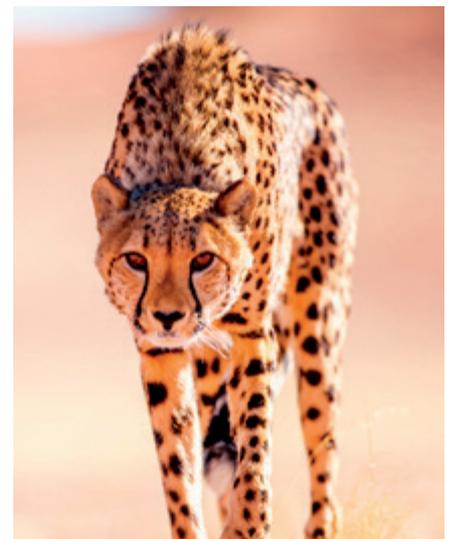
あなたがたが敵の力から逃れ……られるため〔である。〕」¹³

招き、約束、証

チャーターとトピの行動を観察することで大切な教訓を学べるように、わたしたち一人一人も、日常のささやかな出来事の中にある教訓や警告を見いだす必要があります。聖霊の力によって天の導きを受けるために、思いと心を開こうと努めるなら、受けることのできる最も大なる教えの一端や、わたしたちを守るための最も力強い警告の多くを、普段経験していることの中に見いだすことでしょうか。力強いとは、聖文の中と日々の生活の中の両方にあるのです。

アフリカでの妻とわたしの冒険から導き出すことのできる数多くの教訓のうち、3つだけを紹介しました。皆さんも、このチャーターとトピの話についてよく考え、自分や家族のために、より多くの教訓を見いだすようお勧めします。皆さんの家庭が、福音の学習と実践の中心となる場所であることを常に心に留めておいてください。

信仰をもってこの勧めにこたえるならば、靈感を受けた思いが頭に浮かび、霊的な気持ちに心が湧き上がり、行うべきことと、続けるべきことが分かるようになり、「災いの日に耐えられるように、そしてすべてを成し遂げて立つことができるように、〔神の〕武具を身に着け」ことができます。¹⁴





七十人
ルーベン・V・アリオード長老

用心深く、絶えず祈りに心を配るならば、効果的な備えと霊的な守りという祝福が、皆さんの生活に注がれるようになると約束します。

聖約の道を力強く進むならば、生活に霊的な安全が与えられ、永続する喜びがもたらされることを証します。復活した生ける救い主が、良い時も悪い時も、わたしたちを支え、強めてくださると証します。これらの真理を、主イエス・キリストの聖なる御名によって証します、アーメン。■

注

1. イザヤ 5:20
2. 教義と聖約 45:57; 強調付加
3. 2 ニーファイ 28:21; 強調付加
4. エゼキエル 33:7; 教義と聖約 101:44 - 58; 『聖句ガイド』『見守る、見守る者』の項, scriptures.ChurchofJesusChrist.org 参照
5. アルマ 34:39
6. マタイ 13:16 参照
7. 教義と聖約 50:46
8. 『聖句ガイド』『悪魔』の項, scriptures.ChurchofJesusChrist.org.
9. 2 ニーファイ 2:27 参照
10. Russell M. Nelson, in "Advice from the Prophet of the Church to Millennials Living in a Hectic World," Newsroom, Feb. 18, 2018, newsroom.ChurchofJesusChrist.org.
11. アルマ 2:7 - 13 参照
12. アルマ 43:29 - 33, 48 - 50 参照
13. 教義と聖約 38:30 - 31
14. 教義と聖約 27:15

モルモン書により 見いだされ

だれもが、モルモン書に書かれた真理の力を身をもって知り、それによって「見いだされる」必要があります。

改宗者の家を訪問するとよく尋ねたくなる質問は、その人と家族がどのように教会を知り、バプテスマを受けたかということです。現在活発な会員であるか、何年も教会に行っていないかは問題ではありません。答えるときは皆決まって、表情が明るくなり、笑みを浮かべながら、自分たちがどのように見いだされたかを語り始めます。実際、改宗の物語は常に、わたしたちがどのように見いだされたかの物語ではないでしょうか。

イエス・キリスト御自身が「失われたもの」にとっての主であられます。失われたも

のを心にかけておられます。だからこそ、主はルカ第15章で、迷い出た羊、なくした銀貨、そして放蕩息子の3つのたとえを教えられたのです。この3つの物語には共通点があります。どうして失われたのか、あるいは自分が迷い出たことに気づいていたかどうかは問題ではありません。「わたしと一緒に喜んでください。[いなくなった、あるいは、なくなったのに] 見つけましたから」¹と叫ぶほど喜びの感情が極まっている点です。つまるところ、主から見て完全に失われたものなどないのです。²

わたしにとって最も貴重なものを分かち



合わせてください。わたし自身がどのように見いだされたかについての話です。

15歳になる直前、おじのマヌエル・バストスが、しばらくアメリカで自分たち家族と過ごしてはどうかとわたしを招いてくれました。わたしは、英語を学ぶすばらしい機会になると思いました。おじはその何年も前に教会に改宗しており、すばらしい伝道者の精神を持っていました。恐らくそのことを理由に、母はわたしの知らないところでおじと話し、おじの招きに同意するに当たり一つの条件を出していました。それは、おじがわたしを教会員になるように説得しないということです。わたしの家族は何世代にもわたってカトリックで、それを変える理由は何もなかったのです。おじは母が述べた条件に完全に同意して、約束を守りました。わたしが教会についてごく簡単な質問をしても、答えるのを渋るほどでした。

もちろん、おじと優しいおばのマージョリーの人柄については、隠しておけるものではありませんでした。³

わたしが使わせてもらった部屋には、かなりの蔵書がありました。その中には、いろいろな言語で書かれたモルモン書が200冊

ほどあり、そのうちの20冊がスペイン語でした。

ある日わたしは、好奇心からスペイン語のモルモン書を手に取ってみました。

そのモルモン書は、水色のソフトカバーで、天使モロナイの絵がありました。表紙をめくると、最初のページにこう書かれています。「また、この記録を受けるとき、これが真実かどうかキリストの名によって永遠の父なる神に問うように、あなたがたに勧めたい。もしキリストを信じながら、誠心誠意問うならば、神はこれが真実であることを、聖霊の力によってあなたがたに明らかにしてください。」

そして聖霊の力によって、あなたがたはすべてのことの真理を知るであろう。」⁴

この聖句がわたしの思いと心に与えた影響を言葉にすることはできません。正直言って、わたしは「真理」を求めていたわけではなく、目新しい文化を楽しみ、今の生活に不満がない単なる10代の若者でした。

それでも、わたしはこの約束を心に留めながらひそかに読み始めました。読み進めるにつれて、もしもこの本から何かをほんとうに得たいなら、祈り始めた方がよいと分かっ

てきました。モルモン書を読むだけでなく、それについて祈るときに何が起こるかは、皆さんが御存じのとおりです。そして、わたしにもそれが起こりました。とても特別で掛け替えのない経験でした。世界中の何百万もの人々に起こったこととまったく同じです。わたしは聖霊の力によって、モルモン書が真実であることを知ったのです。

それからわたしはおじのところに行き、起こったことを伝え、バプテスマを受ける準備ができていないと話しました。おじは驚きを隠せず、車に乗って空港に行き、わたしが帰るための航空券を手に戻って来ました。そして、「わたしは何もしていませんよ」とだけ書いた母へのメモをわたしに持たせました。

ある意味では、おじの言葉のとおりでした。わたしは直接モルモン書の力によって導かれたのです。

世界中のすばらしい宣教師によって、奇跡的な方法で見いだされた人もたくさんいるでしょうし、あるいは人生の旅路において出会うように主が意図的に備えてくださった友達を通して見いだされた人もいるでしょう。この世代の人、あるいは先祖の一人によって見いだされた人もいるかもしれません。⁵ いずれの場合も、個人的にまことの改心を遂げるためには、だれもが、なるべく早いうちにモルモン書に書かれた真理の力を身をもって知り、それによって「見いだされる」必要があります。同時に、神の戒めを守ろうと努力するという、神に対する個人的で、真剣な決意をする必要があります。

ブエノスアイレスに戻った後、母はわたしが本気でバプテスマを受けたいと思っていることに気づきました。わたしがやや反抗的になっていたこともあって、母は、反対するどころか、賢明にもわたしの味方になり、母自身も気づかずに、わたしにバプテスマの面接までしていました。母の面接は宣教師がする面接よりも、さらに細かいものでした。「あなたがバプテスマを受けたいのなら、それでいいと思うわ。でもまず幾つか質問をするから、よく考えて正直に答えて





ね。毎週必ず教会に行くって決心している？」

「もちろんだよ、お母さん。そうするよ」と答えました。

「教会が何時間あるか知っているの？」

「知ってるよ。」

「あなたがバプテスマを受けるなら、必ず出席させるわ」と母は言いました。それから、わたしがほんとうにお酒を飲んだりたばこを吸ったりしないつもりか尋ねました。

「もちろんだよ。それもちゃんと従うよ」と答えました。

母はこれについても、「あなたがバプテスマを受けたら、必ずそれも守らせるわ」と付け加えました。母はほとんどの戒めについて、こんな具合にわたしに聞いてきました。

おじは母に電話して、すぐに熱が冷める

から心配は要らないと言ったのですが、4年後、ウルグアイのモンテビデオ伝道部で伝道するよう召しを受けたとき、母はおじに電話して、熱が冷めるのは一体いつなのかしらと聞きました。でも実際は、わたしがバプテスマを受けたときから、母はより幸せでした。

わたしは、人が改心する過程でモルモン書が非常に重要であることが分かりました。「人はその教えを守ることにより、ほかのどの書物にも増して神に近づくことができる」という約束を個人的に経験したからです。⁶

ニーファイはモルモン書の最も重要な目的についてこう説明しています。

「わたしたちは子孫と同胞に、キリストを信じ、神と和解するように説き勧めるため

に、熱心に記録し続けようと努めている。……

わたしたちはキリストのことを話し、キリストのことを喜び、キリストのことを説教し、キリストのことを預言〔する。それは〕どこに罪の赦しを求めればよいかを、わたしたちの子孫に知らせるため……である。』⁷

モルモン書全体が、この神聖な目的一色に染まっています。

この理由から、この書物を祈りの精神をもって、真剣に学ぼうと決意する人はだれでも、キリストについて学ぶだけでなく、キリストから学び始めるのです。特に、「言葉の力」⁸を試そうと決意すれば、一度もモルモン書を読んだことがない人の主張が生む偏見に満ちた不信仰⁹のせいで、早まって拒むようなことがなく、キリストから学ぶことができます。

ネルソン大管長はこのように語りました。「モルモン書について考えると、力という言葉が思い浮かびます。モルモン書の真理には人の心を癒し、慰め、回復し、救い、力づけ、元気づけ、喜びで満たす力があります。』¹⁰

今日皆さんにお勧めします。会員歴の長さにかかわらず、毎日熱心に個人の啓示を求めるを通して、モルモン書の真理の力を再び見だし、その力に包まれてください。わたしたちがその力を受け入れるなら、そうなります。

わたしは、モルモン書にはイエス・キリストの完全な福音が含まれており、誠実な心で、魂の救いに関する知識¹¹を求める人に対して、聖霊は幾度となくモルモン書が真実であることを確信させてくださることを厳粛に証します。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. ルカ 15:6。9、32も参照
2. 広い意味で、聖典は、イスラエルの行方の知れない部族の集合に関する預言の記録である（ラッセル・M・ネルソン「散らされたイスラエルの集合」『リアホナ』2006年11月号、79–82参照）。行方の知れない部族も、御父にとっては行



ラッセル・M・ネルソン大管長

証人とアロン神権定員会と若い女性のクラス

これから発表する変更は、若い男性と若い女性が各自の神聖な潜在能力を引き出せるように助けることを目的としたものです。

愛する兄弟姉妹の皆さん、総大会でまたお会いできるのは、素晴らしいことです。今週の初め、バプテスマと結び固めの儀式的証人を務める人に関する方針の変更について、教会員に発表されました。それらの3つの点について採り上げたいと思います。

1. 死者のための代理のバプテスマについては、限定推薦状を含む有効な神権推薦状を保持している人であれば、だれでも証人になることができます。

2. 有効な神殿推薦状を保持しているエ

ンダウメントを受けた会員は、生者の結び固めおよび代理の結び固めの儀式で証人を務めることができます。

3. バプテスマを受けた教会員は、生者のバプテスマの証人を務めることができます。この変更は、神殿外のすべてのバプテスマに適用します。

これらの方針の変更は手続きに関するものです。根本的な教義および聖約は、依然として変わりません。それらは、すべての儀式で等しく有効です。これらの変更によっ



方知れずではないのである（3ニーファイ17：4参照）。また、彼らは見つかるまで、特に祝福師の祝福を受けるときまで自分たちが「行方知れず」であったことを自覚していないのは興味深いことである。

3. ディーター・F・ワークトドルフ長老は、アッシュジの聖フランシスコの次の言葉を引用した。「すべての行いを通して福音を宣べ伝えなさい。必要であれば言葉を使いなさい。」（『ダマスコに行く途中でとどまる』『リアホナ』2011年5月号、77。see also William Fay and Linda Evans Shepherd, *Share Jesus without Fear* [1999], 22）
4. モロナイ10：4-5
5. 先祖の改宗の物語もまた、わたしたちの物語である。ウィリアム・W・ワーカー長老は、「末日聖徒が皆、その先祖の改宗の物語を知っていたとしたら、それは実に素晴らしいこととなります」と教えた（『信仰に忠実に生きる』『リアホナ』2014年5月号、97）。したがって、初めから終わりを御存じの御父のおかげで（アブラハム2：8参照）、わたしたち全員が、直接あるいは先祖を通して「見いだされた」ことになる。
6. モルモン書の序文。アルマ31：5も参照
7. 2ニーファイ25：23、26
8. アルマ31：5
9. アルマ32：28参照
10. ラッセル・M・ネルソン「モルモン書——この書物なしの人生とは」『リアホナ』2017年11月号、62
11. 3ニーファイ5：20参照



て、儀式への家族の参加意識が大いに高まるでしょう。

また、青少年と指導者に関する変更の導入についても、今回お伝えしたいと思います。

皆さんは、わたしが末日聖徒イエス・キリスト教会の青少年に、主の青少年の大隊に加わって、今日の地上における最も大いなる大義であるイスラエルの集合の業に参加するように勧めたことを覚えているでしょう。¹ 教会の青少年にこのことを勧めたのは、青少年には、ほかの人と交流し、自分が信じていることを説得力のある方法で伝える並外れた能力があるからです。集合の大義は、主の再臨のために世界と人々を備える助けをするのに不可欠なのです。

各ワードで、神の献身的な僕であるビショップが、主の青少年の大隊を導きます。ビショップの第一の、そして最も重要な責任は、ワードの若い男性と若い女性を愛し養うことです。ビショップとその顧問は、ワードにおけるアロン神権定員会と若い女性のクラスの業を導きます。

これから発表する変更は、若い男性と若い女性が各自の神聖な潜在能力を引き出せ

るように助けることを目的としたものです。わたしたちはまた、アロン神権定員会と若い女性クラスを強化したい、そして若い世代のために働くビショップやほかの成人指導者たちを支援したいと願っています。

これからクエンティン・L・クック長老が、若い男性に関する変更について話します。また、今晚の中央女性部会で、中央若い女性会長のボニー・H・コードン姉妹が、若い女性に関する変更について話します。

大管長会と十二使徒会は一つとなって、青少年を強化するこれらの取り組みを支援します。わたしたちは青少年を心から愛し、彼らのために祈っています。青少年は「シオンのつわもの、イスラエルの望み〔約束の日の子ら〕」なのです。² わたしたちは青少年に全幅の信頼を寄せており、心から感謝しています。イエス・キリストの聖なる御名により、アーメン。■

注

1. ラッセル・M・ネルソン大管長「シオンのつわもの」(青少年対象のワールドワイド・ディポーショナル、2018年6月3日)、HopeofIsrael.ChurchofJesusChrist.org 参照

2. 「シオンのつわもの」『賛美歌』159番。
〔訳注——英語の1番には“children of the promised day”(約束の日の子ら)という歌詞がある。〕



十二使徒定員会
クエンティン・L・クック長老

青少年を強めるための 変更

このレーザー光線のようなフォーカスが青少年に当たることで、さらに多くの若い男性と若い女性がチャレンジにうまく対処し、聖約の道にとどまるようになるでしょう。

愛するネルソン大管長、バプテスマの証人に関する喜びあふれる啓示による導きをありがとうございます。また、青少年を強め、神聖な潜在能力を引き出すのを助けるために話すよう依頼されたことに感謝します。

変更を発表する前に、福音の回復が今も続いている中で、会員の皆さんが並外れた対応をしてくれていることに心から感謝します。昨年ネルソン大管長が提案したように、皆さんはビタミン補給をしてきたようです。¹

皆さんは家庭で、『わたしに従ってきなさい』を喜んで学習しています。²また、教会での変更にも対応してきました。長老定員会の会員と扶助協会の姉妹は、一つとなって救いの業を行っています。³

わたしたちは感謝の気持ちでいっぱいです。⁴特に、青少年の皆さんが強く忠実であり続けていることに感謝しています。

青少年は心躍る、しかし困難な時代に生きています。これまでにないほど両極端な選択肢が目前にあります。一つの例を挙げると、現代のスマートフォンは、家族歴史や聖文など非常に重要で心を高める情報にアクセスできる一方で、過去には簡単に入手

できなかった愚かなことや不道徳、邪悪なものにもアクセスできます。

青少年がこの選択肢の迷路を正しく進んで行くのを助けるため、教会は3つの重要かつ包括的な取り組みを用意しました。第1に、教科課程を強化し、家庭にまで拡大しました。第2に、楽しい活動と個人の成長を含む子供と青少年のプログラムが、先週の日曜日にラッセル・M・ネルソン大管長、

M・ラッセル・バラード会長、中央役員により発表されました。第3の取り組みは、ビショップとそのほかの指導者がもっと青少年に焦点を当てるための組織的な変更です。この取り組みは、霊的な力を伴い、青少年がネルソン大管長の求める「青少年の大隊」になるための助けとなるに違いありません。

互いに関連する主の規範

過去2、3年の間に発表されたものも含め、これらはそれぞれ別個の変更ではありません。どの調整事項も、互いに関連する主の規範において欠くことのできない要素であり、聖徒を祝福し、聖徒が神にお会いする備えをするためのものです。

そして、その規範の一部は若い世代に関するものです。教会の青少年は、自分でできることを親や指導者に代わりにしてもらうことなく、若いときからもっと個人の責任を引き受けるよう求められています。⁵

発表

今日わたしたちは、ワードとステークレベルで、青少年のための組織の変更を発表します。ネルソン大管長が説明したように、ボニー・H・コードン姉妹は今夜、若い女性の変更について話をします。わたしがこれが



ら話をする変更の一つの目的は、アロン神権者とその定員会、そして定員会会長会を強めることです。これらの変更は、現在の慣行を教義と聖約 107:15 に合わせるためです。こう記されています。「ビショップリックはこの〔アロン〕神権の会長会であり、その鍵、すなわち権能を持つ。」

聖文に基づくビショップの義務の一つは、祭司を管理し、彼らとともに評議会の席に着き、彼らにその職の義務を教えることです。⁶ さらに、ビショップリックの第一顧問は教師に対し、第二顧問は執事に対して責任を持つことになります。

したがって、教義と聖約のこの啓示に合わせるために、ワードレベルの若い男性会長会は廃止となります。これまでとても良い働きをしてくれた忠実な兄弟たちに感謝の意を表します。

わたしたちの望みは、ビショップリックが若い男性の神権の責任にいつそう重点を置いて取り組み、定員会の義務を果たせるように助けることです。成人で有能な若い男性アドバイザーが召されて、アロン神権定員会会長会とビショップリックが義務を果たすのを助けます。⁷ このレーザー光線のようなフォーカスが青少年に当たることで、さらに多くの若い男性と若い女性がチャレンジにうまく対処し、聖約の道にとどまるようになると確信しています。

主の靈感された規範では、ビショップはワードの全員に対して責任があります。ビショップは青少年だけでなく、青少年の親も祝福するのです。あるビショップはポルノグラフィーに苦しむ若い男性の相談に乗る中で、彼の親が愛と理解をもって対応するようにと導いたときに初めて、彼の悔い改めを助けることができました。この青年の癒しは、家族にとっての癒しであり、ビショップが家族全員のために働くことにより可能となったのです。その若い男性は今ではふさわしいメルキゼデク神権者となり、専任宣教師となりました。

この例が示しているように、これらの変更は、

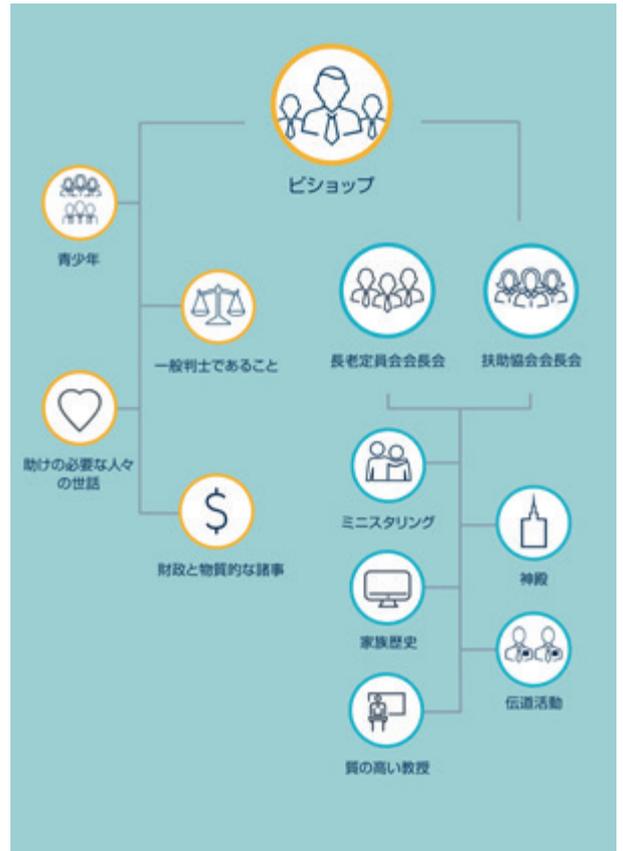
- ビショップとその顧問が青少年と初等協会の子供に対する最も重要な責任に焦点を当てる助けとなります。
- すべての若い男性の個人の生活と目標の中心に、アロン神権の力と義務を据えます。

これらの変更はさらに、

- 各アロン神権定員会の会長会の責任と、会長会がビショップリックに直接報告する点を強調します。
- 各アロン神権定員会の会長会が、神権の職の力と権能を尊んで大いなるものとするうえで、成人指導者が会長会を支え、良き相談相手となるよう促します。

注意してほしいのですが、これらの変更は若い女性に対するビショップリックの責任を軽減するものではありません。ネルソン大管長がこの大会で教えたように「〔ビショップの〕第一の、最も重要な責任は、ワードの若い男性と若い女性を愛し養うことです。」⁸

わたしたちの愛する勤勉なビショップは、どうしたらこの責任を果たせるでしょうか。御存じのように、2018年に、メルキゼデク神権定員会は扶助協会とさらに密接に協力して働くように調整がなされ、これにより、ビショップの指示のもとに、長老定員会と扶助協会は、かつてビショップが多くの時間を費やしていた大切な責任をともに担えるようになりました。これらの責任には、ワードの会員に対する多くのミニスタリングの働きだけでなく、ワードの伝道活動と神殿・家族歴史活動が含まれます。⁹



ビショップが委任できない責任の中には、青少年を強めること、一般判士であること、助けが必要な人の世話をすることや財政と物質的な諸事の管理をすることなどがあります。しかし、委任できない責任はこれまで理解されていたよりも少なくなっています。ジェフリー・R・ホランド長老は、昨年メルキゼデク神権定員会の変更を発表したときにこう説明しました。「ビショップは、もちろん、ワードの管理大祭司としてその責任を果たしますが、〔長老定員会と扶助協会の〕この新たな連携により、ビショップは、これらの組織のいずれの働きも自ら行うように求められずに、メルキゼデク神権と扶助協会の働きを管理できるようになるはずです。」¹⁰

例えば、扶助協会会長と長老定員会会長は、割り当てに応じて、成人へのカウンセリングにおいてより大きな役割を果たすことができます。それは若い女性の会長が若い女性にカウンセリングすることにも当てはまります。ビショップだけが一般判士として働くことができる一方で、これらのほかの指導者も、一般判士を必要としない問題や、いかなる虐待とも関係のない問題を助けた



めに、天から啓示を受ける資格があります。¹¹。

これは、若い女性がビショップや自分の親に相談できないとか、すべきでないという意味ではありません。ビショップと親の焦点は青少年です！しかし、若い女性の指導者が、個々の若い女性の必要をいちばんよく満たせる場合もあることを意味しています。ビショップリックは、若い男性と同じように若い女性にかかわりますが、わたしたちは、強くて熱心で集中して働く若い女性の指導者がクラス会長会を愛し、良き相談相手になり、役割を肩代わりするのでなく、成功できるように助けるときに、強さがもたらされることを知っています。

コードン姉妹は今夜、若い女性に追加される心弾む変更について話をします。しかしここでわたしは、ワードの若い女性会長は今後、ワードのビショップに直接報告し、相談するようになることを発表します。これまで、この割り当ては〔ビショップリック〕顧問に委任できましたが、これから先、ワードを管理する鍵を持つ人が直接若い女性について責任を負うことになります。扶助協会会長は引き続き、ビショップに直接報告します。¹²

中央とステークレベルでは、若い男性会

長会は継続します。ステークレベルでは、高等評議員が若い男性会長¹³となり、若い女性と初等協会に割り当てられた高等評議員とともに、ステークアロン神権・若い女性委員会の一員となります。これらの兄弟たちは、この委員会でステーク若い女性会長会とともに働きます。ステーク会長の一人の顧問がこの委員会の議長を務めます。新しい「子供と青少年の取り組み」で行うプログラムや活動の多くが、ステークレベルで行われるため、委員会はこれからいっそう重要な存在になるでしょう。

これらの高等評議員は、ステーク会長会の指示のもと、ワードの長老定員会を支援する高等評議員と同じように、ビショップとアロン神権定員会の助け手として奉仕することができます。

関連する事柄として、別の高等評議員がステーク日曜学校会長として奉仕します。必要に応じて、ステークアロン神権・若い女性委員会で奉仕することもできます。¹⁴

さらなる組織上の変更は、指導者に送られる情報の中で詳しく説明されています。これらの変更には以下が含まれます。

- ビショップリック青少年委員会集会は、ワード青少年評議会に置き換わります。

- 「ミューチャル」という言葉はなくなり、「若い女性の活動」「アロン神権定員会の活動」または「青少年の活動」になり、可能などころでは毎週行われます。
- 青少年の活動のためのワード予算は、各組織における青少年の人数に応じて、若い男性と若い女性に公平に分配されます。十分な額が初等協会の活動に提供されます。
- ワード、ステーク、中央のすべてのレベルにおいて、「補助組織」という言葉ではなく「組織」という言葉を使います。中央の扶助協会、若い女性、若い男性、初等協会、日曜学校の組織を指導する人々は、「中央役員」と呼ばれます。ワードやステークのレベルで組織を指導する人々は、「ワード役員」や「ステーク役員」と呼ばれます。¹⁵

今日発表された変更は、支部、ワード、地方部、ステークの準備ができ次第適用できますが、2020年1月1日までに実施しなければなりません。これらの変更は、以前の変更と合わせて、すべての男性、女性、青少年、子供を祝福して強めるための、教義に即した霊的かつ組織的な取り組みを意味します。それは、わたしたちが聖約の道を進み

続けるときに、救い主イエス・キリストの模範に従うよう各人を助けるものとなります。

愛する兄弟姉妹の皆さん、靈感を受けた預言者ラッセル・M・ネルソン大管長の指示のもとで行うこれらの広範囲の変更が、教会のすべての会員に力と強さを与えることをわたしは約束し、証します。青少年の皆さんは、救い主に対するより深い信仰を培い、敵対する者の誘惑から守られ、人生のチャレンジに立ち向かう備えができることでしょう。イエス・キリストの聖なる御名により、アーメン。■

注

1. See Russell M. Nelson, in "Latter-day Saint Prophet, Wife and Apostle Share Insights of Global Ministry," Newsroom, Oct. 30, 2018, newsroom.ChurchofJesusChrist.org.
2. 加えて、皆さんは、ラッセル・M・ネルソン大管長から教えられたように、教会の正しい名称を用いるために、またそうすることで愛と敬意をもって救い主を覚えるために特別な努力を払ってきました。
3. 「イエス・キリストの教会の会員は『人々の霊の救いのために主のぶどう園で働く』ために遣わされる(教義と聖約 138:56)。この救いの業には、会員伝道活動、改宗者の定着、あまり活発でない会員の活発化、神殿・家族歴史活動、福音を教えることが含まれる。ビショップリックはワードにおけるこの業を指示し、ワード評議会の他の会員から支援を受ける。』(『手引き 第2部——教会の管理運営』5.0, ChurchofJesusChrist.org)
4. 指導者としてわたしたちは、弟子としての務めに励む善良な末日聖徒イエス・キリスト教会の会員を敬愛しています。わたしたちは、献身と喜びをもって聖約の道を歩んでいる個人、母親、父親、青少年、子供の皆さんに称賛の言葉を送ります。
5. 2019年に、11歳の執事は聖餐式でバスを行うようになり、11歳の若い男性と若い女性は限定神殿推薦状を受けられるようになりました。昨年、ネルソン大管長は、若い男性と若い女性が青少年の大隊に加わり、幕の両側にいる散らされたイスラエルを集めるようチャレンジしました(『シオンのつわもの』[青少年対象の世界ワイド・ディボーションナル, 2018年6月3日] HopeofIsrael.ChurchofJesusChrist.org 参照)。その反応は劇的でした。専任宣教師は今、より若い年齢で並外れた方法で奉仕しています。2012年10月6日から、若い男性は18歳から、若い女性は19歳から伝道に出る資格があります。
6. 「また、アロンの神権を管理する会長の義務も、聖約の中で与えられているとおりに、四十八人の祭司を管理し、彼らとともに評議会の席に着き、彼らにその職の義務を教えることである。この会長はビショップでなければならない。これは



この神権の義務の一つだからである。』(教義と聖約 107:87-88)

7. 成人の指導者がアロン神権定員会スペシャリストとして召され、プログラムや活動を支援し、定員会集会に出席します。そうすることで、ビショップリックが定期的に若い女性のクラスや活動を訪問し、時折初等協会を訪問できるようにします。キャンプのような特別な行事を支援するためのスペシャリストを召したり、定員会アドバイザーを支援するための長期的に奉仕するスペシャリストを召したりすることができます。各定員会集会、プログラム、活動には必ず、少なくとも2人の成人男性が参加します。役割と名称は変わりますが、アロン神権定員会のために奉仕し、支援する成人男性の数を減らすことは想定していません。
8. ラッセル・M・ネルソン「証人とアロン神権定員会と若い女性のクラス」[リアホナ] 2019年11月号, 39, 強調付加。エズラ・タフト・ベンソン「教会の若い女性の皆さんに」[聖徒の道] 1987年1月号, 88も参照
9. わたしたちはビショップに、ヤングシングルアダルトの会員と自分自身の家族のためにももっと時間を使うように助言しています。
10. ジェフリー・R・ホランド、総大会指導者集会, 2018年4月。「効果的なミニスターリング」ministering.ChurchofJesusChrist.orgも参照。ホランド長老は、ビショップが委任できない責任は、アロン神権定員会と若い女性を管理すること、一般判士であること、教会の財政と物質的な諸事を見守ること、貧しい人と助けの必要な人の世話をすることであると教えました。長老定員会と扶助協会の会長会、またその他の人々は、伝道活動、神殿・家族歴史活動、ワードにおける質の高い教授、教会員を見守りミニスターリングすることにおいて主要な責任を担うことができます。
11. 一般判士の鍵が必要な状況に加えて、あらゆる種類の虐待の問題は、教会の方針に従ってビショップが対処すべきです。
12. ステーク扶助協会会長も引き続きステーク会長に直接報告します。
13. ステーク若い男性会長の顧問は、ステークの会員から召してもよいし、必要に応じて、若い女性に割り当てられた高等評議員や初等協会に割り当てられた高等評議員がなることもできます。
14. 日曜学校会長として奉仕する兄弟は、毎月2回の日曜日の青少年の教科課程に対して重要な責任を負います。
15. 中央とステークレベルの扶助協会、若い女性、若

い男性、日曜学校、初等協会の会長会は、中央役員もしくはステーク役員です。ワードレベルでは、ビショップリックが若い男性を指導するので、アロン神権定員会アドバイザーはワード役員ではありません。



中央日曜学校会長
マーク・L・ペイス

わたしに従ってきなさい ——主の対抗手段と 先を見越した計画

主は御自分の民をサタンの攻撃に対して備えておられます。「わたしに従ってきなさい」は、主の対抗手段と先を見越した計画です。

末日聖徒イエス・キリスト教会のこのすばらしい総大会でともに集えることは喜びであり、主の預言者と使徒の教えを通して、主の思いと御旨を知ることができるのは祝福です。ラッセル・M・ネルソン大管長は、主の生ける預言者です。今日受けた、大管長からの靈感に満ちた勧告と導きに感謝しています。

これまで述べられた証に、わたしの証も加えたいと思います。永遠の父なる神について証します。神は生きておられ、わたしたちを愛し、見守っておられます。御父の幸福の計画は、この世では祝福をもたらし、最終的には主の御前に戻ることを可能にします。

イエス・キリストについても証します。主は、神の独り子であられます。死からわたしたちを救われ、主を信じる信仰を働かせて悔い改めるなら、罪から贖ってくださいます。主がわたしたちのためになされた無限の贖罪という犠牲は、不死不滅と永遠の命という祝福をもたらします。確かに「わたしたちは御子という比類ない贈り物を授けて

くださった神に感謝しています。」(「生けるキリスト—使徒たちの証」『リアホナ』2017年5月号、内表紙)

世界中の末日聖徒は、主の神殿でイエス・キリストを礼拝する恩恵にあずかっています。カナダのウィニペグで、現在こうした神殿の一つが建設されています。妻のアン・マリーとわたしは、今年の8月にその建設

現場を訪問する機会がありました。神殿は見事に設計されており、完成すれば間違いなくすばらしいものとなるでしょう。ただし、頑丈で強固な基礎なしには、ウィニペグやほかのいかなる場所でも立派な神殿を建てることはできません。

ウィニペグの凍結と融解を繰り返す膨張性の高い土壌の性質から、神殿の基礎を整えるのは困難な作業となったため、コンクリートに包まれた70本の鋼杭でこの神殿の基礎を作り上げることに決まりました。杭の長さは約18メートル、直径は約30センチから50センチあります。この杭を、地表からおおよそ15メートル下にある岩盤に達するまで地面に打ち込むのです。こうして、これらの70本の杭によって、美しいウィニペグ神殿の頑丈で強固な基礎が築き上げられているのです。

末日聖徒として、わたしたちも人生の中で同じように確固とした堅固な基を求めています。現世を旅し、天の家に帰るうえで必要となる霊的な基です。この基は、主イエス・キリストへの改心という岩の上に築かれます。

モルモン書のヒラマンの教えが頭に浮かびます。「わが子らよ、覚えておきなさい。あなたたちは、神の御子でありキリストである贖い主の岩の上に基を築かなければなら



ないことを覚えておきなさい。そうすれば、悪魔が大風を、まことに旋風の中に悪魔の矢を送るときにも、……それが不幸と無窮の苦悩の淵にあなたたちを引きずり落とすことはない。なぜならば、あなたたちは堅固な基であるその岩の上に建てられており、人はその基の上に築くならば、倒れることなどあり得ないからである。」(ヒラマン5:12)

ありがたいことに、わたしたちは預言者や使徒から救い主イエス・キリストについて教えられることのできる時代に生きています。その勧告に従うなら、キリストの上に確固とした基を築けるようになるのです。

昨年10月の総大会の、開会のあいさつの中で、ラッセル・M・ネルソン大管長は次のように宣言し、かつ警告を与えました。「教会の長期的な目標は、主イエス・キリストと主の贖いに対する信仰を増し、神と聖約を交わして守り、家族を強めて結び固められるように、すべての会員をサポートすることです。今日の複雑な世界において、それは簡単なことではありません。**敵対者は、信仰や個人と家族への攻撃をすさまじい勢いで増大させています。**霊的に生き残るには、**対抗手段と先を見越した計画**が必要です。」(ラッセル・M・ネルソン「開会のあいさつ」『リアホナ』2018年11月号, 7; 強調付加)

ネルソン大管長のメッセージに続いて、十二使徒定員会のクエンティン・L・クック長老が「わたしに従ってきなさい」の個人と家族用リソースについて紹介しています。長老の話には、次のような言葉が含まれていました。

- 「新しい家庭学習用の『わたしに従ってきなさい』の資料〔は〕……会員が家庭で福音を学びやすくなるように作られています。」
- 「このリソースは、教会のすべての個人と家族のためのリソースです。」(『わたしに従ってきなさい——個人と家族用』〔2019年〕, vi)



- 「わたしたちが目指しているのは、信仰と霊性、天の御父と主イエス・キリストに対する改心を深めることで、教会と家庭で行うこととのバランスをうまく取ることです。」(「天の御父と主イエス・キリストに対する永続する深い改心」『リアホナ』2018年11月号, 9-10 参照)

今年の1月から、世界中の末日聖徒が「わたしに従ってきなさい」リソースをガイドに、新約聖書の研究を始めています。毎週のスケジュールのある「わたしに従ってきなさい」は、聖文や福音の教義、預言者や使徒の教えを学ぶうえで役に立ちます。わたしたちすべてにとって実にすばらしいリソースです。

こうして世界中で聖文研究に取り組み、9か月が過ぎた今、どのようなことを目に行っているのでしょうか。あらゆる地で、主イエス・キリストへの信仰と献身において成長している末日聖徒の姿を目にします。週を通して、救い主の言葉を研究する時間を取っている個人や家族の姿があります。家庭で聖文を研究し、気づいたことを教会で分かち合うようになったことで、日曜日のクラスにおける福音の指導の質は向上しています。聖文を単に読むことから、深く研究するようになったことで、家族の喜びが増し、一致が強まっています。

多くの末日聖徒と会って、「わたしに従ってきなさい」を通して得た経験を直接聞くことができたのは、わたしにとって特権でした。会員たちが示してくれた信仰により、わ

たしの心は喜びに満たされています。世界の様々な地にいる教会の会員からいただいたコメントを、ほんの一部ですが紹介します。

- ある父親はこう話しています。「『わたしに従ってきなさい』を楽しんでいます。子供たちに救い主について証する機会をくれるからです。」
- 別の家庭の子供は「親の証を聞く機会になっています」と言っていました。
- ある母親はこう言いました。「神を第一にする方法について靈感を受けました。そんな時間は「ない」と思っていました]が、思いも寄らない形で、希望や喜び、平安、成功に満ちた時間になっています。」
- ある夫婦はこう述べています。「これまでとはまったく異なる方法で聖文を読むようになり、今までよりはるかに多くのことを学んでいます。主は、物事を違った角度から見るように望んでおられ、わたしたちを備えておられるのです。」
- ある母親は次のように述べています。「一緒に同じことを学べるのが気に入っています。前は読むだけでしたが、今は学ぶようになっています。」
- ある姉妹は、この洞察に満ちた考えを話してくれました。「以前は、聖文がレッスンの補足になっていましたが、今は、聖文を補うものがレッスンなのです。」
- 別の姉妹は次のように述べています。「学習するときとしないときの違いを感じ



ます。イエス・キリストと自分たちの信条について人に話しやすくなったように思います。」

- 孫を持つ姉妹はこう語っています。「日曜日に子供や孫に電話をして、一緒に『わたしに従ってきなさい』から学んだことを分かち合っています。」
- ある姉妹はこう述べています。「『わたしに従ってきなさい』を通して、救い主が個人的に教え導いてくださっているように感じます。天の靈感を受けているのです。」
- ある父親は次のように述べています。「『わたしに従ってきなさい』を使うことで、イスラエルの子らのように、入口の柱に印を付けて、滅ぼす者の影響から家族を守っているのです。」

兄弟姉妹の皆さんと会って、『わたしに従ってきなさい』に取り組むことで生活にもたらされた祝福について聞くことができたのは喜びでした。皆さんの献身に感謝しています。

「わたしに従ってきなさい」をガイドに聖

文を研究することは、イエス・キリストと主の福音への改心を強めるということです。ただ単に、日曜日の教会を1時間減らす代わりに、家庭での聖文研究を1時間増やしたということではないのです。福音を学ぶのは、週を通してたゆまずに取り組むことです。ある洞察力に満ちた姉妹が、「この目的は、教会を1時間短くすることではなく、教会を6日間長くすることなのです」と話してくれたようにです。

それでは、2018年10月の総大会の開会に当たり、預言者ネルソン大管長から与えられた警告についてももう一度考えてみましょう。

「敵対者は、信仰や個人と家族への攻撃をすさまじい勢いで増大させています。霊的に生き残るには、対抗手段と先を見越した計画が必要です。」（「開会のあいさつ」7）

そして（およそ29時間後）日曜日の午後、大管長は次の約束をもって大会を閉じています。「家庭を福音学習の中心の場所に改めるよう熱心に取り組むならば、……

皆さんの生活と家庭におけるサタンの影響力は減少します。」（「模範的な末日聖徒になる」『リアホナ』2018年11月号、113）

サタンの攻撃が急速に増していく一方で、同時にサタンの影響力が実際には少なくなっていくというのは可能なのでしょうか。それは可能であり、教会全体でそれが起きているのです。サタンの攻撃に対して主が御自分の民を備えておられるからです。「わたしに従ってきなさい」は、主の対抗手段と先を見越した計画です。ネルソン大管長はこのように教えています。「家庭を中心として教会が支援する新たな統合教科課程には、家族の力を解放する潜在的な力があります。」しかし、それには最善の努力が必要となります。「[わたしたち]の家庭を信仰の聖所に変えるよう、誠実に、注意深く努力を続ける」必要があります（「模範的な末日聖徒になる」113）。

結局のところ、ネルソン大管長も述べているように、「個人の霊的成長に対する責任は、各自にあ[る]」のです（「開会のあいさつ」8）。

主は、「わたしに従ってきなさい」リソースを用いて、「[わたしたちが今直面している]苦難の時代[のため]に」、わたしたちを備えておられます（クエンティン・L・クック「永続する深い改心」10）。主は、わたしたちがその「堅固な基」、人[が]その……上に築くならば、倒れることなどあり得ない[基]」（ヒラマン5：12）を築けるよう助けてくださっています。これは、主イエス・キリストへの改心という岩にしっかりと支えられた証の基なのです。

日々たゆまず聖文を研究することで強められ、約束された祝福を受けるにふさわしいと証明できますように。このことを、イエス・キリストの御名によって祈ります、アーメン。■



七十人
L・タッド・バッジ長老

一貫した、打たれても 負けない信頼

主を信頼することには主の時期を信頼することが含まれます。
人生の嵐をもちこたえるだけの忍耐と耐久力が求められるのです。

わたしたちの息子ダンはアフリカで伝道中に重い病気にかかり、設備の限られた医療施設に運ばれました。病気になった息子から初めての手紙が届いたとき、恐らく息子は落胆しているだろうと思っていましたが、こう書いてきました。「緊急治療室で横になっているときでさえ、平安な気持ちだったよ。これほど一貫した、打たれても負けない幸福感を人生で味わったことはないよ。」

この言葉を読んだ妻とわたしは胸がいっぱいになりました。一貫した、打たれても負

けない幸福感。幸福をそのように言い表すのを聞いたことがありませんでしたが、息子の言葉は真実だと感じました。息子が述べている幸福は単なる満足や高揚感ではなく、神に身をゆだね、すべてのことにおいて主を信頼するときにもたらされる平安と喜びであることだと分かりました。¹ わたしたちもまた、それまでの人生において、つらく先が見えないときでさえも、神が心に平安を告げ、キリストに望みを抱かせてくださるのを経験したことがありました。²



リーハイはこう教えています。もしアダムとエバが墮落しなかったならば、「不幸を知らないので喜びもなく、……罪のない状態にとどまっていたであろう。

しかし見よ、すべての物事は、万事を御存じである御方の知恵によって行われてきた。

アダムが墮落したのは人が存在するためであり、人が存在するのは喜びを得るためである。」³

わたしたちが主と、主が用意してくださった計画を信頼するならば、逆説的な方法によって、苦難や悲しみはわたしたちが喜びを経験する備えとなるのです。13世紀のある詩人は、この真理を次のように見事に表現しています。「悲しみはあなたを喜びに備える。それは家にあるものを荒々しく一掃し、新たな喜びを迎え入れる場所を作る。心の枝から黄色い葉を揺り落とし、そこに新緑の若葉が育つようにする。腐った根を引き抜き、下にある隠れた新しい根が伸びる余地を作る。悲しみがあなたの心から振り落とすものが何であろうと、はるかに良いものがそれに取って代わるのだ。」⁴

ラッセル・M・ネルソン大管長は、こう教えました。「救い主が用意してくださる……喜びは絶えず、わたしたちの『苦難は、つかの間にすぎ』ず〔教義と聖約121:7〕、聖別されてわたしたちの益となることを確信させてくれるのです。」⁵ わたしたちの試練や苦難はより大きな喜びを迎え入れるための場所を作ってくれるのです。⁶

福音の良い知らせは、悲しみや艱難のない人生を約束しているわけではありません。そうではなく、目的や意義深い事柄で満ちた人生を約束しているのであり、そうした人生においては、わたしたちの悲しみや苦難は「キリストの喜びにのまれてしまう」のです⁷。救い主は次のように宣言しておられます。「あなたがたは、この世ではなやみがある。しかし、勇気を出しなさい。わたしはすでに世に勝っている。」⁸ 主の福音は希望のメッセージです。イエス・キリストにおける望みと結びついた悲しみには、永続す

る喜びの約束が伴うのです。

約束の地へと向かうヤレドの民の旅に関する話は、わたしたちの現世の旅を象徴するものとして用いることができます。主はヤレドの兄弟とその民に、「わたしは〔あなたがた〕の前を行き、地のあらゆる土地に勝ったえり抜きの土地へと〔あなたがた〕を導こう」と約束されました。⁹主が彼らに数隻の船を造るよう命じられると、彼らは従順に仕事に取りかかり、主の指示のとおり船を造りました。ところが、作業が進むにつれて、ヤレドの兄弟は主が示された船の設計に問題があると懸念を募らせていきます。ヤレドの兄弟は叫んで言いました。

「おお、主よ、わたしはあなたから命じられた務めを果たし、あなたから指示されたとおりに船を造りました。

まことに、おお、主よ、船の中には光がありません。」¹⁰

「おお、主よ、あなたはわたしたちに、暗闇の中でこの大海を渡らせようとなさるおつもりですか。」¹¹

皆さんもそのように神に向けて心を注ぎ出したことがないでしょうか。主が命じられるとおりに生きようと努力していても義にかなった望みがかなえられないとき、暗闇の中でこの人生を歩まなければならないのだろうかと思ったことがないでしょうか。¹²

ヤレドの兄弟はその後、船の中で自分たちが生き延びる力があるのだろうかというさらに深刻な懸念を口にし、こう叫びました。「また、わたしたちは死んでしまうことでしょう。船の中にある空気だけでは呼吸ができなくなるからです。」¹³人生における困難のために息が苦しくなったことや、いったいどうやって一日を乗り切ることができるだろうか、ましてや天の家に帰ることができるだろうかと思ったことがないでしょうか。

主はヤレドの兄弟とともに懸念を一つずつ解決していかれましたが、その後、次のように説明されました。「わたしが海の波と、吹きつける風と、寄せ来る多くの水に対してあなたがた〔のために方法〕を備え……な

ければ、あなたがたはこの大なる深みを渡ることができない。」¹⁴

主がともにおられなければ、最終的にヤレドの民は約束の地にたどり着けないということ、主ははっきりと示されました。彼らには旅を思いのままに進める力はなく、大なる深みを渡り切る唯一の方法は、主を信頼することでした。こうした経験と、主から個人的に教えを受けることを通して、ヤレドの兄弟の信仰は深まり、主への信頼が強められたのだと思います。

ヤレドの兄弟の祈りが、質問や懸念から、信仰と信頼の表明へと変わったことに注目してください。

「おお、主よ、わたしはあなたが一切の権威をお持ちであり、あなたが人のために望まれることは何でもおできになることを存じています。……

まことに、おお、主よ、あなたにはこれがおできになります。わたしたちはあなたが大なる力を示されることを存じています。その力は人々の理解では小さく見えますが、実は大なるものです。」¹⁵

ヤレドの民はその後、「……船に乗り込み、主なる神に身を託して海に出た」と記されています。¹⁶「託す」とは、信頼して任せる、すなわち委ねるという意味です。ヤレドの民が船に乗り込んだのは、自分たちの旅がどのようなものになるのかがはっきりと分かっていたからではありませんでした。彼

らは主の力と慈しみと憐れみを信頼することを学んでいたからこそ、その身と、心に抱いたかもしれないあらゆる疑いや恐れも主にゆだねて、船に乗り込んだのです。

最近、孫のエイブは、乗り物が上下するメリーゴーランドに乗るのを怖がっていました。動かない方に乗りたかったのです。おばあちゃんが大丈夫だよと説得したところ、エイブは彼女を信頼して乗ってみました。それから、大きな笑みを浮かべて言ったのです。「大丈夫じゃないけど、大丈夫。」恐らく、ヤレドの一行もそのように感じていたかもしれません。神を信頼することは、最初はすべて大丈夫だと思えないかもしれませんが、後に喜びが得られるのです。

ヤレドの民にとって、旅は容易なものではありませんでした。「砕ける山のような波……のために、〔彼らは〕何度も海の深みに沈められました。」¹⁷それでも、「風は一度もやむことなく約束の地に向かって吹き続けた」と記録されています。¹⁸人生において向かい風が強く吹きつけ、海が荒れ狂うときに理解するのは特に難しいものですが、神がその限りない慈しみをもって絶えず天の家に向かって吹く風をわたしたちに送ってくださっていることを知ると、慰めが得られます。

記録は次のように続いています。「彼らは進んで行き、海の怪物も彼らの船を裂くことができず、鯨も彼らの船を害することができなかった。また、海上にあるときも、海



中にあるときも、いつも彼らには光があった。』¹⁹ わたしたちは、死や肉体的、精神的な病、あらゆる種類の試練や苦難の巨大な波が押し寄せる世界に生きています。それでも、イエス・キリストを信じる信仰を持ち、主を信頼することを選ぶとき、わたしたちにも、海上であれ、海中であれ、いつも光があるのです。天の家へと向かって吹く風を送るのを、神は決しておやめにならないと、わたしたちは確信することができます。

ヤレドの民は船の中で波に翻弄されていた間、「主に賛美の歌を歌〔いました〕。……〔彼らは〕一日中主に感謝し、主をほめたたえ〔ました〕。夜になっても、彼らは主をほめたたえるのをやめ〔ませんでした〕。』²⁰ 苦難のただ中であってさえも、彼らは喜びと感謝の念を抱いていました。まだ約束の地には着いていませんでしたが、それでも彼らには主に対する一貫した、打たれても負けない信頼があったので、約束された祝福を喜んでいたのでした。²¹

ヤレドの民は海上を344日間運ばれて行ったのでした。²² 想像できるでしょうか。主を信頼することには主の時期を信頼することが含まれます。人生の嵐をもちこたえるだけの忍耐と耐久力が求められるのです。²³

最終的に、ヤレドの民は「約束の地の海岸に上陸し〔ました〕。彼らは約束の地の海岸に足を踏み下ろすと、地の面にひれ伏して主の前にへりくだり、主が深い憐れみを豊かにかけてくださったことについて、主の前に喜びの涙を流した」のでした。²⁴

交わした聖約に忠実であり続けるならば、わたしたちもいつの日か安全に家にたどり着くでしょう。そして悲しみによってさらに多くの喜びを迎え入れる場所ができたことも含め、人生において主が深い憐れみを豊かにかけてくださったことについて、主の前にひれ伏して喜びの涙を流すことでしょう。²⁵

人生において、自身を主にゆだねて、イエス・キリストとその神聖な目的に、一貫して



打たれても負けない信頼を寄せるとき、主はわたしたちの心に確信と平安を与え、「主によって解放されるという望み」を抱かせてくださることを証します。²⁶

イエスがキリストであられることを証します。主はすべての喜びの源であられます。²⁷ 主の恵みは十分であり、主は救う力を備えておられます。²⁸ 主は世の光、命、そして希望であられます。²⁹ わたしたちが減じるのをお許しにはなりません。³⁰ イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. アルマ 36 : 3 ; 57 : 27 参照
2. アルマ 58 : 11 参照
3. 2 ニーフアイ 2 : 23 - 25 ; 強調付加
4. See *The Mathnawi of Jalalu' ddin Rumi* (1925-40), trans. Reynold A. Nicholson, vol. 5, 132.
5. ラッセル・M・ネルソン「喜び——霊的に生き抜く道」『リアホナ』2016年11月号, 82
6. ニール・A・マックスウェル「望みをもって耕す」『リアホナ』2001年7月号参照：「贖いにおいてイエスは『自分の魂を死に至るまで注』がれました。……わたしたちが時折個人的な願いに魂を『注ぎ』込むと心が空になり、さらに大きな喜びを受ける余裕ができるのです。」
7. アルマ 31 : 38. see also Neal A. Maxwell, "Brim with Joy" (Brigham Young University devotional address, Jan. 23, 1996), speeches.byu.edu : 「奉獻の域に達すると、わたしたちの苦難はキリストによる喜びにのまれてしまいます。それは苦難を経験しないという意味ではな

く、それらへの対処を可能にする観点が与えられるのです。確固として喜びを追い求め、義を増し加えるごとに、わたしたちは一滴、また一滴と喜びのしずくを味わう経験を重ね、ついには、預言者の言葉にあるように、わたしたちの胸は『喜びでいっぱい』になるのです(アルマ 26 : 11)。最後には、心の杯はついにあふれるのです！」

8. ヨハネ 16 : 33
9. エテル 1 : 42
10. エテル 2 : 18 - 19
11. エテル 2 : 22
12. ヨハネ 8 : 12 参照
13. エテル 2 : 19. マルコ 4 : 38 と比較。マルコ 4 : 35 - 41 も参照
14. エテル 2 : 25 ; 強調付加
15. エテル 3 : 4 - 5
16. エテル 6 : 4 ; 強調付加
17. エテル 6 : 6
18. エテル 6 : 8 ; 強調付加。1 ニーフアイ 18 : 8 も参照
19. エテル 6 : 10
20. エテル 6 : 9. 1 ニーフアイ 18 : 16 も参照
21. 1 ニーフアイ 5 : 5 と比較。リーハイはまだ荒野にいたが、約束された祝福について喜んだ。
22. エテル 6 : 11 参照
23. ヘブル 10 : 36 ; アルマ 34 : 41 ; 教義と聖約 24 : 8 ; 64 : 32 参照
24. エテル 6 : 12
25. 1 ニーフアイ 1 : 20 ; 8 : 8 ; アルマ 33 : 16 参照
26. アルマ 58 : 11
27. ラッセル・M・ネルソン「喜び——霊的に生き抜く道」82 参照
28. 2 ニーフアイ 31 : 19 ; アルマ 34 : 18 ; モロナイ 10 : 32 参照
29. 「生けるキリスト——使徒たちの証」『リアホナ』2017年5月号, 内表紙参照
30. 1 ニーフアイ 1 : 14 参照



七十人
ホルヘ・M・アルバラード長老

信仰が試されてから

わたしたちが神の声に聞き従い、神の聖約の道を歩むならば、神は試練の中でわたしたちを強めてくださいます。

わたしが子供だったころ、教会員のフランク・タリーから、わたしの家族が神殿で結び固めを受けられるよう、プエルトリコからソルトレーク・シティまで家族が飛行機で行けるよう助けてくれるという申し出がありました。しかし、すぐに障害が起き始めました。妹のマリビッドが病気になってしまったのです。不確定な状態で、両親はどうすべきか祈り、やはりまだ行くべきだという促しを感じました。両親は、主の促しに忠実に従うとき、家族が見守られ、祝福を受けるということを信頼しました。そしてそうになりました。

わたしたちは人生でどのような障害に遭おうと、信仰をもって歩むとき、イエス・キリ

ストが道を備えてくださるということを信頼することができます。神と交わした聖約に従って生きる人々はすべて、約束されたすべての祝福を神の時にかなって受けると、神は約束してくださっています。ジェフリー・R・ホランド長老は次のように教えています。「祝福はすぐに来ることも、あとから来ることも、また天に召されるまで来ないこともあります。イエス・キリストの福音を頂く人には必ず来ます。」¹

モロナイは、「信仰とは待ち望んでいながらまだ見ていないものである……。あなたがたは自分が見ていないからということで疑ってはならない。信仰が試されてからでなければ、証は得られないからである」²と教えました。

わたしたちは次のように問うことができます。「人生で遭遇する試練に最善に対処するために、わたしたちは何をすべきだろうか。」

教会の大管長として最初の公式声明で、ラッセル・M・ネルソン大管長はこう教えました。「新たな大管長会として、わたしたちは目標を念頭に置いて始めたいと思います。そのために、今日は神殿から皆さんにお話をしているのです。わたしたちの目標とは、主の宮で力を授けられ、家族の結び固めを受け、神殿で交わした聖約に忠実であるよう努力することです。そうすることで、神の最も大いなる賜物、永遠の命を受けるにふさわしくなることができるからです。神殿の

儀式とそこで交わす聖約は、皆さんの生活や夫婦関係、家族をより堅固なものとし、サタンの攻撃に抵抗する能力を高める鍵です。神殿で礼拝し、そこで先祖のために奉仕するとき、皆さんは祝福され、よりいっそうの啓示と平安を受け、聖約の道にとどまるという決意をさらに確固としたものにすることができます。」³

わたしたちが神の声に聞き従い、神の聖約の道を歩むならば、神は試練の中でわたしたちを強めてくださいます。

何年も前の家族の神殿への旅は困難なものでしたが、ユタ州ソルトレーク・シティの神殿に近づくと、喜びと信仰に満ちた母は次のように言いました。「わたしたちは大丈夫よ。主が守ってくださるわ。」わたしたちは家族として結び固められ、妹は快復しました。このことはわたしの両親の信仰が試され、主の促しに従ったときにはじめて起こりました。

このときの両親の模範は、今日に至っても、わたしたちの人生に影響を与えています。両親の模範が、福音の教義が必要な理由をわたしたちに教え、福音がもたらす意味や目的、祝福についてわたしたちが理解する助けとなりました。また、イエス・キリストの福音が必要な理由を理解すると、わたしたちが信仰をもって試練に立ち向かううえで助けとなります。

究極的には、神がわたしたちに行うようにと招き、命じられることはすべて、忠実な人々のためにとっておかれている祝福をお与えになりたいという、神の愛と願いの表れなのです。子供たちが勝手に福音を愛するようになってくれると決めつけることはできません。子供たちを教えるのはわたしたちの責任です。子供たちが選択の自由を賢明に使う方法を学ぶのを助ける際、わたしたちの模範は子供たちが自分で義にかなった選択をするよう鼓舞するものとなります。親の忠実な生き様は、今度は彼らの子供たちが自分で福音の真理を知るうえで助けとなるでしょう。



若い男性、若い女性の皆さん、皆さんに語られる現代の預言者の言葉をよく聞いてください。神から与えられた真理を求め、福音を理解できるよう自ら努めてください。ネルソン大管長は最近次のような勧告をしました。「皆さんはどんな知恵に不足していますか。……預言者ジョセフの模範に従ってください。……静かな場所を見つけてください。神の御前にへりくだってください。天の御父に心を注ぎ出してください。御父に頼って答え……を求めてください。」⁴皆さんが愛する天の御父からの導きを求めたり、生ける預言者の助言に耳を傾けたり、義にかなった両親の模範を観察したりするとき、皆さん自身も家族の信仰の固いつなぎ目になることができます。

聖約の道から外れてしまった子供たちを抱える親の皆さん、彼らのもとへいき、福音の真理を理解できるよう、優しく助けてください。今から始めてください。遅すぎるといことは決してありません。

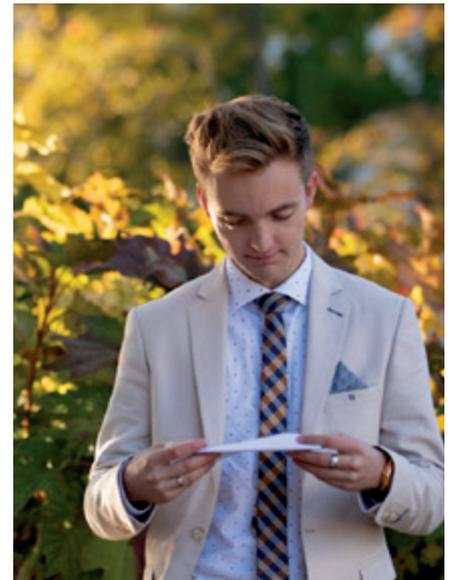
わたしたちの義にかなった生活の模範は、大きな違いを生み出すことでしょ

ウエルソン大管長はこのように述べました。「わたしたち末日聖徒は、『教会』とは集会所で行われることであり、家庭で行うことがそれを支援するものだと考えるようになってきました。この考え方を改める必要があります。今こそ、**教会が家庭を中心としたものに**、そして支部やワード、ステークの建物内で行われることがそれをサポートするようになるべきです。」⁵

聖文では次のように教えています。「子をその行くべき道に従って教えよ、そうすれば年老いても、それを離れることがない。」⁶

また、次のようにも書いています。「ところで、御言葉を説き教えることは民に正しいことを行わせるのに大きな効果があり、まことにそれは、剣やそのほか、これまで民に起こったどのようなことよりも民の心に力強い影響を及ぼしたので、アルマはこの度も神の言葉の力を使うのが望ましいと思った。」⁷

ある女性の話があります。この女性は、息子が甘いものばかり食べることにいら立っていました。彼女がどれほどそのことで小言を言っても、息子は食べ続けるので



す。どうしてもなく、母親は息子が尊敬する賢者のところへ息子を連れて行くことにしました。

彼女は、この賢者に近づき、こう言いました。「先生、わたしの息子はお菓子の食べ過ぎです。やめるように、息子に言っていただけませんか。」

賢者は耳を傾けていましたが、息子にこう言いました。「家へ帰って、2週間たったら戻っておいで。」

母親はどうして子供に甘いものを控えるように言わなかったのだろうかと思ながらも、息子と家に返りました。

2週間後に、二人は戻って来ました。賢者





は、その少年をまっすぐに見つめながら、こう言いました。「君は、糖分を取るのを控えないといけなよ。健康に良くないからね。」

少年はうなずき、そうすると約束しました。

母親は賢者に尋ねました。「なぜ2週間前に息子にそのようにおっしゃらなかったのですか。」

賢者はほほえみながら答えました。「2週間前は、わたし自身がまだたくさん甘いものを取っていたからです。」

この男性はとても高潔な生活をしていたので、自分の勧告は自分がそれに従っているときにのみ説得力を発揮することを知っていました。

わたしたちが子供たちに及ぼす影響は、わたしたちが聖約の道を歩んでいるのを子供たちが目にするとき、より力強いものになります。モルモン書の預言者ヤコブは、そのような義になかった生き方の模範です。ヤコブの息子のエノスは父親の影響について次のように記しました。

「わたしエノスは、父が正しい人であったことを知っている。父はわたしを父の言葉で、また主の薫陶と訓戒によって教えてくれたからである。神の御名がほめたたえられるように。」

……かつてわたしは、父が永遠の命と聖徒たちの喜びについて語るのを度々聞いていたのだが、その父の言葉が、そのときになってわたしの心に深くしみ込んできた。」⁸

若い勇士たちの母親は、福音に従って生

きていたために、その子供たちは確信に満ちていました。彼らの指揮官は次のように報告しました。

「彼らは母親から、疑わなければ神が救ってくださると教わっていたのです。」

そして彼らは、わたしに母親たちの言葉を告げて、『わたしたちは、母たちがそれを知っていたことを疑いません』と言いました。」⁹

エノスと若い勇士たちは両親の信仰によって強められ、自分自身の信仰の試しに立ち向かいました。

現代、わたしたちは、落胆したり、問題が起きたりしたときに引き上げてくれる、回復されたイエス・キリストの福音という祝福にあずかっています。信仰の試しを力強く進むならば、わたしたちの努力は主の時にかなって実を結ぶという確証が得られます。

妻とわたしは最近、地域会長会とともにデビッド・A・ベドナー長老に同行して、ハイチのポルトープランス神殿の奉獻に行つて来ました。一緒に来た息子のホルヘは、そこで自分が経験したことを話してくれました。「お父さん、すごいよ。ベドナー長老が奉獻の祈りをささげ始めたらずぐに、部屋が温かさで光で満たされるのを感じたんだ。その祈りのおかげで、神殿の目的について、自分の理解が深まったよ。そこはほんとうに主の宮だよ。」

モルモン書の中で、ニーファイは、わたしたちが神の御心を知りたいと願うとき、神が

わたしたちを強めてくださると教えています。ニーファイはこう記しました。「わたしニーファイはまだとても若かったが、もう身の丈は高く、また神の奥義を知りたいという大きな望みを抱いていたので、主に叫び求めた。すると見よ、主がわたしを訪れ、心を和らげてくださったので、わたしは、父がこれまでに語った言葉をすべて信じた。そのためにわたしは、兄たちのように父に逆らおうとはしなかったのである。」¹⁰

兄弟姉妹の皆さん、子供たちや周りのすべての人々が神の聖約の道を歩めるよう助けましょう。そうすることで、彼らが御霊により教えられ、心を和らげ、生涯を通じて神に従いたいという望みを抱けるようになります。

わたしの両親の模範についてよく考えると、主イエス・キリストを信じる信仰が、天の家に帰るための道を示してくれることが分かります。わたしは、奇跡は信仰が試された後に来ることを知っています。

イエス・キリストと主の贖いの犠牲について証します。わたしは、イエスがわたしたちの救い主であり、解放者であられることを知っています。わたしたちの天の御父と主は、1820年の春のあの朝、回復の預言者である若きジョセフ・スミスのもとになりました。ラッセル・M・ネルソン大管長は、わたしたちの時代の預言者です。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. ジェフリー・R・ホランド「すでに現れた祝福の大祭司」『リアホナ』2000年1月号、45
2. エテル12:6
3. ラッセル・M・ネルソン「ともに前進するにあたり」『リアホナ』2018年4月号、7
4. ラッセル・M・ネルソン「教会のための啓示、わたしたちの人生のための啓示」『リアホナ』2018年5月号、95
5. ラッセル・M・ネルソン「はじめに」『リアホナ』2018年11月号、7
6. 箴言22:6
7. アルマ31:5
8. エノス1:1、3
9. アルマ56:47-48
10. 1ニーファイ2:16



十二使徒定員会
ロナルド・A・ラズバンド長老

約束と聖約を尊ぶ

わたしは、皆さんが主や人と交わす約束や聖約について深く考えるようお勧めします。約束をきちんと誠実に守るようにしているか考えてください。

愛する兄弟姉妹の皆さん、この部会も終わりに近づいていますが、イエス・キリストの福音が真実であるという、今日述べられた証を一人一人が心に留めることができるよう願っています。わたしたちは恵まれてこの神聖な時間を共有し、わたしたちが主イエス・キリストの僕であり、また主がわたしたちの救い主であられるという、主への約束を強めることができました。

約束や聖約を交わし、それを守ることがどれほど重要であるかについて、わたしは心に深く考えています。約束を守るとは皆さんにとって、どれほど重要でしょうか。また、信頼されること、行うと言ったことを必ず行うこと、神聖な聖約を守るよう努めること、そして、誠実であることについてはどうでしょうか。わたしたちは、主やほかの人の約束を守って生活することで、天の御父のもとに帰るための聖約の道を歩み、また生活の中で御父の愛を感じます。

約束や聖約を交わしそれを守るという点において、救い主イエス・キリストは、わたしたちに大いなる模範を示してくださっています。主がこの地上に来られたのは、御父の御心を行うという約束を果たすためでした。そして、その言葉と行いを通して福音の原則を教えられました。また、わたしたちが再び生きることができるよう、わたしたちの罪

を贖われたのです。主は御自身の御父との約束をすべて守られたのです。

わたしたちはどうでしょうか。もし、少しでもごまかしたり、少しでも手を抜いたり、自分の決意をそれほど守らなかったとしたら、わたしたちにはどんな危険があるのでしょうか。また、聖約に従う道から離れたらどうなるのでしょうか。人はそのような行いを見て、「キリストのもとに来」るのでしょうか。あなたの言葉は信頼に足るものでしょうか。約束を守るとは、単なる習慣ではありません

ん。イエス・キリストの弟子であることを表す特質なのです。

主は現世でのわたしたちの弱さを心に留め、こう約束されました。「元気を出しなさい。恐れてはならない。主なるわたしはあなたがたとともにおり、あなたがたの傍らに立つからである。』¹ わたしは、確信、慰め、さらに深い霊的な洞察や強さを必要とするとき、いつも主がそばにおられるのを感じてきました。わたしは神聖な主とのつながりに対して、心からへりくだる思いを感じ、感謝しています。

主は言われました。「自分の罪を捨て、わたしのもとに来て、わたしの名を呼び、わたしの声に従い、わたしの戒めを守る者は皆、わたしの顔を見て、わたしがいることを知るであろう。』² これは恐らく主の究極の約束と言えるでしょう。

わたしは、約束を守ることの大切さを若いころに学びました。立ち上がって暗唱する「スカウトのちかい」もその一つです。間もなく終わりを告げますが、ボーイスカウトアメリカ連盟と教会との提携は、わたしにとっても教会にとっても、いつまでも大切な遺産となることでしょう。スカウト組織と、熱心に奉仕された多くのスカウト指導者の





皆さんに、そして母親の皆さん（ほんとうの栄誉を受けるのは彼女たちだと思いますが）とスカウトに参加してきた若い男性に対して、感謝の気持ちをお伝えします。

今日のこの部会の中で、わたしたちの愛する預言者ラッセル・M・ネルソン大管長とクエンティン・L・クック長老が、わたしたちの関心を改めて青少年に対して向けさせ、かつ啓示された真理に即した組織にするための変更を発表しました。それに加えて、先週の日曜日には、ネルソン大管長とM・ラッセル・バラード会長が、全世界の教会に向けて、末日聖徒イエス・キリスト教会の子供と青少年のための新しいプログラムについて説明しました。これは、わたしたちの主であり救い主であられるイエス・キリストに焦点を当てようとする世界的な取り組みです。大管長会と十二使徒定員会は、

一致してこの新しい方向に進んでいます。わたしは、主がこれまでのあらゆる段階でわたしたちを導いてこられたことを、個人的に証します。わたしは、教会の子供と青少年のことを思うとうれしくなります。これによって、福音学習、奉仕と活動、そして個人の成長を通じて、家庭と教会の両方で彼らに特別な関心が向けられるからです。

来年2020年のユーステーマは、「行っていく」というニーファイの有名な約束について採り上げています。ニーファイはこう記しています。「わたしニーファイは父に言った。『わたしは行って、主が命じられたことを行います。主が命じられることには、それを成し遂げられるように主によって道が備えられており、それだけでなく、主は何の命令も人の子らに下されないことを承知しているからです。』」³ これは、はるか昔に

語られた言葉ですが、現代の教会のわたしたちも信じている約束です。

「行っていく」とは、世の道よりも高い道を行き、個人の啓示を受けてそれに従って行動を起こし、未来に対して希望と信仰を抱いて義になかった生活を送ることです。また、イエス・キリストに従うという聖約を交わして守り、それによって世の救い主であられる主への愛を深めることです。

聖約とは、わたしたちと主との間で交わされる双方向の約束のことです。わたしたちは、教会員として、バプテスマのときに、イエス・キリストの御名を受け、主のように生きるという聖約を交わしています。モルモンの泉でバプテスマを受けた人々のように、わたしたちは神の民となることを聖約し、「重荷が軽くなるように、互いに重荷を負い合うことを望み、……悲しむ者とともに悲しみ、慰めの要る者を慰めることを望み、……いつでも、どのようなことについても、どのような所においても、……神の証人になることを望んでい」ます。⁴ 教会で互いにミニスタリングをするのは、まさにこれらの約束を尊ぶというわたしたちの決意を表しています。

わたしたちは、聖餐を取るときに、主の御名を受けるといふ聖約を新たにし、加えてよりよい自分になるというさらなる約束も交わしています。日々の思いや行動は、その大小にかかわらず、主への決意の表れなのです。それに対する主の神聖な約束は、「あなたがたは、いつもわたしを覚えているならば、わたしの御霊を受けるであろう」⁵ というものです。

わたしたちは約束や聖約を尊んでいるでしょうか。それとも、そうした約束や聖約は、中途半端な決意で、簡単に破ってしまうことはないでしょうか。だれかに「あなたのために祈ります」と言ったとき、実際にそうしているでしょうか。「助けに行きます」と決意したとき、そうしているでしょうか。借金を払う義務があるとき、そうしているでしょうか。新たに召しを受ける友人を支持するために手を挙げる、つまり支援すると表

明するとき、そうしているでしょうか。

わたしが青少年のころ、ある晩、母は自分のベッドの脇にわたしと一緒に座り、知恵の言葉を守ることの重要性を熱心に話してくれました。母はこう言ったのです。「わたしはこれまで、知恵の言葉を破って御霊を失ったり、心が鈍くなったりした人を見てきたわ。ロニー〔母はわたしのことをこう呼んでいました〕、何があっても知恵の言葉を守ると、今日、約束してほしいの。」わたしの目を見詰める母の言葉が自分の心に刻まれました。わたしは厳かな気持ちで母にそれを約束しました。そして以来ずっと守り続けています。

青少年のときも、その後、社会であらゆるお酒の場に遭遇したときも、その決意はわたしを支え続けてくれました。わたしは、あらかじめ神の律法に従うという決断を下しておいたので、心が揺らぐことはありませんでした。主は言われました。「あなたがたがわたしの言うことを行うとき、主なるわたしはそれに対して義務を負う。しかし、あなたがたがわたしの言うことを行わないと

き、あなたがたは何の約束も受けない。』⁶ 知恵の言葉に従って生きる人々に対して、主は何と言っておられるでしょうか。健康と強さ、知恵と知識、そして天使の守りといった約束を受けるのです。⁷

何年も前のこと、ラズバンド姉妹とわたしは、娘の結び固めに参列するためにソルトレーク神殿へ行きました。わたしたちは、まだ儀式に参加できる年齢に達していない下の娘と一緒に神殿の外に立ちながら、神の聖なる神殿で結び固めを受けることの大切さについて話しました。何年も前、母がわたしに教えてくれたように、わたしたちもその娘にこう言いました。「君にも神殿で無事に結び固められてほしい。永遠の伴侶となる相手を見つけたら、神殿へと至るお付き合いをし、結び固めを受けると約束してほしいんだ。」娘はそのように約束しました。

以来、娘はあのかのときの会話と約束に守られて、「何が最も大切なのか」を忘れずにいることができたと話してくれます。後に彼女は神殿で伴侶と結び固められ、神聖な聖約を交わしました。



ネルソン大管長はこう教えました。「……神聖な聖約を交わし、その聖約を厳密に守るなら、救い主の力をいっそう受けて生活できるようになります。聖約によって主とつながり、神性の力を受けることができます。』⁸

わたしたちが互いに約束を守り合うなら、主との約束をもっとたやすく守ることができるようになります。主の言葉を思い出してください。「わたしの兄弟であるこれらの最も小さい者のひとりにしたのは、すなわち、わたしにしたのである。』⁹

聖文の中から様々な約束の例を、一緒に見ていきましょう。モルモン書に登場するアンモンとモーサヤの息子たちは、「神の言葉を宣べ伝えよう!」¹⁰ 決意します。アンモ





ンがレーマン人の兵に捕らえられて、ラモーナイ王の前に連れて行かれたとき、アンモンは王にこう宣言します。「わたしは王の僕になりたいのです。」¹¹ 侵入者たちが王の羊を盗みに来たとき、アンモンは彼らの腕を切り落としました。王は非常に驚き、アンモンの語る福音の教えに耳を傾け、改宗しました。

旧約聖書に登場するルツは、しゅうとめに向かい、「わたしはあなたの行かれる所へ行き……ます」¹² と約束しました。そして、その約束を守り通したのです。新約聖書のたとえ話に出てくる良いサマリヤ人は、宿屋の主人に対して、傷を負った旅人の介抱を依頼したうえで、「費用がよけいにかかったら、帰りがけに、わたしが支払います」¹³ と約束しました。ゾーラムは、モルモン書の中で、ニーファイや兄たちと一緒に荒れ野へ行くと約束します。ニーファイはこう

記述しています。「ゾーラムがわたしたちに誓ったので、彼についての心配はなくなりました。」¹⁴

聖文に書かれている「子孫の心はその先祖に向かうであろう」¹⁵ といった、「先祖に与えられた」古代の約束はどうでしょうか。前世において、わたしたちが神の計画を選んだとき、幕の両側でイスラエルの集合を助けると約束しました。何年も前に、ジョン・A・ウィッツォー長老は、こう説明しました。「わたしたちは主と協力関係を結んだのである。それ以降、この計画を実行することは、御父と救い主のみの業なのではなく、わたしたちの務めでもある。」¹⁶

ネルソン大管長は、世界中を旅しながら、このように述べています。「この集合は、今日地上で行われていることの中で最も重要な事柄です。」「集合について話すとき、わたしたちは次の基本的な真理について述べて

います。すなわち、幕の両側にいるすべての天の御父の子供たちは、回復されたイエス・キリストの福音を聞くに値する存在なのです。」¹⁷

主イエス・キリストの使徒として、最後に勧めと約束を伝えます。まずは、勧めです。わたしは、皆さんが主や人と交わす約束や聖約について深く考えるようお勧めします。約束をきちんと誠実に守るようにしているか考えてください。次に約束です。これを行おうとする皆さんが、自分の人生や自分の家族、そして末日聖徒イエス・キリスト教会を築くためにたゆまず勤勉に努力を続けるとき、主は皆さんの言葉の実現に力を添え、皆さんの行いを認めてくださいます。愛する兄弟姉妹の皆さん、主は皆さんとともにおられます。皆さんは、「天に迎えられ、終わりのない幸福な状態で神とともに住める」日を自信をもって待ち望むことができます。それは「主なる神がこれを言われたから」¹⁸です。

このことをイエス・キリストの御名により証し、約束します、アーメン。■

注

1. 教義と聖約 68 : 6
2. 教義と聖約 93 : 1
3. 1 ニーファイ 3 : 7
4. モーサヤ 18 : 8 - 9
5. 3 ニーファイ 18 : 7
6. 教義と聖約 82 : 10
7. 教義と聖約 89 : 18 - 21 参照
8. ラッセル・M・ネルソン「イエス・キリストの力を生活に取り入れる」『リアホナ』2017年5月号、41
9. マタイ 25 : 40
10. アルマ 17 : 14
11. アルマ 17 : 25
12. ルツ 1 : 16
13. ルカ 10 : 35
14. 1 ニーファイ 4 : 37
15. 教義と聖約 2 : 2。教義と聖約 27 : 9; 128 : 17; ジョセフ・スミス——歴史 1 : 39 も参照
16. John A. Widtsoe, "The Worth of Souls," *Utah Genealogical and Historical Magazine*, Oct. 1934, 189.
17. ラッセル・M・ネルソン「シオンのつわもの」(ワールドワイド・ユース・ディボーションナル、2018年6月3日) HopeOfIsrael.ChurchofJesusChrist.org, 8 参照
18. モーサヤ 2 : 41



中央女性部会 | 2019年10月5日

中央扶助協会会長会第二顧問
レイナ・I・アブルト

曇りの時も晴れの時も、 主よ、われと共におり たまえ

「曇りの時も晴れの時も」主がともにおられ、わたしたちの「苦難」は「キリストの喜びにのまれてしまう」ことを証します。

大好きな賛美歌の一つに、次のような懇願が歌われています。「[曇りの時も晴れの時も] われと共におりたまえ」¹ わたしが飛行機に乗っていたときに、大きな嵐に近づいたことがありました。窓から外を見ると、下には濃い雲が毛布のように広がっていました。沈みかけた太陽の光は雲に反射して、眩しく輝いていました。すぐに、飛行機はその厚い雲の中を下って行き、急に深い暗闇に包まれたわたしたちは、少し前に見た眩い光をすっかり忘れてしまいました。²

わたしたちの生活の中にも暗雲が立ち込め、神の光を見えなくさせ、光は今も自分のために存在しているのかという疑問を生じさせることがあるかもしれません。落胆や不安、その他の精神的・情緒的苦痛がその雲になっていることもあります。それは、自分自身やほかの人に対する、また神に対する受け止め方さえも歪めることがあります。世界中のあらゆる年齢の男女に影響を与えます。

同じように、懐疑的であるという雲は、それらの問題に直面していない人たちに

影響を及ぼし、思いを鈍らせ、負の影響をもたらします。体のほかの部分と同じように、脳も病気になったり、傷を負ったり、化学的不均衡になることがあります。心が苦しんでいるとき、神に、周りの人に、そして医療とメンタルヘルスの専門家に助けを求めるのは適切なことです。

「すべての人は、男性も女性も、神の形に創造されています。人は皆、天の両親から愛されている霊の息子、娘です。……

人は皆、神の属性と神聖な行く末とを受け継いでいます。」³ わたしたちは、天の両親や救い主と同じように肉体を持っており、⁴ 感情を経験します。⁵

愛する姉妹の皆さん、たまに悲しくなったり、心配になったりするのは普通のことです。悲しみや不安、怒りは、人間の自然な感情です。⁶ しかし、常に悲しかったり、苦悩により天父や御子の愛と聖霊の影響を感じられない場合、うつ病や不安神経症、またはその他の情緒的状态によるものかもしれません。

娘がかつてこのように書きました。「いつもすごく悲しい気持ちの……時がありました。ずっと悲しみは恥ずべきもので、弱さのしるしだと思っていました。だから悲しみを自分の中に閉じ込めておきました。……まったく価値のない人間に感じました。」⁷

友人はこのように表現しました。「子供のころから、絶望や暗闇、孤独、恐れ、そして自分は壊れた欠陥品であるという気持ちと、常に闘ってきました。自分の苦しみを隠し、前進し続ける強い人間だという印象だけを与えるように努めました。」⁸

親愛なる友人の皆さん、これはだれにでも起こり得ます。特に、幸福の計画を信じる者として、今完全でなければと考え、不要な重荷を負うときにそうなるのです。





そのような考えは、わたしたちを圧倒させます。完全になるということは、わたしたちが現世とその後の世を経て遂げるのであり、イエス・キリストの恵みによってのみ得られるものです。⁹

対照的に、自分が完全でないことを認め、自分が経験している情緒的な問題について打ち明けるならば、ほかの人が自分の苦闘について分かち合うきっかけを与えます。希望があることにともに気づき、一人で悩まなくてよいのです。¹⁰

わたしたちはイエス・キリストの弟子として、「互いに重荷を負い合うことを望み」、「悲しむ者とともに悲し〔む〕」という聖約を神と交わしました。¹¹これには、情緒的疾患に関する知識を得ることや、その苦闘に対処するためのリソースを見つけること、最終的に自分やほかの人を偉大な癒し主キリストのもとへと連れて行くことが含まれるかもしれません。¹²ほかの人が経験していることを実感できなくても、その苦痛が現実のものであるということを知ることは、理解と癒しを見つけるための重要な最初の一步になります。¹³

うつ病や不安神経症の原因を突き止められることもあります。それが難しい場合もあります。¹⁴脳は、ストレスや¹⁵極度の疲労¹⁶によって苦しめられている場合があります。食生活や睡眠、運動を調整するこ

とで改善できることもあります。ほかにも、訓練を受けた専門家の下でのセラピーや投薬治療が必要な場合もあるかもしれません。

精神的、または情緒的疾患を放置することで、孤独感や誤解、人間関係の破綻、自傷、そして自殺までもが増えることに繋がります。何年も前にわたしの父が自殺をしたので、実体験を通してそのことを知っています。父の死は家族皆にとってショックで悲痛な経験でした。悲しみと何年も向き合ってきて、つい最近、適切な方法で自殺について話すならば、自殺へと向かわせてしまうのではなく、実際には防ぐ助けになることを学びました。¹⁷今では父の死について子供たちと率直に話し合い、救い主が幕のどちら側にいる人たちにも与えることができる癒しを目にしています。¹⁸

悲しいことですが、重いうつに悩む人々は仲間である聖徒たちから自分自身を遠ざけようとします。自分で作った架空の型に自分をはまらないと感じているからです。わたしたちは、彼らが自分も実際に仲間であるということを知り、感じるように助けることができます。うつ病は弱さが故に患うものではなく、通常罪の結果として起きることでもないということを、認識することは大切です。¹⁹それは、「秘密主

義の中では成長しますが、共感の中では縮んでいきます。」²⁰ 一緒ならば、孤独と汚名の雲を突き破り、恥という重荷を持ち上げて癒しの奇跡を起こせるのです。

イエス・キリストは現世での教導の業の間、病人と悩める人を癒しましたが、癒された一人一人が主への信仰を働かせ、癒しを受けるために行動を起こす必要がありました。癒されるために、ある人たちは長い距離を歩き、ある人たちは手を伸ばして主の衣に触れ、またある人たちは主のもとに運ばなければなりません。主からの癒しは、わたしたち皆が必要なものではないでしょうか。「わたしたちは皆、物乞いではない〔でしょう〕か。」²²

救い主が歩まれた道に従い、思いやりを深め、人を裁く傾向を減らし、ほかの人の霊性の検査官であるのをやめましょう。愛を持って耳を傾けることは、わたしたちが与えることのできる最高の贈り物です。そうするときに、愛する人や友人を抑圧している重い雲を運んだり、持ち上げたりする手助けができるかもしれません。²³それによって、わたしたちの愛を通して、再び彼らは聖霊を感じ、イエス・キリストから発せられる光に気づくことができるのです。

もしあなたが「暗黒の霧」に常に囲まれているならば、²⁴ 天の御父に頼ってください。あなたが経験したどのような事柄も、あなたが天の御父の子供であって御父に愛されているという永遠の真理を変えることはできません。²⁵ キリストはあなたの救い主、贖い主であり、神はあなたの父であるということ覚えていてください。御二方は分かっているに違いありません。御二方があなたの近くにおられ、耳を傾け、助けを申し出てくださいしている様子を想像してください。²⁶ 「〔御二方〕は苦難のときにあなたがたを慰めてくださいます。』」²⁷ 自分ができるとして行い、主の贖いの恵みに頼ってください。

苦闘は、あなたを定義づけるものではなく、あなたを精錬するものです。²⁸「肉体に一つのとげが与えられた」ために、²⁹ほかの人に対してさらに思いやりをもつことができるのかもしれませんが。聖霊の導きに従って、「弱い者を助け、垂れている手を挙げ、弱くなったひざを強め〔る〕」ために、あなた自身のことを分かち合ってください。³⁰

現在思い悩んでいる人や、そのような人をサポートする側にいる人は、主の御霊が常にともにあるように、進んで神の戒めに従いましょう。³¹「小さな、簡単なこと」をしましょう。³²それが霊的な強さを与えてくれます。ラッセル・M・ネルソン大管長は言いました。「天を開くために何よりも強力な組み合わせは、清さを増すこと、完全に従順であること、熱心に求めること、モルモン書に記されたキリストの御言葉を日々味わうこと、そして神殿・家族歴史活動に一定の時間を割くことです。」³³

わたしたちの救い主イエス・キリストが、「肉において御自分の心が憐れみで満たされるように、……〔わたしたちの〕弱さに応じてどのように救うかを……知ることができるように、〔わたしたちの〕弱さを

御自分に受けられ〔た〕」ということを感じておきましょう。³⁴主は、「心のいためる者をいやし、……すべての悲しむ者を慰め、……灰にかえて冠を与え、悲しみにかえて喜びの油を与え、憂いの心にかえて、さんびの衣を与えさせるため」に來られたのです。³⁵

「曇りの時も晴れの時も」主がともにおられ、わたしたちの「苦難」は「キリストの喜びにのみれ〔得る〕」こと、³⁶また、「私たちが自分の行えることをすべて行った後に、神の恵みによって救われる」こと³⁷を証します。イエス・キリストが、「翼には、いやす力を備えて」再び地球に來られること³⁸を証します。最終的に、キリストは、「〔わたしたちの〕目から涙を全くぬぐいとって下さ〔います〕。もはや……悲しみも……〔なくなる〕」のです。³⁹「キリストのもとに來て、キリストによって完全にな〔る〕」すべての人にとって、⁴⁰「太陽は再び没〔することはありません。〕……主がとこしえに〔わたしたちの〕光となり、〔わたしたちの〕悲しみの日が終わる〔からです。〕」⁴¹ イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. 「日は暮れ」『賛美歌』92番。〔訳注——英語の賛美歌を和訳すると「曇りの時も晴れの時も、主よ、われと共におりたまえ」〕
2. 雲の上にいると、わずか数フィート下に広がる暗闇を思い描くことができず、下の暗闇に囲まれていると、わずか数フィート上で輝く太陽の光を思い描くことができない。
3. 「家族——世界への宣言」『リアホナ』2017年5月号、145参照
4. 「霊と体が人を成す。」(教義と聖約88:15)「あなたの体はあなたの霊の宮……です。そして、体の使い方が霊に影響を及ぼします。」(ラッセル・M・ネルソン「永遠のための決断」『リアホナ』2013年11月号、107)
5. 例として、イザヤ65:19; ルカ7:13:3 ニーファイ17:6-7; モーセ7:28参照。自分の感情を認識して尊重することを学ぶことで、救い主イエス・キリストのようになるために建設的に使うことができる。
6. See "Sadness and Depression," kidshealth.org/en/kids/depression.html.
7. Hermana Elena Aburto blog, hermanaelenaaburto.blogspot.com/2015/08. 彼女はまた

次のようにも書いている。「その試練は、救いの計画に対するわたしの信仰を真に行使するチャンスを与えてくれました。天のお父様がわたしを愛し、わたしだけのための計画を用意してくださっていること、そしてわたしの経験していることをキリストが完全に理解してくださっていることを知っていたからです。」またこう書いている。「わたしにスキルが足りていないからと、それを恥じ入らせることを神様はなさいません。天父はあなたが進歩し、悔い改められるように助けることを喜びとされています。一度にすべてを変えようとしておられません。一人でそれを行う必要はないのです。」(iwillhealthee.blogspot.com/2018/09)

8. ブログ。彼女は次のようにも書いている。「救い主の贖罪という癒しの香油は、わたしの旅路において常に平安の源であり、避け所となってきました。苦悩の中で孤独を感じるとき、わたしが経験していることと同じことを主はわたしのためにすでに経験されたということ思い出しました。……現世での〔苦悩〕が自分の将来の完全な復活体を苦しめることはないと知っているのも、大きな希望を感じます。」
9. ラッセル・M・ネルソン「完成への道」『聖徒の道』1996年1月号、95-98; ジェフリー・R・ホランド「それだから、あなたがたもいずれ完全な者となりなさい」『リアホナ』2017年11月号、40-42; J・デビン・コーニッシュ「わたしは十分に善良でしょうか」『わたしにできるでしょうか』『リアホナ』2016年11月号、32-34; Cecil O. Samuelson, "What Does It Mean to Be Perfect?" New Era, Jan. 2006, 10-13参照
10. 子供や家族、友人とともに、家庭やワード、地域においてこれらのごちについて話し合うことは大切です。
11. モーサヤ18:8-9
12. ラッセル・M・ネルソン「イエス・キリスト——偉大な癒し主」『リアホナ』2005年11月号、85-88; キャロル・M・スティーブズ「癒し手であられる主」『リアホナ』2016年11月号、9-12参照
13. 自分やほかの人に見られる兆候や症状を認識する方法を知っておくことは役に立つ。不正確または不健全な思考パターンを見抜き、より正確で健全な思考パターンに置き換える方法を学ぶこともできる。
14. 子供の誕生や新しい仕事など、前向きな生活の変化によってうつ病が発症することもあり、生活が好調であっても起こりうる。
15. 「ストレスを理解する」『宣教師の生活に適應する』5-10参照
16. ジェフリー・R・ホランド「破れた器のように」『リアホナ』2013年11月号、40-42
17. Dale G. Renlund, "Understanding Suicide" (video), ChurchofJesusChrist.org; "Talking about Suicide" (video), ChurchofJesusChrist.org; 下川健一「自殺について理解する——サインと予防」『リアホナ』2016年10月号、19-23参照
18. 「癒しを受けるにはまず、天の御父はあなたを





中央初等協会会長会第一顧問
リサ・L・ハークネス

主の御名を尊ぶ

愛し、癒しの手段を与えておられるという不変の事実に対して幼子のような信仰を持つことが必要です。御父の愛子イエス・キリストはその癒しをもたらすために命をささげられました。しかし、魔法のような解決法や即効薬があるわけではなく、完治する近道があるわけでもありません。治療するにはイエス・キリストと、人を救うその無限の力に対する強い信仰が求められます。」(リチャード・G・スコット「虐待の傷を癒す」『リアホナ』2008年5月号、41-42) 問題があると、わたしたちはそれを修正しようとする。しかし、自分一人だけが自分やほかの人の修理工になる必要はない。何もかも自分一人ですることはない。困難なときにセラピストの助けを受けたことが、わたしは人生で一度ならずある。

19. ヨハネ 9:1-7
20. Jane Claydon Johnson, *Silent Souls Weeping* (2018), 197.
21. マタイ 9:2-7, 20-22; 14:35-36; マルコ 1:40-42; 2:3-5; 3 ニーファイ 17:6-7 参照
22. モーサヤ 4:19. ジェフリー・R・ホランド「わたしたちは皆、物乞いではないだろうか」『リアホナ』2014年11月号、40-42も参照
23. ローマ 2:19; 13:12 参照。see also Jeffrey R. Holland, "Come unto Me" (Brigham Young University devotional, Mar. 2, 1997), speeches.byu.edu.
24. 1 ニーファイ 8:23. 1 ニーファイ 12:4, 17; 3 ニーファイ 8:22も参照
25. 詩編 82:6; ローマ 8:16-18; 教義と聖約 24:1; 76:24; モーセ 1:1-39 参照
26. 『宣教師の生活に適應する』20 参照。ミカ 7:8; マタイ 4:16; ルカ 1:78-79; ヨハネ 8:12も参照
27. モルモン書ヤコブ 3:1. エペソ 5:8; コロサイ 1:10-14; モーサヤ 24:13-14; アルマ 38:5も参照。自分の祝福師の祝福を読むか、神権の祝福をもらい、天父がいかにか自分を愛し、祝福したいと望んでおられるかを聞き、思い出せるようにする。
28. 2 コリント 4:16-18; 教義と聖約 121:7-8, 33; 122:5-9 参照
29. 2 コリント 12:7
30. 教義と聖約 81:5. イザヤ 35:3も参照
31. モロナイ 4:3; 教義と聖約 20:77 参照
32. アルマ 37:6
33. ラッセル・M・ネルソン「教会のための啓示、わたしたちの人生のための啓示」『リアホナ』2018年5月号、95
34. アルマ 7:12. イザヤ 53:4; 2 ニーファイ 9:21; モーサヤ 14:4も参照
35. イザヤ 61:1-3. ルカ 4:18も参照
36. アルマ 31:38. アルマ 32:43; 33:23も参照
37. 2 ニーファイ 25:23
38. マラキ 4:2; 3 ニーファイ 25:2
39. 黙示 21:4
40. モロナイ 10:32
41. イザヤ 60:20

聖約によるアイデンティティーと帰属意識をもって、わたしたちはイエス・キリストの御名によって呼ばれます。

親は子の誕生を楽しみに待つとともに、新しく生まれる子の名前を決めるという責任があります。何世代にもわたって家族に受け継がれた名前をもらったという人もいれば、生まれた年に、その地域で人気だった名前をもらったという人もいます。

預言者ヒラマンとその妻は、幼い息子ニーファイとリーハイに意義深い先祖の名前を与えました。ヒラマンは後に息子たちにこう述べています。

「わたしは、……わたしたちの最初の先祖の名を、あなたたちに付けた。……あなたたちが自分の名を思うときに先祖を思い

起こせるように、そして先祖を思い起こすときに先祖の行いを思い起こせるように、……先祖の行いが善かったことが……言い伝えられ、書き記されているか分かるようにするためである。」

「わが子らよ、あなたたちは……善いことをしてもらいたい。」¹

ニーファイとリーハイの名前は、彼らが先祖の善い行いを覚えておけるよう助けるだけでなく、彼らが善いことを行う励みにもなりました。

姉妹の皆さん、どこに住んでいようと、どの言語を話そうと、8歳あるいは108歳であろうと、わたしたちは皆そのような同



じ目的を持った特別な名前を共有しています。

「キリストに合うバプテスマを受けた〔わたしたち〕は、皆キリストを着たのである……〔わたしたち〕は皆、キリスト・イエスにあって一つだからである。」²

末日聖徒イエス・キリスト教会の会員として、「キリストの御名を進んで受けると初めて約束する聖約は、バプテスマの儀式〔で〕す。」³この聖約を通して、わたしたちはいつも主を覚え、主の戒めを守り、人に仕えることを約束しました。この聖約を守る意志は、わたしたちが安息日ごとに聖餐を受け、「新しいのちに生きる」ことの祝福からもたらされる喜びを再び味わうときに更新されます。⁴

生まれたときに与えられた名前は、わたしたち個々のアイデンティティーを象徴し、地上の家族に属していると感じさせてくれます。しかし、バプテスマを受け「新しく生まれた」とき、わたしたちがだれであるかという理解は深まりました。「あなたがたが交わした聖約のために、あなたがたはキリストの子と呼ばれ〔る。〕……見よ、それは、……キリストが霊的にあなたがたを子としてもうけられたからである。あなたがたは、キリストの御名を信じて心が改まったと言う。だから、あなたがたはキリストから生まれ……たのである。」⁵

従って、聖約によるアイデンティティーと帰属意識をもって、わたしたちはイエス・キリストの御名によって呼ばれます。「全能の主であるキリストの御名のほか、またその御名を通じてでなければ、どのような名も道も方法も、人の子らに救いをもたらすことはできない。」⁶

キリストの名は、降誕のはるか昔から知られていました。天使はベニヤミン王にこう預言しました。「そしてこの御方は、イエス・キリスト、神の御子……と呼ばれ、……母はマリヤと呼ばれる。」⁷また、アダムとエバの時代から今日に至るまで、地上に福音があるときはいつでも、主の業であ



る「贖いをもたらす愛」⁸についても神の子供たちに明らかにされてきました。それは、彼らが「どこに罪の赦しを求めればよいかを」知るためです。⁹

去年、ラッセル・M・ネルソン大管長は、「散らされたイスラエルの集合を助けて未来を形作〔る〕」よう、預言者として姉妹の皆さんにお願いをしました。大管長は、モルモン書を読み「救い主について述べているすべての節に印を付ける」よう招きました。そして「〔わたしたちの〕家族や友達とともに、意識的にキリストのことを話し、キリストのことを喜び、キリストのことを宣べ伝え〔る〕」よう求めました。恐らく「皆さんも彼らも、救い主に近づき……そして、変化が起こり、奇跡さえも起こり始めるでしょう」というネルソン大管長の約束の実に気付き始めているころでしょう。¹⁰

わたしたちが大勢の中にいようと、自分の行いが神以外のだれにも知られない寂しい所にいようと、救い主をいつも覚えるという約束は、真理と義を守る上で強さを与えてくれます。救い主を覚え、わたしたちが受けている主の御名を覚えているとき、自分を傷つける比較や威圧的な判断に余地を与えません。救い主に目を向けると

き、わたしたちは自分の真の姿、神の大切な子供であるということが分かるのです。

覚えておくという聖約を守るときに、この世的な心配はなくなり、自信のなさは勇氣に変わり、試練の時にも希望を持つことができます。

聖約の道を歩みながら進歩していく中でつまづいて倒れるときも、救い主の御名と、わたしたちに対する主の愛にあふれた優しさを思い起こすだけでいいのです。「神は、一切の権威とあらゆる知恵、あらゆる理解を備えておられる。神はすべてのことを悟っておられる。神は憐れみ深い御方であり、悔い改めて神の御名を信じる人々に……与えてくださる。」¹¹間違いなく、打ち砕かれた心と悔いる霊をもって「もっと良いことを行い、もっと良い人になる」よう努めているすべての人にとって、イエスの名前ほど心地良い音はないでしょう。¹²

ネルソン大管長はこう教えています。「ひっそりと安楽に過ごすクリスチャンでいる日々は過去のものとなりました。皆さんの宗教が求めているのは、日曜日に教会に出席することだけではありません。日曜日の朝からその週の土曜日の夜まで



の7日間にわたって、毎日24時間真の弟子として過ごすことなのです。……主イエス・キリストの弟子にパートタイムの弟子などいません。』¹³

進んでキリストの御名を受けるといふのは、正式に言葉を交わす以上の意味があります。受動的に交わす約束でも、表面的に作り上げられたものでもありません。通過儀礼でもなければ、付ける名札でもありません。棚に置いたり、壁に掛ける格言でもありません。救い主の御名は、「着る」¹⁴ものであり、わたしたちの心に書かれ、「[わたしたちの] 顔に刻まれる」ものです。¹⁵

わたしたちは自分の思いと行い、人とのかわりの中で、救い主の贖いの犠牲をいつも覚えておかなければなりません。主はわたしたちの名前だけではなく、常にわたしたちのことを覚えていてくださいます。救い主は次のように述べられました。

「女が乳飲み子を忘れ、自分の産んだ子を哀れまないことがあろうか。まことに、たとえ女たちが忘れようとも、おお、イスラエルの家よ、わたしはあなたを忘れない。

見よ、わたしはあなたを、わたしの手のひらに彫り刻んだ。』¹⁶

ジョージ・アルバート・スミス大管長は、このように教えられました。「自分が受け継いだ名前を尊びなさい。なぜなら、その名前であなかが何を行ってきたかをいつか天の御父に報告する特権と義務があ

るからです。』¹⁷

慎重に選ばれた名前の持ち主であったニーファイやリーハイのように、わたしたちも主イエス・キリストの真の弟子と言いつたえられ、書き記されるでしょうか。進んで御名を受けるといふほどイエス・キリストの御名を尊んでいるでしょうか。主の愛あふれた優しさと贖いの力を「あかしし、……伝える」¹⁸人となっているでしょうか。

つい先日、わたしはモルモン書を聞いていました。2ニーファイの最終章で、ニーファイが言った言葉が今まで読解したことのない方法で聞こえてきました。記録の至る所で、ニーファイは「贖い主」、「イスラエルの聖者」、「神の子羊」、「メシヤ」について教え、証してきました。しかし、ニーファイが記録を終える際、こう言っているのが聞こえました。「わたしは率直さに誇りを感じ、真理に誇りを感じる。また、イエスがわたしを……贖ってくださったので、わたしはイエスを誇りとする。」¹⁹これらの言葉を聞いたとき、わたしの心は喜び、何度も聞き返しました。自分の名前に気づき、こたえるのと同様に、その節にも同じように気づき、反応しました。

主はこのように言いました。「まことに、喜んでわたしの名を受けるといふ民は幸いである。わたしの名によって彼らは呼ばれるからである。彼らはわたしのものである。』²⁰

末日聖徒イエス・キリスト教会の会員として、愛と献身と善い行いをもって主の御名を尊ぶことにより、「喜んでキリストの御名を受けるといふ」²¹ことができますように。救い主が「神の子羊、まことに永遠の父なる神の御子」²²であられることを証します。聖なる御子イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. ヒラマン5:6-7
2. ガラテヤ3:27-28
3. D・トッド・クリストファーソン「聖約の力」『リアホナ』2009年5月号、20-21
4. ローマ6:4
5. モーサヤ5:7
6. モーサヤ3:17
7. モーサヤ3:8
8. アルマ26:13
9. 2ニーファイ25:26
10. ラッセル・M・ネルソン「イスラエルの集合への姉妹の参加」『リアホナ』2018年11月号、69-70
11. アルマ26:35
12. ラッセル・M・ネルソン「行いを改善し、より良くなれます」『リアホナ』2019年5月号、68
13. Russell M. Nelson, "Disciples of Jesus Christ — Defenders of Marriage" (Brigham Young University commencement, Aug. 14, 2014), 3, speeches.byu.edu.
14. ガラテヤ3:27
15. アルマ5:19
16. 1ニーファイ21:15-16
17. George Albert Smith, "Your Good Name," *Improvement Era*, Mar. 1947, 139.
18. 使徒26:16
19. 2ニーファイ33:6:強調付加
20. モーサヤ26:18
21. アルマ46:15
22. 1ニーファイ11:21



末日聖徒イエス・キリスト教会の中央幹部と中央役員

大管長会



第一顧問
ダリン・H・オークス



大管長
ラッセル・M・ネルソン



第二顧問
ヘンリー・B・アイング

十二使徒定員会



M・ラッセル・バラード



ジェアリー・R・ホランド



ディーター・F・ウークトドルフ



デビッド・A・ベドナー



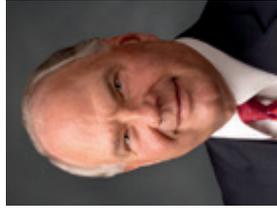
クエンティン・L・クック



D・トッド・クリストファースン



ニール・L・アンダーセン



ロナルド・A・ラズバンド



ゲアリー・E・ステイブンスン



テール・G・レンランド



ゲレット・W・ゴング



ウリセス・ソアレス

七十人会長会



L・ハイット・ミラー



ブレント・L・ニールソン



カール・B・クック



ロバート・C・テイ



トマス・M・ベンソン

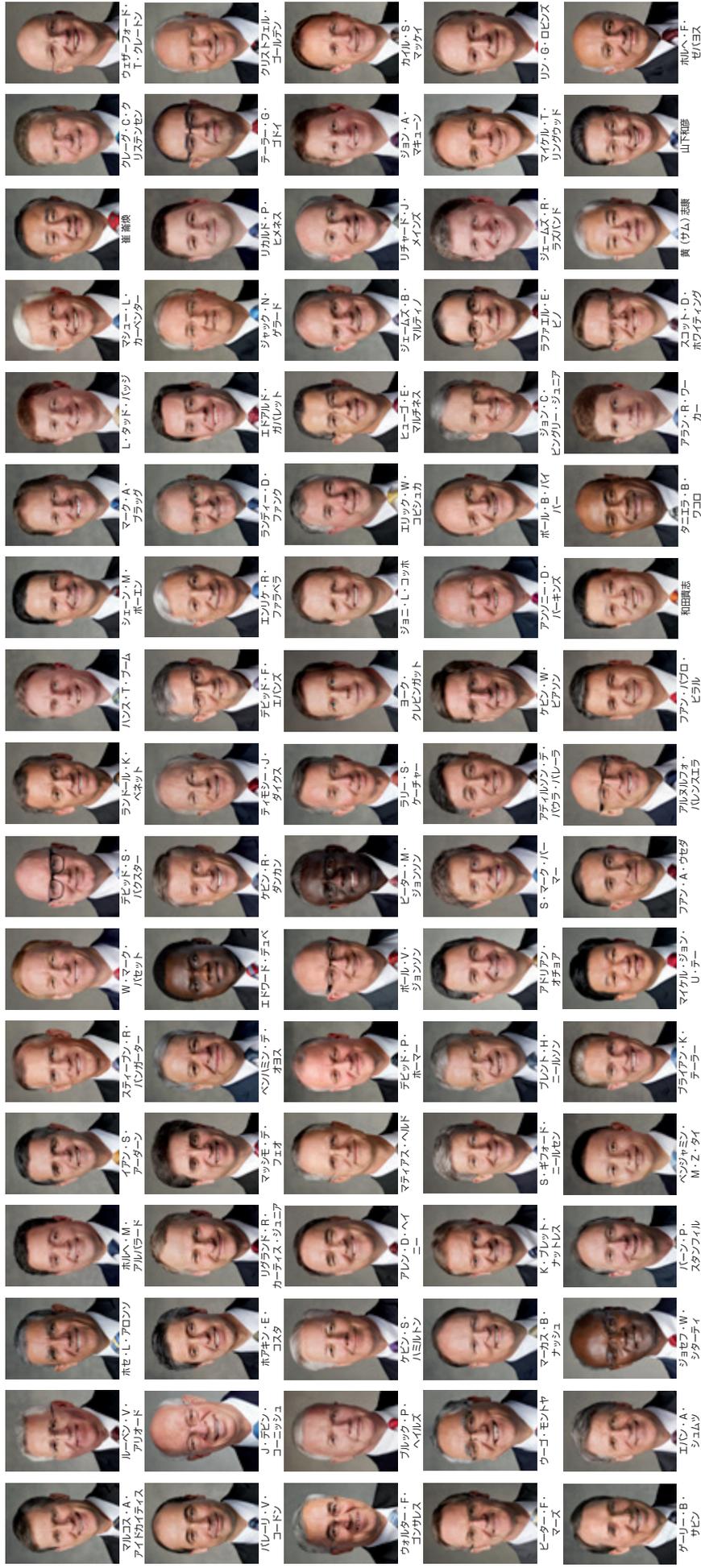


ジョセフ・A・テイセラ

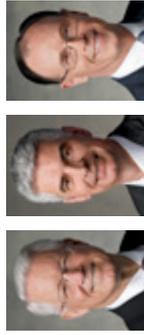


カロス・A・ゴット

中央幹部七十人
(アルファベット順)



管理ビショッププリック



第一副関
ジョン・M・
テイビス

管理ビショップ
シエラ・D・
コレー

第二副関
W・クリス・
ワラル

中央役員



日曜学校

若い女性

扶助協会

若い男性

初等協会

若手役員

第一副関

第二副関

会長

第一副関

第二副関





中央若い女性会長
ボニー・H・コードン

愛されている娘たち

わたしたちが若い女性の組織において行うあらゆることは、皆さんが主イエス・キリストを信じる揺るぎない信仰を得られるように助けたいという望みが中心となっています。

愛する姉妹の皆さんとともに集えてうれしく思います。わたしたちは、霊を成長させ、鼓舞する啓示が次々と注がれるのを目の当たりにしています。

まずはじめに、皆さんに何人かの友人を紹介したいと思います。才能も文化も、個人や家族の状況も異なる若い女性たちです。皆さんと同じように、彼女たちはわたしの心をとらえました。

まず、ベラです。ベラは、アイスランドの支部で唯一の若い女性として固く立っています。

次に、アフリカ出身の献身的なジョセフィン、毎日モルモン書を研究するという決意を新たにしました。このシンプルかつ信仰深い行いからもたらされる力と祝福を理解しています。

最後に、わたしの愛する友人のアシュティンは6年にわたるガンとの闘病の末亡くなった、並外れた若い女性です。イエス・キリストの贖罪に対する彼女の強い証は、今もわたしの心に響いています。

皆さんは全員、卓越した若い女性です。それぞれ異なる賜物と経験を持つ唯一無二の存在でありながら、皆さんには重要かつ永遠の類似点もあります。

皆さんは文字どおり、天の両親の霊の娘であり、どんなものも、天の両親と救い主の愛から皆さんを引き離すことはでき

ません。¹皆さんが主に近づくとき、たとえそれがほんの小さな一歩であっても、救い主イエス・キリストの忠実な弟子として、皆さんの心に永続する平安がとどまることに気づくでしょう。

靈感された変更事項を発表するよう、わたしたちの愛する預言者であるラッセル・M・ネルソン大管長より依頼を受けています。皆さんが「神聖な個人の可能性を育[み]」²、義にかなった影響力を増し加えるうえで助けとなるものです。今晩は、変更点の4つの分野についてお話します。

若い女性のテーマ

前提として、わたしたちが若い女性の組織において行うあらゆることは、皆さんが主イエス・キリストを信じる揺るぎない信仰と、³神の娘としての神聖な特質に対

する確かな知識を得られるように助けたいという望みが中心となっています。

今晚、若い女性のテーマの改訂について発表したいと思います。新しいテーマを聞くときに、その言葉が真実であるという聖霊の証を皆さんが感じられるようにと祈っています。

わたしは天の両親から愛されている娘であり、⁴わたしには神から受け継いだ特質と永遠の行く末があります。⁵

わたしはイエス・キリストの弟子として、⁶主に似た者となるよう努力します。⁷個人の啓示を求め、それに従って行動し、⁸主の聖なる御名により人々にミニスタリングします。⁹

わたしはいつでも、どのようなことについても、どのような所においても、神の証人になります。¹⁰

わたしは昇栄にふさわしい人となるために努力する中で、¹¹悔い改めの賜物を大切に、¹²日々進歩しようと努めます。¹³わたしは信仰により、¹⁴家庭と家族を強め、¹⁵神聖な聖約を交わして守り、¹⁶聖なる神殿の儀式と¹⁷祝福を受けます。¹⁸

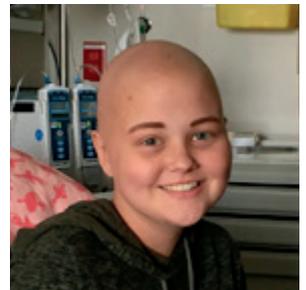
主語が「わたしたち」から「わたし」に変わったことに注目してください。これらの真理は皆さん一人一人に当てはまるのです。あなたは確かに天の両親の愛する娘です。確かに、救い主イエス・キリストの聖約の弟子なのです。このテーマを研究し、深く考えるようお勧めします。そう



アイスランドのベラ



アフリカのジョセフィン



ガンと闘ったアシュティン



するときに、これらの言葉が真実であるという証を得るでしょう。これらの真理を理解することにより、困難に立ち向かう姿勢が変わるでしょう。自分が何者であるか、その存在意義を知ることにより、救い主の御心に沿えるようになるでしょう。

イエス・キリストに従うときに、平安と導きを受けられることでしょう。

若い女性のクラス

2つ目の変更点は、若い女性のクラスに影響があります。ニール・A・マックスウェル長老はこのように述べています。「人々が心から必要としているのは、往々にして、人生の嵐からの避け所となる場に属することです。」¹⁹若い女性のクラスは、嵐からの避け所、すなわち愛に満ちた安全な居場所であるべきではありません。一致を高め、友情を強め、若い女性への帰属意識を増し加える取り組みの一環として、クラスの構造に幾つかの変更を加えます。

100年以上にわたり、若い女性は3つのクラスに分かれていました。今後直ちに、若い女性の指導者とビショップは祈りをもって若い女性一人一人の必要について検討し、各ワードの状況に応じて彼女

たちを組織するようお勧めします。やり方の例をご紹介します。

- 若い女性が少ない場合、若い女性のクラスを一つだけ設けて、全員一緒に集まることができます。
- 12歳の若い女性が大勢いて、年長の若い女性は少ないというワードもあるでしょう。その場合、若い女性12と若い女性13-18という二つのクラスを設けるということができます。
- あるいは大きなワードで、60人の若い女性が出席しているという場合、各年齢ごとに6つのクラスを組織することもできます。

クラスがどのように組織されようと、皆さん若い女性は一致を育むうえで欠かせない存在です。周りの人の光となりましょう。自分が人から受けたいと思うような愛と思いやりを与える人になりましょう。心の中で祈りながら、いつも手を差し伸べ、善を促進する力となりましょう。そうするならば、皆さんの生活は思いやりで満たされるでしょう。人々に対してさらにより気持ちを抱き、彼らの良い所が見えるようになることでしょう。

若い女性クラスの名称

3つ目に、新しいクラスの組織に当たり、すべてのクラスは「若い女性」という同一の名称で呼ばれます。²⁰「ビーハイブ」、「マイアメイド」、「ローレル」という名称は今後使いません。

クラス会長会を強める

最後にお話したいことは、クラス会長会の大切さについてです。若い女性のクラスがどのように組織されようと、各クラスにクラス会長会を設けるべきです。²¹若い女性が若いうちに指導的立場に召されることは、神の計画によるものです。

クラス会長会の役割と目的は強化され、より明確に定義されました。クラス会長会が担う重要な責任の一つは救いの業、とりわけミニスタリングや伝道活動、活発化、神殿・家族歴史の業の分野です。²²そうです、これこそがイスラエルを集める方法であり²³——主の青少年の大隊として若い女性が携わる栄光あふれる業なのです。

ご存知のように教会のあらゆるレベルにおいて、主は御自分の民を導くために会長会を召されます。若い女性の皆さん、クラス会長会の一員となることは、この靈感された指導のパターンに携わる初めての機会かもしれません。大人の指導者の皆さん、クラス会長会を召すことを優先してください。その後は、彼女たちと肩を並べて導き、助言と指導を与え、彼女たちが成功できるようにしてください。²⁴クラス会長会の指導の経験がどの程度であっても、彼女たちが今いるところから始め、指導者として自分たちの祝福となるスキルや自信を育むのを助けてください。密接に働き



クロエ

つつも、彼女たちの役割を取り上げないでください。彼女たちを導く中で、御霊があなたを導いてくださるでしょう。

助言者として親と指導者が担う重要な役割を説明するために、ある話を紹介します。クロエはクラス会長として奉仕するよう召されました。賢明な神権指導者はクロエに対し、主の助けを求めつつ、会長会のほかの召しのために何人かを推薦するよう勧めました。クロエは顧問にだれを推薦すればよいか祈り、思っていたよりもすぐに靈感を受けました。さらに書記について深く考え、祈り続けていると、御霊が繰り返し、クロエの心のある若い女性に向かわせました。驚いたことに、それはほとんど教会や活動に来ていない姉妹でした。

その促しにあまり自信を持ってないまま、クロエは母親に相談しました。母親は、何度も浮かぶ考えを通して啓示を受けることもあると説明しました。確信を新たにしたクロエは、その若い女性を推薦すべきだと感じました。ビショップが召しについて伝えると、その若い女性は受け入れました。任命された後、このすばらしい書記は次のように話しています。「実は、わたしは居場所を感じたことがありませんでしたし、どこでも必要とされていないと思っていました。なじめなかったのです。でもこの召しのおかげで、天の御父がわたしのために目的と居場所を用意してくださっていると感じます。」クロエと母親が集会を後にすると、クロエは母親の方に向き直り、目に涙をためて言いました。「啓示って現実にあるのね！ 啓示はほんとうにうまくいくんだわ！」

クラス会長会の皆さんは、神の娘たちを導くように神から召され、信頼されています。「主はあなたを御存じです。……主〔が〕あなたを選〔ばれました。〕」²⁵ 皆さんは神権の権能を持つ人により任命されています。つまり、召しに伴う務めを果たす中で、神権の権能を行使することに



なるのです。皆さんには、行うべき大切な業があります。聖霊の促しに敏感であり、それに従って行動してください。そうするときに、独りではないことが分かり、自信を持って奉仕できます。

クラス会長の皆さん、皆さんの知恵と声とエネルギーが、今日クエンティン・L・クック長老が発表した新たなワード青少年評議会に必要です。皆さんは、担当する兄弟姉妹の必要を満たすための解決策に不可欠な存在なのです。²⁶

クラスの組織と指導者に関するこれらの変更は、ワードおよび支部の準備が整い次第適用することができますが、2020年1月1日までは実施するべきです。

愛する姉妹の皆さん、今日話したこれらの変更は、主から靈感を受けた指示で

あると証します。変更された事柄を勤勉に実行する中で、決して目的を見失うことがありませんように。イエス・キリストに従うという決意を強め、人々が主のもとに来るのを助けるという目的です。この教会が、主の教会であることを証します。主がわたしたちに、御自分の神聖な業において非常に重要な一端を担わせてくださることに感謝します。

これらの変更点に関して導きを与えてくださったのと同じ御霊が、皆さんが聖約の道を力強く進むうえでも導きをもたらしてくださいますように。イエス・キリストの御名により証します、アーメン。■

注

1. ローマ 8 : 35 - 39 参照
2. ラッセル・M・ネルソン「証人、アロン神権定員会、若い女性のクラス」『リアホナ』2019年11月号、39
3. 箴言 3 : 5 - 7 ; モルモン書ヤコブ 7 : 5 参照
4. ローマ 8 : 16 - 17 ; 教義と聖約 76 : 24 : 「家族——世界への宣言」『リアホナ』2017年5月号、145 参照
5. 2ペテロ 1 : 3 - 4 ; アルマ 37 : 44 ; 教義と聖約 78 : 18 : 「家族——世界への宣言」参照
6. ヨハネ 13 : 14 - 15、35 参照
7. マタイ 22 : 37 - 39 ; 25 : 40 ; 3 ニーフアイ 12 : 48 参照
8. ヨハネ 16 : 13 ; 3 ニーフアイ 14 : 7 - 8 ; モロナイ 7 : 13 ; 10 : 5 ; 教義と聖約 8 : 2 ; 9 : 8 ; 11 : 13 参照
9. マタイ 20 : 26 - 28 ; 22 : 37 - 39 ; 25 : 34 - 40 ; 3 ニーフアイ 26 : 19 参照
10. イザヤ 43 : 10 ; モーサヤ 18 : 9 ; 教義と聖約 14 : 8 参照
11. ローマ 8 : 17 ; 2 ニーフアイ 9 : 18 ; 31 : 20 ; 教義と聖約 84 : 38 ; 132 : 49 ; モーセ 1 : 39 参照





大管長会第二顧問
ヘンリー・B・アイリング管長

神とのパートナーシップ において聖約を交わして いる女性

12. ヒラマン 12:23; モロナイ 10:33; 教義と聖約 58:42 参照
13. アルマ 34:33; 教義と聖約 82:18 参照
14. ヘブル 11 章; 2 ニーファイ 31:19-20; アルマ 32:21 参照
15. ヨシュア 24:15; 教義と聖約 109:8; 132:19 参照
16. 出エジプト 19:5; 1 ニーファイ 14:14; 2 ニーファイ 11:5; 教義と聖約 54:6; 66:2:90; 24 参照
17. モーサヤ 13:30; アルマ 30:3; 教義と聖約 84:20-22; 信仰箇条 1:3 参照
18. 詩篇 24:3; イザヤ 2:3; エゼキエル 37:26 参照
19. Neal A. Maxwell, *All These Things Shall Give Thee Experience* (1979), 55
20. どのクラスも、「若い女性」という同一の名称で呼ぶこととする。各クラスを特定するためには、名称に年齢をつける。例えば、「若い女性 12-14」「若い女性 15-18」などを用いる（『手引き 第二部——教会の管理運営』10.1.5, ChurchofJesusChrist.org 参照）。
21. クラス会長会は通常、若い女性の各クラスごとに召される。可能であれば、会長会全員、すなわち会長と二人の顧問、書記をそれぞれ召すべきである。必要に応じて、会長会の一部のみを召することができる（『手引き 第二部』10.3.5 参照）。
22. 『手引き 第二部』10.3.5 参照
23. ラッセル・M・ネルソン「シオンのつわもの」（2018年6月3日、青少年対象のワールドワイド・デイポーションナル）、<https://www.churchofjesuschrist.org/broadcasts/face-to-face/nelson?lang=jpn> 参照
24. 大人の若い女性指導者向けのその他の指示は、『手引き 第二部』第10章で閲覧可能。
25. ヘンリー・B・アイリング「神からの召し」『リアホナ』2002年11月号, 76
26. クラスもクラス会長会も一つしかない場合には、会長会の構成員全員がアロン神権定員会会長とともにワード青少年評議会に出席し、若い女性と若い男性のバランスを取ることができる（『手引き 第二部』18.2.9 参照）。

神とのパートナーシップにおいて聖約の女性になることを通して、偉大で善良な神の娘たちは、母親としての務めを果たし、導き、ミニスタリングを行い、仕えてきました。

聖約の神の娘である皆さんに、このようにお話する祝福に感謝しています。今晩、お話する目的は、すばらしい奉仕の業に携わっている皆さんを励ますことです。皆さんはこの業に召されています。そうです。わたしの声を聞いている神の娘である皆さんは、一人一人主イエス・キリストから召しを受けています。

皆さんの召しは、御自身の娘として皆さんを愛し、完全に皆さんのことを御存じであられる神がお選びになった、この世界

の特定の場所と時代に生を受けたときに始まっています。霊の状態であった前世において、神は皆さんを御存じで、教えられ、バプテスマフォントへと導かれる機会を得られる場所に皆さんを送られました。それは世界の歴史においてもまれな機会です。その場所で、イエス・キリストから召された僕が宣言する次の言葉を聞くことになるのです。「わたしはイエス・キリストより権能を受けたので、御父と御子と聖霊の御名によって、あなたにバプテスマ



を施します。アーメン。』¹

水から上がったときに、もう一つの奉仕の召しを受け入れました。新たに聖約を交わした神の娘として、皆さんは約束をし、末日聖徒イエス・キリスト教会における割り当てを受けました。そして教会の会員に確認されたのです。さらにイエス・キリストの御名を受けて、主の戒めを守り、主に仕えることを神と聖約しました。

このような聖約を交わす一人一人に対して、主は完全に適した奉仕の召しを与えてくださいます。しかしながら、聖約を交わした神の娘や息子たちには、皆が共有する、重要で喜びに満ちた召しがあります。それは、主のために人に奉仕することです。

主の御業に携わるようにという主の招きについて、ラッセル・M・ネルソン大管長が姉妹の皆さんに伝えている分かりやすいメッセージがあります。ネルソン大管長は皆さんの召しについてこう述べました。「主は言われました。『人の不死不滅と永遠の命をもたらすこと、これがわたしの業であり、わたしの栄光である。』（モーセ1:39)そこで献身的な主の娘たちはこう言うことでしょう。『愛する人たちが神の目的を達成できるように助けること、これがわたしの業であり、わたしの栄光です。』と。

ほかの人が昇栄できるように助けることは、女性の神聖な使命の一つです。母として、教師としてあるいは人々を導く聖徒として、女性は生ける粘土を望みの形に作り上げるのです。神とのパートナーシップにおいて、霊を活気づけ、人を高めるよう助けるのが女性の神聖な使命なのです。それこそ女性が造られた目的と言えます。すなわち、女性は人の心を高揚させ教化し、啓発するのです。』²

皆さんが自分の使命を果たすうえで、母親として、あるいは指導者、ミニスタリングシスターとしての召しにおいて、いつ、どのくらいの期間奉仕することになるの



かは分かりません。主は、愛ゆえに、わたしたちの奉仕の割り当ての順番やタイミングや期間を明らかにされません。それでも、聖文や生ける預言者を通して、すべての神の娘に対して、この世または次の世において、これらの割り当てが与えられることを知っています。すべては、神のすべての賜物の中で最もすばらしい賜物である、愛にあふれた家族とともに永遠の命を受ける備えのためなのです。

その最終的な目的を念頭に、今できるすべての努力を惜しまないことは賢明なことです。行うべきことはシンプルです。そのどれもが、多くの共通した備えを必要としているからです。

まず、ミニスタリングシスターになる割り当てについて考えてみましょう。父親が亡くなっている家族の10歳の娘としてその割り当てを受けていたとしても、最近火災による被害を受けた町の扶助協会会長として、あるいは病院で術後の回復を待つ

ている姉妹としてその割り当てを受けたとしても、あなたには、主のミニスタリングを行う娘としての召しを果たす機会が与えられています。

それらは一見、とても異なったミニスタリングの割り当てのように思えるかもしれませんが、すべて、力強く愛深い心と、主が道を備えずに戒めを与えられることはないという恐れのない信仰、そして主のために行って行うという望みを必要としています。⁴

10歳の娘さんは備えられているので、夫を亡くした母親の肩に腕を回して、自分の家族をどのように助けられるか祈り、それを続けます。

扶助協会会長の姉妹は、自分が住んでいる地域で予想もしない火事が起こる前に、ミニスタリングを行う備えができています。彼女は人々を知っており、彼らへの愛を抱いています。彼女のイエス・キリストに対する信仰は、主へのささやかな奉



仕のために助けを求めて祈った結果として長年受けてきた答えによって強められてきました。彼女は長年にわたって備えてきたので、悩みを抱えている人や家族のためにミニスタリングシスターを組織する準備ができており、熱心に取り組めます。

病院で術後の回復を待っている姉妹は、周りにいる患者に対してミニスタリングを行う備えができています。彼女は生涯を通して、主のために、すべての見知らぬ人に対して、自分の隣人や友人であるかのようにミニスタリングを実践してきました。病院にいても、ミニスタリングの召しを心に感じる時、愛と勇気をもって人々に仕えることで、ほかの患者たちが、彼女があまり早く回復しないように願うほどになりました。

ミニスタリングに備えるのと同じ方法で、主が必要とされるときに、主のために指導者となる召しに備えることができますし、そうする必要があります。恐れることなく人々に主の言葉を教え、導くためには、聖文に対する深い愛に根差したイエス・キリストへの信仰が求められます。そうすれば、聖霊を常にあなたの伴侶とする備えができています。若い女性会長会で、あなたの顧問の姉妹が動揺した声で、「アルバレス姉妹が病気でお休みなの。だれが彼女のクラスを教えるの?」と言ってきたら、あなたは熱意を込めて「わたしができるわ」と言うことでしょう。

主があなたを母親としての役割に召されるすばらしい日のためにも同様の備えが求められます。しかし、これまでよりも

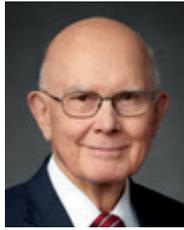
さらに愛深い心が必要となります。これまで心にあったよりもさらに強い、イエス・キリストへの信仰が必要です。そして、これまでに感じられると思ってきた限界を超えて、聖霊の影響や導き、慰めを祈り求めることができるように自分の能力を広げる必要があります。

年齢にかかわらず、男性が母親の必要をどのように知ることができるか疑問に思うかもしれません。もっともな質問です。男性はすべてを知ることにはできませんが、神の啓示によって幾つか教えを学ぶことができます。また、わたしたちが目にしていくことを理解できるように御霊を求める機会を作るときに、観察することからも多くのことを学べます。

わたしたちが結婚してから57年間、わたしはキャスリーン・ジョンソン・アイリング姉妹を観察してきました。彼女は4人の息子と2人の娘の母親です。今日に至るまで、彼女は100人以上の家族や親戚に母親としての影響を与え、さらに数百人もの人々に対して母親のような愛情を注ぐ召しを受け入れてきました。

提案です。母親としての役割を含めた女性の神聖な使命について、ネルソン大管長が述べた言葉をもう一度お伝えします。「母として、教師としてあるいは人々を導く聖徒として、女性は生ける粘土を望みの形に作り上げるのです。神とのパートナーシップにおいて、霊を活気づけ、人を高めるよう助けるのが女性の神聖な使





大管長会第一顧問
ダリン・H・オークス管長

いちばん大切な 二つの戒め

命なのです。それこそ女性が造られた目的と言えましょう。』⁵

わたしが識別できる能力の限りでは、妻のキャサリンは天の御父の娘たちに与えられたそのような責任を果たしてきました。その鍵は、「神とのパートナーシップにおいて、……生ける粘土を望みの形に作り上げる」という言葉にあるように思っています。彼女は強制することはありませんでした。形造ったのです。彼女が愛し、母親として養う子供たちをどのような形にしたいのかという望みには、ひながたがありました。そのひながたはイエス・キリストの福音であることが、長年祈りを込めて見守ってきた経験から分かります。

神とのパートナーシップにおいて聖約を交わした女性になることは、これまでの偉大で善良な神の娘たちが、神が備えられたどのような方法や場所においても、母親としての務めを果たし、導き、ミニスターリングを行い、仕えてきた方法です。聖約を守る神の娘として神のみもとに戻れるように努めるとき、皆さんの天の家への旅路において喜びを見いだすことができると約束します。

父なる神は生きておられ、皆さんを愛しておられることを証します。あなたの祈りにこたえてくださいます。神の御子が、細部にわたってこの末日聖徒イエス・キリスト教会を導いています。ラッセル・M・ネルソン大管長は、主の生ける預言者です。そしてジョセフ・スミスは、ニューヨーク州パルマイラの森で、父なる神とイエス・キリストにまみえ、直接言葉を交わしたのです。それが真実だと知っています。このことを、イエス・キリストの聖なる御名によって証します、アーメン。■

注

1. 教義と聖約 20:73
2. ラッセル・M・ネルソン「女性——その計り知れない価値」『聖徒の道』1990年1月号、22
3. 教義と聖約 14:7
4. 1ニーファイ 3:7 参照
5. ラッセル・M・ネルソン「女性——その計り知れない価値」22

わたしたちは、いちばん大切な二つの戒めを、どちらも守るよう努めなければなりません。これを守るためにわたしたちは、律法と愛の兼ね合いをうまく取ります。

イエス・キリストの福音に従う愛する姉妹の皆さん、永遠の家族を守ることを神から任された者としてあいさつします。ラッセル・M・ネルソン大管長はこう教えています。「地球が創造され、この教会が回復されたのは、家族を築き、結び固め、永遠に昇栄を得られるようにするためです。」¹ この教えは、レズビアンやゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダーと称される、通常LGBTと呼ばれる人たちにとって、大切な意味を持ちます。² ネルソン大管長はまた、「全てにおいて同意していなくても互いに愛し合える」とも言っています。³ これらの預言者の教えは、子供や青少年の疑問について家族で話し合う際に大切なものです。皆さんは、このような疑問に影響を受け、それが直接的であれ間接的であれ教会の全ての家族にも影響を及ぼすので、今日のお話しのために靈感を求めて祈りました。

1.

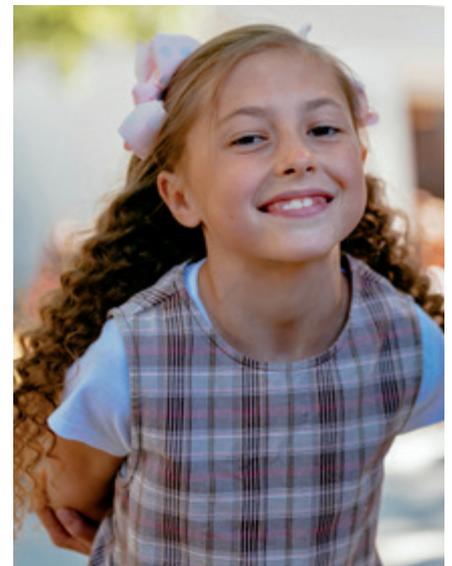
イエスが教えられたいちばん大切な二つの戒めから始めましょう。

『「心をつくし、精神をつくし、思いをつくして、主なるあなたの神を愛せよ。」

これがいちばん大切な、第一のいましめである。

第二もこれと同様である、『自分を愛するようにあなたの隣り人を愛せよ。』⁴

良いサマリヤ人のたとえでは、イエスは、すべての人は隣り人だと教えているので、これは、すべての人を愛しなさいという意味です。⁵ しかし、この2番目の戒めを守ることに熱心になるあまり、心と精



神、思いをつくして神を愛するという最初の戒めを忘れてはなりません。「〔神の〕戒めを守る」ことによって、その愛を示すのです。⁶ 戒めに従うようにと神が言われるのは、悔い改めの戒めに従うことを含め、戒めに従うことによってのみ、みもとに帰って神のように完全な者になることができるからです。

ラッセル・M・ネルソン大管長は、最近、教会のヤング・アダルトに向けた説教で、「神の愛と律法との強い結びつき」ということについて話しました。⁷ LGBTとされる人たちに関係する問題に適用されるいちばん重要な律法は、結婚に関する神の律法と、それに関連する純潔の律法です。どちらの律法も、天の御父が御自身の子供たちのために作られた救いの計画に欠かすことができません。ネルソン大管長が教えているように、「神の律法の根底にあるのは、ひとえにわたしたちへの無限の愛であり、最大限に成長してほしいという願いなのです。」⁸

ネルソン大管長は次のように教えました。「多くの国が……同性婚を合法化しています。わたしたち教会員は市民結婚

に関する法律も含めて、国の法律を尊重していますが、そもそも結婚は神によって定められたという事実があるのです。そして、今に至るまで、結婚とは男女の間で行われるものと神は定めておられます。神は、**神による結婚**の定義を変えておられません。」

続けてネルソン大管長は言いました。「また神は、純潔の律法も変えておられません。神殿に参入する条件は変わっていないのです。」⁹

ネルソン大管長はわたしたちすべての人にこう言っています。「わたしたち使徒の使命は真理のみを教えることです。その使命に神の律法を変更する権利は**含まれていません**。」¹⁰ そのため、姉妹たちの皆さん、教会の指導者は、男女の間の結婚と、それに関連する純潔の律法に特別な重要性があることを常に教えなければなりません。

II.

末日聖徒イエス・キリスト教会の業は、究極的には、神の子供たちに日の栄えの王国に入る備えをさせることであり、その

王国の中でも特に昇栄または永遠の命という最高の栄光を得られるようにすることです。その最高の目標へは、永遠の結婚によってのみ到達することができます。¹¹ 永遠の命には、本来男女によって生まれる創造の力¹²——つまり、「いつまでも子孫が満ちて続く」と現代の啓示が説明している力¹³が含まれます。

ヤングアダルトに向けて話された際に、ネルソン大管長は教えました。「神の律法に従うならば、安全な中で成長して最終的には昇栄に至ることができます。」¹⁴ それは、天の両親が持つておられる昇栄した命と潜在能力を有し、神のようになるということです。それこそが、愛するすべての者に到達してほしい最終目標です。愛があるといっても、その愛を神の戒めや計画、業よりも優先することはできません。それらのおかげで愛する者が最高の幸せを得られると知っているからです。

しかし、回復された福音を知っている人も含めて、私たちが愛する人の中には結婚や純潔の律法に関する神の戒めを正しいと思わない人やそれに従わない人がたくさんいます。そういう人たちについて



は、どうなのでしょう。

人が皆神の子供であり、神が人を作られたのは喜びを得させるためだということが、神の教義から分かります。¹⁵ 現代の啓示によると、神は現世での経験を下さり、人が従順によって神の最高の祝福を求めるか、それとも他の栄光の劣る王国に行くのかをすべての人が選べるようにされました。¹⁶ 劣る王国といっても、神は子供たちを非常に愛しておられるので、死すべき人間には理解できないほど素晴らしいものです。¹⁷ イエス・キリストの贖罪は、このすべてを可能にします。キリストは「御父の栄光を現し、そして……その御手によって造られたすべての者を救われる」からです。¹⁸

Ⅲ.

これまで第一の戒めについて話してきましたが、第二についてはどうでしょうか。隣り人を愛するという戒めをどのようにして守っていますか。レズビアンやゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダーの教えや行動の基準に従う人に対して、救い主が命じておられる愛をもって接するようにと、わたしたちは教会員にお願いしています。そのため、同性婚がアメリカ合衆国内で合法化されたとき、大管長会と十二使徒定員会は、次の声明を出しました。「イエス・キリストの福音は意見が対立する相手をも愛し、すべての人に思いやりと礼儀をもって接するように教えています。わたしたちは同性婚を承認する法律や裁定を利用する人々が不当に扱われるべきではないと主張します。」¹⁹

さらにわたしたちは、自分と同じ信条や信念を持たない人を決して迫害してはなりません。²⁰ 残念なことに、この問題の当事者の中には、今でも家族やワード、ステークで一部の教会員や指導者からつまはじきにされたり、拒まれたりしている人たちがいます。わたしたちは皆、もっと優しく、もっと礼儀正しくならなければなりません。



Ⅳ.

理由は分かりませんが、人生で出遭う試練は人によって異なっています。しかし、神の助けを心から求めるならば、試練を乗り越えられるよう神は一人一人を助けてくださいます。教えられた律法を破って苦しんだとしても、悔い改めるならば皆、栄光の王国に入ることができるのです。究極の最後の裁きは、わたしたち一人一人を裁くために必要な知識と知恵、恵みをお持ちの唯一の御方である主が、行われます。

その一方でわたしたちは、いちばん大切な二つの戒めを、どちらも守るよう努めなければなりません。これらを守るためにわたしたちは、律法と愛の兼ね合いをうまく取ります。隣り人を愛しながらも戒めを守って聖約の道を歩むのです。この道を歩むためには、何に賛成して反対するか、どのように愛して、耳を傾け、教えるかを知るために、神に靈感を求めなければなりません。聖約の道を歩むためには、戒めに妥協するのではなく、できるかぎり愛と理解を示さなければなりません。また、自らの性的指向が明確でないと感じる子供にも、思いやりを示すべきです。しかし、早急に決めつけることは控えます。成長するにつれてそのような不確かさが軽減される子供がほとんどだからです。²¹ 聖約の道から外れさせようとする誘惑には反対し、人を主から引き離そうとする人を

支持したりはしません。このすべてにおいて、神が戒めを守るすべての人に希望と究極の喜びと祝福を約束しておられることを、忘れません。

Ⅴ.

父親と母親、そしてすべての教会員には、二つの大切な戒めのどちらも守るように教える責任があります。教会の女性たちについて、スペンサー・W・キンボール大管長は、次の偉大な預言の中で、その義務について述べています。「終わりの時に教会に大きな発展がもたらされようとしています。その多くは、世界中にいる善良な女性たち……が大勢教会に引き寄せられることが理由となって起きるでしょう。これがどの程度の規模になるかは、教会の女性たちがどの程度まで義を反映した生活を送り、自分をしっかりと表現できるか、また、どの程度まで世の中の女性と……区別され、異なって見られるかによって決まるでしょう。したがって、……教会の女性たちの模範は、末日の教会の数字的な発展と霊的な発展の両方に寄与する重要な力となるのです。」²²

この預言について、ラッセル・M・ネルソン大管長はこう宣言しています。「キンボール大管長が見た時代はこの時代です。皆さんこそ、彼が予見した女性たちなのです。」²³ 今は世の中の優先順位や悪魔にゆがめられた考え方に影響されてい



ラッセル・M・ネルソン大管長

霊の宝

る親しい友達や家族の中にも、この女性たちが救うことになる人々が含まれていることに気づいた人は、40年前にこの預言を聞いた人の中にはまずいませんでした。皆さんが教え、行動して、この預言を成就できますよう、祈り、祝福します。イエスキリストの御名により、アーメン。■

注

1. ラッセル・M・ネルソン「日の栄えの結婚」『リアホナ』2008年11月号, 93
2. ほかの言葉の頭文字を挙げればきりがなが、この話では主要なこの4つを挙げれば十分である。
3. ラッセル・M・ネルソン, 2019年7月21日にミシガン州デトロイトで行われた全米黒人地位向上協会(National Association for the Advancement of Colored People, NAACP)年次大会で語った言葉。
4. マタイ 22:37-39
5. ルカ 10:29-37 参照
6. ヨハネ 14:15
7. Russell M. Nelson, "The Love and Laws of God" (Brigham Young University devotional, Sept. 17, 2019), speeches.byu.edu.
8. Russell M. Nelson, "The Love and Laws of God."
9. Russell M. Nelson, "The Love and Laws of God."
10. Russell M. Nelson, "The Love and Laws of God."
11. 教義と聖約 132:7-13 参照
12. 1コリント 11:11; 教義と聖約 131:1-4 参照
13. 教義と聖約 132:19
14. Russell M. Nelson, "The Love and Laws of God."
15. 2ニーファイ 2:25 参照
16. 教義と聖約 76:71-113 参照
17. 教義と聖約 76:89 参照
18. 教義と聖約 76:43, 強調付加
19. "Response to the Supreme Court Decision Legalizing Same-Sex Marriage in the United States," enclosure to First Presidency letter, June 29, 2015.
20. ダリン・H・オークス「違いがあっても周りの人を愛し、受け入れる」『リアホナ』2014年11月号, 25-28; 「愛と律法」『リアホナ』2009年11月号, 26-29 参照
21. See, for example, Michelle Forcier, "Adolescent Sexuality," UpToDate, June 3, 2019, uptodate.com/contents/adolescent-sexuality.
22. 「歴代大管長の教え——スベンサー・W・キンボール」(2006), 223-224
23. ラッセル・M・ネルソン「姉妹たちへの懇願」『リアホナ』2015年11月号, 96

主と神権の力を信じる信仰を働かせるならば、主が与えてくださっているこの霊の宝に頼る皆さんの能力は高められます。

ありがとうございます。ほんとうに美しい音楽でした。またわたしたちが皆で立ち上がって、「感謝を神に捧げん」を歌ったときにとっても力強い思いがしました。一つはこの神権時代の預言者であるジョセフ・スミスについてです。彼への愛と尊敬の念は日に日に深くなっています。次に妻、娘たち、孫娘たち、ひ孫(女の子)たちを見ていてわたしは皆さん一人一人を自分の家族として迎えたいという思いになりました。

数か月前、神殿のエンダウメントのセッションが終わるころ、わたしは妻のウェンディーに言いました。「神殿で頂く霊の宝について姉妹たちに理解してほしいのだが。」姉妹の皆さん、わたしは、気がつく皆さんのことを考えていることがよくあり

ます。2か月前に妻のウェンディーと一緒にペンシルベニア州ハーモニーを訪れたときもそうでした。

わたしたちがそこに行くのは2回目です。どちらのときも、その神聖な土地を歩きながら、深い感動を覚えました。パプテスマのヨハネがジョセフ・スミスに現れてアロン神権を回復したのは、ハーモニーの近くでした。

使徒であるペテロ、ヤコブ、ヨハネが現れてメルキゼデク神権を回復したのは、その地でした。

預言者がモルモン書を翻訳する際にエマ・ヘイル・スミスが夫の最初の筆記者を務めた場所は、ハーモニーでした。

エマに対する主の御心を明らかにする啓示をジョセフが受けたのも、ハーモニーで



した。聖文を解き明かし、教会員に説き勧め、聖霊を受け、そして、「多く学ぶこと」に時間を費やすようにと、主はエマに指示されました。またエマは、「この世のものを捨ててこの世に勝る世のものを求め」、神と交わした聖約を固く守るようという勧告も受けました。主はこの指示を、「これはすべての者へのわたしの声である」という有無を言わさぬ言葉で結んでおられます。¹

この地域で起こったことはどれも、皆さんの人生にとって深い意味があります。神権の回復は、エマに主がお与えになった勧告とともに、皆さん一人一人にとって指針となり、祝福となり得るのです。神権の回復はあらゆる男性と同じ様に、皆さん女性たちにも大いに関係があります。そのことを、どうか理解してください。メルキゼデク神権が回復されたおかげで、女性と男性の両方が、聖約を守るかぎり「教会のすべての霊的な祝福」を受けることができるのです。² 主が神の子供たちのために用意しておられる霊の宝をすべて受けることができると言ってもよいでしょう。

神と聖約を交わしてそれを守るすべての男女と、ふさわしい状態で神権の儀式に参加する男女は皆、神の力に直接あずかることができます。主の家でエンダウメントを受けた人は、聖約を交わしたことによって神の神権の力の賜物を受け、同時に知識の賜物も受けて、その力に頼る方法を知るようになります。

交わした神権の聖約から流れ込む神の力によってエンダウメントを受けている女性には、神権を持つ男性と同じように、天が開かれています。この真理が皆さん一人一人の心に刻み込まれるようにと祈ります。それは皆さんの人生を必ず変えると思うからです。姉妹の皆さん、愛する家族やほかの人々を助ける際に、救い主の力に思う存分頼る権利が皆さんにはあります。

さて、皆さんはこう自問するかもしれません。「すばらしいけれど、どうすればいいのかしら。救い主の力を自分の生活に



引き込むにはどうしたらいいのかしら。」

この方法については、どの手引きにも事細かに書かれてはいません。主が自分に何を知り、何を行うよう望んでおられるのかを理解しようと努めるならば、聖霊が個人的に指導してください。すぐにはできませんし、簡単でもないのですが、その過程で霊が強くなります。神の力、つまり神権の力を理解するために御霊を受けて努力することほどすばらしいことがあるでしょうか。

わたしが皆さんに言えるのは、人生で神の力にあずかるためには主がエマと皆さん一人一人に指示されたことを行わなければならない、ということです。

ですから、教義と聖約 25 章を祈りながら研究して、聖霊が自分に何を教えようとしておられるかを見いだしてください。皆さん個人の霊的な努力に喜びが伴うのは、自分に授けられてきた力を獲得し、理解し、活用するときです。

この努力の一部として、この世の多くのものを捨てなければならなくなるでしょう。わたしたちは争いや蔓延する誘惑、偽りの哲学のある世の中から離れることについて、何の気なしに口にすることがありますが、ほんとうの意味で世から離れる

には、自分の生活を隅々まで定期的に吟味しなければなりません。そうするとき、自分にはもはや必要がないもの、時間や精力を注ぐ価値のないものを、聖霊が教えてくださいます。

この世的なものから視点を移すと、大切だと思っていたことの中からそれほど優先する必要のないものが出てきます。無害に思えることであっても、断る必要が出てくるでしょう。人生を主にささげるといふ生涯にわたるこの作業に取りかかり、引き続きそれを行っていくと、驚くほどの見方や感じ方が変わり、霊的な力がついてきます。

さて、少々警告の言葉を与えます。神の力に頼る皆さんの能力を潰そうとする人がいます。皆さんに自信を失わせ、義にかなった女性としての皆さんの輝かしい霊的な能力を狭めようとする人がいます。

最も確かなのは、バプテスマのときに交わした聖約や、主の家である神殿で授かる深遠な知識と力について、サタンは皆さんに理解してほしくないということです。しかも、皆さんはふさわしい状態で神殿で奉仕・礼拝する度に、神の力で武装し、天使たちに「務めを果たし」てもらえるようになって神殿を出るのですが、そのこと

をサタンは決して皆さんに理解してほしいのです。³

サタンとその手先は、妨げとなるものを常に作り出しては、皆さんにとって祝福であり、祝福となり得る霊の賜物が理解できなくなるようにしようとします。残念なことに、ほかの人の不適切な行動がそのような妨げになることもあります。皆さんのがけ者にされたり神権指導者から信じてもらえなかったり、夫や父親、友達だと思っている人から虐待されたり裏切られたりしたことがあるかと思うと、わたしは悲しくなります。つまはじきにされたり、ぞんざいに扱われたり、不当に評価されたりした人がいると聞くと深い悲しみを覚えます。そのような無礼な行いは、神の王国にはあり得ません。

その反対に、ワードやステークの評議会への女性の参加を積極的に求めている神権指導者のことを聞くと、わたしはうれしくなります。自分のいちばん大切な神権者の責任は妻を愛することだということを行動で示している夫を見る度に、わたしは感動します。⁴ 啓示を受ける妻の能力を深く尊重し、結婚生活における対等なパート

ナーとして妻を大切にしている男性を、わたしは称賛します。

義になかった生活をして努力し、エンダウメントを受けている末日聖徒の女性に尊厳と力があることを男性が理解しているのであれば、女性が部屋に入って来たら立ち上がって敬意を示したとしても、何の不思議があるでしょうか。

時の初めから、女性には特有の道徳的な判断力、つまり、善悪を見分ける能力が備わっていて、この賜物は聖約を交わして守ることによってさらに磨かれます。そして、意図的に神の戒めをないがしろにする人は、この能力が弱くなります。

急いで付け加えますが、善悪を見分ける義務が、決して**男性から免除されているわけではありません**。しかし、愛する姉妹の皆さん、真理と誤りを見分けて社会的倫理を守る皆さんの能力は、この末日において不可欠です。そして、ほかの人にも同じことをするようにと教えてください。はっきり言って、女性の正義感がなくなったら、世の中は回復**不能**になります。

わたしたち末日聖徒は世のものではありません。聖約を交わしたイスラエルの民

なのです。わたしたちは、主の再臨に人々を備えさせるという召しを受けています。

次に、女性と神権について、あと幾つか分かりやすく述べたいと思います。皆さんが、ビショップやステーク会長といった神権の鍵を持つ人の指示の下で奉仕する召しに任命される時、皆さんは、その召しで働くのに必要な神権の権能を与えられます。

同様に、聖なる神殿において皆さんは、神権の儀式を執り行う権能を、参入する**度**に受けます。神殿のエンダウメントは、それを行うための備えとなります。

エンダウメントを受けたけれども現在神権者と結婚していない姉妹に「残念ながらあなたの家には神権がありません」と言う人がいたら、それは間違いです。神権を**持つ**人は家庭にいないかもしれませんが、神殿で神聖な聖約を神と交わしているのです。その聖約から、神権の力がその姉妹に与えられます。それに、覚えておいてください。夫が亡くなったら、**姉妹**が自分の家を管理するようになるのです。

エンダウメントを受けている義になつた女性として、皆さんは神の力と権能を



もって語ります。説教でも会話でも、キリストの教義を教える皆さんの声を、わたしたちは必要としています。ワードやステークの評議会で、わたしたちは皆さんの意見を必要としています。皆さんの参加は不可欠です。女性は決して飾りものではありません。

愛する姉妹の皆さん、皆さんの力は、人に奉仕することによって高められます。皆さんの祈りと断食、聖文にかける時間、神殿での奉仕と家族歴史活動は、天を開きます。

よく祈って、神権の力について見いだせる真理をすべて学んでください。教義と聖約の84章と107章から始めるとよいでしょう。この二つの章を読むと、ほかの聖句も読みたくなるはず。聖文や、現代の預言者、聖見者、啓示者の教えの中には、そのような真理がたくさんあります。皆さんの理解が深まり、皆さんが主と神権の力を信じる信仰を働かせるならば、主が与えてくださるこの霊の宝に頼る皆さんの能力は、高められます。そうするとき皆さんは、主の神殿で結び固められて一つとなり、天の御父とイエス・キリストの愛で満ちあふれた永遠の家族を、さらにうまく作れるようになるのです。

ともにミニスタリングをし、福音を宣べ伝え、聖徒を完全な者とし、死者を贖うというわたしたちの努力はすべて、聖なる神殿で収束します。この教会には、現在、神殿が全世界に166あり、今後も建設されます。

御存じのように、ソルトレーク神殿とテンプルスクエア、隣接する教会本部ビル近くのプラザは、今年末に始まるプロジェクトで改築されます。この聖なる神殿は、保存され、手入れされて、わたしたちの世代が影響を受けたと同様に、未来の世代に靈感を与えるようになるはず。必ず。

教会の発展に伴ってさらに多くの神殿が建てられ、あらゆる祝福の中で最も大いなる祝福である永遠の命の祝福に、さ



らに多くの家族があずかれるようになります。⁵ わたしたちは神殿を、教会で**最も神聖な建造物**と考えています。新しい神殿の建設計画が発表される度に、それは教会歴史の重要な一部となります。今夜ここで話したように、姉妹の皆さんは神殿の業に欠かすことができません。そして神殿は、皆さんが至高の霊的な宝を受ける場所なのです。

これからわたしが新しい8つの神殿を建設する計画について発表する間、注意深く聞いてください。これから発表する神殿の場所が皆さんにとって特別なものだった場合、頭を垂れ、心の中で感謝の祈りをささげるようお勧めします。今日、わたしたちはさらなる神殿を建てる計画を喜びをもって発表します。シエラレオネ共和国のフリータウン、ユタ州のオレム、パプアニューギニアのポートモレスビー、アーカンソー州のベントンビル、フィリピンのパコロド、テキサス州のマッカレン、グアテマラのコバン、ユタ州のテイラーズビルです。姉妹の皆さん、ありがとうございます。敬虔な態度で発表を聞いてくださり感謝します。

皆さんは神権の力によってエンダウメントを受けています。皆さんがその力を理解し、主と主の力を信じる信仰を働かせてその力を高めることができますよう、この

話を閉じるに当たって皆さんに祝福を残します。

愛する姉妹の皆さん、心からの敬意と感謝を込めて、皆さんへの愛をお伝えします。神が生きておられることを、へりくだり申し上げます。イエスはキリストであります。この教会はキリストの教会です。このことを、イエス・キリストの聖なる御名によって証します、アーメン。■

注

1. 教義と聖約 25:7-16 参照
2. 教義と聖約 107:18, 強調付加
3. 教義と聖約 109:22
4. 教義と聖約 131:2-4 参照
5. 教義と聖約 14:7 参照



十二使徒定員会
ゲレット・W・ゴング長老

聖約によるつながり

神とつながり、ほかの人と一緒に聖約の道を歩むことは、聖約によるつながりから祝福を受けるといことです。

愛する兄弟姉妹の皆さん、祈ることに
ついて学んでいる初等協会の子供について
の話があります。「『あ』という字に感謝し
ます。『い』という字に感謝します。……
『か』という字に感謝します。」子供の祈り
は続きます。「『ん』という字に感謝しま
す。愛する天のお父様、数字の1、数字の
2に感謝します。」初等協会の教師は心配
しながらも、賢明に待ちます。子供は続け
ます。「数字の5と数字の6に感謝しま
す。それから、わたしのプライマリーの先
生に感謝します。最後までお祈りさせてく

れるのはわたしの先生だけです。」

天の御父は、あらゆる子供の祈りを確
かに聞いておられます。来て信じ、聖約に
よってつながるようにと、御父は無数の愛
でわたしたちを招いておられます。

この世は幻想、思い違い、まやかしてあ
ふれています。あまりにも多くのものがそ
の場限りで、うわべだけのものに見えます。
仮面を外し、本音をさらけ出すならば、ま
た、不特定多数に合わせることをやめるな
らば、見せかけの美しさやほかない人間関
係、この世的な自分の利益などに勝るも
のを追い求めたくなります。あり
がたいことに、この問題には解決
の道があります。

わたしたちは神と周囲の人を愛
するといういちばん大切な戒めに
聖約によって従うとき、見知らぬ
人や客人として従うのではなく、
神のもとにいる神の子として従い
ます。¹ 昔からある逆説は、今も
真理です。聖約によるつながりを
通して、この世的な自分を捨てる
ことによって永遠の存在である
最高の自分を見いだし、² 自由で
生き生きとした本来の自分にな
り、最も大切な関係が明らかにな
るのです。聖約によるつながりと
は、神聖な儀式を通して厳粛な
約束を神や人と交わし守ること
であり、それによって神性の力がわ

わたしたちの生活の中に現れます。³ わたし
たちは皆、聖約を交わすときに自分を超え
た者になることができます。聖約による
つながりはわたしたちに場所と物語と、成
長する能力を与えます。命と救いに至る
信仰が生まれるのです。⁴

神と交わした聖約は神への愛と神から
の愛、ひいては互いへの愛の源となりま
す。神であられる天の御父はわたしたち
自身よりもわたしたちのことを愛し、よく
知っておられます。イエス・キリストを信
じる信仰を持ち、個人的な変化が起こると
(つまり、悔い改めると)、慈愛と恵み、赦
しがもたらされます。それは、わたしたち
がこの世で傷や孤独、不当な仕打ちを経
験するときに慰めとなります。神であられ
る天の御父は、御自身がお持ちの神の最
大の賜物である喜びと永遠の命をわたし
たちが受けることを望んでおられます。⁵

わたしたちの神は、聖約の神であられ
ます。その特質から「聖約を守り、憐れみ
を示してください。」⁶ 「時が続くか
ぎり、大地が存在するかぎり、地の面に救
われる人が一人でもいるかぎり、」神の聖
約は有効です。⁷ わたしたちはこの世の不
安と疑いの中をさまようためではなく、「死
の縄目よりも強い」大切な聖約の関係を
喜びとするために存在しているのです。⁸

神の儀式と聖約は、条件において普遍
的であり、その機会は個別に与えられま
す。神は公平な御方であられ、救いの儀
式は、住む場所にも年齢にも関係なく一人
一人が受けられます。選択の自由があり
ますから、提供される儀式を受けるかど
うかは本人が選びます。神の儀式は、聖約
の道の道しるべになります。わたしたちは
神の子供たちをみもとに帰れるようにする
神の計画を、贖いの計画、救いの計画、幸
福の計画と呼びます。贖いと救い、日の
栄えの幸福を得ることができるのは、イエ
ス・キリストが「この完全な贖罪を成し遂
げられた」からです。⁹

神とつながり、ほかの人と一緒に聖約の





道を歩むことは、聖約によるつながりから祝福を受けるということです。

第一に、聖約によるつながりの中心は、「新しい聖約の仲保者」であられるイエス・キリストです。¹⁰ わたしたちが「御父が聖約されたことにより……」¹¹、「キリストによって聖められる」とき、すべてのことはわたしたちの益となるようにともに働きます。¹¹ 最後まで忠実であった者は、約束された良い祝福をすべて受けるのです。「神の戒めを守る者の祝福された幸福な状態」とは、「物質的にも霊的にも、すべてのことについて祝福を受け……」、「決して終わりのない幸福な状態で神とともに住[む]」ことです。¹²

交わした聖約を尊んで守っていると、天使とともにいるような気持ちになることがあります。実際、幕のこちら側でわたしたちが愛する人々とわたしたちを祝福してくれる人々、そして幕の向こう側でわたしたちを愛し祝福してくれる人々がともにいてくれるのです。

先日、ゴング姉妹とわたしは、ある病院の一室で、非常に心温まる聖約によるつながりを目にしました。どうしても腎臓移植が必要な若い父親がいました。家族は涙

を流し、腎臓移植を受けられるように断食して祈りました。命綱である腎臓が見つかったという知らせが届いたとき、彼の奥さんはそっと言いました。「その方の御家族は大丈夫かしら。」聖約によるつながりとは、使徒パウロの言葉を借りれば、「あなたがたの中にいて、あなたがたとわたしのお互の信仰によって、共に励まし合うために」あるのです。¹³

人生の旅路でわたしたちが神を信じなくなることはあっても、神がわたしたちを信じてくださらないようになることは決してありません。言ってみれば、神の家の玄関にはいつも明かりがついているのです。神は御自分の道を指し示す聖約のもとに来るよう、あるいはそこに立ち帰るようにと招いておられます。わたしたちが「まだ遠く離れて」いても、抱き締めようとして待っておられます。¹⁴ 信仰の目で自分の経験のパターンや脈絡、ほかの経験とのつながりを見るならば、喜びのときだけでなく、特に試練や悲しみ、苦難のときにも、神の深い憐れみと励ましがあることが分かるようになります。何度つまずいても倒れても、常に神に向かって進むならば、神は一度に一步步つ助けてくださいます。

第二に、モルモン書は、聖約によるつながりの、手に取ることのできる証拠です。モルモン書は約束された道具であり、新しい聖約として預言された神の子供たちの集合に必要なものです。¹⁵ モルモン書を自分で、またはほかの人と一緒に音読または黙読するとき、「キリストを信じながら、誠心誠意」神に尋ねてください。そうすれば、モルモン書が真実であるという聖霊の力による確信を、神から頂くことができます。¹⁶ この確信には、イエス・キリストが救い主であられ、ジョセフ・スミスが回復の預言者であり、主の教会が末日聖徒イエス・キリスト教会という主の名前で呼ばれているという確信が伴います。¹⁷

モルモン書は、古代と現代の聖約によって、リーハイの子供であり「預言者たちの子孫」である皆さんに向かって語っています。¹⁸ 皆さんの先祖は、自分たちの子孫である皆さんがモルモン書から、まるで地から語るような声を聞くであろうという聖なる約束を受けました。¹⁹ モルモン書を読んで感じるその声は、皆さんが「聖約の子孫」であり²⁰、イエスが皆さんの良い羊飼いであられることを証しています。

アルマの言葉を借りると、モルモン書は、「主からますます豊かに御霊を注いでいただけるように、主に仕えて主の戒めを守るという聖約を主と交わ[す]」ようにと、すべての人に勧めています。²¹ わたしたちは良い方向に変わりたいと思うとき、つまり、ある人が言ったように「不幸であることをやめて幸福になろうとするとき」、導きや助け、励ましが受けられるようになります。聖約によって神とつながり、忠実な信者の仲間とつながり、キリストの教義²²にある約束を受けるのです。

神のすべての子供たちを祝福するために回復された神権の権能と力は、聖約によるつながりの第三の側面です。この神権時代に、バプテスマのヨハネと使徒ペテロ、ヤコブ、ヨハネが栄光に満ちた神の使いとしてやって来て、神の神権の権能を回

復しました。²³ 神の神権と神の儀式は地上での関係を貴いものにし、聖約による関係を天で結び固めることができます。²⁴

神権は、文字どおりゆりかごから墓場まで祝福することができます。幼児の命名から墓の奉献まで行うのです。神権の祝福は癒し、慰め、勧告を与えます。息子に腹を立てた父親がいましたが、息子に心を込めて父親の祝福を与えると、愛ある赦しの気持ちが湧いてきました。家族でたった一人の教会員である愛すべき若い女性は、霊感あふれる神権の祝福を受けて、初めて神の愛を確かに感じるようになりました。世界中で、気高い祝福師が霊的な備えをして祝福師の祝福を受けています。祝福師はあなたの頭に手を置くと、あなたに対する神の愛を感じ、それを言葉にして伝えます。祝福師はイスラエルの家の中でのあなたの血統を宣言します。主からの祝福を述べます。祝福師の奥さんは細やかな心配りをする人ばかりですが、ある奥さんは、特に夫が祝福師の祝福を受ける日は、御霊を招くことができるように自分も家族も努力する、と言っていました。

最後に、聖約によるつながりは、主の預言者に従って、結婚を含む神殿の聖約の生活を喜びをもって送るときに生まれます。日々自分の幸せよりも伴侶と家族の幸せを優先するならば、聖約の結婚は崇高な、永遠に続くものになります。「わたし」が「わたしたち」になるとき、夫婦は

ともに成長します。ともに年を取るとともに、ともに若くなるのです。生涯を通して自分を忘れて祝福を与え合うならば、夫婦の心からの望みと喜びは、この世から永遠にわたって神聖なものとなるでしょう。

状況は様々ですが、できることをすべて行い、最善を尽くし、その過程で主の助けを心から願うならば、主はふさわしいときに御自身の方法で、聖霊を通して導いてくださいます。²⁵ 結婚の聖約は当事者双方の選びによって拘束力を生じますが、これは、神と人が選択の自由を大切にしており、夫婦が心一つにして求めるときに神の助けという祝福があることを思い起こさせてくれます。

世代を超えた聖約によるつながりの実は、家庭や心で感じるものです。わたしの例を挙げさせていただきます。

ゴング姉妹とわたしが恋に落ちて結婚を考えるようになったとき、わたしは選択の自由と決断について学びました。ある期間、わたしたちは、大陸が異なる違う国の学校で学んでいました。正直に言うと、わたしが国際関係論の博士号を取得したのはそのためです。

「天のお父様、わたしはスーザンと結婚するべきでしょうか」と尋ねると、平安を感じました。しかし、そのときわたしは誠心誠意祈ることを学びました。「天のお父様、スーザンを愛しています。結婚したいのです。最高の夫になり、最高の父親になると約束します。」わたしは行動し、最

善の決断をしました。強い霊的な確信が得られたのはそのときでした。

幾世代にもわたる聖約によるつながりの実録を通して、新たな発見をしつながらうえて、ゴング家とリンゼイ家のファミリーサーチの家系図やストーリーや写真は、助けとなっています。²⁶ わたしたちの尊敬する先祖を紹介しましょう。

曾祖母のアリス・ブラウアー・バンガーターは、一日のうちに3人からプロボズされた人ですが、結婚後、夫にバター攪拌器にペダルを取り付けるよう頼みました。バターを混ぜながら編み物と読書ができるようにするためです。

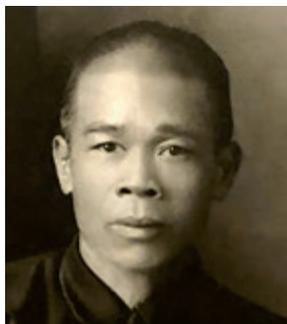
曾祖父のロイ・クエイ・チャーは、子供たちを背負い、ほんの少しの家族の身の回り品をロバの背に載せて、ハワイ島の溶岩地帯を渡りました。幾世代にもわたるチャー家族の献身と犠牲が、今のわたしたちの家族に祝福をもたらしています。

祖母のメアリー・アリス・パウエル・リンゼーは、夫と長男を数日違いで突然亡くしたとき、まだ幼い子供が5人いました。祖母は47年間、シングルマザーとして地元の指導者や会員の愛ある助けを受けて家族を養いました。その長い年月、もし主が助けてくださるのであれば、決して不満を言わないと、主に約束したのでした。主は彼女をお助けになり、祖母は決して不満を漏らしませんでした。

愛する兄弟姉妹の皆さん、聖霊が証されるように、すべての善いもの、そして永遠なるものは、実在する永遠の父なる神と御子イエス・キリスト、そして主の贖罪を中心としています。わたしたちの主、イエス・キリストは、新しい聖約の仲保者であります。イエス・キリストを証することが、聖約に関するモルモン書の目的です。²⁷ 誓詞と聖約により、神の回復された神権の権能は、神のすべての子供たちを祝福するものとなっています。そのような祝福は、聖約による結婚と、世代を超えて続く家族、個人の祝福を通して、もたらされます。



アリス・ブラウアー・バンガーター



ロイ・クエイ・チャー



メアリー・アリス・パウエル・リンゼー



中央初等協会会長会第二顧問
クリスティーナ・B・フランコ

福音を分かち合うことに 喜びを見いだす

救い主はこう宣言されています。「わたしはアルパでありオメガであり、主なるキリストである。すなわち、わたしは初めてあり終わりである者、世の贖い主である。」²⁸

あらゆる聖約によるつながりにおいて、神は初めから、今も、そして終わりの時までわたしたちとともにおられるのです。このことを、主イエス・キリストの聖なる神聖な御名によって証します、アーメン。■

注

1. See Isaac Watts, "My Shepherd Will Supply My Need," *Ensign*, Sept. 2015, 73.
2. マタイ 10:39 参照
3. 教義と聖約 84:20 参照
4. See *Lectures on Faith* (1985), 69.
5. 教義と聖約 14:7 参照
6. 教義と聖約 109:1
7. モロナイ 7:36。モロナイ 7:32 も参照
8. 教義と聖約 121:44
9. 教義と聖約 76:69
10. ヘブル 12:24; 教義と聖約 76:69; 107:19 参照。ジョセフ・スミス訳ガラテヤ 3:20 も参照
11. モロナイ 10:33。教義と聖約 90:24; 98:3 も参照
12. モーサヤ 2:41
13. ローマ 1:12。モーサヤ 18:8-9 も参照
14. ルカ 15:20
15. モルモン書のタイトルページ; 教義と聖約 84:57 参照
16. モロナイ 10:4
17. 3 ニーファイ 27:7-8; 教義と聖約 115:3 参照
18. 3 ニーファイ 20:25
19. 2 ニーファイ 26:16; 33:13 参照
20. 3 ニーファイ 20:26
21. モーサヤ 18:10
22. 2 ニーファイ 31:2, 12-13 参照
23. 教義と聖約 13 章; 27:12 参照。教義と聖約の序文も参照
24. 教義と聖約 128:8 参照。出エジプト 19:5-6; 教義と聖約 84:40 も参照。聖約をふさわしく守っている人は貴い宝となり、祭司の国となり、また聖なる民となる。聖約は人を清める。聖約を守る人は主に清められる。
25. 教義と聖約 8:2 参照
26. 各世代は同世代の人から学ぶことはあるものの、どの世代もほかの世代から互いに学ぶことができる。キリスト教徒の著作家セーレン・キルケゴールが次のような興味深い提言をしている。「たとえ一つの世代が他の世代から何を学ぶにしても、ほんとうに人間的なものだけは、いかなる世代も先だつ世代から学ぶことがない。」(「おそれとおのき」『ワイド版世界の大思想 第1期 12 キルケゴール』舛田啓三郎訳、河出書房新社)
27. モルモン書のタイトルページ参照
28. 教義と聖約 19:1

愛にあふれる天の御父は、わたしたちが御自分に目を向けるのを待っておられます。わたしたちや周りの人々の人生を祝福するためです。

わたしの大好きな初等協会の歌の一つは、次のような歌詞で始まります。

イエス様の作られた教会です
神の子供として
教え
学ぶ
救い主を信じて¹

わたしたちの信じる真理を伝える言葉は、こんなにも簡潔で美しいものなのです。末日聖徒イエス・キリスト教会の会員であるわたしたちは、自分が何者であるかを知っています。次のことを理解しているのです。「神は、わたしたちの霊の父です。わたしたちは……神の子供です。神は、わたしたちを愛しておられます。わたしたちは地上に〔来る〕前、〔天で神とともに〕生活していました。」

わたしたちは神の計画を知っています。神が明らかにくださったように、わたしたちは前世で神とともにいたのです。天の御父の「大きな目的(神の業と栄光)は、わたしたち一人一人が、神のすべての祝福を受けられるようにすることです。神は、この目的を果たすために、完全な計画を用意されました。わたしたちは地上へ

来る前に、この計画を理解し、受け入れました。……『幸福の計画』『贖いの計画』そして『救いの計画』[で]す。

神の計画の中心は、イエス・キリストです。イエス・キリストは贖罪によって御父の目的を果たされました。わたしたち一人一人が、不死不滅と永遠の命を得られるようにしてくださったのです。サタン(悪魔)は、神の計画の敵であり、初めから存在しました。



選択の自由（選ぶ力）は、神が御自身の子供たちに与えておられる最も大きな賜物の一つです。……わたしたちはイエス・キリストに従うか、サタンに従うかを選ばなければなりません。」²

わたしたちはこうした簡潔な真理を人々に分かち合うことができます。

わたしの母がそのような簡潔な真理を分かち合ったときのことをお伝えしたいと思います。ただ進んで会話をしようと心がけ、その機会に気づいただけなのです。

何年前か、母はわたしの弟とともにアルゼンチンへ帰るところでした。飛行機がほんとうに苦手だった母は、わたしの息子の一人に慰めと守りの祝福を授けてくれるよう頼みました。自分の祖母に、聖霊からの特別な助言と導きも授けるよう促しを感じた息子は、彼女が福音を知りたいと望む多くの人の心に触れ、高められるように祝福しました。

ソルトレーク空港で、母と弟は、家族とのスキー旅行から帰国しようとしていた7歳の少女に出会いました。自分の娘がわたしの母たちと長い間話していることに気づいた少女の両親は、会話に加わることになりました。彼らは自分たちと娘を紹介してくれました。エドアルド・ポール、マ

リア・スサーナ・ポール夫妻、そして娘のシャダ・ポールです。このすてきな家族との間には、自然と温かな結びつきを感じました。

アルゼンチンのブエノスアイレスまで同じ便で旅を続けられることを、どちらの家族もうれしく思いました。母は会話を続ける中で、彼らがこれまでずっと、回復されたイエス・キリストの教会について耳にしたことがなかったことに気づきます。

スサーナが最初に尋ねてきた質問の一つはこうです。「てっぺんに金の像が飾られた、あのすてきな博物館について教えてくださいませんか?」

母は、その大きな建物が博物館ではなく、主の神殿であり、いつの日か神のみもとに戻ってともに住めるよう、神と聖約を交わす場所であることを説明しました。スサーナは母に、ソルトレークへの旅行前、自分が祈っていたことを打ち明けました。彼女は自分の霊を高めてくれる何かを求めているのです。

フライトの間、母は簡潔ながらも力強く福音に対する証を述べ、地元に戻ったら宣教師を探そうスサーナに勧めました。「どうやって探したらいいのですか?」スサーナが聞くと、母はこう答えました。

「きっと気づくはずですよ。宣教師は二人組の青年で、白いワイシャツにネクタイをしているわ。それか、きちんとした服装をした若い女性二人組ね。いつも名札を付けているの。自分たちの名前に加えて『末日聖徒イエス・キリスト教会』って書いてあるはずよ。」

それぞれの一家は互いに電話番号を交換すると、ブエノスアイレス空港で別れを告げました。そのとき以来わたしの良き友人となったスサーナは、そのとき空港でわたしの母と別れるのがとても悲しかったと何度も伝えてくれました。彼女はこう言います。「あなたのお母さんは、光り輝いていたの。言葉では説明できないけれど、わたしが離れたくないと思うような輝きがあったのよ。」

スサーナは地元に戻るやいなや娘のシャダを連れて、自宅から数ブロック先に暮らす自分の母親を訪ねに行きました。今回の経験を伝えるためです。車を走らせていると、スサーナの目にふと、道を歩く二人の若い男性が映りました。わたしの母が説明したような身なりをしています。スサーナは路上に車を止めると、車から降り、この二人の若い男性に尋ねました。「もしかして、イエス・キリスト教会の方たちですか?」

彼らは言います。「そうです。」

「宣教師ですか?」スサーナは尋ねました。

二人は「はい、そのとおりです」と答えるではありませんか。

するとスサーナは言いました。「車に乗ってください。家に来てわたしに教えてくださいませんか?」

2か月後、マリア・スサーナはバプテスマを受けました。娘のシャダも、9歳を迎えるとバプテスマを受けました。わたしたちはご主人のエドアルドにも続けて働きかけており、何を選ぶにせよ、わたしたちは彼を愛しています。

それからというもの、スサーナはわたし





がこれまでに会った中で最高の宣教師の一人になりました。モーサヤの息子たちのように、多くの人々をキリストのもとに導いています。

スサーナとの会話の中で、ある時わたしはこう尋ねました。「秘訣は何？ 人々にどうやって福音を分かち合っているの？」

彼女はこう伝えてくれました。「とても簡単よ。毎日家を出る前に、天の御父に祈っているの。人生に福音を必要としているだけかのもとに自分を導いてくださるようお願いしているの。時には渡せるようにモルモン書を持って行くし、宣教師からもらったパスアロングカードも使ったりするわね。だれかと話し始めたらシンプルに、教会について聞いたことがあるか尋ねるの。」

スサーナはこうも話しています。「電車を待ちながら、ただ笑顔でいることもあるのよ。わたしを見た一人の男性が、『どうして笑っているんだい？』って聞いてきたことがあったの。不意を突かれたわ。

わたしは『幸せだから笑っているのよ！』って返事をしたの。

そしたら『何でそんなに幸せでいられるんだい？』って彼が言ったわ。

それでこう答えたの。『末日聖徒イエス・キリスト教会の会員だから、幸せなのよ。

御存じかしら？』

彼が知らないと言うと、彼女はパスアロングカードを渡して、次の日曜日の礼拝行事に来よう誘ったそうです。次の日曜日、スサーナは彼を教会の入り口で出迎えることになりました。

ダリン・H・オークス管長は次のように教えています。

「すべての会員が、……福音を分かち合うためにできることが3つあります。……

第1に、わたしたちは皆、このきわめて重要な救いの業の一翼を担いたいという望みを求めて祈ることができます。……

第2に、わたしたちは戒めを守ることができます。……忠実な会員は常に救い主の御霊を伴侶とし、イエス・キリストの回復された福音を分かち合うという偉大な業に携わろうとするとときに御霊の導きを得られるということです。

第3に、わたしたちは、ほかの人に福音を分かち合うために、……自分には何ができるか、靈感を求めて祈ることができます。……受けた靈感に基づいて行動するという決意をもって祈〔つ〕てください。」³

兄弟姉妹、子供たち、そして青少年の皆さん、わたしの友人スサーナのように、人々に福音を分かち合えるでしょうか。教会員でない友人を、日曜日に一緒

に教会へ来るよう誘えるでしょうか。あるいは親戚や友人にモルモン書を渡せるでしょうか。人々がファミリーサーチで自分の先祖を探すのを手伝えるでしょうか。または週の間『わたしに従ってきなさい』を研究する中で学んだことを人々に分かち合えるでしょうか。もっと救い主イエス・キリストのようになって、生活に喜びをもたらしてくれるものについて人々と分かち合えるでしょうか。これらのすべての質問への答えは「はい」です。わたしたちにはできます！

聖文にはこう記されています。「イエス・キリストの教会の会員は『人々の霊の救いのために主のぶどう園で働く』ために遣わされる（教義と聖約138：56）。この救いの業には、会員伝道活動、改宗者の定着、あまり活発でない会員の活発化、神殿・家族歴史活動、福音を教えることが含まれる。」⁴

愛する友である皆さん、主はイスラエルを集めるためにわたしたちを必要としておられます。教義と聖約の中で、主はこうに言われました。「また、あなたがたは何を言おうかと、前もって思い煩ってはならない。ただ絶えず命の言葉をあなたがたの心の中に大切に蓄えるようにしなさい。そうすれば、それぞれの者に必要な



十二使徒定員会
ディーター・F・ウクトドルフ長老

あなたの大きいなる冒険

部分が、必要なそのときに授けられるであろう。」⁵

そのほか、主はこうも約束しておられます。

「あなたがたはこの民に悔い改めを叫ぶことに生涯力を尽くし、一人でもわたしのもとに導くならば、わたしの父の王国で彼とともに受けるあなたがたの喜びはいかに大きいことか。

さて、あなたがたがわたしのもとに導いてわたしの父の王国に入れるようにした、一人の人とともに受けるあなたがたの喜びが大きいならば、もし多くの人をわたしのもとに導くとすればその喜びはいかに大きいことか。」⁶

冒頭で述べた初等協会の歌は、次の深遠な歌詞で締めくくられています。

救い主を信じて
御名を尊び
光に
従い
人に真理知らず⁷

これらの歌詞が真実であることを証します。愛にあふれる天の御父は、わたしたちが御自分に目を向けるのを待っておられます。わたしたちや周りの人々の人生を祝福するためです。わたしたちが兄弟姉妹をキリストのもとに導きたいという望みを抱けるよう祈ります。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. 「イエス・キリストの教会」『子供の歌集』48
2. 『わたしの福音を宣べ伝えなさい——伝道活動のガイド』48 参照
3. ダリン・H・オークス「回復された福音を分かち合う」『リアホナ』2016年11月号, 58
4. 『手引き 第2部: 教会の管理運営』5.0, ChurchofJesusChrist.org; L・ホイットニー・クレートン「救いの業——昔と今」『リアホナ』2014年9月号, 23
5. 教義と聖約 84: 85
6. 教義と聖約 18: 15 - 16
7. 「イエス・キリストの教会」48

救い主はわたしたちに、日々、心地良さと安楽を脇に置き、主とともに弟子としての道を歩むよう招いておられます。

ホビットについて

何年も前に書かれた子供向けの人気ファンタジー小説は次の言葉で始まります。「地面の穴のなかに、ひとりのホビットが住んでいました。」¹

ビルボ・バギンズを主人公とするこの物語は、このうえなく非凡な機会を与えられた、ごく普通で平凡な一人のホビット〔訳注——中つ国に住む架空の小人の種族〕の話です。それは、冒険と大きいなる報いの約束を伴うすばらしい機会となりました。

問題は、誇り高きホビットの大半が、冒険などとはかわりたくないと思っていることです。ホビットにとって生活の快適さがすべてなのです。手に入るなら一日

6食を楽しみ、日がな一日自宅の庭で過ごしては、訪ねて来る客と語り合い、歌い、楽器を奏で、素朴な生活の喜びに浸っているのです。

けれども、壮大な冒険が予想される機会を与えられたとき、ビルボの心の奥深くから何かがふつつつと沸き上がってきます。困難な旅になることは始めから分かっていました。もちろん危険が伴うことも。戻って来れない可能性さえあります。

それでも、冒険へといざなう声が心の奥底にまで響きわたります。そして、この特に注目を引くことのないホビットは、快適な生活を後にして、「ゆきてかえりし」²あらゆる道へと向かわせる壮大な冒険の旅に出発するのです。

皆さんの冒険

この物語が多くの人の心に響く理由の一つは、恐らくそれがわたしたち自身の物語でもあるからでしょう。

わたしたちが生まれる前、時の流れによってぼやけ、記憶が定かでない、はるか昔のこと、わたしたちもまた冒険の旅に出立するよう招かれました。天の御父であられる神によって提案された旅です。この冒険を受け入れることは、御父のすぐそばにいる心地良さと安全から離れることを意味していました。未知の危険と試練に満ちた旅に出て地上に来ることを意味していたのです。





容易ではないことは分かっていました。しかし、貴重な宝を手に入れるであろうこと、すなわち肉体を得、現世における大きな喜びと悲しみを経験することもまた知っていました。わたしたちは努力し、探し求め、奮闘することを学ぶでしょう。神とわたしたち自身について、真理を見いだすでしょう。

もちろん、旅路の途中で多くの間違いを犯すことも分かっていました。しかし、わたしたちはある約束を受けてもいました。イエス・キリストのたいなる犠牲のおかげで、わたしたちは背きから清められ、霊的に精練され、清められ、いつの日か復活して愛する人々と再び会えるのです。

わたしたちは神がどれほど自分を愛しておられるか知っていました。主はわたしたちに命を与え、わたしたちが成功するよう望んでおられます。それで、わたしたちのために救い主を備えてくださったのです。「それでも、あなたは自分で選ぶことができる。それはあなたに任されているからである」と天の御父は言われました。³

現世の冒険が、神の子供たちにとって心痛や脅威をはらむものになるのは明らかでした。それは、わたしたちの霊の兄弟姉妹の多くがその機会を拒むことになったことから分かります。⁴

道徳的な選択の自由という賜物と力により、わたしたちは、自分が学び得る事柄、永遠になり得る姿には、危険を冒す価値が十分であると判断しました。⁵

こうして、人は神とその愛される御子の約束と力を信頼して、そのチャレンジを受

け入れたのです。

わたしもそうしました。

皆さんもそうしたのです。

第一の位がもたらす安全を離れ、それぞれが自身の「ゆきてかえりし」たいなる冒険の旅に出たのです。

冒険への招き

それにしても、現世の生活には、わたしたちを道からそらすものが多くあります。たいなる探訪の目的を見失い、成長と進歩よりも、心地良さと安楽さを好みがちです。

それでも、わたしたちの心の奥底には、より気高く、崇高な目的を渴望する、否定し難い何かがあるのです。この渴望こそ、人々がイエス・キリストの福音と教会に引きつけられる理由の一つです。ある意味で回復された福音は、ずっと昔にわたしたちが受け入れた冒険への再度の招きなのです。救い主はわたしたちに、日々、心地良さと安楽を脇に置き、主とともに弟子としての道を歩むよう招いておられます。

この道には曲がりくねった箇所が多くあります。丘や谷、そして回り道もあります。クモヤトロール〔訳注——北欧神話で、洞穴などの隠れ処に住む巨人・小人〕、龍にたとえられるものさえ立ちほだかるかもしれません。それでも、道にとどまり神を信頼し続けるならば、いずれ皆さんは栄光に満ちた目的地に至る道を見だし、天の家に戻ることができるでしょう。

では、どのように始めればよいでしょうか。

その方法はとてもシンプルです。

神に心を傾ける

まず、神に心を傾けることを選ぶ必要があります。日々神を見いだすよう努力してください。神を愛することを学んでください。それから、その愛に触発されて神の教えを学び、理解し、それに従うようにするのです。そして、神の戒めを守ることを学んでください。イエス・キリストの回復された福音は、子供にも理解できるシンプルで分かりやすい方法で与えられます。それでいて、イエス・キリストの福音には、人生における最も複雑な質問に対する答えがあります。それは、生涯にわたって学び続け、深く考え続けても、ごく一部しか理解できないくらい、非常に深遠かつ複雑な真理です。

皆さんが自分の能力を疑うがゆえにこの冒険に出るのをためらっているならば、弟子の道とは完璧に物事を行うことではないことを忘れないでください。弟子の道とは明確な意志を持って物事に組み込むことなのです。皆さんは自らの選びによって、自分がほんとうは何者であって、その能力をはるかに超える存在であることを示すのです。⁶

たとえ失敗しても、皆さんは諦めるという選択をすることもできれば、勇気を見いだして立ち上がり、前進することもできます。それこそがこの旅における究極のテストなのです。

神は皆さんが不完全で、時には失敗するであろうことを御存じです。神は、勝利する皆さんと同じように、苦しみ悩む皆さんを愛しておられます。



愛に満ちた親と同様に、神は皆さんが明確な意思をもって努力し続けることを望んでおられるのです。弟子になるとは、ピアノの弾き方を学ぶようなものです。最初は、「チョップスティックス」といった簡単な曲を、かるうじて何の曲か分かるぐらいにしか弾けないかもしれません。それでも、練習し続けるなら、その簡単な曲がいつかはすばらしいソナタやラプソディーやコンチェルトに取って代わるようになるでしょう。

その日はこの生涯の間には来ないかもしれませんが、いつかやって来ます。神が願われるのはただ一つ、皆さんが強い意志をもって努力し続けることです。

愛をもって人々に手を差し伸べる

皆さんが選んだこの道には、興味深く、ほとんど逆説的とも言える点があります。それは、福音の冒険において皆さんが進歩する唯一の方法は、ほかの人々もまた進歩するように助けることだということです。

人を助けることこそ、弟子の道です。信仰、希望、愛、思いやり、そして奉仕がわたしたちを弟子として精練するのです。

貧しい人々、困っている人々を助けるべく、また苦しんでいる人々に手を差し伸べるべく努力することを通して、皆さん自身の人格が清められ、鍛錬されます。皆さんの霊性が高められ、以前よりも胸を張って

堂々と歩めるようになるのです。

しかし、この愛は無償の愛でなければなりません。人の承認や称賛、好意を求めようとする奉仕であってはなりません。

イエス・キリストのまことの弟子は、見返りを求めずに神とその子供たちを愛します。わたしたちは期待を裏切る人や、自分たちを嫌う人を愛します。自分たちをあざけり、虐待し、傷つけようとする人でさえも愛するのです。

キリストの純粋な愛で心を満たすとき、恨みを抱いたり、裁いたり、辱めたりする余地はなくなります。神を愛するがゆえに、皆さんは神の戒めを守るのです。その過程で、皆さんは思いやりににおいて少しずつ、さらにキリストに似た者となります。⁷ この旅に勝る冒険が、ほかにあり得るでしょうか。

経験談を分かち合う

この旅においてわたしたちが習得すべく努め励むことの3つ目は、イエス・キリストの御名を受けて、イエス・キリストの教会の会員であることを恥じないことです。

わたしたちは自分の信仰を隠しません。地に埋めたりしません。

むしろ、ごく普通に自然な方法でほかの人に自分の旅について話します。友人とはそうするものです。自分にとって大切な事柄や、心にかけている事柄で、自分に影響

を及ぼしていることについて話します。

皆さんもそうしています。末日聖徒イエス・キリスト教会の会員として自分が経験した物語を話すのです。

時にその経験談は人の笑いを誘うでしょう。時に人の涙を誘うでしょう。時に、人々がもう一時間、もう一日と、忍耐と快活さと勇気を持って立ち向かい続け、もう少し神に近づけるよう助けてくれます。

皆さんの経験談を、個人的に、ソーシャルメディア上で、またグループ内で、そしてどこでも分かち合ってください。

イエスが最後に弟子たちにお告げになったことの一つは、世界中に出て行き、よみがえったキリストの話を伝えることでした。⁸ 今日わたしたちは、その大いなる務めを喜んで受け入れています。

わたしたちが分かち合うべきメッセージは、何と輝かしいものでしょうか。イエス・キリストのおかげで、すべての男女、子供が安全に天の家へ戻り、そこで栄光と義のうちに住むことができるからです。

分かち合うのにさらに良い知らせがあります。

それは、この時代に、神が人に御姿を現されたことです。わたしたちには生ける預言者がいます。

申し上げておきますが、皆さんが回復された福音やイエス・キリストの教会を「売り込む」ことを神は必要としておられません。

神はただ、それを柵の下に隠してほしくないとお思いなのです。

そして、もし人々が教会は自分には向かないと決めたなら、それはその人の判断です。

皆さんが失敗したというわけではありません。今までどおり、その人に思いやりをもって接してください。けれども、もう一度誘ってみる余地がないわけではありません。

うわべだけの社交的なかわりと、思いやりに満ちた勇気ある弟子としてのかわりの違いは、招きに 있습니다。

わたしたちは、人の社会的地位や人種、宗教、人生における決断にかかわらず、すべての神の子供たちを愛し、大切に思っています。

わたしたちの務めは、こう言うことです。「来て見てください！ 弟子としての道を歩むことがどれほど価値のある、気高いものか、自分の目で確かめてください。」

わたしたちは、こう言って人々を招きます。「来て助けてください。わたしたちは世の中をより良い場所にしようとしているのです。」

そしてこう言います。「来てとどまってください。わたしたちは、皆さんの兄弟姉妹です。完全ではありませんが、神を信頼しており、その戒めを守ろうとしています。」

わたしたちに加わってください。皆さんは、わたしたちをさらに善い人にしてくれるでしょう。そして、その過程で、皆さんもまた、さらに善い人になることでしょう。一緒にこの冒険に出かけましょう。」

いつ始めるべきですか

内なる冒険心がかき立てられるのを感じた我らが友ビルボ・バギンズは、一晩ぐっすり眠って朝食をたっぷり食べてから、朝一番に出発することにしました。

目を覚ましたビルボは、家が散らかっているのに気づき、危うく崇高な計画のことを忘れそうになります。

しかし、そのとき、友人のガンダルフがやって来てこう尋ねます。「いったい、いつ行くつもりなんじゃね？」⁹ 仲間を追いつくにはどうするべきか、ビルボは自分で決断しなければなりません。

そこで、このごく普通で特に人目を引くことのないホビットは、気づくと、冒険の道へと表玄関から勢いよく飛び出していました。急ぐあまりに帽子も、杖も、ハンカチも忘れ、2度目の朝食すら食べ終えずに。

ここに、わたしたちも学ぶべき教訓があるかもしれません。

皆さんもわたしも、愛にあふれる天の御父がはるか昔に備えてくださったことに従って生き、それを分かち合うという大いなる冒険に加わるようにという沸き立つような促しを感じたことがあるのなら、はっきりと申し上げます。今日こそ、わたしたちの救い主であられる神の御子に従い、その奉仕の道、弟子となる道にいでたつ日なのです。

何もかもすべてが完全に整うのを待っているのは、生涯を費やすことになりかねません。そうではなく、今こそ、全力を尽くして神を求め、人に仕え、自分の経験をほかの人に分かち合う時なのです。

帽子や杖やハンカチ、散らかった家はそのままにして出かけましょう。¹⁰

すでにその道を歩んでいる皆さん、勇気を出し、思いやりを行動に移し、自信を

もって、歩み続けてください！

その道から離れてしまった皆さん、どうぞ戻って来て、もう一度仲間に加わり、わたしたちを強めてください。

そして、まだ旅を始めていない皆さん、なぜ引き延ばすのですか？ この大いなる霊的な旅のすばらしさを経験したいのなら、皆さん自身の壮大な冒険に踏み出してください。宣教師と話してください。末日聖徒の友人と話をし、この不思議な驚くべき業について話してください。¹¹

今こそ始める時です！

来て、わたしたちに加わってください！

人生がさらに意義深いものとなり、さらに気高い目的と強い家族のきずな、そしてより深い神とのつながりが得られるかもしれないと感じるなら、来て、わたしたちに加わってください。

最高の自分になろうと努力し、困っている人を助け、より良い世の中にしようとしている人々の集う場所を探しているならば、来てわたしたちに加わってください！

この不思議な驚くべき、冒険に満ちた旅がどんなものか、来て見てください。

そうするときに皆さんは自分自身を見いだすでしょう。

人生の意味を見だし、

神を見いだすことでしょう。

皆さんは、冒険と栄光に満ちた最高の人生の旅を見いだすことでしょう。

このことについて、わたしたちの贖い主であり救い主であるイエス・キリストの御名によって証します、アーメン。■

注

1. J・R・R・トールキン『ホビットの冒険』上巻（2000年）、瀬田貞二訳、岩波少年文庫、11
2. トールキン『ホビット』上巻（2012年）の副題、山本史郎訳、原書房
3. モーセ3：17
4. ヨブ38：4-7（「神の子たちはみな喜び呼ばわった」）；イザヤ14：12-13（「わたしの王座を高く神の星の上にお……こう」）；黙示12：7-11（「天では戦いが起った」）参照
5. 「預言者ジョセフ・スミスは選択の自由についてこう説明している。『個人として自由に考え





七十人
ウォルター・F・ゴンサレス長老

救い主の御手

ることのできる特権であり、最もすばらしい賜物の一つとして天が恵み深くも人類家族に授けてくださったものである。』[Teachings of the Prophet Joseph Smith, comp. Joseph Fielding Smith (1977), 49]. この「個人として自由に考えることのできる特権」すなわち選択の自由こそ、個人を「自ら選択して行動する者」とする力である（教義と聖約 58：28）。それには善悪、あるいは様々なレベルの善または悪を選ぶ意思の行使と、その選択の結果を経験する機会もまた含まれる。天の御父はその子供たちを深く愛しておられるがゆえに、わたしたちが各自の可能性を最大限に発揮し、御自身に似た者となるよう望んでおられる。人が進歩するには、自身の望むとおりに選択できる生来の力が備わっている必要がある。選択の自由は、神がその子供たちのために立てられた計画において非常に重要な要素であり、「神ですら、人に自由を与えずして彼らを御自身に似た者にすることがおできにならなかった。」[David O. McKay, “Whither Shall We Go? Or Life’s Supreme Decision,” Deseret News, June 8, 1935, 1]” (Byron R. Merrill, “Agency and Freedom in the Divine Plan,” in Roy A. Prete, ed., *Window of Faith: Latter-day Saint Perspectives on World History* [2005], 162).

6. J・K・ローリング著の小説『ハリー・ポッターと秘密の部屋』の中で、ホグワーツ魔法魔術学校の校長、ダンブルドアはこれととても類似した言葉をハリー・ポッターに対して語っている。それは、わたしたちにとってもすばらしい助言である。わたしはメッセージの中で以前にもそれを引用したが、繰り返す価値があると考え。

7. 「愛する者たちよ。わたしたちは今や神の子である。しかし、わたしたちがどうなるのか、まだ明らかではない。彼が現れる時、わたしたちは、自分たちが彼に似るものとなることを知っている。そのまことの御姿を見るからである。」(1ヨハネ 3：2；強調付加)

そうした変貌はわたしたちの理解力を超えているが、「御霊みずから、わたしたちの霊と共に、わたしたちが神の子であることをあかしして下さる。

もし子であれば、相続人でもある。神の相続人であって、キリストと栄光を共にするために苦難をも共にしている以上、キリストと共同の相続人なのである。

わたしは思う。今のこの時の苦しみは、やがてわたしたちに現されようとする栄光に比べると、言うに足りない。」(ローマ 8：16 - 18；強調付加)

8. マタイ 28：16 - 20 参照

9. トールキン『ホビットの冒険』上巻、64

10. ルカ 9：59 - 62 参照

11. See LeGrand Richards, *A Marvelous Work and a Wonder*, rev. ed. (1966).

わたしたちが主のもとに向かうなら、神は救いの手を差し伸べてくださいます。わたしたちを癒してくださるか、あらゆる状況に立ち向かう強さを授けてくださるのです。

およそ2,000年前のこと、救い主は至福の教えとそのほかの福音の原則を説かれた後、山を下りられました。主が歩いておられると、重い皮膚病を患う男性が近づいて来ました。男性はキリストの前にひれ伏し、敬虔な態度で敬意を示します。その苦痛から解かれることを望んでいたのです。願いの言葉は簡潔なものでした。「主よ、みこころでしたら、きよめていただけるのですが。」

すると救い主は御自分の手を伸ばして男性に触れ、こう言われたのです。「そうしてあげよう、きよくなれ。」¹

この言葉から、救い主はいつでもわたしたちに祝福を授けたいと願っておられる

ことが分かります。直ちに与えられる祝福もあれば、受けるまでに時間のかかるものもあります。時には次の世で授けられる場合さえありますが、祝福は必ずいつかもたらされるのです。

この重い皮膚病の人と同じく、主の御心を受け入れ、主がわたしたちを祝福したいと願っておられることを理解するならば、この世で強さと慰めを見いだすことができます。あらゆるチャレンジに立ち向かい、誘惑を退け、置かれた難しい境遇を理解し堪え忍ぶ強さを見いだせるのです。まさに生涯で最も圧倒されるような状況の一つに直面した救い主は、「みこころが行われますように」と御父に祈られました。





すると、堪え忍ぶ強さが増したのです。²

重い皮膚病の人が願いを申し出た態度は、尊大でもなく、押しつけがましくありませんでした。彼の言葉には謙虚な態度が表れており、高い期待と同時に、救い主の御心が行われるようにという心からの願いが込められていたのです。わたしたちがキリストのもとに来るうえで、見做すべき態度です。主が今もこれからも常に願っておられるのは、わたしたちの現世および永遠の人生にとって最善のものです。そのことを確信しながら、わたしたちはキリストのもとに向かうことができます。わたしたちが持っていないような永遠の観点を、主はお持ちです。わたしたちは主のごとく、自分の思いが御父の御心に飲み込まれるようにと心から願いながら、キリストのもとに向かわなければなりません。³これにより、わたしたちは永遠の命へと備えられるのです。

救い主のもとに来た重い皮膚病の人が、どれほどの身体的、精神的苦痛を抱えていたかは想像もつきません。皮膚病は神経と皮膚を侵し、外見を損ない、身体に障がいをもたらします。それだけでなく、ひどい社会的な不名誉も引き起こすものでした。重い皮膚病にかかった人は愛する人々のもとを離れ、社会から孤立して生活することを余儀なくされたのです。彼らは、身体的にも霊的にも汚れた者と見なされていました。このためモーセの律法において、重い皮膚病の人たちは裂けた衣服を身にまとい、歩きながら「汚れた者」と呼ばわらなければならなかったのです。⁴病を抱え、さげすまれた彼らは、放棄された家や墓地に住み着くようになります。⁵救い主に近づいた重い皮膚病の人がいかに深い傷を負っていたかは、想像に難くありません。

わたしたちも何らかの形で、深手を負っているように感じる時折あります。自分自身、あるいはだれかの行動が原因となる場合もあれば、自分でコントロール

できる、あるいはできない状況が原因となる場合もあるでしょう。そのようなとき、わたしたちは自分の思いを主の御手に委ねることができます。

数年前のこと、妻のズルマはつらい告知を受けました。子供の一人の結婚式のちょうど2週間前のことでした。耳下腺に腫瘍が見つかり、急速に肥大化していたのです。彼女の顔は腫れ上がっていき、すぐにも難しい手術を受けなければならない状況でした。彼女の頭の中を様々な思いが駆け巡り、心には重荷がのしかかりました。悪性の腫瘍なのだろうか。体はどの程度回復するだろうか。顔にまひが残るだろうか。痛みの度合いはどれほどのものだろうか。顔の傷跡は一生残るのだろうか。一度は取り除かれた腫瘍が再発することはあるだろうか。息子の結婚式には出席できるだろうか。手術室で身を横たえながら、妻は打ちひしがれていました。

その非常に重要な瞬間、御霊が彼女に、御父の御心を受け入れなければならぬ、とささやきました。こうして妻は、神に信頼を置こうと決心しました。結果がどうあれ、主の御心は自分にとって最善のものになるはずだ、と強く感じたのです。程なくして、彼女は麻酔により徐々に眠りに落ちていきました。

その後、妻は日記に詩的な言葉を綴っています。「手術台の上で、わたしはあなたの御前に頭を垂れ、その御心に身を委ね、眠りに落ちました。わたしはあなたを信頼できると悟りました。あなたから悪いことがもたらされることは決してないと、確信したのです。」

彼女は自分の思いを御父の御心に従わせることにより、強さと慰めを見いだしました。その日、神は彼女を大いに祝福してくださいました。

どのような状況に置かれても、わたした

ちはキリストのもとへ向かう信仰を働かせ、頼みの綱である神を見いだすことができます。わたしの子供の一人、ガブリエルは次のように書いています。

預言者によると、神の御顔は太陽よりも明るく輝き

その頭髮は雪よりも白いという
御声は川のどろきのごとく鳴り響き、
その隣にあつて、人は取るに足りない者である……

自分もまた、取るに足りない者であると知ったわたしは打ち砕かれた。

そうして初めて、わたしは頼みの綱、神への道を手探りでたどった。

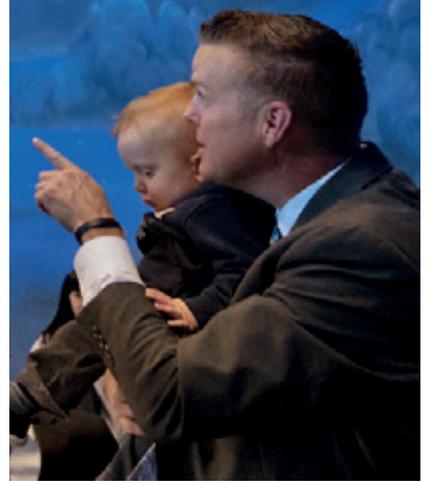
こうしてようやく、わたしは信頼のとりで、神を見いだしたのだ。⁶

信頼できる神は、わたしたちが希望を持てるように励ましてくださいます。わたしたちは主を信頼することができます。主はわたしたちを愛しておられ、いかなる状況にあつてもわたしたちにとって最善のものを願っておられるからです。

重い皮膚病の人が進み出たのは、希望の力を抱いていたためです。この世は彼に何の解決策も提供せず、慰めすら与えませんでした。ですから、救い主の御手にそっと触れられただけで、全身全霊が包まれたかのように感じたことでしょう。救い主が触れてくださったとき、中でも「そうしてあげよう、きよくなれ」と言葉をかけられたときに重い皮膚病の人が抱いたであろう深い感謝の思いを、わたしたちは想像することしかできません。

物語の続きには、「重い皮膚病は直ちにきよめられた」とあります。⁷

わたしたちも同じように、救い主の愛にあふれた癒しの御手に触れていただくことができます。主はわたしたちが清くなる



のを助けたいと願っておられると知ること
で、どれほどの喜び、希望、感謝の思いが
心にもたらされることでしょう。わたした
ちが主のもとに向かうなら、神は救いの手
を差し伸べてくださいます。わたしたちを
癒してくださいるか、あらゆる状況に立ち向
かう強さを授けてくださるのです。

いずれにしても、自分の思いではなく主
の御心を受け入れることで、自分の置かれ
た状況をよりよく理解することができるで
しょう。神から悪いものがもたらされるこ
とはありません。主はわたしたちにとって
最善のものを御存じなのです。もしかする
と、主がわたしたちの重荷を直ちに除去し
てくださることはないかもしれません。主
は時として、アルマとその民に行われた
ように、そうした重荷を軽く感じられるよ
うにしてくださいませ。⁸ 聖約があるため
に、最終的には、この世もしくは聖なる復
活のときに重荷は取り除かれるのです。⁹

主の御心が行われるように心から願い、
贖い主の神聖な性質を理解するなら、重
い皮膚病の人が清められるうで示したよ
うな信仰を育むことができますでしょう。
イエス・キリストは愛の神、希望の神、癒し
の神、わたしたちを祝福し、わたしたちが
清くなるのを助けたいと願っておられる神
です。これこそ、主がこの地上に来られる
前、背きに陥るわたしたちの救い手となる
ことを自ら申し出たときに望んでおられた
ことです。これこそ、罪の代価を支払う苦
しみの中、人には理解し得ないほどの痛
みに立ち向かう中、主がゲツセマネで求め
ておられたことです。これこそ、主が御父
の前でわたしたちのために嘆願されると
き、今でも願っておられることです。¹⁰ これ
こそ、主が今もなお、こう招いておられる
理由なのです。「すべて重荷を負うて苦
労している者は、わたしのもとにきなさい。
あなたがたを休ませてあげよう。」¹¹

主は確かに、わたしたちを癒し、高める
力を備えておられます。主は御自分の心
が隣れみで満たされるように、肉体的、霊

的な苦痛のすべてを受けられました。す
べてにおいてわたしたちに手を差し伸べ
られるように、またわたしたちを癒し、高
められるようにそうしてくださったので
す。¹² アビナダイが引用しているイザヤの
言葉は、このことを見事に、感動的に表現
しています。

「まことに彼はわたしたちの悲哀を負
い、わたしたちの悲しみを担った。……

彼は、わたしたちの背きのために刺し貫
かれ、わたしたちの罪悪のために傷つけら
れた。わたしたちの平安のために、懲ら
しめが彼に及んだ。彼の鞭の打ち傷によ
って、わたしたちは癒されている。」¹³

同じ概念が、次の詩においても教えら
れています。

「ああ、ナザレの大工よ、
わたしの心は、壊れてしまい、直しよう
がない

わたしの人生には救いがなく、もう死に
そうだ

ああ、大工よ、元どおりにできるでしょ
うか」

すると優しい手が、待ち構えていたか
のように差し伸べられ

わたしたちの壊れた人生が、
愛に満ちた大工の人生に織り込まれて
溶け合い、

新たな人生が始まる—こうして、「すべ
てのものは、新たにされた」

「壊れてしまったわたしの心と
願い、志、望み、そして信仰。
それらを完全なものとしてください
ああ、ナザレの大工よ！」¹⁴

何らかの点で自分が汚れていると感じ
る、または壊れてしまったと感じるなら
ば、清めを受け、元どおりになることが
できると覚えていてください。神が皆さんを
愛しておられるからです。主から悪いもの
がもたらされることはない、信頼してく
ださい。

主は「万物の下に身を落と〔された〕」た
めに、¹⁵ わたしたちの人生において壊れた
すべてのものを元どおりにすることがおで
きになります。そうしてわたしたちは、神
と和解できるようになるのです。地上のも
も天のものも、すべてのものは主を通し
て執り成しがなされます。「その十字架の
血によって平和をつくり」出してください
ました。¹⁶

必要とされるすべてのステップを踏み、
キリストのもとに向かおうではありません
か。その中で、わたしたちが次のような態
度を持てますように。「主よ、みこころで
したら、きよめていただけるのですが。」
そうするなら、わたしたちは主の癒しの御
手に触れていただくことができます。それ
と同時に、主の愛に満ちた声が響くので
す。「そうしてあげよう、きよくなれ。」

救い主は、わたしたちが信頼できる神
です。主はキリスト、油注がれた者、メシ
ヤです。イエス・キリスト、主の聖なる御
名により証します、アーメン。■

注

1. マタイ 8:2-3
2. マタイ 26:42
3. モーサヤ 15:7 参照
4. レビ 13:45 参照
5. See Bruce R. McConkie, *Doctrinal New Testament Commentary* (1973), 1:174.
6. 箴言 3:5-6; 教義と聖約 110:2-3; モーセ 1:2-10 も参照
7. マタイ 8:3
8. モーサヤ 24:8-15 参照
9. モーサヤ 24:13-16 参照
10. 教義と聖約 45:3-5 参照
11. マタイ 11:28
12. アルマ 7:12 参照
13. モーサヤ 14:4-5
14. George Blair, "The Carpenter of Nazareth," in Obert C. Tanner, *Christ's Ideals for Living* (Sunday School manual, 1955), 22; ジェフリー・R・ホランド「壊れたものを元どおりに」『リアホナ』2006年5月号, 71で引用
15. 教義と聖約 88:6
16. コロサイ 1:20. 2コリント 5:18-20 も参照



十二使徒定員会
ゲリー・E・スティープンソン長老

わたしを欺くな

神の戒めを守るときに、わたしたちは常に正しい道に導かれ、欺かれることはありません。

今日、すべての人への助言の言葉をお伝えしますが、特に若い世代の皆さん、つまり初等協会の子供たちと若い男性、若い女性に向けてお話しします。現代の主の預言者、ラッセル・M・ネルソン大管長は皆さんに対する深い愛から昨年、青少年対象の特別なワールドワイド・ディボー



ショナル放送、「シオンのつわもの」で皆さんに話をしました。¹ ネルソン大管長が皆さんのことを「イスラエルの望み」と呼ぶのをよく耳にします。皆さんは、回復されたイエス・キリストの教会の将来を担う若い世代なのです。

若い友人の皆さんに、まず、家族に起こった二つの話を紹介します。

102 匹目のワンちゃん

何年も前に、わたしは仕事から帰って来ると、地面にもガレージのドアにも赤レンガの家にも、至る所に白のペンキが飛び散っているのに驚きました。よく見てみると、ペンキはまだ濡れていることに気づきました。わたしは、裏庭へと続くペンキの跡をたどって行きました。すると、5歳の息子が裏庭でペンキのハケを手に、我が家の犬を追いかけていました。飼っていた美しい黒のラブラドルが飛び散ったペンキでほぼ半分が白くなっていたのです！

「何してるの？」と大きな声で尋ねました。

息子は立ち止まってわたしを見ると、犬と白いペンキのしたたるハケを見て、こう言いました。「犬を映画の黒ブチ犬みたいにしたいんだ。101匹のワンちゃんみたいにね。」

わたしはその犬が大好きでした。完璧な犬だと思っていましたが、息子は違うことを考えていたのです。

縞模様の猫

二つ目の話は、グローバー大おじさんにまつわる話です。おじさんは、町から遠く離れた田舎の家に住んでいました。グローバーおじさんはかなり高齢になっていました。彼が亡くなる前に息子たちに会ってもらいたいと思ったわたしたちは、ある午後、おじの質素な家に車で向かいました。皆で座り、息子たちをおじに紹介しました。話し始めて間もなく、5、6歳ぐらいだった二人の息子は、外に出て遊びたくなりました。

グローバー大おじさんは二人の頼みを聞いて、自分の顔を二人の顔に近づけました。しわの寄ったなじみのない老人の顔を見て、息子たちは少し怖がっていました。彼は二人に、しゃがれた声でこう言いました。「気をつけて。スカンクがたくさんいるから。」これを聞いた妻のリサとわたしは、息子たちがスカンクに分泌液を吹きかけられるのではないかと心配になりました。間もなく息子たちは外に遊びに行き、わたしたちは話を続けました。

その後、車で家に帰る道すがら、わたしは「スカンクを見た？」と尋ねました。息子の一人がこう答えました。「ううん、スカンクは見なかったけど、背中が白の縞模様の黒い猫は見たよ！」

大いなる偽り者

無邪気な子供が生活や現実について何かを発見するこのような話を聞くと笑みがこぼれますが、これらの話はより深い概念を示しています。

最初の話の中で、幼い息子はかわいい犬を飼っていました。にもかかわらず、彼はペンキのバケツを持ち、ハケを手に、自分の想像を現実のものにしようとしました。

二つ目の話で、息子たちは、自分たちが直面しているスカンクからの脅威など何も知らずにのんきにしていました。自分たちが実際に遭遇していたものの正体を正しく見極めることなく、不幸な結果を被る危



険を冒したのです。これらは、誤った認識に関する話です。実在するものをほかの何かだと思い込んだのです。どちらも、結果はささいなことでした。

しかし、今日、多くの人が大規模の同じ問題に立ち向かっています。物事の本来の姿が見えていなかったり、あるいは、真実に不満を抱いています。さらに、今日、わたしたちを絶対的な真理から意図的にそらす力が働いています。このような欺きと偽りは、無邪気な誤った認識をはるかに超え、往々にして恐ろしい、ささいではない結果を生み出します。

偽りの父であり大いなる偽り者であるサタンは、物事の真実の姿に疑問を抱かせ、永遠の真理を無視させたり、真理をもっと心地よいものに変えさせたりするのです。「彼は神の聖徒たちに戦いを挑み、彼らを取り囲〔み〕」²、何千年の間、善が悪であり、悪が善である、と神の子供たちが信じるように企て、実行してきました。

サタンには、スカンクがただの猫か何かであり、ペンキを塗ってラブラドルをダルメシアンに変えられると人に思い込ませる性質があります。

では、聖文に出てくるこの原則の例を見てみましょう。主の預言者モーセが同じ

問題に直面した例です。「モーセが非常に高い山に連れて行かれたときに、……彼は顔と顔を合わせて神にまみえ、神と語り〔ました〕。』³ 神は、モーセが永遠の中でどのような存在であるかを教えられました。モーセは死すべき不完全な状態ではあったものの、神は「わたしの独り子にかたどられている。わたしの独り子は、……救い主である」と教えられたのです。⁴

要約すると、モーセはこの奇しき示現の中で神にまみえ、自分自身について大切なことも学びました。自分がまさに**神の息子**だと知ったのです。

この驚くべき示現が閉じた後に起こったことに注意してください。「サタンが来て、彼を誘惑して言った。『人の子モーセよ、わたしを拝みなさい。』』⁵ モーセは勇気を出して言いました。「おまえはだれだ。見よ、わたしは、神の独り子にかたどられている**神の子**だ。おまえの栄光がどこにあるので、わたしが**おまえ**を拝まなければならないのか。』⁶

言い換えるとこうです。「わたしを欺くことはできない。わたしは自分が何者かを知っている。わたしは神の形に創造された。おまえに神の光と栄光はない。おまえを拝んだり、おまえの偽りのえじきに

はならない。』

モーセの返答を注意深く聞いてください。「サタンよ、退け。**わたしを欺くな。**」⁷

敵対する者の誘惑に対するモーセの力強い答えから、多くを学ぶことができます。誘惑による影響を感じたときには、同じように応じるようお勧めします。魂の敵にこう言って命じるのです。「出ていけ！ おまえに栄光はない。わたしを誘惑したり欺いたりするな！ わたしは、自分が神の子であることを知っているからだ。だから常に神に助けを呼び求める。」

しかし敵対する者は、わたしたちを欺き、おとしめようという破壊的な動機を容易には捨てません。モーセに対しても確かにそうで、モーセが永遠の中でどのような存在であるかを忘れるよう望んだのです。

子供のようにかんしゃくを起こし、「サタンは大声で叫び、地上でわめきたてて、『わたしが独り子だ。わたしを拝め』と命じて言った。』⁸

復習しましょう。彼は今何と言いましたか？「わたしが独り子だ。**わたしを拝め！**」

つまり、大きな偽り者はこう言ったわけです。「心配するな。おまえに害は与えない。わたしはスカンクではなく、白黒の縞模様の無害な猫にすぎない。」

モーセは神を呼び求め、神の力を受けました。敵対する者はおののき、地は揺れ動きましたが、モーセは屈しませんでした。そして、きっぱりとこのように言い放ちました。「サタンよ、わたしから離れ去れ。わたしは栄光の神であられるこの唯一の神のみを礼拝するからである。」⁹

ついにサタンは「モーセの前から立ち去りました。」¹⁰

主はモーセに御姿を現され、従順であったモーセに祝福を授けられてから、こう言われました。

「モーセよ、あなたは幸いである。……あなたは多くの水よりも強くされるからである。……

見よ、わたしは、まことにあなたの生涯の最後まであなたとともにいる。」¹¹

敵対する者を拒むモーセの模範は、人生のどの段階にあってもわたしたちを啓発してくれます。サタンが欺こうとしてきたときにどうすればよいかを知るうえで、一人一人にとって力強いメッセージを伝えています。なぜなら、皆さんもモーセと同じように、天の助けという賜物によって祝福されてきているからです。

戒めと祝福

欺かれたり誘惑に陥ったりしないために、わたしたちはどうしたらモーセのように天の助けを見いだせるでしょうか。天の助けを得るための明確な経路について、この神権時代に、主御自身が改めて明言されています。「主なるわたしは、地に住む者に下る災いを知っているのです、わたしの僕ジョセフ・スミス・ジュニアを訪れ、彼に天から語り、戒めを与えた。」¹² より簡潔な言葉で言い換えると、こうです。「初めから終わりを知って〔おられる〕」¹³ 主は、この時代特有の困難について御存じです。それゆえ、主は、敵や敵の攻撃による欺きの影響力の直接的な結果として生じる問題や誘惑に対抗する手段を与えてくださっているのです。



その手段はシンプルです。神はその僕を通して、わたしたちや神の子に語りかけ、戒めを授けてくださいます。先ほど引用した聖句はこう言い換えることができます。「主なるわたしは、……わたしの僕〔ラッセル・M・ネルソン大管長〕を訪れ、彼に天から語り、戒めを与えた。」何と栄えある真理でしょう。

主は、壮大な最初の示現から始まって、実際に天からジョセフ・スミスに語りかけられたことを厳粛に証します。また、主はこの時代のネルソン大管長にも語られます。神が過去の時代の預言者と言葉を交わし、神の子らがこの世で幸せを得、次の世で栄光を得られるように戒めを授けてくださったことを証します。

神は引き続き、今日の生ける預言者に戒めを授けておられます。そのような例は枚挙にいとまがありません。家族中心で教会がサポートする形で福音を教えることや、ホームティーチングと訪問教師からミニスターリングへの変更、神殿に関する指針と儀式の調整、2020年に新たに始まる、子供と青少年向けのプログラムなどです。救い主の教会を再び地上に回復し、この時代に預言者を召されてきた、愛に満ちた天の御父と御子イエス・キリストの慈しみと憐れみに驚嘆します。イエス・キリストの福音の回復は、苦難の時代を時満ちる時代で埋め合わせます。

悪事は決して幸福を生じたことがない

わたしたちの預言者に与えられた戒めに従うことは、偽り者の影響力を避ける鍵であるだけでなく、永続する喜びと幸福を経験する鍵でもあります。この神の公式は随分と簡潔です。義、つまり戒めへの従順は祝福をもたらし、祝福は幸福、つまり喜びを生活にもたらします。

とは言え、敵対する者はモーセを欺こうとしたのと同じ方法で、皆さんを欺こうと画策します。サタンは常に自分とは違う何かのふりをします。常に自分の正体を隠そうとします。従順は生活を惨めにし、幸福を奪うと主張します。

敵対する者による欺きの策略にはどのようなものがあるでしょうか。例えば、サタンは違法な薬物や飲酒がもたらす破壊的な結果を軽視し、楽しみをもたらすものだと言います。人を消耗させるほかとの比較や理想化された現実など、ソーシャルメディアに内在する多様な否定的な要素にわたしたちを没頭させます。さらに、害や苦痛を引き起こそうと意図された、オンラインのその他の有害なコンテンツにわたしたちをさらします。例えば、ポルノグラフィや、ネットいじめを介したあからさまな人への攻撃、偽りの情報をばらまいてわたしたちの心や思いに疑念と恐れを引き起こすことなどです。サタンは、「わたしに従うだけで、必ず幸せになれる」と巧みにささやきます。

何世紀も前にモルモン書の預言者によって書かれた言葉は、この時代に特に関連があります。「悪事は決して幸福を生じたことがない。」¹⁴ わたしたちが、サタンの欺きの真の姿を見極められますように。わたしたちの魂を破壊し、わたしたちから現在の喜びと将来の栄光を奪おうともくろむ者の偽りと影響に耐え、その正体を見破ることができますように。

愛する兄弟姉妹の皆さん、忠実で用心深くあり続けましょう。そうすることが、真理を見定め、主の僕を通して主の声を聴



ラッセル・M・ネルソン大管長

大切な第二の戒め

く唯一の方法だからです。「御霊は真実を語り、偽りを言われることがない。……これらのことはわたしたちの救いのために、わたしたちに分かりやすく示されているのである。……神は昔の預言者にもこれらのことを語っておられる。」¹⁵ わたしたちは全能の神の聖徒、イスラエルの望みです。くじけることがあるでしょうか? 「ひるまず逃げず ああ……戒め守らん 手に心に霊にも。」¹⁶

イスラエルの聖者、イエス・キリストの御名について証を述べます。無限にして永遠の主の犠牲により、主のゆるぎない愛と真理と喜びがもたらされたことを証します。主の戒めを守るときに、わたしたちは常に正しい道に導かれ、欺かれることはありません。救い主イエス・キリストの聖なる御名により、アーメン。■

注

1. ラッセル・M・ネルソン「シオンのつわもの」(2018年6月3日, 青少年対象のワールドワイド・ディボーションナル), HopeofIsrael.Church of Jesus Christ.org 参照
2. 教義と聖約 76:29
3. モーセ1:1-2
4. モーセ1:6
5. モーセ1:12, 強調付加
6. モーセ1:13, 強調付加
7. モーセ1:16, 強調付加
8. モーセ1:19
9. モーセ1:20
10. モーセ1:22
11. モーセ1:25-26
12. 教義と聖約1:17
13. アブラハム2:8
14. アルマ41:10, 強調付加
15. モルモン書ヤコブ4:13
16. 「シオンの若者, 真理を守り」『賛美歌』163番

わたしたちの最大の喜びは、わたしたちの兄弟姉妹を助けるときにもたらされます。

愛する兄弟姉妹、幕の両側でイスラエルの集合を助け、家族を強め、助けが必要な人々の生活を祝福するために働いてくださる皆さんに感謝します。イエス・キリストに真に従う者として生活して下さることに感謝します。¹ 皆さんは、神を愛し、隣り人を愛するという主の大切な二つの戒めを知り、喜んで守っています。²

この半年間に、ネルソン姉妹とわたしは、中米、南米、太平洋諸島、アメリカ合衆国の様々な都市を訪れて、何千人もの聖徒たちと会いました。各地を訪れるとき、わたしたちの願いは皆さんの信仰を築くことです。ところが、出会った会員や友人により、いつもわたしたちの信仰が強められて帰ってきました。最近の経験から

3つの有意義な例を紹介しましょう。

5月に、ネルソン姉妹とわたしは、ゲレット・W・ゴング長老とスーザン・ゴング姉妹とともに、南太平洋を訪問しました。ニュージーランドのオークランドで、クライストチャーチ市にある二つのモスクを代表するイスラム教の指導者とお会いでき光栄に思いました。そこではわずかに2か月前に恐ろしい襲撃事件が起きて、礼拝に来ていた罪のない人たちが射殺されました。

わたしたちは信仰の異なるこれらの兄弟たちに哀悼の意を伝え、信教の自由に対する互いの決意を再確認しました。

また、モスクを再建するためのボランティアと、ささやかな財政的支援を申し出



ネルソン大管長とネルソン姉妹がニュージーランドのオークランドに滞在中、ニュージーランドのクライストチャーチ市にある二つのモスクを代表する指導者と会った。

ました。イスラム教指導者との会合は、兄弟愛の優しい言葉であふれていました。

8月には、ネルソン姉妹とわたしは、クエンティン・L・クック長老とメアリー・クック姉妹とともに、アルゼンチンのブエノスアイレスを訪れ、末日聖徒チャリティーズを通して寄贈された車椅子により生活が変わった人たちとお会いしました。その多くは教会員ではありませんでした。彼らが新たな移動手段に対して喜びにあふれた感謝を表してくださったとき、わたしたちは霊的に鼓舞されました。

3つ目の貴重なひとときは、つい2、3週間前のソルトレーク・シティーでのことです。わたしは誕生日に14歳の若い女性からユニークな手紙を受け取りました。ここではメアリーと呼びます。

メアリーは、わたしと彼女に共通する事柄について書いてくれました。「ネルソン大管長には子供が10人。わたしの家にも子供が10人。大管長は中国語を話し、わたしの家では、わたしを含め7人の子供が中国からの養子で、第一言語は中国語です。大管長は心臓外科医で、わたしのきょうだいの一人は、2度心臓〔手術〕を受けました。大管長は2時間の教会が好きで、わたしたちも2時間の教会が好きです。大管長には絶対音感があり、わたしのきょうだいの一人にも絶対音感があります。彼は目が見えません。わたしと同じです。」

わたしはメアリーの言葉に心を打たれました。そこには、彼女の霊の偉大さだけでなく、両親の献身が表れていました。

末日聖徒は、イエス・キリストに従うほかの人々と協力して、人を助け、高め、愛する方法をいつも探し求めています。主の民と呼ばれたいと心から願っており「互いに重荷を負い合うことを望み……悲しむ者とともに悲しみ、慰めの要る者を慰めることを……望んでいる」のです。³

いちばん大切な第1と第2の戒めに従って生活することを心から求めています。



す。わたしたちが心を尽くして神を愛すると、神はわたしたちの心を、ほかの人の幸せに向けてくださいます。それは美しく高潔なサイクルの中で起こります。

末日聖徒が全世界で毎日欠かさずに行う奉仕が合わせてどれほどになるか量ることは不可能でしょうが、教会が組織として、支援を必要とする男女や少年少女を祝福するために行った善行を量ることは可能です。

教会の人道支援活動は、1984年に始まりました。その後、アフリカ東部の壊滅的な干ばつに苦しむ人々を助けるために、教会全体で断食して基金を集めました。教会員の献金額は、その1日の断食で640万ドルになりました。

それから、M・ラッセル・バラード長老とグレン・L・ペース兄弟がエチオピアに派遣され、この神聖な基金を最も有効に使う方法について調査しました。この働きが、後に末日聖徒チャリティーズとして

知られる組織の始まりとなりました。

それ以来、末日聖徒チャリティーズは、世界中の困っている人々を助けるために、20億ドル以上の支援を行ってきました。この援助は、所属している宗教や国籍、人種、性的指向、性別、政治的理念にかかわらず、受益者に提供されます。

それだけではありません。苦しんでいる主の教会の会員を援助するために、わたしたちは古代の断食の律法を大切に守っています。⁴ 飢えた人を助けるために、自ら飢えるのです。1か月のうち1日、食事を抜いて、困っている人を助けるために、その食事にかかる費用(またはそれ以上)を献金します。

わたしは1986年に初めてアフリカ西部を訪れたときのことを決して忘れません。集会には大勢の聖徒が集まりました。形ある財産は多くはないにもかかわらず、ほとんどの聖徒は染みのない白い服を着て来たのです。



わたしはステーキ会長に、それほどわずかなもので暮らす会員たちをどのように世話するのか尋ねました。彼は、「ビショップが自分の民をよく知っていますから」と答えました。もし会員が1日2回食事をする余裕があれば、助けは必要ありません。しかし、家族の助けがあっても、1日に1食以下しか賄えなければ、ビショップは断食献金から食糧や財政援助を提供します。それから、会長はこの驚くべき事実を付け加えました。彼らの断食献金の額はたいへん食費を**超えて**いたのです。余剰の断食献金は、その後、自分たちより困っている**ほかのどこか**の人々に送られました。これら忠誠心の篤い**アフリカ**の聖徒たちは、断食の**律法と精神**のもたらす力について、偉大な教訓を教えてくださいました。

わたしたちは教会員として、形はどうあれ苦しんでいる人々のことを**他人事**とは思えません。⁵ 神の息子娘であるわたしたちは皆、兄弟姉妹です。わたしたちは、旧約聖書の次の訓戒に従います。「あなたは必ず……あなたの兄弟の乏しい者と、貧しい者と共に、手を開かなければなら

い。」⁶

また、マタイ25章に記録された主イエス・キリストの教えに従って生活するように努めています。

「あなたがたは、わたしが空腹のときに食べさせ、かわいていたときに飲ませ、旅人であったときに宿を貸し、

裸であったときに着せ、病気のときに見舞い、獄にいたときに尋ねてくれたからである。……

……わたしの兄弟であるこれらの最も小さい者のひとりにしたのは、すなわち、わたしにしたのである。」⁷

教会が救い主のこれらの教えに従う方法の例を少し紹介しましょう。

人々を飢えから救うために、教会は世界中で124のビショップの倉を運営しています。それを通して、毎年約40万件の食糧支援が困っている人に届いています。倉のない場所では、ビショップと支部会長が、教会の断食基金を引き出して、困っている会員に食糧や必需品を供給します。

しかし、飢えの問題は、教会の境をはるかに越え、世界中で増加しています。国連の最近の報告によれば、栄養不良の人

の数は世界で今や8億2千万を越え、世界人口のほぼ9人に1人に当たります。⁸

何と深刻な統計結果でしょう！皆さんの貢献に、わたしたちはどれほど感謝していることでしょうか。皆さんの心のこもった寛大な行為のおかげで、世界中で何百万もの人々が、切望していた食料や衣服、仮設住宅、車椅子、医薬品、きれいな水など、様々なものを受け取っています。

世界中で多くの病気が、不衛生な水によって発生しています。これまでに、教会の人道支援の取り組みにより、76か国の数百の地域にきれいな水が提供されました。

コンゴ民主共和国のリュピユタでのプロジェクトは、すばらしい例です。人口10万人を超えるその町には、水道がありませんでした。住民は、安全な水源まで長い距離を歩かなければなりませんでした。18マイル(29キロ)離れた山で湧き水が見つかりましたが、町の住民は定期的に行くことはできませんでした。

教会の人道支援宣教師はこの問題について知ったとき、リュピユタの指導者と協力して、資材を提供し、町に水道管を引けるよう人々を養成しました。リュピユタの住民は3年かけて、岩山とジャングルに1メートルの深さの溝を掘りました。力を合わせて働いた末に喜びの日を迎え、村民全員が清潔な水を利用できるようになりました。

教会はまた、内乱や自然災害、あるいは宗教的な迫害による難民を助けています。現在、7,000万人以上の人々が家を追われています。⁹

2018年だけでも、教会は56か国で難民に緊急物資を提供しました。さらに、多くの教会員がボランティアとして時間を割き、難民が新しいコミュニティに溶け込めるように助けています。新しい家庭を築こうとしている人々を助けるために手を差し伸べてくださる皆さんに感謝します。

合衆国内のデゼルト産業への惜しみな

い寄付により、毎年数百キロの衣類が集められ分類されています。この膨大な在庫品は、地元のビショップが困っている会員を助けるために使う一方で、**大部分は他の慈善団体に寄付して世界中に配られます。**

そして昨年だけで、教会は35か国で30万人以上に眼科医療を提供し、39か国で数千組の母子に新生児ケアを施し、数十か国の5万人以上に車椅子を贈りました。

悲劇が起きたとき、教会は緊急対応する組織としてよく知られています。ハリケーンが襲来する**前**でさえ、影響を受ける地域の教会指導者とスタッフは、救援物資の配給方法や、被災する人々を助けるボランティア活動を綿密に計画しています。

昨年だけでも、教会は世界中で100以上の災害救助プロジェクトを実施し、ハリケーンや火災、洪水、地震、そのほかの災害の被災者を支援しました。可能なときはいつでも、黄色の「ヘルピング・ハンズ」のベストを着用した教会員が、被災者を助けるために大勢集まっています。多くの皆さんによって行われるこのような奉仕は、ミニスタリングの真髄です。

愛する兄弟姉妹の皆さん、わたしが紹介した活動は、末日聖徒イエス・キリスト教会の増大する福祉活動と人道支援活動のほんの一部にすぎません。¹⁰そして、**皆さんがすべてを可能にしているのです。**皆さんの模範的な生活や寛大な心、支援のゆえに、多くの地域社会や政府の指導者が皆さんを称賛していても何の不思議もありません。¹¹

わたしは教会の大管長になって以来、多くの大統領や首相、大使から、彼らの国民に対する教会の人道支援について心からの感謝を度々述べられることに驚いてきました。そして彼らは、わたしたちの信仰深い会員が誠実で献身的な市民として国に力をもたらしたことに感謝を表してくださいました。

さらに驚いたことに、世界各地の指導者が大管長会を訪れて、自国に教会を設立してほしいという彼らの**望み**を表明したのです。なぜでしょうか。末日聖徒が**強固な家族と地域社会を築くのを助け、どこに住んでいようと、ほかの人々の生活を改善することを、彼らは知っているからです。**

住まいと呼ぶ場所がどこであろうと、教会の会員は、神が御父であられ、人類が兄弟姉妹であると心に銘記しています。ですから、**わたしたちの最大の喜びは、このすばらしい世界のどこに住んでいよう**

と、わたしたちの兄弟姉妹を助けるときにもたらされます。

ほかの人に手を差し伸べ、自分のことを気にかける**以上**に人の世話をするためにひたむきに努力することが、わたしたちの喜びです。そして、付け加えるなら、特にそれは自分にとって都合の悪いときや、居心地の良い状態から出る必要があるときなのです。大切な第2の戒めに**従う**ことは、イエス・キリストのまことの弟子になるための**鍵**です。

愛する兄弟姉妹の皆さん、皆さんはイエ





大管長会第二顧問
ヘンリー・B・アイリング管長

聖さと幸福の計画

ス・キリストの教えに従うときに実る果実の、生きた模範です。ありがとうございます！ 皆さんを愛しています！

わたしは神が生きておられることを知っています。イエスはキリストであります。主の教会が、その神聖な目的を成就するために、この末日に回復されました。イエス・キリストの御名により証します、アーメン。■

注

1. モロナイ 7:48 参照
2. マタイ 22:37-39; ルカ 10:27 参照
3. モーサヤ 18:8-9
4. イザヤ 58:3-12 参照
5. 初期の教会歴史において、勇敢な開拓者も飢え、家を失い、困窮していた。
6. 申命 15:11
7. マタイ 25:35-36, 40
8. See Food and Agriculture Organization of the United Nations and others, The State of Food Security and Nutrition in the World 2019, 6, fao.org/3/ca5162en/ca5162en.pdf.
9. See "Worldwide Displacement Tops 70 Million, UN Refugee Chief Urges Greater Solidarity in Response," United Nations High Commissioner for Refugees website, June 19, 2019, unhcr.org/en-us.
10. 教会の慈善活動に関する詳しい情報は以下を参照する。ChurchofJesusChrist.org/topics/welfare; LatterDaySaintCharities.org/facebook.com/LatterDaySaintCharities; JustServe.org.
11. 「わたしたちが携えることのできる最も効果的なならば、わたしたち自身が善良な生活を送ることです。」(ゴードン・B・ヒンクレー「子羊を見いだし、羊を養う」『リアホナ』1999年7月号, 123)

個人の聖さが増すことによりさらに幸福になります。

愛する兄弟姉妹の皆さん、わたしは皆さんが幸福になれるように助ける力を求めて祈ってきました。すでに十分幸せな人もいるかもしれませんが、もっと幸福になれることを拒む人はいません。永続する幸せを保証するものがあるならば、だれもがそれを欲することでしょう。

それを与えてくださるのは、天の御父とその愛する御子イエス・キリスト、聖霊であり、すべての天の御父の子供に与えられます。この世に現在いる人、これから生まれる人、過去に生まれた人すべてに与えられるのです。それは幸福の計画と呼ばれることもあります。預言者アルマは、罪に苦しむ息子への教えの中で、この計画をそう呼んでいます。アルマは自分の息子にとっても、天の御父のすべての子供にとっても、悪事が幸福を生じることではないことを知っていました。¹

聖さを増し加えることが幸福への唯一の道であると、アルマは息子に教えています。そして、イエス・キリストの贖いによって清められ、完全になることによってさらに聖くなれることを分かりやすく説明しました。² わたしたち皆が心から望み、確保しようとしている永続する幸福は、イエス・キリストへの信仰をもち、常に悔い改め、聖約を守ることによるのみ得ることができます。

今日わたしは、個人の聖さが増すことによりさらに幸福になるということを皆さんが理解できるよう祈っています。そうす

れば、皆さんがその信条に基づいて行動できるようになるからです。また、さらに聖くなる賜物を得るにふさわしくするためにできることについて、わたしが自ら学んだことをお伝えします。

聖文の教えによると、わたしたちが聖められ、さらに聖くなることができるのは、イエス・キリストを信じる信仰を働かせ³、従順さを示し⁴、悔い改め⁵、主のために犠牲を払い⁶、神聖な儀式を受け、主と交わした聖約を守る⁷ ときです。聖さという賜物を得るにふさわしくするには、謙遜さ⁸、柔和さ⁹、忍耐¹⁰ が必要です。

わたしはソルトレーク神殿で、さらに聖くなりたいと思う経験をしました。初めて神殿に入ったとき、これから何が始まるの





かほとんど知らされていませんでした。建物に「聖きを主にささぐ」と「主の宮」という文字があるのが目に入り、期待で胸が膨らみました。しかし、入る準備ができているのか心配でした。

神殿に入って母と父の後をついて歩いて行くと、ふさわしさを証明する神殿推薦状を見せるように言われました。

両親は推薦状デスクの男性と知り合いだったので、そこでばらく彼と話していました。わたしは一人で大きな広間へ進んで行きましたが、すべてが白く、まばゆいほどでした。天井を見上げるととても高く、大空のようです。その瞬間、以前ここに来たことがあるというはっきりとした気持ちを感じました。

すると自分のものではない、とても優しい声が聞こえました。その優しい声はこう言いました。「あなたはここに来たことはありません。自分が生まれる前のことを思い出しているのです。あなたはこのような神聖な場所にいました。あなたは自分の立っている所に間もなく救い主が来られるのを感じたのです。そして、主に会いたいと強く願ったため、幸福を感じたのです。」

ソルトレーク神殿でのその経験はつかの間でした。しかし、今でもそれを思い出す度に平安と喜び、そして静かな幸福を感

じます。

その日多くの教訓を学びました。そのうちの一つは、聖霊は静かな細い声で語られるということです。心に霊的な平安があるとき、その声を聞くことができます。聖霊は、わたしが聖くなっているという幸福感和確信をもたらしてください。そして、神の神殿に初めて入ったときに感じた幸福な気持ちをいつも感じさせてくれます。

皆さんは、自分の人生やほかの人の人生で、聖くなることやより救い主のようになることによって幸福になるという奇跡を目にしたことがあるはずですよ。わたしはこの数週間、救い主を心から信じ、幸せそうな面持ちで死を迎えようとしている人たちの病床を見舞ってきました。

ある男性は家族に囲まれていました。息子とわたしが病室に入ると、夫婦で静かに話しています。このご夫婦とは昔からの知り合いでした。わたしはイエス・キリストの贖いが彼ら自身や家族の中で影響を与えるのを目にしました。

彼らは延命治療を中止することをともに話し合っていて決めており、彼がわたしたちに話す言葉には、穏やかな気持ちが感じられました。彼は笑顔で福音と、福音が自分と愛する家族に及ぼす清めの効果に感

謝を述べました。そして、神殿で奉仕した幸せな年月のことを話してくれました。本人の希望で、わたしの息子が聖別された油をその男性の頭に注ぎ、わたしが結び固めました。そのとき、彼が間もなく救い主と直接お会いすることを伝えるようにというはっきりとした印象を受けました。

わたしは彼が幸福と愛、そして救い主の承認を感じるだろうと約束しました。彼は温かい笑顔でわたしたちを見送ってくれました。彼のわたしへの最後の言葉は「キャシーに愛していると伝えてください」でした。わたしの妻キャサリーンは、彼の家族を長年の間、幾世代かにわたって励ましてきました。御自分のもとへ来るようにという救い主の招きを受け入れ、神聖な聖約を交わして守り、その聖さの結果もたらされる幸福を受けるにふさわしくあるようにと励ましてきたのです。

彼は、数時間後に亡くなりました。亡くなって数週間とたたないうちに、残された夫人が、妻とわたしに贈り物を持って来ました。話しながら彼女はにっこりと笑って、うれしそうにこう言ったのです。「悲しくて寂しくなるだろうと思っていたのに、とても幸せです。これって大丈夫かしら。」

わたしは彼女が夫をどれほど愛しているか、この夫婦がどのようにして主を知り、



主を愛し、主に仕えるようになったかを知っていたため、その幸福な気持ちは約束された賜物であり、彼女が忠実な奉仕を通して聖くなったために与えられたものと伝えました。彼女はその聖さゆえに、幸福になるにふさわしくなったのです。

今日この話を聞いている人の中に、こんな疑問を感じている人がいるかもしれません。「忠実な人に約束されている平安と幸福を感じないのはなぜだろう。わたしはつらい逆境の中でも忠実でいたのに、幸福を感じない。」

預言者ジョセフ・スミスもその試しを受けました。ジョセフはミズーリ州リバティーの監獄に閉じ込められていたときに、解放されることを願って祈りました。ジョセフは主に忠実でした。聖さも増し加えていました。しかし、幸福が与えられていないと感じました。

そのとき主がジョセフに与えられた忍耐という教訓は、わたしたちだれにとっても、この世の試しの中で、恐らく長い間必要になります。苦難の中にある忠実な預言者に対する主のメッセージは、次のとおりです。

「また、たとえあなたが穴の中に投げ込まれたり、殺人者の手に渡されたりして、死刑の宣告が下されても、たとえあなたが深みに投げ込まれても、たとえ寄せて来る大波があなたを巻き込もうとしても、たとえ暴風があなたの敵となっても、たとえ天が暗黒を集め、すべての元素が結束して道をふさいでも、また何にも増して、たとえ地獄の入り口が大口を開けてあなたのみ込もうとしても、息子よ、あなたはこのことを知りなさい。すなわち、これらのこと

はすべて、あなたに経験を与え、あなたの益となるであろう。

人の子はこれらすべての下に身を落とした。あなたは人の子よりも大いなる者であろうか。

それゆえ、あなたの道に踏みとどまりなさい。そうすれば、神権はあなたとともにある。彼らの限界は定められており、彼らはそれを越えることはできない。あなたの命数は知られており、あなたの寿命が短くされることはない。それゆえ、人のなし得ることを恐れてはならない。とこしえにいつまでも、神はあなたとともにいるからである。」¹¹

これは、主がヨブに与えられたのと同じ教訓でした。ヨブは贖いによって聖くなるために大きな代価を払いました。わたしたちは聖書でヨブを紹介する箇所を読み、ヨブが聖かったことを知っています。「ウヅの地にヨブという名の人があった。そのひととなりは全く、かつ正しく、神を恐れ、悪に遠ざかった。」¹²

その後、ヨブは財産と家族、そして健康までも失います。経験する逆境が大きいほど聖められて大きな幸福を得るにふさわしくなるといってはいないとヨブが考えたことを、皆さんは覚えているかもしれません。ヨブには、聖さが不幸をもたらしているように思えました。

しかし、主はヨブの考えを正すためにジョセフ・スミスと同じ教訓を与えられました。つらい状況を霊的な目で見ると、こう言われたのです。

「あなたは腰に帯して、男らしくせよ。わたしはあなたに尋ねる、わたしに答えよ。

わたしが地の基をすえた時、どこにいたか。もしあなたが知っているなら言え。

あなたがもし知っているなら、だれがその度量を定めたか。だれが測りなわを地の上に張ったか。

その土台は何の上に置かれたか。その隅の石はだれがすえたか。

かの時には明けの星は相共に歌い、神の子たちはみな喜び呼ばわった。」¹³

ヨブは神を不公平呼ばわりしたことを悔い改めた後、自分の試練をより高く聖い視点から見ることを許されました。ヨブは悔い改めたのです。

「そこでヨブは主に答えて言った、

『わたしは知ります、あなたはすべての事をなすことができ、またいかなるおぼしめしでも、あなたにできないことはないことを。』

「無知をもって神の計りごとをおおうこの者はだれか」。それゆえ、わたしはみずから悟らない事を言い、みずから知らない、測り難い事を述べました。

「聞け、わたしは語ろう、わたしはあなたに尋ねる、わたしに答えよ」。

わたしはあなたの事を耳で聞いていましたが、今はわたしの目であなたを拜見いたします。

それでわたしはみずから恨み、ちり灰の中で悔います。』¹⁴

ヨブが悔い改め、聖くなった後、主は失ったすべてのものを超える祝福を与えられました。しかし、ヨブにとって最大の祝福は恐らく、逆境と悔い改めを通して得たさらなる聖さだったのではないのでしょうか。ヨブは残りの人生でより大きな幸福を得るにふさわしくなったのです。

さらなる聖さは単に願い求めるだけでは得られません。それは、神に自分を変えていただくために必要なことを行うときに得られるのです。

ラッセル・M・ネルソン大管長は、聖約の道を歩んでさらに聖くなる方法について、最善の勧告を与えていると、わたしは

思います。次の勧告で、その方法を示しています。

「日一日と行いを改善してより良い人になるといふ、日々の悔い改めの力を経験してください。

悔い改めを選ぶとき、わたしたちは変わることを選びます。自らを救い主に委ねて、最高の自分に変えていただくのです。わたしたちは霊的に成長し、喜びを受けることを選びます。それは主による贖いの喜びです。悔い改めを選ぶとき、もっとイエス・キリストのようになることを選んでいるのです。」

ネルソン大管長はこれに続けて、より聖くなるよう努めるわたしたちに、こんな励ましの言葉を与えてくれました。「この時点では、主はわたしたちに完全をお求めになりません。そうではなく、いっそう清くなるように求めておられます。日々の悔い改めは清さへの道で〔す〕。』¹⁵

ダリン・H・オークス管長も過去の総大会で、どのようにして聖くなるのか、自分が聖くなりつつあることはどうすれば分かるのかを理解する助けとなる話をしています。「どうしたら霊性を養えるのでしょうか。常に聖霊を伴侶にできるような聖さは、どうしたら得られるのでしょうか。ま



た、この世の事柄を永遠という観点から評価できるようになるには、どうしたらよいのでしょうか。」¹⁶

オークス管長の答えは、まず愛にあふれた救い主であられるイエス・キリストを信じる信仰を強くすることです。信仰が増すと、日々赦しを求め、主の戒めを守ることによって毎日主を覚えるようになっていきます。毎日主の言葉を味わうならば、イエス・キリストを信じる信仰は強くなります。

賛美歌「さらに聖くなお努めん」の歌詞からは、さらに聖くなるためにどう助けを求めて祈ればよいか分かります。作詞者は、わたしたちの求める聖さが愛する神からの賜物であり、自分にできることをすべて行った後に長い時間をかけて与えられるものだとすることを巧みに歌詞にしています。3番の歌詞を皆さんは覚えていることでしょうか。

汚れもなく
強くならん
この世離れ
天を望まん
われみ国に
ふさわしく
主のごとくに
尊くならん¹⁷

どのような状況であろうと、みもとに帰る聖約の道のどの地点にしようと、さらなる聖さを求めて祈るわたしたちの祈りがこ

たえられますように。嘆願が聞き届けられるとき、幸福は増し加えられます。時間がかかるかもしれませんが、幸福は必ず訪れます。愛にあふれる天の御父とその愛する御子イエス・キリストは、そのことをわたしに確信させてくださいました。

ジョセフ・スミスが神の預言者であり、ラッセル・M・ネルソン大管長が今日の生ける預言者であることを証します。父なる神は生きておられ、わたしたちを愛しておられます。わたしたちが家族でみもとに戻ることを願っておられます。愛する救い主は、そこへ向かう旅路で、御自分に従うようにと招いておられます。道は備えられています。イエス・キリストの聖なる御名により、アーメン。■

注

1. アルマ 41:10 参照
2. アルマ 42:4-16 参照
3. 使徒 26:18; エテル 4:7 参照
4. 教義と聖約 88:34 参照
5. 3 ニーフアイ 27:19-20 参照
6. 教義と聖約 132:50 参照
7. 教義と聖約 97:8 参照
8. ヒラマン 3:35 参照
9. 教義と聖約 101:1-5 参照
10. 1 ヨハネ 3:2-3; 教義と聖約 112:13 参照
11. 教義と聖約 122:7-9
12. ヨブ 1:1
13. ヨブ 38:3-7
14. ヨブ 42:1-6
15. ラッセル・M・ネルソン「行いを改善し、より良くなれます」『リアホナ』2019年5月号, 68
16. ダリン・H・オークス「霊性」『聖徒の道』1986年1月号
17. 「さらに清くなお努めん」『賛美歌』74番





七十人
ハンス・T・ブーム長老

理解し、愛し、成長する

より救い主のようになることができるよう、偉大なミニスタリングの業を行うにあたり、自分の役割を知ることができますように。

2016年に、テンプルスクエア・タバナクル合唱団がオランダとベルギーに公演のために訪れましたが、心が躍るそのイベントにわたしもかかわっていたので、彼らの演奏を二度も楽しむ機会に恵まれました。

演奏を聞きながら、これほどの規模の合唱団を移動させるのは、どれほど大変だろうかと考えていました。わたしの思いは、大きなどらに引きつけられましたが、自分の手で容易に運べるバイオリンやトランペットなどの楽器に比べて、ここまで持ってくるのにどれだけの費用や労力がかかっているのかと考えました。しかし、コンサートの大部分で演奏されていたほかの小さな楽器に比べて、このどらが活躍する出番はほんの数回しかないことに気づきました。あのどらの音色がなければ、演奏全体の印象がだいぶ違っていただろうと思い、あの大きなどらを海を越えて運ぶ必要があったことに思いを巡らせていました。

時々、わたしたちは自分があのだらのように、脇役にしか値しないと感じることもあるかもしれません。しかし皆さんにお伝えしたいのは、あなたの音が大きな違いをもたらすということです。

わたしたちには、すべての楽器が必要なのです。難なく学び、学校で良い成績を修める人もいれば、芸術的な才能のある人もいます。人によって建築関係、看護、あるいは教職など才能はさまざまです。こ

の世界に色どりと意味をもたらすために、わたしたち皆が必要とされているのです。

このメッセージは、自分には何も貢献できないことがない、あるいは他人に対して何か重要な影響をおよぼすことはないと思っている人、逆に人生がうまくいっていると感じている人、またそれらの間にいる人々に向けています。

人生という道のどこを歩んでいるとしても、あまりに大変な重荷を負っているがために、その道を歩んでいるとすら感じられない人もいることでしょう。暗闇から光の中に一歩踏み出すよう、皆さんにお勧めしたいと思います。そうすれば、福音の光が温もりと癒しをもたらす、自分がほんとう

は何者であるか、そして自分の人生の目的が何であるかを理解する助けとなることでしょう。

わたしたちの中には、幸せを見つけようと、禁じられた道をさまよっている人もいます。

愛深い天の御父は、わたしたちが弟子としての道を歩み、みもとに戻るよう招いておられます。御父は完全な愛をもってわたしたちを愛してくださいませ。¹

それはどのような道でしょうか。互いにミニスタリングを通して仕え合うことによって、自分が何者であるか理解するのを助ける道です。

わたしにとって、ミニスタリングとは神の愛を行使することです。² それによって与える者も受ける者も、悔い改めたいという望みを得られる環境を作り出すのです。言い換えれば、わたしたちの進む方向を変えて、救い主イエス・キリストに、より近づく、さらに主のようになるということです。

例えば、伴侶や子供たちに、改善すべき点を指摘する必要はありません。彼らはすでに知っているからです。そのような愛に満ちた環境を整えることで、彼らが自分の生活において必要な変化を成し遂げ、より善い人になる力を受けることができるの



です。

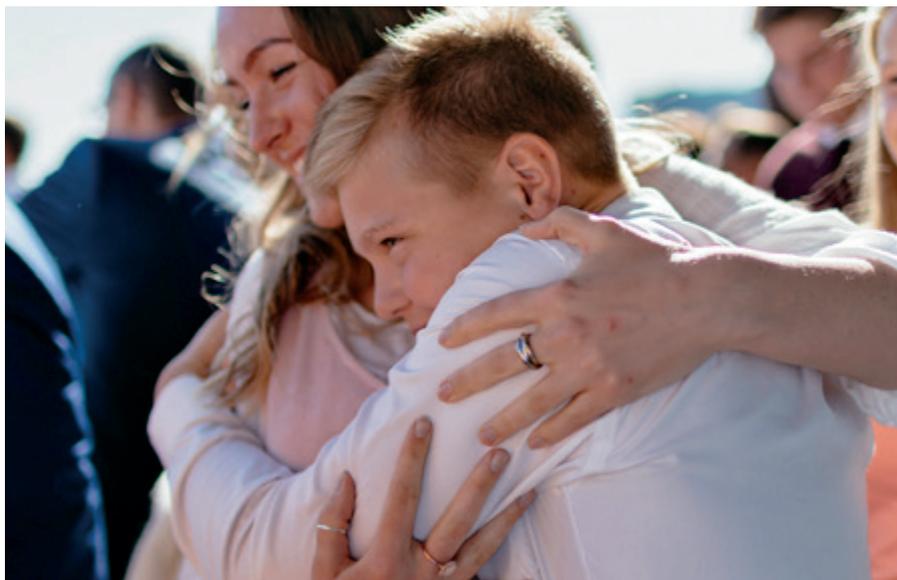
それにより、不適切な行いについて謝るといったような悔い改めが日々の精練の過程となります。今でもそうですが、自分がすぐに人を裁いてしまったり、耳を傾けるのが遅いことを思い出します。その日の終わりにささげる個人の祈りでは、悔い改めてより良くなるようにという、天からの愛に満ちた勧告を感じます。最初は両親や自分の兄弟たちによって、そして後に妻や子供たち、友人によって築かれた、そのような愛に満ちた環境は、わたしがより善い人になる助けとなりました。

わたしたちは皆、自分の改善すべき点を知っています。お互いに改善点を何度も注意する必要はありませんが、互いに愛し、仕え合う必要はあります。そうすることによって自分が変わりたいと感じられる環境が整えられるのです。

まさにそのような環境の中で、自分がほんとうは何者であり、救い主の再臨を間近にひかえた世界の歴史の最終章における自分の役割について学んでいるのです。

もし自分の役割がよく分からないのであれば、一人になれる場所を探して、自分が果たすべき役割について天の御父に尋ね求めるようにお勧めします。答えは、恐らく段階的に与えられるかと思いますが、わたしたちが聖約とミニスタリングの道にしっかりと立っていれば、より明確に与えられることでしょう。

わたしたちは、ジョセフ・スミスが「言葉の争いと見解の騒動の渦のただ中」で直面したものと同様な問題を多少経験しています。ジョセフの記録を読むと、彼が次のようによく自問していることが分かるでしょう。「何をしなければならぬのだろうか。これらすべての教派のうちどのれが正しいのだろうか。それとも、ことごとく間違っているのだろうか。もし彼らのうちのどれかが正しいとすれば、それはどれで、どうすればそれが分かるのだろうか。」³



ヤコブの手紙の中には次のように書かれていました。「あなたがたのうち、知恵に不足している者があれば、その人は、とがめもせずに惜しみなくすべての人に与える神に、願い求めるがよい。そうすれば、与えられるであろう。」⁴ ここで見いだした知識により、最終的にジョセフは「神に願い求める」ことを決意しました。⁵

さらに読み続けると、「〔ジョセフ〕がこのようなことを行おうとしたのは生涯で初めてであ〔り〕、不安のまっただ中であっても、声に出して祈ろうとしたことはまだ一度もなかった」ということが分かります。⁶

同様に、わたしたちにとっても、これまでになかったことのない方法で、造り主である神に呼びかける経験となるかもしれません。

ジョセフの試みにより、天の御父とその御子イエス・キリストが現れ、ジョセフの名を呼ばれました。その結果として、わたしたちは自分が何者であるか、そしてほん

とうに自身の存在が大切であることに ついて、非常にはっきりとした理解を得られるのです。

さらに読み進めると、10代のジョセフが、「本来であれば友となり、……優しく扱」ってくれるべきはずの人々から迫害を受けたことが分かります。⁷ わたしたちも同様に、弟子としての人生を歩むうえで、反対する力に直面することが予想できるでしょう。

今はオーケストラの一員となることができなと感じ、悔い改めの道が困難に思えるのであれば、努力し続けることにより、肩の重荷が取り除かれ、光を再び感じることができるということを理解してください。わたしたちが天の御父に助けを求めるときに、御父はわたしたちを見捨てられることはありません。転んでも、立ち上がれば、ひざの土を払い落とすのを御父が助けてくださるのです。

傷ついている人がいれば、主の救急箱には、わたしたちのすべての傷を十分覆うことができる絆創膏があるのです。

ですから、慈愛またはキリストの純粋な愛とも呼ばれるその完全な愛⁸が家庭において必要とされており、そのような家庭において両親と子供たちは互いにミニスタリングし合うのです。その愛を通して心が変化し、主の御心を行おうとする望みが生まれます。

また、天の御父の子供として、主の教会の会員として、互いに接するときそのような愛が求められています。そうすれば、わたしたちのオーケストラにはすべての楽器がそろい、救い主が再び来られるとき





十二使徒定員会会長代理
M・ラッセル・バラード会長

霊に肉体を支配させる

に、天使の聖歌隊とともに、栄光に満ちた音色を奏でることができるのです。

それこそが愛であり、日々の生活においてわたしたちの周りを光らせ、輝かせる必要のある光なのです。人々はその光に気付き、引きつけられるようになるでしょう。このような伝道活動が人々に「来て見るように、来て手伝うように、来てとどまるように」促します。⁹ この偉大な業と、それにおける自分の役割について証を得たのであれば、次のように宣言したわたしたちの愛する預言者ジョセフ・スミスとともに喜び合おうではありませんか。「わたしは示現を見た。わたしはそれを知っていた。神がそれを御存じであるのを、わたしは知っていた。わたしはそれを否定できない。」¹⁰

わたしは自分が何者であるか、また皆さんが何者であるかを確かに知っていることを証します。わたしたちは皆、わたしたちを愛してくださる天の御父の子供です。神がわたしたちをこの地上に送られたのは挫折するためではなく、栄光をもってみもとに戻ることができるようにするためです。わたしたちが皆、この偉大なミニスタリングの業における自分の役割を理解し、救い主が再び戻られるときに、わたしたちがより主のようになれるように祈ります。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

この人生で学ぶことができる最も大切なことの一つは、永遠に続く自分の霊的な資質を伸ばして邪悪な欲望を抑えることです。

愛する兄弟姉妹の皆さん、昨年10月の総大会が近づくころ、わたしは大会の話の準備をしていました。ジョセフ・F・スミス大管長が1918年10月3日に受けてからちょうど100年となる、霊界に関する示現について採り上げました。

その話を翻訳に回してから数日後、愛する永遠の伴侶バーバラが、この試しの生涯を終えて霊界に旅立ちました。

バーバラが亡くなって数日、数週間、そして数か月が経ち、1年になろうとしてる今、わたしは次の聖句により感謝するようになりました。「あなたは死ぬ者を失うことで涙を流すほどに、……ともに愛をもって生活するようにならなければならない。」¹

バーバラとわたしは恵まれて、67年間、「ともに愛をもって生活」してきましたが、愛する者を「失うことで涙を流すこと」の意味を実際に深く知ることとなりました。心から彼女を愛し、とても恋しく思っています。

だれかにしてもらうことを、その人がいなくなって初めて身に染みて感謝する人が多いように思います。バーバラがいつも忙しいことを知っていましたが、彼女が常に家族や教会、社会からの求めに時間を割いていたことを十分に理解してはいませんでした。家族の生活を支えるために、献身的な日々の努力を長年にわたって何千回と繰り返していたのです。しかも、そ



注

1. D・トッド・クリストファーソン「わたしの愛のうちにいなさい」『リアホナ』2016年11月号、48参照
2. ラッセル・M・ネルソン「神の愛」『リアホナ』2003年2月号、16参照
3. ジョセフ・スミス——歴史1:10
4. ヤコブの手紙1:5。ジョセフ・スミス——歴史1:11も参照
5. ジョセフ・スミス——歴史1:13
6. ジョセフ・スミス——歴史1:14
7. ジョセフ・スミス——歴史1:28
8. モロナイ7:47
9. ディーター・F・ウークトドルフ「伝道活動——心の中にあることを伝える」『リアホナ』2019年5月号、15
10. ジョセフ・スミス——歴史1:25

の間に彼女が声を荒げたり思いやりのない言葉を言ったりするのを聞いた人は、家族の中に一人もいません。

この一年、様々な思い出が心をよぎりました。7人の子供の母になるという、肉体的に負担の大きい選択を彼女がしたことについて考えました。主婦であることが、彼女の望んだ唯一の職業であり、あらゆる点で実に見事にその仕事をこなしました。

彼女が子供たちやわたしのことをどうやって把握しているのかと不思議に思うことがよくありました。食事を作るだけでもほんとうに大変な作業ですが、家族から毎週山のように出る洗濯物を片付けたり、子供たちに靴やサイズの合った服を用意するなどといった作業は言うまでもありません。わたしたちは皆、自分にとって大切な数えきれないそのほかの事柄について彼女に頼っていました。わたしたちにとって大切なことは、彼女にとっても大切でした。彼女は一言で言えば、妻として、母として、友として、隣人として、神の娘として、最高の人でした。

彼女が亡くなった今、彼女の人生最後の数カ月間オフィスから家に帰ると彼女の横に座って手を取り、彼女の好きな幾つかのミュージカルのエンディングを一緒に見ることにしてよかったと思っています。アルツハイマーによって午後に見たことを覚えていられなかったので、彼女のために何度も何度も見ました。手を握ってミュージカルを見た特別な思い出は、今ではとても、とても大切なものになっています。

兄弟姉妹の皆さん、愛情を込めて家族の目を見つめる機会を、どうか逃さないでください。子供の皆さん、親の皆さん、互いに歩み寄り、愛と感謝を伝えてください。わたしのように、ある日、目が覚めると、そのような大切な交流の機会がなくなっているかもしれないのです。皆さんの心を感謝と良い思い出、奉仕、たくさんの愛で満たして、日々ともに生活してください。



この一年というもの、かつてなかったほどに天の御父の計画について深く考えました。アルマは息子コリアントンへの教えの中でこれを「偉大な幸福の計画」と呼んでいます。²

この計画について深く考えるときに頭から離れないのは「再会」という言葉です。この計画は愛深き天の御父が作られたものであり、その中心には、家族の再会という大いなる輝かしい可能性があります。夫と妻、両親と子供たち、世代と世代が、神

の家族として永遠に結ばれるのです。

そう考えると気持ちが安らぎ、バーバラとまた会えるという慰めと確信が湧いてきます。肉体的に苦しみながら生涯を終えましたが、彼女の霊は強く、気高く、純粋でした。彼女はあらゆる点で準備ができていましたから、その日が来たら自信と安らかな確信に満ちて「神の楽しい法廷」³に立つことができるでしょう。しかし、ここにいるわたしはあと二日で91歳になるというのに、いまだ悩んでいます。「準備



はできているだろうか。再び妻の手を取ることができるように、必要なことをすべてしているだろうか」と。

人生で最もシンプルで基本的で確かなことは、人は皆死ぬ、ということです。年齢、苦しむかどうか、金持ちか貧乏か、愛されているか孤独かにかかわらず、死を逃れる人は一人もいません。

数年前にゴードン・B・ヒンクレー大管長が、この点について有意義な話をしています。「正しく結婚し、正しく生活するならば、家族のきずなは必ず訪れる死や過ぎ行く時を乗り越えて続きます。このことを知るときに得られる平安は、どれほど心の慰めとなることでしょうか。またその確信はいかに深い平安と喜びを与えてくれることでしょうか。」⁴

わたしは確かに正しく結婚しました。それについては何の疑いもありません。しかし、ヒンクレー大管長によると、それだけでは不十分であり、正しく生活しなければならないのです。⁵

今日、「正しく生活する」ということは分かりにくい概念かもしれません。特に、神や神の子供たちのための神の計画について、真理や間違った概念をだれでも主張できるソーシャルメディアに多くの時間を費やす人にとってはそうでしょう。幸いな

ことに、教会員には永遠に真実である福音の原則があるので、迎えなければならない死に対して、どのような生活をすればより備えることができるかがわかります。

わたしが生まれるわずか数か月前、使徒であった祖父のメルビン・J・バラードは、正しく生きるとはどういうことかという本質を捉えた話をしました。「魂の闘い」と題するその話は、わたしたちの肉体と永遠の霊との間に生じる終わりなき闘いに焦点を当てたものでした。

「男女おのおのにとって最大の闘いは、……自分との闘いで」と述べ、「わたしたちの魂の敵である」サタンは「情欲や欲望、肉の野望」を通してわたしたちを攻撃すると説明しています。⁶ したがって、主要な闘いは、神から来る霊的な性質と、肉欲に駆られた生まれながらの人との間の闘いなのです。兄弟姉妹の皆さん、「あなたがたにすべてのことを教え」⁷ することのおできになる聖霊の働きかけを通して、わたしたちは霊的な助けを受けることができますということを忘れないでください。そのような助けは、神権の力と祝福を通して与えられます。

ここで質問です。この闘いを、あなたはどの闘っていますか。

デビッド・O・マッケイ大管長は言いま

した。「人はこの世にいる間、物質的な慰めと満足を得ることに力と思いと心向けるか、あるいは霊的な特性を身につけることを人生〔の目的とする〕かを試されているのです。」⁸

この肉欲に駆られる性質と霊的な性質との闘いは新しいものではありません。ベニヤミン王は、最後の説教で民にこう教えました。「生まれながらの人は神の敵であり、アダム の 墮落 以来 そう であ っ て、 今 後 も そう である。また人は、聖なる御霊の勧めに従い、主なるキリストの贖罪により、生まれながらの人を捨てて聖徒とな〔ら〕……ないかぎり、とこしえにいつまでも神の敵となるであろう。」⁹

使徒パウロはこう教えています。「肉に従う者は肉のことを思い、霊に従う者は霊のことを思う……。

肉の思いは死であるが、霊の思いは、いのちと平安とである。」¹⁰

この人生で学べる最も大切なことの一つは明らかに、永遠に続く自分の霊的な性質をどう伸ばして邪悪な欲望をどう抑えるかだと思います。それほど難しいことではありません。なにせ、わたしたちの霊は肉体よりもずっと長く存在していて、前世において、すでに悪よりも義を選ぶことに成功しています。この地球が創られ

る前、わたしたちは天の両親の息子、娘として霊界に住んでいました。天の両親は、当時から今に至るまで、わたしたちを愛しておられます。

そして、確かにわたしたちは、人生を変える決断と選びをその前世でしました。この惑星に生まれた人や生まれてくる人は皆、重要な決断をして天の御父がわたしたちの救いのために作られた計画を受け入れることを選んだのです。ですから、わたしたちは実りある霊的性質と永遠の行く末に関わることに於いて証明された実績を持って地上に来ています。

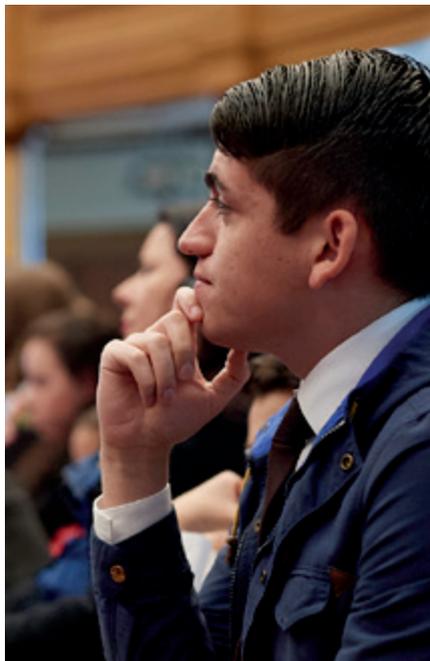
これについて、少し考えてみてください。これはわたしとあなたの本質であり、これまでのあなたの本質でもあります。あなたは神の息子、娘であり、永遠に続く霊的なルーツと無限の可能性にあふれる未来を持っているのです。皆さんは、第一に、何にも増して、そして常に霊的な存在です。ですから、霊的な性質よりも肉欲に駆られる性質を優先させることを選ぶならば、真正銘の霊の存在である自分とは反対のものを選んでいくことになります。

それでもなお、肉の思いとこの世間的衝動が決断が難しくすることに疑いの余地はありません。前世の霊界とこの現世との間に忘却の幕が引かれているため、わたしたちは神や自分の霊的な性質との関係を見失いがちであり、肉欲に駆られる性質に屈して今欲しいものを優先するかもしれません。肉にかかわるものよりも霊にかかわるものを選ぶようになることが、天の御父の計画にこの地上での経験が組み込まれた主要な理由の一つです。それはまた、この計画が、主であり救い主であるイエス・キリストの贖罪という堅固で確かな土台の上に築かれている理由でもあります。だからこそわたしたちは、肉に屈して犯す過ちなどの罪を、常に悔い改めることによって克服し、霊的なものを中心に生活することができるのです。今こそ、肉体の欲求を抑えてキリストの霊的な

教義に従うときです。それこそが、悔い改めを引き延ばしてはならない理由なのです。¹¹

したがって悔い改めは、自分との闘いに欠くことのできない武器になります。前回の総大会で、ラッセル・M・ネルソン大管長はこの闘いに触れて、このように述べています。「悔い改めを選ぶとき、わたしたちは変わることを選びます。自らを救い主に委ねて、最高の自分に変えていただくのです。わたしたちは霊的に成長し、喜びを受けることを選びます。それは主による贖いの喜びです。悔い改めを選ぶとき、もっとイエス・キリストのようになることを選んでいくのです。」¹²

毎晩わたしは天の御父に祈るときに一日を振り返り、何か誤ったことをしたならば赦してくださいようお願い、明日はさらに良くなるようにすると約束します。日々欠かさず行うこの悔い改めにより、霊が肉体に対して、わたしを管理してくださっている御方がどなたであるかを思い起こす助けとなっていると思っています。



もう一つの助けは、週に1度、主であり救い主であられるイエス・キリストの贖罪とわたしたちへの完全な愛を記念する聖餐を受けることによって霊的にリフレッシュすることのできる機会です。

兄弟姉妹の皆さん、少しペースを落とし、今自分がどれくらい肉欲に駆られる性質を抑え、神から与えられた霊的な性質を発揮できているか考えるようお勧めします。時が来て霊界に行き、愛する者たちとの喜び溢れる再会を果たせることでしょう。主イエス・キリストの聖なる御名によって証し、へりくだり祈ります。アーメン。■

注

1. 教義と聖約 42:45
2. アルマ 42:8
3. モルモン書ヤコブ 6:13
4. 『歴代大管長の教え——ゴードン・B・ヒンクレー』 151
5. 約束された祝福を受けるためには交わした聖約に従った生活をしなければならぬと、主は啓示で言っておられる。(教義と聖約 82:10; 132:5-7, 19 参照)
6. メルビン・J・バラード「魂の闘い」(ソルトレーク・タバナクルにて、1928年5月5日) [訳注——『聖徒の道』1984年9月号、30-41も参照]
7. ヨハネ 14:26
8. 『歴代大管長の教え——デビッド・O・マッケイ』 14
9. モーサヤ 3:19
10. ローマ 8:5-6
11. アルマ 34:33 参照
12. ラッセル・M・ネルソン「行いを改善し、より良くなります」『リアホナ』2019年5月号、67



七十人
ピーター・M・ジョンソン長老

サタンに打ち勝つ力

どうすれば平安を見だし、自分たちが何者であるかを覚えておき、サタンの三つの方法に打ち勝つことができるのでしょうか。

兄弟姉妹の皆さん、聖なる神殿の祝福を享受し、自分とほかの人がイエス・キリストの真の弟子となるためにしているすべてのことに感謝しています。皆さんの善良さに感謝しています。皆さんはすばらしく、美しい人々です。

わたしたちが神の子供であることを完全に理解するとき、**確信を与える**聖霊の影響力を認識できるよう祈ります。「家族—世界への宣言」には次のように記されています。「すべての人は、男性も女性も、神の形に創造されています。人は皆、天の両親から愛されている霊の息子、娘です。したがって、人は皆、神の属性と神聖な行く末とを受け継いでいます。」¹ 皆さんは「大いなる末日の業の基を据える務めに携わるために、時満ちる時代に来るようにとどめられていた【選ばれた霊たち】」なのです。² ラッセル・M・ネルソン大管長は次のように述べています。「皆さんは霊界で教えを受け、この末日の最後の時代に直面する事柄の全てに備えられました(教義と聖約 138:56 参照)。その教えは今なお皆さんの中に残っています。」³

皆さんは選ばれた神の息子、娘です。皆さんはサタンに打ち勝つ力を持っています。しかしながらサタンは、あなたが何者であるかを知っています。サタンはあなたの持つ神からの受け継ぎを知っており、あなたの地上と天における可能性を狭めようと、次の3つの方法を用います。

- 欺き
- 妨げ
- 落胆

欺き

サタンは、モーセの時代に欺きという手段を用いました。主はモーセにこのように述べておられます。

「見よ、あなたはわたしの子である。……

……わたしはあなたに一つの業を用意している。あなたはわたしの独り子にかたどられている。」⁴

この栄えある示現の直後、サタンはモーセを欺こうとしました。サタンの用いた言葉は興味深いものです。「人の子モーセよ、わたしを拝みなさい。」⁵ 欺きは、サタンを拝むという招きにとどまらず、モーセのことを人の子だと説明した言い回しの中にもみられました。主はモーセのことを神の子であり、独り子にかたどって創られたと述べておられることを覚えておいてください。

サタンはモーセを欺こうと執拗に試みましたが、モーセは抵抗しこう言いました。「サタンよ、わたしから離れ去れ。わたしは栄光の神であられるこの唯一の神のみを礼拝するからである。」⁶ モーセは、自分が何者であるか、つまり神の息子であることを覚えていました。

モーセに対する主の言葉は、皆さんや

わたしに対しても当てはまります。わたしたちは神御自身の姿に創造され、神はわたしたちがなすべき一つの業を用意しておられます。サタンは、わたしたちがほんとうは何者であるかを忘れさせることで欺こうとするのです。もしわたしたちが、自分自身が何者であるかを理解していなければ、わたしたちがどのような人物になれるのかを理解するのは困難になります。

妨げ

サタンは、キリストや主の聖約の道からわたしたちの注意をそらし遠ざけようとします。ロナルド・A・ラズバンド長老は次のように語っています。「サタンのもくろみは人を霊的な証から引き離すことですが、主の望みはわたしたちを照らし、主の業に携わるようにすることです。」⁷

今日、注意をそらすものは数多くあります。Twitter, Facebook, 仮想現実のゲームなど、ほかにもたくさんあります。このようなテクノロジーの進歩には目を見張るものがあります。しかし、わたしたちが注意



を払わなければ、神聖な可能性を発揮するうえでの妨げとなり得るのです。幕の両側にいる散らされたイスラエルを集めようとするときにこれらを適切に用いるならば、天の力が引き出され、わたしたちが奇跡を目の当たりにすることが可能となります。

テクノロジーの使用において無頓着になるのではなく、注意深くなりましょう。⁸ わたしたちを救い主に近づかせ、主の再臨に備えて主の業を成し遂げられるよう、テクノロジーをどのように用いればよいか、引き続き探し求めてください。

落胆

最後に、サタンはわたしたちが落胆するのを望んでいます。自分を人と比較したり、自分や人の期待に沿っていないと感じるとき、わたしたちは落胆するかもしれません。

博士課程を始めたころ、わたしは落ち込みました。その年は4名しか入学を許可されなかったうえ、そのほかの生徒が優秀だったからです。彼らは、テストの成績も良く、経営陣としての豊富な職務経験もあり、自身の能力に対する自信を放っていました。最初の2週間が過ぎたころ、落胆と疑念が根を下ろし始め、わたしは圧倒されそうになっていました。

もしこの4年間の課程を修了しようと言うのであれば、毎学期モルモン書を読破すべきだと確信しました。毎日読むときに、聖霊がわたしにすべてのことを教え、ことごとく思い起こさせるであろうという救い主の宣言を理解しました。⁹ それは神の息子として自分が何者なのかを再確認させ、自分をほかの人と比較することのないよう思い起こさせ、成功へと導く神聖な役割に対する自信を与えてくれました。¹⁰

親愛なる友人の皆さん、あなたの幸福をだれにも奪われないようにしましょう。人と比較するのをやめましょう。救い主が述べられた次の愛ある言葉を覚えてお



いてください。「わたしは平安をあなたにに残して行く。わたしの平安をあなたがたに与える。わたしが与えるのは、世が与えるようなものとは異なる。あなたがたは心を騒がせるな、またおじけるな。」¹¹

では、どうすればよいのでしょうか。どのようにしてこの平安を見だし、自分たちが何者であるかを覚えておき、サタンの三つの方法に打ち勝てるのでしょうか。

第一に、心と勢力と思いと力をつくして神を愛するという、一番大切な第一の戒めを覚えておきましょう。¹² わたしたちが行うすべてのことは、神と御子に対するわたしたちの愛が動機となるべきです。御二方に対する愛を、戒めを守ることによって育むとき、自分自身や人々を愛するわたしたちの能力が増すでしょう。家族、友人、近隣の人々に仕えることから始めましょう。なぜなら、救い主が彼らを神の息子、娘として御覧になっているように、わた

したちもそのように人々を見るようになるからです。¹³

第二に、毎日、毎日、毎日イエス・キリストの御名によって御父に祈りましょう。¹⁴ 祈りによって、わたしたちは神の愛を感じ、神に対するわたしたちの愛を示します。祈りによって、感謝を表し、神の御心に従い、すべてにおいて導かれ指示されるよう強さと勇気を願い求めます。

皆さんにお勧めします。「……この愛で満たされるように、また神の子となれるように、熱意を込めて御父に祈〔ってください〕。……御子が御自身を現されるときに、……御子に似た者となれるように、……祈〔ってください〕。」¹⁵

第三に、毎日、毎日、毎日モルモン書を読み、研究しましょう。¹⁶ わたしのモルモン書研究は、心に質問を思い浮かべながら読むことによってより良くなっているようです。質問を思い浮かべながら読むとき、



わたしたちは啓示を受けることができ、預言者ジョセフ・スミスが次のように宣言した際に真実を語ったことが分かります。「『モルモン書』はこの世で最も正確な書物であり、……人はその教えを守ることに、ほかのどの書物にも増して神に近づくことができる。」¹⁷モルモン書にはキリストの言葉が載っており、わたしたちが何者であるかを思い起こさせる助けとなります。

最後に、毎週、毎週、毎週祈りの気持ちを持って聖餐を受けましょう。聖餐を含む聖約と神権の儀式を通して、生活に神性の力が現れます。¹⁸デビッド・A・ベドナー長老はこうに教えています。「聖餐の儀式は、心から悔い改め、霊的に再び生まれるように繰り返し招く神聖な儀式です。聖餐を受けるという行為自体が罪を取り除くわけではありません。しかし、意識して備え、打ち砕かれた心と悔いる霊をもってこの神聖な儀式を受けるなら、いつも主の御霊がともにあると約束されています。」¹⁹

わたしたちはへりくだって聖餐を受けるとき、ゲツセマネと呼ばれた神聖な園でのイエスの苦しみと十字架での主の犠牲を思い起こします。独り子である贖い主を遣わしてくださった御父に感謝を表し、戒めを守り、いつも主を覚えるというわたしたちの意思を示します。²⁰聖餐には霊的に教化されることが伴います。それは、個人的で力強く、必要なものです。

友人の皆さん、心をつくして神を愛し、イエス・キリストの御名によって祈り、モルモン書を研究し、祈りの気持ちをもって聖餐を受けるよう努めるとき、主の力が伴い、サタンの欺きに打ち勝ち、神聖な可能性を狭めるような妨げが最小限になり、天の御父と御子の愛を感じるわたしたちの能力を弱めるような落胆のを退けることができる力を持つようになります。わたしたちは、神の息子、娘として、自分が何者であるかを完全に理解することができるようになります。



兄弟姉妹の皆さん、わたしの愛を分かち合い、天の御父が生きておられ、イエスがキリストであられることを知っていると皆さんに証します。御二方を愛しています。末日聖徒イエス・キリスト教会は、地上における神の王国です。わたしたちには、イスラエルを集めメシヤの再臨に世を備えるという神聖な務めがあります。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. 「家族—世界への宣言」『リアホナ』2017年5月号, 145
2. 教義と聖約 138:53。教義と聖約 138:54 - 56も参照
3. ラッセル・M・ネルソン「本物のミレニアル世代として立つ」『リアホナ』2016年10月号, 48
4. モーセ1:4, 6
5. モーセ1:12
6. モーセ1:20。モーセ1:16 - 19, 21も参照
7. ロナルド・A・ラズバンド「忘れない」リアホナ『リアホナ』2016年11月号, 115
8. ベッキー・クレーブ「注意深さと無頓着」リアホナ『リアホナ』2019年5月号, 9 - 11参照
9. ヨハネ14:26参照
10. わたしたちを成功へ導く神聖な役割とは、地上での取り組みにおいてこの世が成功と見なすものを得たかどうかにかかわらず、永遠の命を受けることである。聖霊はわたしたちの神聖な役割を思い起こさせる。また、聖約の道にとどまり、主の力を得てサタンの誘惑に打ち勝つときにわたしたちがどのような人物となり得るかを思い起こさせる。
11. ヨハネ14:27; 強調付加
12. マタイ22:37 - 38参照
13. ヨハネ3:16; 1ヨハネ4:19; モーサヤ2:17参照
14. 3ニーファイ18:18 - 21参照
15. モロナイ7:48; 強調付加
16. ケビン・W・ピアソン「命の木のそばにとどまる」『リアホナ』2015年5月号, 114 - 116
17. モルモン書序文
18. 教義と聖約84:20 - 21参照
19. デビッド・A・ベドナー「いつも罪の赦しを保つ」『リアホナ』2016年5月号, 59 - 60
20. モロナイ4:2 - 3; 5:1 - 2; 教義と聖約20:76 - 79参照。わたしたちは、主の御霊とともにいることを心底必要とする時代に生きていることを心に留める。



十二使徒定員会
ウリセス・ソアレス長老

自分の十字架を負う

自分の十字架を負って救い主に従うとは、この世の習慣に浸ることなく、信仰を持って主の道を進み続けることを意味します。

愛する兄弟姉妹の皆さん、この2日間、指導者からすばらしい教えを受けてきました。靈感あふれる、時にかなったこれらの教えを生活に当てはめようと努力するなら、主は恵みにより、一人一人が自分の十字架を負えるように助けてくださり、重荷を軽くしてくださるでしょう。¹

救い主はピリポ・カイザリヤの地方に行かれたとき、御自身が長老、祭司長、律法学者たちから多くの苦しみを受けることを弟子たちに明かされ、御自身の死と栄光あふれる復活について具体的にお教えになりました。² 当時、主の弟子たちは、この世における主の神聖な使命について完全には理解していませんでした。ペテロ自身、救い主の言葉を聞き、イエスをわきへ引き寄せて、「主よ、とんでもないことです。そんなことがあるはずはございません」といさめたほどでした。³

救い主は、主の業に献身するには従順が求められ苦しみが伴うことを弟子たちに理解させるために、次のように強調して宣言されました。

「だれでもわたしについてきたいと思うなら、自分を捨て、自分の十字架を負って、わたしに従ってきなさい。

自分の命を救おうと思う者はそれを失い、わたしのために自分の命を失う者は、それを見いだすであろう。

たとえ人が全世界をもうけても、自分の命を損したら、なんの得になろうか。ま

た、人はどんな代価を払って、その命を買ってもどすことができようか。⁴

救い主はこの宣言を通して、主に進んで従おうとするすべての人は、自らを捨て、望みや好み、情熱を制御しすべてを犠牲にし、必要ならば命さえも捨て、御自分がされたように、自分の意思を御父の御心に完全に従わせる必要があることを強調されました。⁵ これこそが魂の救いを得るために払うべき代価なのです。イエスは、主の大義のために犠牲を払い献身することの真の意味を弟子たちがもっとよく理解

できるように、意図して比喩的に十字架を象徴として使われました。十字架というものは弟子たちやローマ帝国の住民によく知られていました。なぜなら、ローマ人は十字架の刑に処せられる人に自分の十字架やその支柱を刑場まで運ばせていたからです。⁶

救い主が復活されて初めて、弟子たちの心は開かれ⁷、救い主について書かれてきたあらゆることを理解し、以後自分たちに何が求められるかが分かったのです。⁸

兄弟姉妹の皆さん、わたしたちも同じように、思いと心を開くことによって、自分の十字架を負い主に従うことの意味を、より十分に理解する必要があります。聖文から分かるのは、自分の十字架を負いたいと願う人は、自分自身を捨て、あらゆる不信心やこの世的な欲を捨て、主の戒めを守るという方法でイエス・キリストを愛するということです。⁹

たとえ艱難や、自分の魂の弱さ、この世の圧力や、主の教えに反対するこの世の哲学に直面しても、神の御心に反することを捨て、求められるすべてを犠牲にし、神





の教えに従う努力をしようと決意することによって、イエス・キリストの福音の道にとどまって堪え忍ぶ助けが得られるでしょう。

例えば、まだ永遠の伴侶を見つけておらず、孤独や絶望を感じている皆さん、あるいは離婚し、見放され忘れられてしまったと感じている皆さんに確信をもってお伝えします。自分の十字架を負い、主に従うようにという救い主の招きを受け入れることは、信仰を持って主の道を歩み続けることであり、尊厳を保ち、神の愛や憐れみに対する希望を奪ってしまうこの世の習慣に浸らないことを意味します。

同性にひかれる思いを持ち、落胆し無力感を抱いている皆さんにも、同じ原則が当てはまります。中にはそれを理由に、イエス・キリストの福音はもう自分のためにあるのではないと感じる人もいるかもしれませんが、もしそうなら、確信をもって皆さんにお伝えします。どんなときも、父なる神と神の幸福の計画、イエス・キリストとその贖い、また愛に満ちた戒めに従って生きることには希望があります。確固として動かずに神の戒めを守り¹⁰、いつも多くの善い行いをするなら¹¹、主は、その完全な知恵と力、正義と憐れみによって、わたしたちを御自分のものとして結び固め、御前に導き、永遠の救いにあずからせてくだ

さるでしょう。

重大な罪を犯してしまった皆さんにとって、この勧めを受け入れることは、神の御前にへりくだり、しかるべき教会の指導者に相談し、罪を悔い改めて捨てることを意味します。この過程は、麻薬、薬物、アルコール、ポルノグラフィなど、心身をむしばむ依存症と闘っているすべての人をも祝福します。この過程を踏むことで、救い主に近づきます。主は最終的にわたしたちを罪悪感、悲しみ、霊と肉体の束縛から解放することがおできになります。それに加えて、家族や友人、有能な医療者やカウンセラーなど専門家のサポートも得ることができます。

度重なる失敗をしても、どうか決して諦めず、自分には罪を捨てて依存症を克服する能力などないと思わないでください。努力をやめ、弱さと罪に埋もれ続けるわけにはいかないのです！常に最善を尽くそうと努力してください。救い主が教えられたように、器の内側を清めたいという願いを行い示してください。¹² 試練に対する解決策は、何か月も努力した後で得られることもあります。モルモン書にある「自分の行えることをすべて行った後に、神の恵みによって救われる」¹³ という約束は、このような状況にも当てはまります。どうか、救い主の恵みの賜物は、「必ずしもす

べて行った『後』だけに限らないことを覚えていてください。主の恵みは、自分で努力する前、努力している最中、努力した後にも受けることができます。』¹⁴

試練に打ち勝とうと努力を続けるなら、神は癒される信仰という賜物と、奇跡の働きという賜物を恵んでくださるでしょう。¹⁵ 自分自身ではできないことを、主は行ってくださるのです。

さらに、不当だと感じることに對して、苦々しさや怒りを抱き、気分を害し、悲しみにとらわれている皆さんにとって、十字架を負い、救い主に従うとは、こうした心の状態から自由になり、平安を見いだす助けを頂けるように、このような思いをわきに置いて、主に心を向けるよう努力することを意味します。残念なことに、このような否定的な思いや感情にとらわれてしまうと、生活の中で主の御霊の影響を受けられなくなってしまいます。他人のために悔い改めることはできませんが、それでも自分に害を与えた人に捕らわれることを拒否することによって、彼らを赦すことができます。¹⁶

聖文は、救い主によって石のような心が取り除かれ新しい心を頂くことにより、このような状況から抜け出す道があることを教えています。¹⁷ そのためには弱さを携えて主のもとに行き¹⁸、主の助けと赦しを

求める必要があります。¹⁹特に、毎週日曜日、聖餐を頂く神聖な時間にそれが言えます。主の助けを求め、自分を傷つけた人を赦すという困難でも大切な一歩を踏み出すことができますように。それによって自身の傷が癒され始めることを願っています。そうするなら、皆さんは主とともにある平安を得、慰めに満ちた夕べを日々過ごせることを約束します。

1839年、リバティーの監獄で、預言者ジョセフ・スミスは教会員に向けて手紙を書きました。そこには、これまで話した状況にびつたりな預言が含まれています。「すべての王位と主権、公国と力が示されて、イエス・キリストの福音のために勇敢に堪え忍んだすべての者に授けられるであろう。」²⁰ここにあるように、主の御名を受け、主の約束を信頼して最後まで堪え忍ぶ者は救われ²¹決して終わりのない幸福な状態で神とともに住むことができます。²²

だれもが人生の逆境に直面し、悲しみや無力感、絶望感を抱き、力尽きたようにさえなります。このような思いになると、次のように主を疑うこともあるかもしれません。「なぜこのような経験をするのでしょうか。なぜ期待したようにいかないのですか。わたしは力の限り、自分の十字架を負い、救い主に従おうとしているのに。」

愛する友人の皆さん、自分の十字架を負うことには、へりくだり、神とその限りない知恵を信頼することも含まれます。主がわたしたち一人一人とその必要を御存じであることを認めなければなりません。また、主とわたしたちのタイミングは異なるという事実も受け入れる必要があります。祝福を求めるとき、主にそれを成就していただくうえで時間制限を定めてしまうことがあります。自分の望みに対して主から答えを頂く期限を設けて、自らの忠実さに条件を付けることはできません。そのようなことをすれば、疑い深い古代の

ニーファイ人のようになってしまいます。彼らはレーマン人サムエルの語った言葉が成就するはずの時はすでに去ったと言って、信じていた兄弟姉妹たちをあざけり、混乱を引き起こしました。²³わたしたちは十分に主を信頼し、静まって主が神であること、主がすべてのことを御存じで、一人一人を把握しておられることを知る必要があります。²⁴

最近、フランカ・カラマシという、夫を早くに失った姉妹に仕える機会がありました。カラマシ姉妹は、体の機能が徐々に損なわれていく病気を患っています。家族の中で最初に回復されたイエス・キリストの教会に入りました。夫はバプテスマを受けることはなかったものの、宣教師に会うことに同意し、よく教会の集会にも出席しました。このような状況にあっても、カラマシ姉妹は忠実であり続け、イエス・キリストの福音の中で4人の子供を育てました。夫が亡くなって1年後、カラマシ姉妹は子供たちを神殿に連れて行き、聖なる儀式を受け、家族として結び固められました。これらの儀式の中で受けた約束は、彼女に大きな希望と喜びと幸福を与え、人生を歩むうえで助けとなりました。

初めて病気の症状が表れたとき、ビ



神殿にて、フランカ・カラマシ姉妹とその4人の子供たち。

ショップが祝福を施しました。そのとき彼女はビショップに、主の御心を受け入れる準備ができていると伝え、癒される信仰と、最後まで病気を堪え忍ぶ信仰を表しました。

わたしは訪問の間、カラマシ姉妹の手を握り、目を見詰めたが、彼女の表情から天使のような光が輝き出ているのを見ました。神の計画に対する信頼と、自分に対する御父の愛と計画への完全な希望が見て取れました。²⁵ 試練にあっても、自分の十字架を負うことにより、最後まで信仰によって堪え忍ぼうという固い決意を感じました。この姉妹の人生はキリストへの証であり、主への信仰と献身を表しています。

兄弟姉妹の皆さん、自分の十字架を負い救い主に従うには、忍耐強く現状に向き合い、生まれながらの人に属する欲を捨て、主を待ち望みながら、主の模範に従い、主のようになる²⁶努力をすることが求められることを証します。詩篇にはこうあります。

「主を待ち望め、強く、かつ雄々しくあれ。主を待ち望め。」²⁷

「主はわれらの助け、われらの盾である。」²⁸

わたしは皆さんに証します。主の足跡に倣い、生活を完全に癒してくださる主を待ち望むなら、魂に休みが与えられ、重荷は軽く、負いやすくなるでしょう。²⁹このことを、イエス・キリストの聖なる御名によって証します、アーメン。■

注

1. マタイ 11:29 - 30; ヤコブの手紙 2:24;
2 ニーファイ 25:23
2. マタイ 16:21 参照
3. マタイ 16:22
4. マタイ 16:24 - 26
5. ヨハネ 6:38 参照
6. ヨハネ 19:16 - 17 参照
7. マルコ 16:17 - 20; ルカ 24:36 - 53 参照
8. マタイ 28:19 - 20 参照
9. See Joseph Smith Translation, Matthew 16:25 - 29 (in the Bible appendix): 「聖句ガイド」 「欲望」 「生まれながらの人」 「肉欲」 「邪悪」; scriptures.ChurchOfJesusChrist.org も参照



十二使徒定員会
ニール・L・アンダーセン長老

10. アルマ 1: 25 参照
11. モーサヤ 5: 15 参照
12. アルマ 60: 23 参照
13. 2 ニーファイ 25: 23
14. See Bruce C. Hafen, *The Broken Heart: Applying the Atonement to Life's Experiences* (1989), 155 - 156
15. 教義と聖約 46: 19, 21 参照
16. ニール・A・マックスウェル「悔い改め」『聖徒の道』1992年1月号, 34 参照
17. エゼキエル 18: 31; 36: 26 参照
18. エテル 12: 27 参照
19. 1 ニーファイ 7: 21 参照
20. 教義と聖約 121: 29
21. 3 ニーファイ 27: 6 参照
22. モーサヤ 2: 41 参照
23. 3 ニーファイ 1: 4 - 7 参照
24. 教義と聖約 101: 16 参照
25. 2 ニーファイ 31: 20 参照
26. マタイ 5: 48; 3 ニーファイ 12: 48; 27: 27 参照
27. 詩篇 27: 14
28. 詩篇 33: 20
29. マタイ 11: 30; モーサヤ 24: 14 参照

実

救い主イエス・キリストと、主を通してのみもたらされる永遠の喜びからいつも目を離さず、心の中心に置いてください。

皆さんの考えていることが分かりますよ。あと一人で、ネルソン大管長から話が聞けます。愛する預言者を待つ少しの間、皆さんが注意を向けてくれるように願って、魅力的なテーマを選びました。わたしのテーマは「実」です。

ベリーやバナナ、スイカ、マンゴー、そのほかツノメロンやザクロのようなトロピカルフルーツなど、様々な色や食感、甘さなどの果実が、長い間珍重されてきました。

救い主は教導の業の始めに、良い実を永遠の価値あるものに例えて、こう言われました。「あなたがたは、その実によって彼らを見わかるであろう。」¹ 「すべて良い

木は良い実を結び、悪い木は悪い実を結ぶ。」² そして「永遠の命に至る実」を集めるように励まされました。³

モルモン書でよく知られている鮮明な夢の中で、預言者リーハイは自分が「暗くて寂しい荒れ野」にいることに気づきました。そこには汚れた水の流れや暗黒の霧、見知らぬ道、禁じられた道だけでなく、細くて狭い道に沿って1本の鉄の棒⁴もあり、「人を幸せにする」実をつけた美しい木へと続いていました。リーハイはその夢について詳しく話して言いました。「その木の実を食べると、……今までに味わったどんな実よりもずっと甘〔かった。〕



この世における教導の業で、救い主は良い実を永遠の価値あるものにとたとえた。

……〔そして〕わたしの心は非常に大きな喜びに満たされた。」この実は「ほかのどんな実よりも好ましい」ものでした。⁵

木と実の意味

最も貴い実をつけたこの木は、何を象徴しているのでしょうか。それは「神の愛」⁶を表し、天の御父の驚くべき贖いの計画を示しています。「神はそのひとり子を賜わったほどに、この世を愛して下さった。それは御子を信じる者がひとりも滅びないで、永遠の命を得るためである。」⁷

この貴い実は、救い主の比類なき贖罪という驚くべき祝福を象徴しています。わたしたちは死すべき状態の後に再び生きるだけでなく、イエス・キリストを信じる信仰と、悔い改めと、戒めを守ることにより、罪の赦しを受け、いつの日か清く汚れない状態で御父と御子の前に立つことができるのです。

木の実を食べることは、回復された福音の儀式と聖約を受け入れること、すなわちバプテスマと聖霊の賜物を受け、主の宮に入って高い所から力を授かることも象徴しています。イエス・キリストの恵みを通して、また聖約を尊ぶことにより、義にかなった自分の家族と永遠に住むという計り知れない約束を受けるのです。⁸

天使がその実を「人にとって最も喜ばしい」と表現したのも驚くに当たりません。⁹ そのとおりなのです。

忠実であり続けることの試練

だれもが皆学んできたように、回復された福音の貴い実を味わった後も、イエス・キリストに対して真実で忠実なままではいるのは容易なことではありません。この大会で何度も述べられているように、わたしたちは引き続き妨害や欺き、混乱や騒動、誘いや誘惑に直面し、心は救い主から、また主に従うときに経験した喜びややすばらしさから、引き離されそうになります。

このような逆境があることから、リーハ

イの夢には警告が含まれています。川の反対側には広々とした建物があり、あらゆる年代の人がいて、イエス・キリストに従う義人を指さし、あざけり、笑っていました。

その建物の中の人々は、戒めを守る人を冷やかし、笑いものにし、イエス・キリストと主の福音を信じる信仰をおとしめ、ばかにしようとしました。そして、信仰を笑われ、疑いと軽蔑という言葉の攻撃を受けて、実を味わった人々の一部は自分が一度受け入れた福音を恥ずかしく思い始めました。世の偽りの誘いに惑わされて、彼らはその木と実に背を向け、聖文の言葉によれば、「禁じられた道に踏み込んで姿が見えなくなってしまった」のです。¹⁰

現在の世において、サタンは建築作業員は残業をして、大きく広々とした建物を大急ぎで増築しています。増築した建物は川を越えて広がり、わたしたちの家庭を取り囲もうとし、その一方で、指をさしてあざける人々は、インターネットのメガフォンで日夜、大声を上げています。¹¹

ネルソン大管長は説明しています。「主への証を崩壊させて主の業を妨げようと、敵対する者はその力を何倍にも増しています。」¹² リーハイの言葉を思い出してくだ

さい。「わたしたちは、彼らのことを気に留めなかった。」¹³

恐れる必要はありませんが、用心する必要があります。時にはささいなことが霊的なバランスに強烈な影響を与えます。疑問やほかの人々からの侮辱、信仰心のない友人、あるいは不運な間違いや落胆などが、貴い木の実からもたらされる甘くて純粹で、心を満たしてくれる祝福から皆さんをそらすことのないようにしてください。救い主イエス・キリストと、主を通してのみもたらされる永遠の喜びからいつも目を離さず、心の中心に置いてください。

ジェイソン・ホルの信仰

6月に妻のキャシーとわたしは、ジェイソン・ホルの葬儀に参列しました。彼は亡くなったとき48歳で、長老定員会の会長を務めていました。

ジェイソンは自分の人生を変えた一つの出来事についてこう語っています。

「〔15歳のとき〕わたしはダイビング中の事故で……首の骨を〔折り〕、胸から下がまひしました。足の機能を完全に失い、腕は少し動かせました。もはや歩くことも、立つことも、……自分で食べることも



だれもが皆学んできたように、回復された福音の貴い実を味わった後でさえも、イエス・キリストに対して真実で忠実なままではいるのは容易なことではない。



できません。かろうじて呼吸したり話したりすることはできました。」¹⁴

「わたしは嘆願しました。『(天の) お父様、わたしは両手だけでも動かせれば、この試練に対処できます。どうか、お父様、お願いします。……

……脚は動かなくても構いません、お父様。両手が使えることだけを〔祈り求め〕ます。』」¹⁵

ジェイソンは二度と両手を使えませんでした。広々とした建物から声が聞こえてきませんか。「ジェイソン・ホール、神はお前の祈りなんか聞いていない。神が愛に満ちた神であるなら、どうしてお前をこんな目に遭わせるんだ？ なぜキリストなど信じるんだ？」ジェイソン・ホールは彼らの声を聞きましたが、気に留めませんでした。その代わりに、あの木の実を味わったのです。イエス・キリストを信じる彼の信仰は、不動のものになりました。大学を卒業し、彼が人生最愛の人と呼んだコレット・コールマンと神殿で結婚しました。¹⁶ 16年の結婚生活の後にもう一つの奇跡が起き、二人の間にかげがえのない息子、コールマンが誕生しました。

二人はどのように信仰を育んだのでしょうか。コレットは説明しています。「わたしたちは神の計画を信頼しました。それが希望を与えてくれました。ジェイソンが〔いつの日か〕癒されることを知っていました。……神が救い主〔イエス・キリスト〕を備えてくださり、その贖いの犠牲により、わたしたちは諦めようと思ったときに前を見続けることができたのです。」¹⁷

ジェイソンの葬儀で、10歳のコールマンは言いました。「父が教えてくれたように、天のお父様は計画を〔用意して〕、地上の生活が素晴らしいものとなり、家族で生活できるようにしてくださいました。……でも……つらいことを経験しなければならぬし、間違いを犯すこともあります。」

コールマンは続けました。「天のお父様は御子イエスを地上に遣わされました。主の務めは、完全になり、人々を癒し、愛することでした。そして、すべての人の痛みや悲しみ、罪のために、苦しみを受けることでした。それから、わたしたちのために死なれたのです。」コールマンは続けます。「イエスはこのことを行われたので、

ぼくの今の気持ちを御存じです。」

「イエスは死から3日後に……完全な体でよみがえられました。これはぼくにとって大切なことです。なぜなら、〔父の〕体は完全になり、ぼくたちは家族として一緒に過ごせる……ことを知っているからです。」

最後にコールマンはこう言いました。「小さいころから毎晩、父に言われました。『父さんはお前を愛してる、天の御父もお前を愛しておられる、そしてお前は良い子だ。』」¹⁸

イエス・キリストにより喜びがもたらされる

ラッセル・M・ネルソン大管長は、ホール家族が喜びと希望を感じている理由を説明して、次のように言っています。

「わたしたちが感じる幸せは、生活の状況ではなく、生活の中で何に目を向けるかにかかっているのです。

……生活の中心を神の救いの計画とイエス・キリスト、主の福音に向けるなら、人生で何が起ころうとも、起ころなかったとしても、喜びを感じることができます。喜



ホール家のジェイソン、コールマンそしてコレット

びは主から始まり、もたらされるものです。主はすべての喜びの源であります。……

世に目を向け、この世の幸福への公式に従っても、決して喜びを知ることはできません。……それは、イエス・キリストが教えられたとおりに、意識的に義にかなった生活を送ろうとすることで得られる賜物なのです。」¹⁹

立ち返ることによって得る約束

もしあなたがしばらくの間その木の実のない状態であったなら、主の御手が常にあなたに伸ばされていることを知ってください。主は「悔い改めてわたしのもとに来[る]」ように優しく招き寄せておられます。²⁰ 主の実は季節を問わず、いつでも豊富です。お金では買えないものであり、誠実に求める人はだれ一人拒まれません。²¹

あの木のもとに戻ってもう一度その実を味わいたいと思う人はだれでも、天の御父に祈ることから始めてください。イエス・キリストと、主の贖いの犠牲の力を信じてください。「あらゆる思いの中で」²² 救い主を仰ぎ見るとき、その木の実は、もう一度あなたのものとなり、おいしい味と心の喜び、「神のあらゆる賜物の中で最も大なるもの」となることを約束します。²³

ちょうど3週間前、妻のキャシーとわたしは、ポルトガル・リスボン神殿の奉獻式に出席したとき、救い主の実の喜びが満ちあふれるのを見ました。回復された福音の真理にポルトガルが門を開いたのは、信教の自由が認められた1975年でした。1,600キロ以内に集会所も礼拝堂も神殿もなかった時代にその実を最初に味わった多くの気高い聖徒たちが、今やポルトガルのリスボンにある主の宮の中で貴い実が豊かに結ばれることを、わたしたちとともに喜びました。救い主に心を集中し続けてきたこれらの末日聖徒を、わたしはどんなに称賛し、尊敬していることでしょうか。

救い主はこう言われました。「もし人が



わたしにつながっており、またわたしがその人とつながっておれば、その人は実を豊かに結ぶようになる。わたしから離れては、あなたがたは何一つできないからである。」²⁴

今朝、ネルソン大管長は世界中にいる教会員に向けて言いました、「愛する兄弟姉妹の皆さん、皆さんはイエス・キリストの教えに従うときに実る果実の生きた模範です。」大管長は続けます。「ありがとうございます！ 皆さんを愛しています！」²⁵

ネルソン大管長、わたしたちはあなたを愛しています。

わたしは、愛する大管長に注がれる啓示の力を目撃した証人です。大管長は神の預言者です。いにしへのリーハイのように、ラッセル・M・ネルソン大管長は、神の家族であるわたしたちに、来てその木の実を食べよう招き寄せています。わたしたちが大管長の勧告に従う謙遜さと同気を持ってますように。

イエス・キリストが生ける神の生ける御

子であられることを、慎んで証します。主の愛と主の力と主の恵みは、永続する価値のあるすべてのものをもたらします。イエス・キリストの御名により証します、アーメン。■

注

1. マタイ7:16
2. マタイ7:17
3. ヨハネ4:36
4. 2007年1月上旬に、その年の3月4日に行われることになっていたブリガム・ヤング大学のデイポーショナルで、七十人会長会としての話を準備していました。そこで、同大学で同じ年の2月4日に話を予定していたデビッド・A・ベドナー長老に準備の内容を聞きました。彼の話の内容が、鉄の棒にしっかりとつかまることだと聞いて驚きました。わたしもまったく同じ題名の話を用意していたからです。お互いの原稿を交換した後、わたしたちのアプローチは異なっていることに気づきました。“A Reservoir of Living Water”（生ける水の貯水池）と題したベドナー長老の話は、聖文を使い、鉄の棒つまり神の言葉を強調していました。その話の中でベドナー長老はこう尋ねました。「皆さんもわたしも、日々鉄の棒にしっかりとつかまることのできる方法で、聖文を読み、研究し、求めているでしょうか。」(speeches.byu.edu)



ラッセル・M・ネルソン大管長

結びの言葉

個人のふさわしさには、主にさらに似た者となるように思いと心を完全に改めることが求められます。

愛する兄弟姉妹の皆さん、この歴史的な大会を終えるに当たり、わたしたちを高めてくれたメッセージと音楽に靈感を与えてくださった主に感謝します。霊的なごちそうを堪能しました。

わたしたちは、イエス・キリストの回復された福音が、主の教えを聞いて心に留める人に希望と喜びをもたらすことを知っています。また、各家庭が信仰の真の聖所となり、平安と愛と主の御霊が宿る場所になり得ることも知っています。

もちろん、回復の最も尊い宝は、聖なる神殿です。その神聖な儀式と聖約は、人々に主の再臨のときに救い主を迎える備えをさせるうえで、極めて重要です。現在、奉獻された神殿は166あり、さらに増え続けています。

新しい神殿や改装された神殿では、奉獻の前にオープンハウスが行われます。異なる信仰を持つ多くの友人が神殿ツアーに参加し、神殿の祝福について何かを学びます。訪問者の中には、もっと知りたいと思う人もいますでしょう。どうしたら神殿の祝福を受ける資格が得られるのか真剣に尋ねる人もいますでしょう。

わたしたちは教会員として、質問に答えられるように準備する必要があります。神殿の祝福は、自分自身を備えるすべての人はだれでも受けられると説明することができます。しかし、奉獻された神殿に参入するには、資格を得る必要があります。

御自分のすべての子供たちが神殿で得られる永遠の祝福を受けてほしいと、主は思っておられます。そして聖なる宮に入る資格を得るために各人が何を行うべきかを指示されました。

そのような教えを受ける最初の格好の機会は、神殿の外壁に刻まれた、「主の宮



そしてベドナー長老との会話の1週間後、ボイド・K・パッカー会長がBYUのデイボーションで“Lehi’s Dream and You”（リーハイの夢とあなた）と題する話をしました。パッカー会長は、鉄の棒は聖霊を通して来る個人的な啓示と靈感であると強調し、こう言いました。「鉄の棒につかまれば、聖霊の賜物により自分が前進していると感じることができます。鉄の棒を握り締め、手を離さないでください。聖霊の力を通して自分の人生で前進しているを感じます。」(Jan. 16, 2007, speeches.byu.edu)

2007年のわたしの話の題名は“Hold Fast to the Words of the Prophets”(預言者の言葉にしっかりとつかまる)で、鉄の棒が生ける預言者を表していることについて話しました。

これら3つの話のつながりは偶然ではありません。これら3つの話に対して主の御手が働かれ、鉄の棒、つまり神の言葉における3つの側面が同じ聴衆に対して準備されました。(1) 聖文、あるいは古代の預言者の言葉。(2) 生ける預言者の言葉。(3) 聖霊の力。わたしにとって大切な学びの機会となりました。

5. 1ニーファイ 8:4-12 参照
6. 1ニーファイ 11:25
7. ヨハネ 3:16
8. デビッド・A・ベドナー「リーハイの夢——鉄の棒にしっかりとつかまる」『リアホナ』2011年10月号, 32-37 参照
9. 1ニーファイ 11:23
10. 1ニーファイ 8:28
11. See Boyd K. Packer, “Lehi’s Dream and You”(Brigham Young University devotional, Jan. 16, 2007), speeches.byu.edu.
12. ラッセル・M・ネルソン「行いを改善し、より良くなれます」『リアホナ』2019年5月号, 68
13. 1ニーファイ 8:33
14. Stephen Jason Hall, “The Gift of Home,” *New Era*, Dec. 1994, 12.
15. Stephen Jason Hall, “Helping Hands,” *New Era*, Oct. 1995, 46, 47.
16. コレット・ホールからアンダーセン長老あての個人的な書簡
17. コレット・ホールからアンダーセン長老あての個人的な書簡
18. 葬儀でのコールマン・ホールの話、コレット・ホールがアンダーセン長老に紹介
19. ラッセル・M・ネルソン「喜び——霊的に生き抜く道」『リアホナ』2016年11月号, 82, 84
20. 3ニーファイ 21:6
21. 2ニーファイ 26:25, 33 参照
22. 教義と聖約 6:36
23. 1ニーファイ 15:36
24. ヨハネ 15:5
25. ラッセル・M・ネルソン「大切な第二の戒め」『リアホナ』2019年11月号

「聖きを主にささぐ」という言葉に注意を向けることです。今日のヘンリー・B・アイリング管長やそのほか多くの人のメッセージにより、わたしたちはさらに聖くなるよう鼓舞されました。各神殿は聖なる場所であり、神殿参入者はそれぞれもっと聖くなるよう努めます。

神殿に参入する条件はすべて、個人の聖さに関係しています。その準備を評価するために、神殿の祝福を望む人は、2回の面接を受けます。最初はビショップ、ビショップリックの顧問、または支部会長から、2回目はステーク会長、伝道部会長、またはその顧問からです。面接では、幾つかの質問をされます。

その質問の一部が最近改訂されて、より明確にされました。今から読み上げたいと思います。

1. あなたは永遠の父なる神とその御子イエス・キリストと聖霊に対して、信仰と証を持っていますか。
2. イエス・キリストの贖罪と、あなたの救い主、贖い主としてのイエス・キリストの役割に対して、証を持っていますか。
3. イエス・キリストの福音の回復に対して、証を持っていますか。
4. 末日聖徒イエス・キリスト教会の大管長を預言者、聖見者、啓示者として、また、すべての神権の鍵を行使する権限を託された、地上で唯一の人として支持していますか。

大管長会および十二使徒定員会の会員を預言者、聖見者、啓示者として支持していますか。

教会のそのほかの中央幹部と地元の指導者を支持していますか。

5. すべてのことが主の前に「清く行われ」なければならないと、主は言われました（教義と聖約 42：41）。

あなたは思いと行いにおいて道徳的に清くあるように努めていますか。



純潔の律法に従っていますか。

6. 家族やほかの人々と個人的に、また公に接するときに、イエス・キリストの教会の教えに従っていますか。
7. 末日聖徒イエス・キリスト教会の教えや慣行や教義に反する教え、慣行、教義を支援したり、奨励したりしていませんか。
8. 家庭でも教会でも安息日を聖く保ち、出席すべき集會に出席し、備えをしてふさわしい状態で聖餐を受け、福音の律法と戒めに調和した生活をするように努めていますか。
9. あなたが行うすべてのことに正直であるように努めていますか。
10. 什分の一を完全に納めていますか。
11. 知恵の言葉について理解し、それに従っていますか。
12. 以前の伴侶や子供に対して経済的な責任やその他の責任がありますか。もしあれば、現在そのような責任を果たしていますか。
13. エンダウメントで教えられたとおり神殿ガーマントを身に着けることを含め、神殿で交わした聖約を守っていますか。
14. 悔い改めの一部として神権役員のもとで解決する必要がある重大な罪はありませんか。
15. あなたは、自分には、主の宮に参入して神殿の儀式を受ける資格があると思いますか。

明日、これらの改訂された神殿推薦状の質問が、世界中の教会指導者に配布されます。

これらの質問に正直に答えることに加えて、成人の神殿参入者は各々、通常の衣服の下に聖なる神権のガーマントを着用するものとされています。これは、主にさらに似た者になるために毎日努力するという内なる決意を象徴しています。また、交わした聖約に毎日忠実であること、そしてより高くより神聖な方法で毎日聖約の道を歩むことも思い起こさせます。

では、少しの間、青少年の皆さんに話したいと思います。わたしたちは皆さんに、限定神殿推薦状を受ける資格を得ようお勧めします。身代わりのバプテスマと確認の儀式の準備をする際に、これらの質問から皆さんに当てはまるものが聞かれます。わたしたちは、皆さんがふさわしく、神聖な神殿活動に進んで参加して下さることに心から感謝します。ありがとうございます！

主の宮に参入する個人のふさわしさには、多くの霊的な備えが求められます。しかし、主の助けがあれば、不可能なことは何もありません。幾つかの点で、神殿を建てることの方が、人々を築き上げて神殿に備えさせることよりも容易です。個人のふさわしさには、主にさらに似た者となり、正直な市民、よりよい模範、そしてより聖い人となるために、思いと心を完全に改めることが求められます。

わたしは、そのような準備の業がこの世で数えきれない祝福を、そして来るべき世

で想像を超えた祝福をもたらし、家族という単位が「終わりのない幸福な状態」で永遠に存続することを証します。¹

さて、別のテーマについて話しましょう。来年の計画です。2020年の春は、ジョセフ・スミスが最初の示現として知られる神の訪れを体験してから200年目に当たります。父なる神と愛する御子イエス・キリストが、14歳の少年ジョセフに御姿を現されました。この出来事は、イエス・キリストの完全な福音の回復の始まりであり、聖書に詳しく預言されています。²

それに続いて、モロナイ、バプテスマのヨハネ、古代の使徒ペテロ、ヤコブ、ヨハネなど、天の使いが訪れました。さらに、モーセ、エライアス、エリヤが続きました。それぞれが、地上の神の子供たちを再び祝福するために神聖な権能をもたらしました。

奇跡的に、聖書と対をなす聖典、イエス・キリストのもう一つの証である『モルモン書』も与えられました。『教義と聖約』と『高価な真珠』として出版された啓示も、神の戒めと永遠の真理に対する理解を大いに深めてくれました。

神権の鍵と職が回復されました。使徒、七十人、祝福師、大祭司、長老、ビショップ、祭司、教師、執事の職などがそれです。そして主を愛する女性たちは、扶助協会や初等協会、若い女性、日曜学校、そのほかの教会の召しで立派に奉仕します。そのすべてがイエス・キリストの完全な福音の回復のきわめて重要な部分です。

そこで、2020年は200周年に指定されます。来年4月の総大会は、これまでのどの大会とも異なるものになります。これからの6か月間、すべての会員とすべての家族が、回復された福音の幕開けを記念する特別な大会に備えるように願っています。

高価な真珠に記されている最初の示現に関するジョセフ・スミスの記録をもう一度読み返して、準備を始めるとよいでしょう。『わたしに従ってきなさい』の来



年度の教科課程は、モルモン書です。次のような大切な質問について考えるとよいでしょう。「もしモルモン書から得た知識が突然取り去られたら、わたしの生活はどう変わるだろうか。」「最初の示現に続く出来事は、わたしと愛する人々をどのように変えただろうか。」また、今はモルモン書ビデオが利用できますので、個人や家族の勉強に取り入れるとよいでしょう。

自分の質問を選んでください。自分の計画を立ててください。回復の栄光あふれる光に浸ってください。そうすれば、来年4月の総大会は、記念になるだけでなく、記憶に残るものになるでしょう。

さて、終わりに当たり、わたしは皆さんに愛と祝福を残します。皆さんが日々さらに幸せで、さらに聖くなれますように。安心してください。啓示は教会に続いており、今後も「神の目的〔が〕成し遂げられ……て、大いなるエホバ〔が〕御業は成ったと告げられる」まで続くことでしょう。³

皆さんを祝福し、皆さんへの愛を再度伝え、証します。神は生きておられます。イエスはキリストであられます。これは主の教会であり、わたしたちは主の民なのです。イエス・キリストの聖なる御名により、アーメン。■

注

1. モーサヤ 2:41
2. イザヤ 2:2; 29章; エゼキエル 37:15-20, 26-28; ダニエル 2:44; アモス 3:7; 使徒 3:21; エペソ 1:10; 黙示 14:6 参照
3. 『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』 142

推薦状の質問の改訂およびそのほかの 神殿に関するニュース

ラッセル・M・ネルソン大管長は2019年10月の総大会において、神殿推薦状の面接の質問の改訂について発表しました(121ページ参照)。神殿の標準は同じままですが、幾つかの質問は、より明確になるよう言い換えられています。然るべき教会指導者は改訂された質問が書かれた2019年10月6日付の大管長会からの手紙を受け取っているはずで

す。ネルソン大管長は8つの新たな神殿の計画も発表しました(79ページ参照)。新しい神殿はシエラレオネのフリータウン、パプアニューギニアのポートモレスビー、アメリカ合衆国アーカンソー州のベントンビル、フィリピンのバコロド、アメリカ合衆国テキサス州のマッカレン、グアテマラのコパン、アメリカ合衆国ユタ州のオレムとテイラーズビルに建設されます。

2019年4月の総大会以降、神殿はコンゴ民主共和国のキンシャサ、ポルトガルのリスボン、ハイチのポルトープランス、ブラジルのフォルタレザで奉獻されました。また、ア

メリカ合衆国カリフォルニア州のオークランド、アメリカ合衆国テネシー州のメンフィス、ドイツのフランクフルト、アメリカ合衆国オクラホマ州のオクラホマシティー、アメリカ合衆国ノースカロライナ州のローリーで再奉獻されました。

緞入れ式が行われたのはグアムのジーゴ、カーボベルデのプライア、プエルトリコのサンファン、ペルーのリマ(ロスオリボス)、ブラジルのベレンです。神殿用地が選定されたのはニュージーランドのオークランド、アメリカ合衆国ユタ州のレイトンとサラトガスプリングスです。

以下の改築が発表されました。ソルトレーク神殿は12月に閉館し、2024年に再び開館します。ユタ州セントジョージ神殿は2019年11月に閉館し、2022年に再び開館します。■

神殿に関しては、以下でさらに見ることができます。
temples.ChurchofJesusChrist.org

儀式の証人に関する 教会の方針の変更

教会の中央幹部および中央役員が大管長会から指導を受ける総大会の指導者集会において、ラッセル・M・ネルソン大管長は、バプテスマと結び固めて証人として奉仕する人に関して、教会の方針における手続きの変更について発表しました。

2019年10月2日付の大管長会からの手紙にこの変更の詳細が記されています。

「管理役員からの要請がある場合、

1. 有効な神殿推薦状を保持している会員(限定推薦状の保持者を含む)は、代理のバプテスマの証人を務めることができます。
2. 有効な神殿推薦状を保持しているエンダウメントを受けた会員は、生者の結び固めや代理の結び固めの証人を務めることができます。
3. 子供と青少年を含め、バプテスマを受けた教会員は、生者のバプテスマの証人を務めることができます。」■



左から：ブラジル・フォルタレザ神殿、ポルトガル・リスボン神殿、コンゴ民主共和国キンシャサ神殿、ハイチ・ポルトープランス神殿

子供と青少年のための新たな取り組みが紹介される

若人が霊的、社会的、肉体的、知的に成長するに当たり、救い主に従う助けとなるように「子供と青少年」のプログラムが2020年1月より実施されます。「子供と青少年」についての記事は本誌の40ページと53ページを参照してください。

2019年9月29日の特別放送において、ラッセル・M・ネルソン大管長は次のように述べました。「今日の子供と青少年を助けるために作られた新しい方法を全世界で実施する時が来ました。」

「皆さんに具体的な割り当てをたくさん与えたりはしません。その代わりに、どうしたらバランスの取れた成長ができるか、主と相談してください」と大管長は子供たちと青少年に語りかけました。「それは実りある楽しいものとなるでしょう。しかし皆さんにもしてほしいことがあります。皆さんに必要なのは、個人の啓示を求めることであり、何をするかを自分で選ぶことです。難しいことをするよう御霊に促されることがあるかもしれませんが、皆さんにはできると、わたしは思います。皆さんなら難しいことだってできます。」

ネルソン大管長は両親にも果たすべき必要不可欠な役割があると話しました。「子供や青少年との間に強固な関係を築いてください。教会の指導者も助けますが、皆さんの子供たちなのです。皆さんほど子供たちの成功に影響を及ぼせる人はいません。彼らに愛と励ましと勧告を与えてください。でも彼らのために口出しをしたくとも我慢してください。自分の選択の自由を行使して行うのがいちばんよいのです。」

「この勧告は教会の子供と青少年のすばらしい指導者や教師にも当てはまります」とネルソン大管長は続けました。「若い人たちに指導してもらう必要があります。特にク

ラスや定員会の会長会で奉仕するように召され、任命されている人たちです。彼らには神権の権能が委任されています。彼らはクラスや定員会を導く中で、啓示を受ける方法を学ぶことでしょう。」

同じ発表の中で、十二使徒定員会会長代理のM・ラッセル・バラード会長は、「若い世代のイエス・キリストを信じる信仰を強め、子供や青少年、そして彼らの家族が人生のチャレンジに遭ったときに聖約の道を前進するのを助ける」という「子供と青少年」のビジョンを紹介しました。¹「イエス・キ

ストの証が得られるよう子供と青少年を助けると、彼らも、わたしたちも、わたしたちの生活も、皆祝福されます」とバラード会長は述べました。

放送の中で青少年が『子供および青少年のための導入ガイド』を使った実演活動に参加した後、バラード会長は次のように述べました。「これは始まりにすぎません。今日、まずこの活動から始めたのです。家族で協力しながら進めていくものです。……引き続きこの活動をするよう、お願いします。親御さんたちは、これを家庭で続けてくださ



い。」バラード会長は「これは家庭中心、教会サポートのプログラム」であること、そして「このプログラムには家族がかかわってくる」ことを強調しました。「それがすばらしい点なのです。」

世界中の多くの地域で、両親や指導者も自分の導入ガイドを受け取りました。ほかの地域では、「子供と青少年」は2020年に入ってから翻訳されます。

福音学習、奉仕と活動、個人の成長（目標設定と目標達成を含む）は「子供と青少年」の鍵となる部分となり、計画するに当たっては青少年が主導するべきです。子供と青少年は家族、指導者、そのほかの人々からのサポートを受けながら聖約の道に沿って進

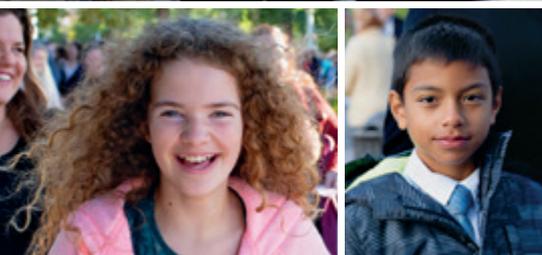
歩するに当たり、個人の啓示を探し求めます。バラード会長は「子供と青少年」は世界的な取り組みであるので、「住んでいる場所や家族の状況」に応じて調整できると指摘しました。

詳細やリソースについては、十二使徒定員会のゲレット・W・ゴング長老を迎えて行われる2019年11月17日の子供と青少年のためのFace to Face放送を御覧ください。2020年中に8歳から18歳になる子供と青少年、その両親、若い女性指導者、アロン神権アドバイザー、初等協会指導者が参加するよう招待されています。「子供と青少年」プログラムに関するゴング長老への質問はfacetoface.ChurchofJesusChrist.orgにお送りください。18か国語で放送されるライブイベントの後、ビデオはアーカイブに保管され、いつでも配信、ダウンロードできるようになります。■

Face to Face イベントについての情報を含むさらなる情報は、ChildrenandYouth.ChurchofJesusChrist.org および ChildrenandYouthLeaders.ChurchofJesusChrist.org を御覧ください。

注

1. 『末日聖徒イエス・キリスト教会の子供と青少年——両親と指導者のための導入ガイド』, 1 t.



子供と青少年のプログラムをサポートするFSYカンファレンス

世界中の子供と青少年のためのプログラムを統合するため、教会の取り組みの一部として、2020年からアメリカ合衆国とカナダのステークは2年に1度「若人の強さのために(FSY)」カンファレンスを主催するようになります。

FSYカンファレンスは10年以上前からアメリカ合衆国とカナダ以外で開かれており、これまでと同じように続くことになります。

そのほかの情報も2019年11月17日のFace to Faceイベントにて発表されます。■

詳細についての記事は、ChurchofJesusChrist.org/go/1119125 (英語のみ) を御覧ください。Face to Face イベントに関するさらなる情報は、facetoface.ChurchofJesusChrist.org を御覧ください。

青少年を強めることに焦点を当てた組織上の変更

教会の青少年が自らの神聖な可能性にさらに到達できるようにするための取り組みの一環として、若い男性と若い女性の組織に関する変更が2019年10月の総大会においてラッセル・M・ネルソン大管長により発表され(38ページ参照)、十二使徒定員会のクエンティン・L・クック長老(40ページ参照)と、中央若い女性会長のポニー・H・コードン姉妹が説明しました(67ページ参照)。

これらの変更はビショップの「第一の、最も重要な責任は、ワードの若い男性と若い女性を愛し養う」ことであることを強調している、とネルソン大管長は述べました。変更にはワードの若い男性会長会が廃止されることが含まれます。アロン神権の会長会としてビショップリックは、定員会アドバイザーや必要に応じてスペシャリストにより支援を受けます。ワード若い女性会長はビショップに直接報告します。

定員会会長会とクラス会長会は、会員伝道活動、改宗者の定着、活発化、神殿・家族歴史活動、福音を教えることを含む救いの業に焦点を当てます。青少年の定員会会長とクラス会長は、日曜日の集会、奉仕プロジェクトやその他の活動を計画し、実行します。

青少年のための活動は、今後「ミューチャル」と呼ばれなくなり、「若い女性の活動」、「アロン神権定員会の活動」または「青少年の活動」と呼ばれます。青少年の活動のための予算交付金は、各組織における青少年の人数に応じて、公平に分配されます。

若い女性のテーマは改訂され、若い女性のクラスの数は若い女性の人数と必要に応じて組織されます。クラスは「若い女性」という名称で呼ばれ、クラスの若い女性の年

齢に従って、例えば「若い女性12-14」あるいは皆が一つのクラスに集う場合は単に「若い女性」と呼ばれます。ビーハイブ、マイアメイド、ローレルという名称は今後使いません。

ステーキ高等評議員の一員がステーキ若い男性会長として奉仕し、ステーキ若い男性会長会は、ステーキアロン神権・若い女性委員会で、ステーキ若い女性会長会、若い女性に割り当てられた高等評議員、初等協会に割り当てられた高等評議員とともに奉仕することになります。

そのほかの変更として、扶助協会、若い女性、若い男性、初等協会、および日曜学校は「補助組織」ではなく「組織」と呼ばれるようになり、指導者は中央レベルでは「中央役員」、ステーキやワードのレベルでは「ステーキ役員」および「ワード役員」と呼ばれるようになります。■



2020年4月に備えるための4つの方法

2020年は、1820年の春にあった最初の示現から200年の記念の年になります。それに応じて、ラッセル・M・ネルソン大管長は4月に行われる次回の総大会は「回復された福音の幕開けを記念する」ものとなると発表しました(122ページ参照)。

大管長はすべての会員や家族がこの「特別な大会」に備えるように励まし、そのために実行できる方法を提案しました。

1. 最初の示現に関するジョセフ・スミスの言葉をもう一度読む。
2. 2020年に『わたしに従ってきなさい』を研究するとき、モルモン書によって得られた知識や祝福に関する質問について深く考える。
3. 個人や家族の研究に新しいモルモン書ビデオを使う。
4. 自分の質問を選び、「回復の栄光あふれる光に浸(る)」ための自分の計画を立てる。

「そうすれば、来年4月の総大会は、記念になるだけでなく、記憶に残るものになるでしょう」とネルソン大管長は述べました。■

活動のアイデア

会員が総大会メッセージから学ぶのを助ける方法はたくさんあります。以下に幾つかの例を示しますが、あなたの定員会や扶助協会において、もっと効果のあるアイデアがほかにもあるかもしれません。



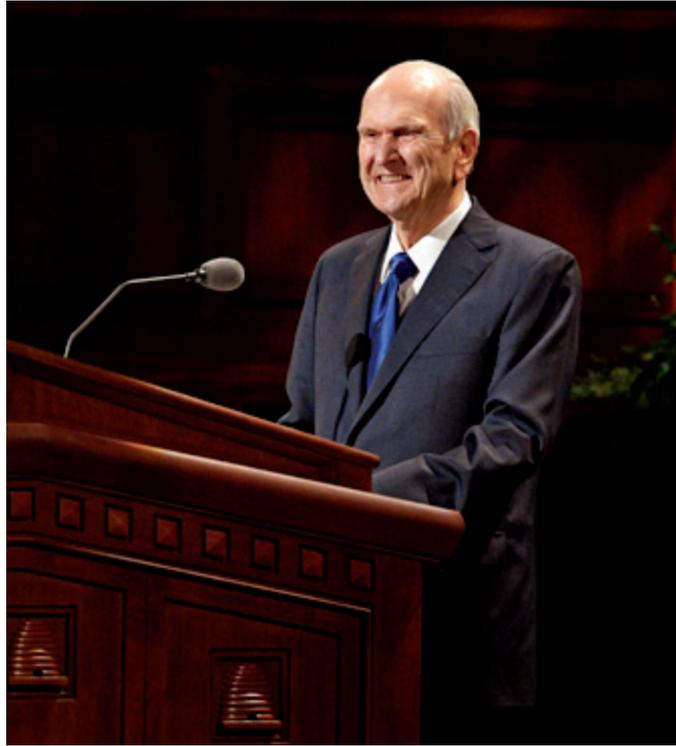
- **グループで話し合う。**
参加者を小さなグループに分け、各グループに大会メッセージから別々の部分を割り当てて読んで話し合ってもらいます。その後、学んだ真理を各グループに発表してもらいます。または、それぞれ別の割り当て部分から学んだ人たちを一つのグループにして、学んだことを互いに分かち合ってもらうのもよいでしょう。
- **質問に答える。**
大会メッセージについて以下のような質問に答えるように勧めます。このメッセージから、どのような福音の真理を見つけましたか。これらの真理を当てはめるにはどうすればよいでしょうか。どのような勧めや約束された祝福が与えられているでしょうか。わたしたちが行うように神が望んでおられる業について、このメッセージは何を教えているでしょうか。
- **引用文を分かち合う。**
大会メッセージから、会員が救いの業における自分たちの責任を果たすように靈感を与えてくれる引用文を、分かち合ってもらいます。愛する人やミニスタリングを行う相手も含め、人々を祝福するために、それらの引用文をどのように分かち合うことができるかを考えるよう励まします。
- **物を使ったレッスンをする。**
前もって数人の会員に、大会メッセージの教えに関連した物を家から持って来るよう頼んでおきます。集会中に、それらの物がそのメッセージにどのように関連しているかを説明してもらいます。
- **家庭で教えるレッスンを準備する。**
会員二人に一組になってもらい、大会メッセージに基づいた家庭の夕べのレッスンを計画してもらいます。そのメッセージを自分の家族に関連付けるには、どうするとよいでしょうか。わたしたちがミニスタリングを行う相手と分かち合うには、どうすればよいでしょうか。
- **経験を分かち合う。**
大会メッセージの一部を一緒に読みます。その中にある教義を表したり、裏付けるような聖文や個人の経験を会員に分かち合ってもらいます。
- **聖文から学ぶ。**
大会メッセージの中の参照聖句の一つを読んでもらいます。そのメッセージの中の教えがどのように聖文をさらに理解する助けとなるかについて話し合ってもらいます。
- **答えを探す。**
前もって、大会メッセージを使って答えられる質問を幾つか作っておきます。深く考えさせたり福音の原則の応用を促すような質問をするようにします（『救い主の方法で教える』31 - 32 参照）。会員に質問を選んでもらい、メッセージの中から答えを見つけてもらいます。小さなグループに分かれ、自分たちの答えについて話し合ってもらいます。
- **言葉を見つける。**
大会メッセージを調べるように会員に勧め、自分にとって大切だと思う言葉を見つけて、学んだことを分かち合ってもらいます。その教えは主の業を成し遂げるうえで、どのような助けとなるでしょうか。
- **何かを作る。**
大会メッセージからの短い霊的なメッセージを入れたポスターやしおりを作成するように勧めます。作成したものを分かち合う機会を提供します。■



「キリストとエルサレムへの道」
/マイケル・コールマン画

「回復の最も尊い宝は、聖なる神殿です。その神聖な儀式と聖約は、人々に主の再臨のときに救い主を迎える
備えをさせるうえで、極めて重要です。……
……各神殿は聖なる場所であり、神殿参入者はそれぞれと聖くなるよう努めます。」

ラッセル・M・ネルソン大管長「結びの言葉」120, 121



「2020年は200周年に指定されます。来年4月の総大会は、これまでのどの大会とも異なるものになります。」ラッセル・M・ネルソン大管長は、教会の第189回半期総大会で語りました。「これからの6か月間、すべての会員とすべての家族が、回復された福音の幕開けを記念する特別な大会に備えるように願っています。……

…… そうすれば、来年4月の総大会は、記念になるだけでなく、記憶に残るものになるでしょう。」

**2020年4月の総大会に備える方法を知るには、
122ページと126ページを御覧ください。**

末日聖徒
イエス・キリスト
教会